Canon

レーザビームプリンタ

Satera LBP5910/5910F

ユーザーズガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。


このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。



このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書CD-ROMに収められているPDFマニュアルです。

- **トラブルの簡単な解決方法を知るには**
- **プリンタの簡単な使いかたを知るには**

かんたん操作ガイド 

- **プリンタを設置するには**
- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド（本書） 

- **いろいろなネットワークの設定方法を知るには**

ネットワークガイド／本編 

- **操作パネルを使ってプリンタを設定するには**

LIPS 機能ガイド 

- **Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには**

リモート UI ガイド 

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル
LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

オプション品に付属の取扱説明書
オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

本書の構成について

第１章 お使いになる前に　必ずお読みください

第２章 プリンタの設置

第３章 プリンタの使いかた

第４章 給紙・排紙のしかた

第５章 日常のメンテナンス

第６章 困ったときには

第７章 オプション品の取り付け

第８章 付録

おもな仕様、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内、索引などを掲載しています。

- 本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

目次

はじめに x

本書の読みかた x

マークについて x

キー・ボタンについて x

イラストについて xi

OS について xi

略称について xi

規制について xii

本体製品名称について xii

電波障害規制について xii

国際エネルギースタープログラムについて xii

物質エミッションの拡散に関する認定基準について xii

商標について xiii

原稿などを読み込む際の注意事項 xiv

安全にお使いいただくために xv

設置について xv

電源について xvi

取り扱いについて xvii

保守／点検について xix

消耗品について xx

その他 xx

資源再利用のお願い xxi

第 1 章　お使いになる前に

製品の特長 1-2

各部の名称と機能 1-5

本体（LBP5910） 1-5

前面 1-5

背面 1-6

プリンタ内部 1-7

本体（LBP5910F） 1-8

前面 1-8

背面 1-9

プリンタ内部 1-10

操作パネル 1-11

ディスプレイ 1-13

オプション品について 1-14
ペーパーフィーダ 1-14
拡張 RAM 1-15
コントロール ROM 1-17
ハードディスク 1-18
インテリジェントコントローラ NB-J2 1-19
プログラマーズマニュアル 1-19

第 2 章　プリンタの設置

設置手順について 2-3
オプション品の取り付け位置 2-3
設置の手順 2-4
設置場所と取り扱いについて 2-5
設置環境 2-5
温度／湿度条件 2-5
電源条件 2-5
設置条件 2-6
設置スペース 2-7
周囲に必要なスペース（LBP5910） 2-7
周囲に必要なスペース（LBP5910F） 2-8
足の位置 2-9
取り扱い上のご注意 2-9
パッケージの内容を確認する 2-10
設置場所に運び、プリンタの梱包材を取り外す 2-11
電源コードとアース線を接続する 2-24
ドラムカートリッジをセットする 2-27
ドラムカートリッジをセットするときのご注意 2-27
ドラムカートリッジのセット 2-28
トナーカートリッジをセットする 2-47
トナーカートリッジをセットするときのご注意 2-47
トナーカートリッジのセット 2-47
用紙をセットする 2-53
コンピュータと接続する 2-54
USB ケーブルで接続する場合 2-54
USB ケーブルを接続するときのご注意 2-54
USB ケーブルを接続する 2-55
LAN ケーブルで接続する場合 2-56
LAN ケーブルを接続するときのご注意 2-56
LAN ケーブルを接続する 2-57

ソフトウェアをインストールする 2-59
Windows の場合 2-59
DOS の場合 2-60
Macintosh の場合 2-60
電源を入れる／切る 2-61
電源を入れる 2-61
電源を切る 2-63
消費電力の節約（スリープモード）について 2-65
スリープモードにする方法 2-65
スリープモードの種類 2-66
スリープモードを解除する 2-67
動作を確認する 2-68
プリンタの動作を確認する 2-68
ステータスプリント 2-68
ステータスプリントの内容 2-70
プリントサーバの動作を確認する 2-71

第 3 章　プリンタの使いかた

オンラインとオフライン 3-3
オンラインにする 3-3
オフラインにする 3-4
プリンタの機能と設定方法について 3-5
代表的な機能 3-5
設定のしかた 3-6
設定の優先順位 3-7
BMLinkS について 3-8
BMLinkS とは 3-8
BMLinkS プリンタドライバについて 3-9
プリンタで行う BMLinkS の設定について 3-10
ダイレクトプリントについて 3-14
ダイレクトプリントとは 3-14
リモート UI からダイレクトプリントするには 3-15
PDF ファイルをダイレクトプリントする場合 3-15
画像ファイルをダイレクトプリントする場合 3-24
コマンドプロンプトからダイレクトプリントするには 3-28
E メール印刷について（ハードディスク装着時のみ） 3-29
E メール印刷とは 3-29
E メール印刷の設定項目 3-31

E メール印刷をするには. 3-32
POP3 プロトコルを使用している場合 3-32
SMTP プロトコルを使用している場合 3-35
E メール受信履歴を印刷するには. 3-36
E メール印刷ができなかったときには 3-38

ジョブの印刷と保存について（ハードディスク装着時のみ） 3-42
ジョブの処理方法の種類 3-42
パスワードを設定して印刷する
（セキュアプリント／暗号化セキュアプリント）. 3-43
ボックスに保存したジョブを印刷する（保存ジョブプリント）. 3-46

画質について 3-48
解像度モードの種類 3-48
階調モードの種類 3-48
解像度モードを設定する 3-49
階調モードを設定する 3-50

カラーモードについて 3-52
カラーモードの種類 3-52
カラーモードを設定する 3-52

動作モードについて 3-54
動作モードの種類 3-54
自動切り替えがうまくできないとき 3-55
優先エミュレーションを切り替えたい動作モードに設定する 3-55
不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す 3-56
専用プリンタと同じ動作で使う（動作モード固定）. 3-57
エミュレーションモードで使うとき 3-58

印刷を中止したいときは 3-59
データを排出する（強制排出）. 3-59
印刷をキャンセルする（ジョブキャンセル）. 3-60
現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）. 3-61
すべての作業を中止する（ハードリセット）. 3-62

第４章　給紙・排紙のしかた

用紙について 4-3
使用できる用紙 4-3
用紙サイズ 4-3
用紙タイプ 4-4
用紙サイズの略号について 4-7
印刷できる範囲 4-7
使用できない用紙 4-9
用紙の保管について 4-10
プリントの保管について 4-10

給紙部について 4-11
給紙部の種類 4-11
給紙部の積載枚数 4-12
給紙元の選択 4-12
手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意 4-13
排紙先について 4-15
排紙トレイ 4-15
排紙先の積載枚数 4-16
給紙カセットに用紙をセットする 4-17
用紙をセットするときの注意 4-17
用紙のセット方法 4-18
カセット 1 に用紙をセットする 4-19
カセット 2、カセット 3、カセット 4 に定形の用紙をセットする 4-26
カセット 2、カセット 3、カセット 4 にユーザ設定用紙をセットする 4-35
ユーザ設定用紙の向きを設定する 4-42
給紙カセットの用紙タイプを設定する 4-43
手差しトレイに用紙をセットする 4-45
用紙のセット方法 4-45
用紙（はがき、封筒以外）をセットする場合 4-46
はがき、封筒をセットする場合 4-50
手差しトレイの用紙サイズを設定する 4-56
手差しトレイの用紙タイプを設定する 4-57
プリンタドライバの設定をして印刷する 4-60
両面に印刷する 4-65
自動両面印刷と片面印刷を切り替える 4-66
手動で両面に印刷する 4-67
とじしろを付けて印刷する 4-69
とじしろを設定する 4-69
ステイプルして出力する（LBP5910F のみ） 4-72
用紙のセット向きについて 4-79
第 5 章　日常のメンテナンス
トナーカートリッジを交換する 5-3
メッセージが表示されたときは 5-3
トナーカートリッジを交換するときのご注意 5-4
トナーカートリッジの交換 5-4
トナーカートリッジのカウンタをリセットする 5-12
使用済みトナーカートリッジ回収のお願い 5-13
トナーカートリッジの取り扱いのご注意 5-13
トナーカートリッジの保管について 5-15

ドラムカートリッジを交換する 5-16
メッセージが表示されたときは 5-16
ドラムカートリッジを交換するときのご注意 5-17
ドラムカートリッジの交換 5-20
交換するドラムカートリッジを取り出す 5-20
新しいドラムカートリッジを取り付ける 5-25
使用済みドラムカートリッジ回収のお願い 5-41
ドラムカートリッジの取り扱いのご注意. 5-41
ドラムカートリッジの保管について 5-43
定着器を交換する 5-44
メッセージが表示されたときは 5-44
定着器を交換するときのご注意 5-44
定着器の交換 5-45
定着器のカウンタをリセットする. 5-52
回収トナー容器を交換する 5-54
メッセージが表示されたときは 5-54
回収トナー容器を交換するときのご注意. 5-54
回収トナー容器の交換 5-56
使用済み回収トナー容器回収のお願い 5-60
針カートリッジを交換する（LBP5910F のみ）. .5-61
メッセージが表示されたときは 5-61
針カートリッジを交換するときのご注意. 5-62
針カートリッジの交換 5-62
ITB ユニットの転写ベルトを清掃する 5-68
印字位置を調整する 5-69
印字位置の確認 5-69
印字位置の調整 5-71
プリンタの外部を清掃する 5-74
プリンタを移動する 5-77
プリンタを移動する 5-77
プリンタの取り扱いについて 5-84

第 6 章　困ったときには

トラブル解決マップ 6-2
紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）. 6-4
紙づまりを除去するときのご注意. 6-4
紙づまりの位置 6-6
紙づまりの除去手順 6-7

針づまりが起こったときには（LBP5910F のみ）. 6-25
針づまりを除去するときのご注意. 6-25
針づまりの除去手順. 6-26
メッセージ一覧 6-32
サービスコール表示 6-58
正しい印刷結果が得られないときには 6-60
電源やプリンタ動作のトラブル. 6-60
印刷結果のトラブル. 6-66
印字品質のトラブル. 6-71
印字不良が起こったときには 6-81
プリンタ内部を清掃する. 6-81
プリンタ内部を清掃するときのご注意 6-81
プリンタ内部の清掃 6-84
テストチャート 1 を印刷する. 6-99
テストチャート 2 を印刷する. 6-101
印字不良サンプル. 6-102
カラーバランスを調整したいときには 6-106
プリンタの機能を確認したいときには 6-108

第 7 章　オプション品の取り付け

ペーパーフィーダ 7-2
プリンタを移動する. 7-3
梱包材を取り外し、ペーパーフィーダを取り付ける 7-7
ペーパーフィーダを取り外す 7-18
RAM/ROM 7-21
RAM、ROMの取り付け位置について 7-22
RAM、ROMを取り付ける. 7-22
RAM、ROMの設定について 7-29
RAM または ROM を取り外す 7-29
ハードディスク 7-31
ハードディスクを取り付ける 7-32
ハードディスクを取り外す. 7-36
インテリジェントコントローラ NB-J2 7-38
パッケージの内容を確認する 7-38
ケーブルを用意する. 7-39
各部の名称と機能. 7-40
NB-J2 を取り付ける 7-41
NB-J2 を取り外す 7-46

第 8 章　付録

カラープリントのしくみ 8-2
光の 3 原色と色の 3 原色. 8-2
色を表現する方法 8-3
カラープリントのしくみ 8-4
より美しく快適にカラープリントするために 8-5
おもな仕様 8-8
各部の寸法 8-15
索引 8-17
設置サービスのご案内 8-22
保守サービスのご案内 8-23
キヤノン保守契約制度とは 8-23
キヤノン保守契約制度のメリット 8-23
キヤノンサービスパックとは 8-23
キヤノンサービスパックのメリット 8-24
補修用性能部品 8-24
無償保証について 8-25
シリアルナンバーの表示位置について 8-26
定期交換部品のご案内 8-28
ソフトウェアのバージョンアップについて 8-29
情報の入手方法 8-29
ソフトウェアの入手方法 8-29

はじめに

このたびはキヤノン LBP5910/5910F をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告　取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意　取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンについて

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：[キー名称]

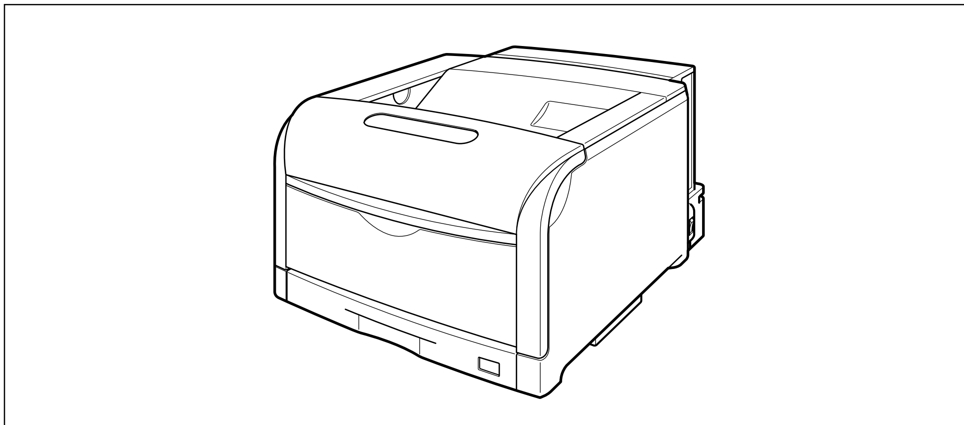
  例：[オンライン]
  　　[ユーティリティ]

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

  例：[OK]
  　　[変更]

イラストについて

本書で使われているイラストは、特にお断りがない限り、LBP5910 のものです。



OS について

Windows 7/Server 2008 をお使いの場合の操作方法や説明などは、Windows Vista の記載をご参考ください。

最新の OS および Service Pack の対応状況については、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）でご確認ください。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft Windows 2000 operating system：	Windows 2000
Microsoft Windows XP operating system：	Windows XP
Microsoft Windows Server 2003 operating system：	Windows Server 2003
Microsoft Windows Vista operating system：	Windows Vista
Microsoft Windows Server 2008 operating system：	Windows Server 2008
Microsoft Windows 7 operating system：	Windows 7
Microsoft Windows operating system：	Windows

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを「郵便はがき」と記載しています。

規制について

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の（）内の名称で登録されている場合があります。

LBP5910/5910F（F150500）

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

物質エミッションの拡散に関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマーク No122「プリンタ Version2」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております Toner Cartridge 502 Black を使用し、白黒印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2002 の付録 3 ～ 5 に基づき試験を実施しました。）

商標について

Canon、Canonロゴ、imageWARE、LBP、LIPS、MEAP-Lite、NetSpot、PageComposerは、キヤノン株式会社の商標です。

FontComposer、FontGallery は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、Mac OS、Macintosh、TrueType は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

HP、HP-GL、HP-GL/2 は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

IBM、AT、PowerPC、PS/55 シリーズは、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

ESC/P、ESC/P-J84 は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

PC-9800 シリーズ、PC-PR201/80A は、日本電気株式会社の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

下記の書体は米国 Bitstream Inc. よりライセンスを受けています。

Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text

下記の書体は米国 Bitstream Inc. の商標です。

Dutch 801, Swiss 721

© Copyright 1987, Bitstream Inc., Cambridge Massachusetts USA. All rights reserved.

本製品で使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体 TM W3、平成角ゴシック体 TM W5 を使用しています。これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律	● 刑法 ● 著作権法 ● 通貨及証券模造取締法 ● 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	● 郵便法 ● 郵便切手類模造等取締法 ● 印紙犯罪処罰法 ● 印紙等模造取締法

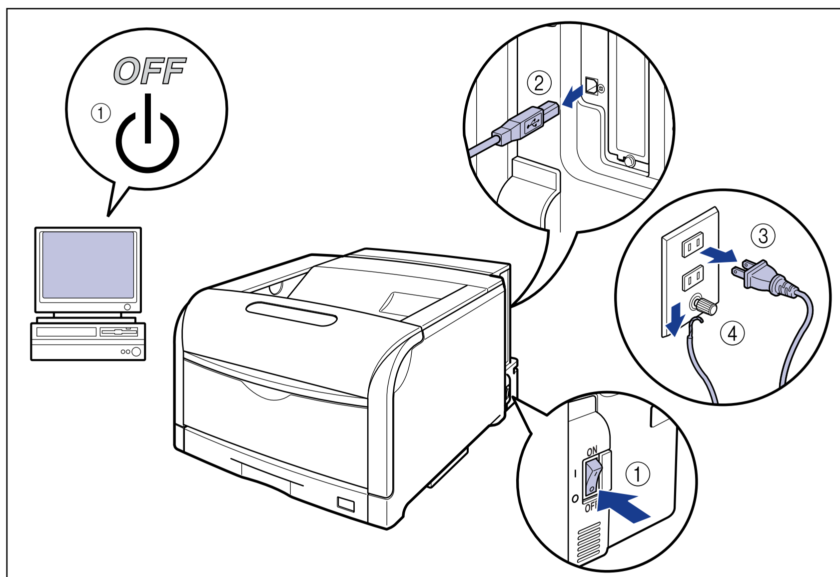
安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちにプリンタとコンピュータの電源をオフにし ①、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください ②。そのあと、電源プラグを抜いて ③、アース線を取り外し ④、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器



注意

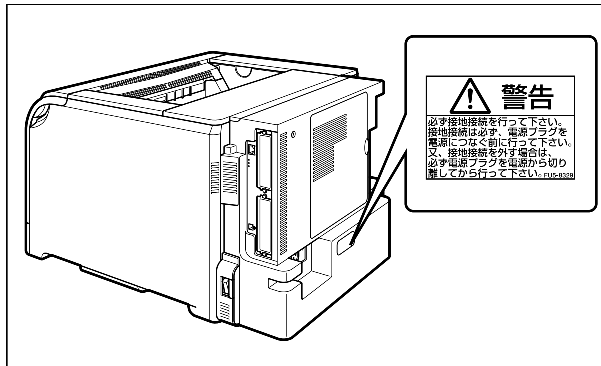
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。(→ プリンタを移動する：P.5-77)

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。



- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり､その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

  ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。

  ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

  ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

⚠ 警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちにプリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

- 製品を移動させる場合は、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちにプリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

  ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

  ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

  ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

  ・この製品は IEC60825-1:2007 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。

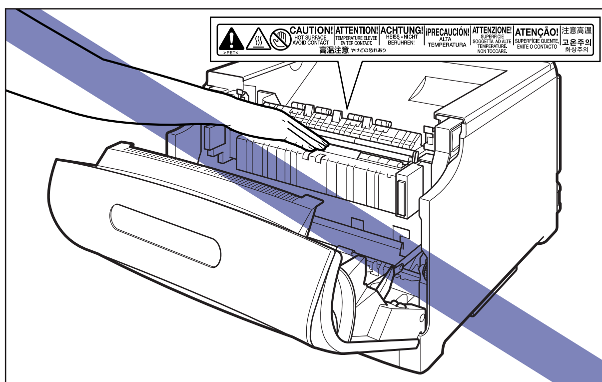
保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、プリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのドラムカートリッジやトナーカートリッジ、回収トナー容器を火中に投じないでください。ドラムカートリッジやトナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺（LBP5910F の場合は排紙部、針カートリッジも含む）は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。



- 紙づまり処理やドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、回収トナー容器を交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、回収トナー容器を取り出すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、回収トナー容器は分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、回収トナー容器からトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジを廃棄する場合は、トナー容器を袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。

⚠ 注意

- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、回収トナー容器は分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、回収トナー容器からトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

その他

⚠ 警告

ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

資源再利用のお願い

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

■ 使用済みプリンタの受け入れ場所について

使用済みとなったプリンタにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済みプリンタのリサイクルを推進しています。 使用済みのプリンタの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

■ 使用済みトナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの回収について

使用済みとなったトナーカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジ、ドラムカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。 使用済みトナーカートリッジ、ドラムカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋等に入れて、地域の条例に従い処分してください。

1

CHAPTER

お使いになる前に

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。

製品の特長. 1-2

各部の名称と機能. 1-5

本体（LBP5910）. 1-5

本体（LBP5910F）. 1-8

操作パネル. 1-11

ディスプレイ 1-13

オプション品について 1-14

ペーパーフィーダ. 1-14

拡張 RAM 1-15

コントロール ROM 1-17

ハードディスク 1-18

インテリジェントコントローラ NB-J2. 1-19

プログラマーズマニュアル. 1-19

製品の特長

本プリンタのおもな特長を説明しています。

■ 高品位 A3 フルカラープリント

印字機構に A3 カラーレーザプリンタエンジンを搭載。さらにデータ処理解像度を 600dpi ／多値処理とすることで、高画質フルカラープリンティングを A3 サイズで実現しました。

■ 高速プリント

高速 CPU や、新 PDL の採用によりコントローラ処理時間の高速化を実現。さらに現像ドラムを 4 つ持つことで、従来モノクロプリントの 4 倍の時間を要したカラープリントが毎分 30 枚（モノクロプリントは毎分 32 枚）で行うことが可能になりました。

■ エコロジー

「資源エネルギー庁長官賞」受賞経験のある低消費電力を実現したオンデマンド定着方式を採用。オフィス機器における省エネルギー化推進のための国際的なプログラムである「国際エネルギースタープログラム」の基準に適合しています。さらにスタンバイ時の消費電力を抑える「スリープモード」機能を搭載することで、低消費電力化を追求しています。また、トナーの使用量を約半分 * に抑えて印刷するドラフトモード等の機能を備えるエコロジープリンタです。

* 注　データによって異なります。

■ 超高精細画質

印字機構に 1200dpi エンジンを搭載し、文字はもちろん写真データやグラデーションの印刷において超高精細画質を可能にしました。LIPS プリンタドライバもデータ解像度 1200dpi 処理に対応することで「スーパーファインモード」を実現し、鮮明な画質の表現力を高めました。また、「ファインモード」時には、より豊かな階調表現を可能にした「高階調モード」に対応。高画質プリントと超高速プリントの両立を可能にしました。

■ 多彩なペーパーハンドリング

標準の手差しトレイとユニバーサルカセットに加え、オプションで 550 枚ペーパーフィーダを用意。最大 2000 枚、5 種類の用紙サイズの連続自動給紙を可能にしました。

また、手差しトレイは、手差し両面印刷が可能で、用紙サイズもはがきから最大 A3、長尺紙にまで対応しており、多様な用途に応じた使いかたを可能にしています。

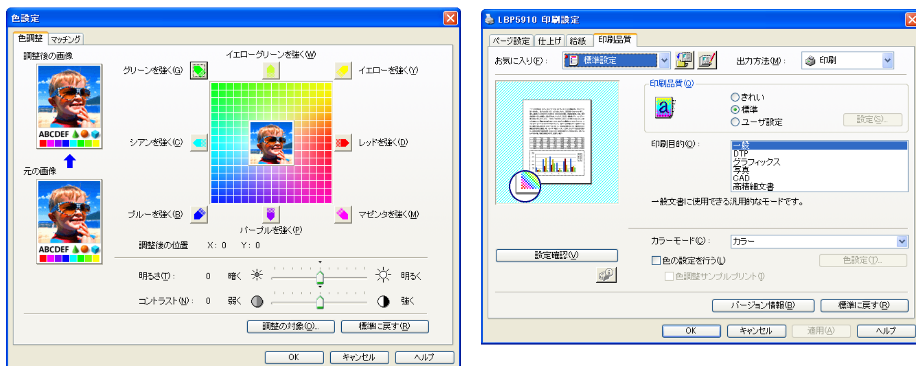
さらに、LBP5910F の排紙機能には、ステイプル機能が標準装備されており、会議などの資料づくりが効率よく進められます。

メモ　長尺紙は、LIPS LX プリンタドライバからのみ印刷することができます。

■ 簡単操作のカラーコントロール

カラーマトリックスを使ったユーザインタフェースにより直観的でわかりやすい色調整を実現。しかも調整した画像サンプルを 1 枚の用紙に出力するサンプルプリント機能により好みの色を簡単・確実に確認できます。

また、カラーページを自動的に判別するオートカラー機能により、白黒モードとカラーモードをいちいち切り替える必要がなくなりました。もちろん期待通りの色再現を実現する、キヤノン独自のカラーマネジメントシステム「ColorGear」も搭載。ドキュメントを構成する文字、写真、絵の各要素毎に最適な色補正を行うカラーマッチングを簡単操作で実現しています。



■ ネットワークプリンタ

10BASE-T/100BASE-TX 対応のプリントサーバを標準装備。TCP/IP、SMB、AppleTalkのプロトコルに対応しており、多様なホスト／OS環境に対応するネットワークプリンタとして、すぐにお使いになれます。また、高速 DMA 転送（プリンタのメモリに直接データを送る）や自動インタフェース切り替え、自動エミュレーション切り替え機能によって、ネットワーク環境下での快適なプリンティングを実現しています。

標準装備のプリントサーバには、ブラウザを使ってプリンタの機能が設定できる「リモート UI」を内蔵しており、プリンタの設定・管理をネットワーク上のコンピュータから行えます。



本プリンタに内蔵のプリントサーバの対応 OS、設定のしかた、詳細については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

■ ユーザフレンドリー

高速な USB2.0 インタフェースを標準装備し、Windows のみでなく Mac OS にも対応可能となった簡単操作が自慢の LIPS プリンタドライバを用意しました。

印刷したい設定をアイコンで簡単に選択できる「お気に入り」メニューや、複数ページ印刷機能、製本作業を容易にした「仕上げ」等の便利なプリント機能を使用できます。

さらに、コンピュータ上でネットワークに接続されたプリンタの設定や管理を行うプリンタ管理ユーティリティ「NetSpot Device Installer」を提供します。プリンタの使用状況や出力総量の集計・分析が可能な「imageWARE Accounting Manager」（有償）やプリンタの状態や印刷状態、自分の印刷が終わったかどうかをコンピュータ画面に知らせてくれる印刷終了通知等の機能を持った印刷ユーティリティソフトウェアの「NetSpot Job Monitor」等を同梱しています。

■ セキュリティ機能が充実

オプションのハードディスクを装着すると、印刷時にパスワードの入力が必要な「セキュアプリント」機能に加え、データ通信時のセキュリティを強化した「暗号化セキュアプリント」機能を使用することができます。また、ハードディスク内のデータを完全に消去する「ハードディスク完全消去」機能やリモート UI の通信に SSL を使用することができ、より安全なプリント環境を実現しました。



暗号化セキュアプリント機能を使用する場合は、「暗号化セキュアプリントドライバ Add-in」をインストールする必要があります。
インストール方法は、付属の CD-ROM 内の「Readme.txt」を参照してください。

■ さまざまなプリント方法に対応

本プリンタはネットワーク上にある様々なメーカーのプリンタやスキャナを共通のフォーマットを用いて接続することができる BMLinkS に標準で対応しています。また、TIFF、JPEG のデータや PDF ファイルを直接プリンタに送って印刷する「ダイレクトプリント」機能や、E メールをプリンタに送って印刷する「E メール印刷」機能にも対応しています。



E メール印刷を使用する場合は、オプションのハードディスクが必要です。また、PDF ファイルのダイレクトプリントを使用する場合は、次のオプションが必要です。

・ハードディスク
・コントロール ROM
・RAM（RD-256MW、RD-512MW）

■ TrueType フォント「FontGallery」同梱

和文 20 書体、かな 31 書体、欧文 100 書体を標準で CD-ROM に収録しています。プリンタ内蔵の「平成明朝体 W3」「平成角ゴシック体 W5」フォントと組み合わせてお使いいただくことで、WYSIWYG 環境を実現できます。

また、かなフォント組み替えユーティリティ「FontComposer」により、FontGallery の各種 TrueType フォントのかな部分（ひらがな、カタカナ、記号文字等）との組み替えが簡単に行え、より豊かな文章表現が可能です。

■ LIPS V に対応

LBP5910/5910F は、LIPS の資産を継承した、最新テクノロジーである「LIPS V」に対応しています。LIPS V は、LIPS IV（LIPS II+、LIPS III を含む）および LIPS LX から構成されています。

LIPS LX は、最新の OS に最適化されたプリンティングシステムで、印刷処理をコンピュータとプリンタで分散させて行なうため、高速なプリント出力が行なえます。また、プリンタのメモリ追加を行なわない場合でも、高速なプリント出力が可能です。



LIPS LX は Windows 2000/XP/Server 2003/Vista および Mac OS X のみで使用可能です。

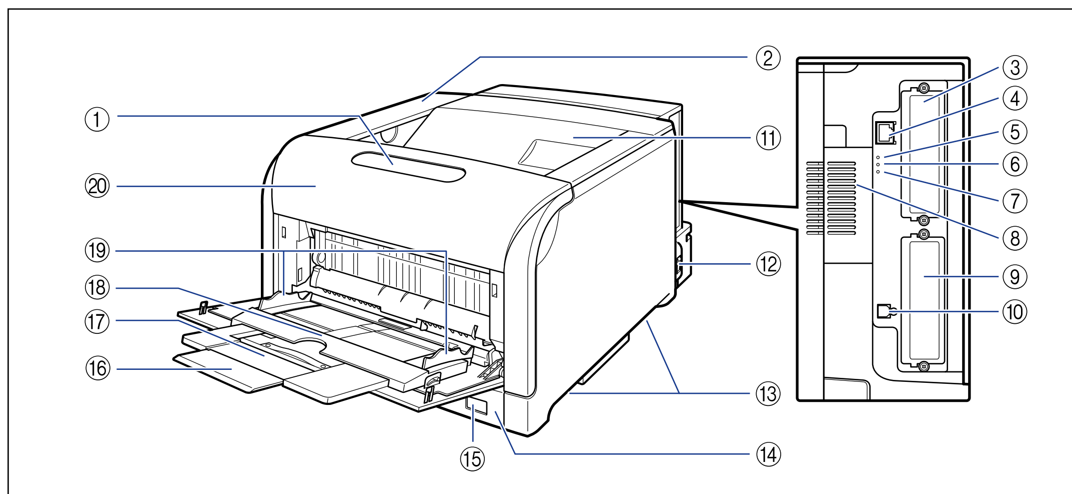
各部の名称と機能

本体（LBP5910）

注意 本プリンタには通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

前面

メモ 操作パネルに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。



① **操作パネル**
プリンタの動作や状態を表示したり、機能の設定をします。（➞P.1-11）

② **トナーカバー**
トナーカートリッジを交換するときに、ここを開けて作業します。（➞P.5-3）

③ **拡張ボードスロット**
機能拡張用のスロットです。（➞P.7-38）

④ **LAN コネクタ**
LAN ケーブル（10BASE-T/100BASE-TX）の接続部です。（➞P.2-56）

⑤ **100 ランプ（緑色）**
100BASE-TXでネットワークに接続されているときに点灯します。

⑥ **10 ランプ（緑色）**
10BASE-T でネットワークに接続されているときに点灯します。

⑦ **ACT ランプ（緑色）**
プリントサーバの通信中に点滅します。

⑧ **通気口**
プリンタ内部冷却用の通気口です。

⑨ **ハードディスクスロット**
オプションのハードディスクを取り付けます。（→P.7-31）

⑩ **USB コネクタ**
USB ケーブルの接続部です。（→P.2-54）

⑪ **上カバー／排紙トレイ**
上カバーは、ドラムカートリッジを交換するときやプリンタ内部を清掃するときに開けて作業します（紙づまりを除去するときは、開ける必要はありません）。上カバーは、前カバーを開けて定着器を手前に倒してから、ロック解除ボタンを押して開けます。ロック解除ボタンの位置については、「プリンタ内部」（→P.1-7）を参照してください。
排紙トレイは、印刷された用紙が排紙されます。（→P.4-15）

⑫ **電源スイッチ**
プリンタの電源を入れたり、切ったりします。（→P.2-61）

⑬ **運搬用取っ手**
プリンタを運ぶときは、ここを持ちます。（→P.5-77）

⑭ **給紙カセット**
普通紙、ラベル用紙をセットすることができます。（→P.4-17）

⑮ **用紙サイズ表示**
給紙カセットにセットした用紙サイズの用紙サイズ表示板を差し込みます。（→P.4-17）

⑯ **延長トレイ**
手差しトレイに用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。

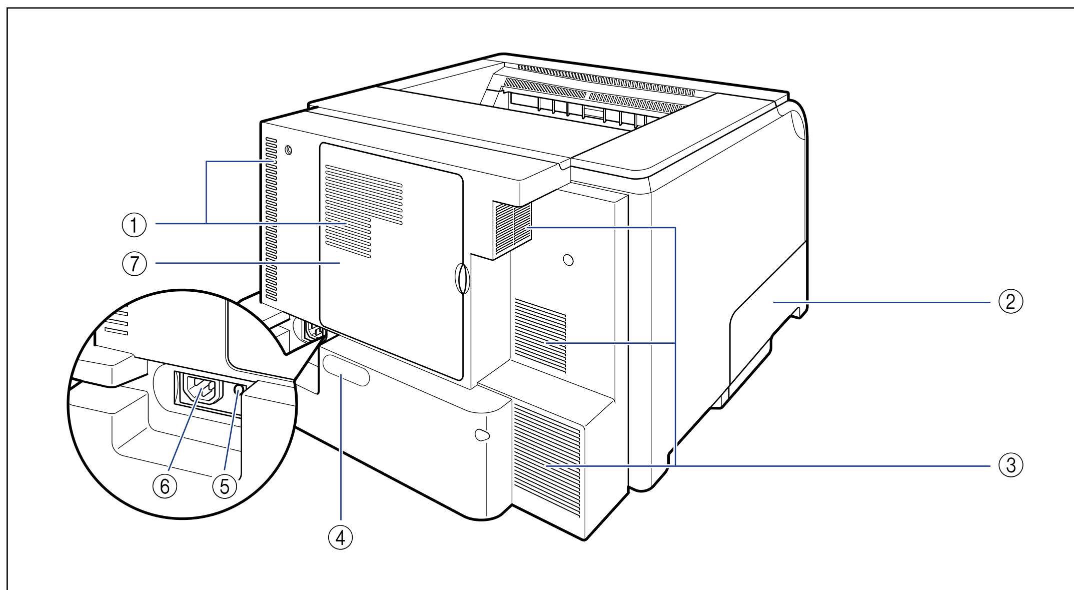
⑰ **補助トレイ**
手差しトレイに用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。

⑱ **手差しトレイ**
普通紙、厚紙、ラベル用、コート紙、はがき、封筒をセットすることができます。（→P.4-45）

⑲ **用紙ガイド**
手差しトレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。積載制限マークが付いており、このマークの下まで用紙をセットできます。

⑳ **前カバー**
定着器の交換や紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。（→P.6-4）

背面



① **通気口**
プリンタ内部冷却用の通気口です。

② **回収トナーカバー**
回収トナー容器の交換をするときに、ここを開けて作業します。（→P.5-54）

③ **通気口**
プリンタ内部冷却用の通気口です。

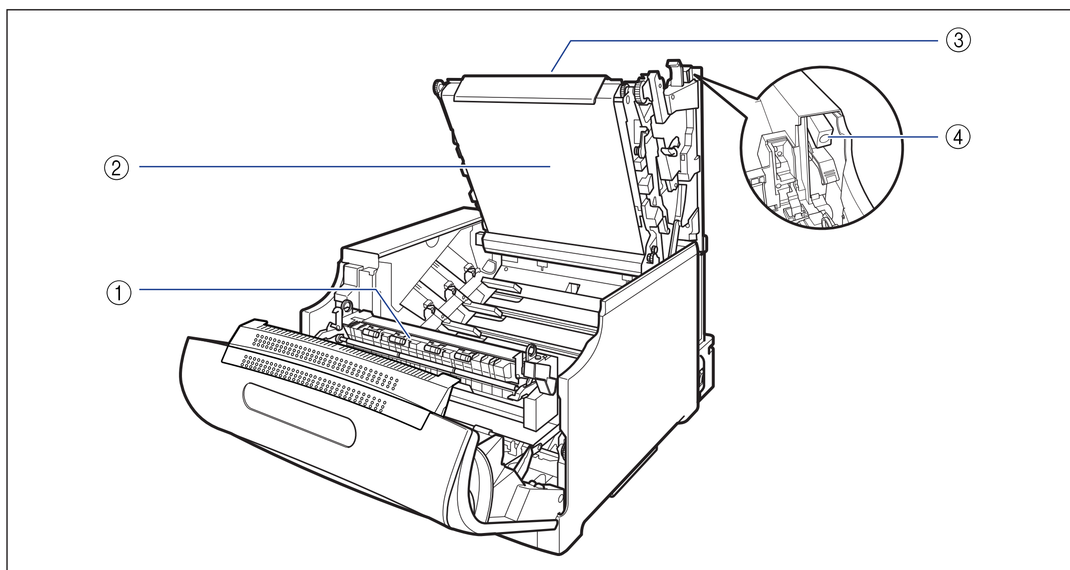
④ **定格銘板ラベル**
プリンタ識別のためのシリアルナンバー（SerialNo.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値は、平均消費電流です。

⑤ **アース線端子**
付属のアース線をこの端子に接続します。

⑥ **電源コード差し込み口**
付属の電源コードをここに接続します。

⑦ **後カバー**
オプションの RAM や ROM を取り付けるときに、ここを開けて作業します。

プリンタ内部



① **定着器（倒した状態）**
トナーを用紙に定着させる装置です。

② **ITB（Intermediate Transfer Belt：中間転写ベルト）ユニット**
４色のトナーを用紙に転写する装置です。

③ **上カバー（開いた状態）**
ドラムカートリッジを交換するときやプリンタ内部を清掃するときに、ここを開けて作業します（紙づまりを除去するときは、開ける必要はありません）。上カバーは、前カバーを開けて定着器を手前に倒してから、ロック解除ボタンを押して開けます。

④ **ロック解除ボタン**
上カバーを開けるときに、このボタンを押します。

本体（LBP5910F）

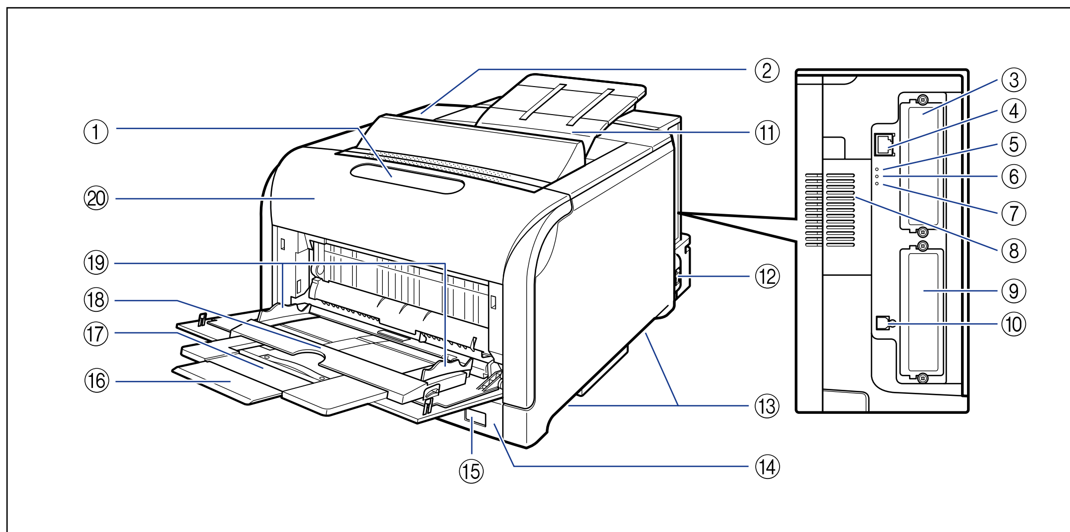


本プリンタには通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

前面



操作パネルに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。



① **操作パネル**
プリンタの動作や状態を表示したり、機能の設定をします。（➞P.1-11）

② **トナーカバー**
トナーカートリッジを交換するときに、ここを開けて作業します。（➞P.5-3）

③ **拡張ボードスロット**
機能拡張用のスロットです。（➞P.7-38）

④ **LAN コネクタ**
LAN ケーブル（10BASE-T/100BASE-TX）の接続部です。（➞P.2-56）

⑤ **100 ランプ（緑色）**
100BASE-TXでネットワークに接続されているときに点灯します。

⑥ **10 ランプ（緑色）**
10BASE-T でネットワークに接続されているときに点灯します。

⑦ **ACT ランプ（緑色）**
プリントサーバの通信中に点滅します。

⑧ **通気口**
プリンタ内部冷却用の通気口です。

⑨ **ハードディスクスロット**
オプションのハードディスクを取り付けます。（➞P.7-31）

⑩ **USB コネクタ**
USB ケーブルの接続部です。（➞P.2-54）

⑪ **上カバー／排紙トレイ**

上カバーは、ドラムカートリッジを交換するときやプリンタ内部を清掃するときに開けて作業します（紙づまりを除去するときは､開ける必要はありません)。上カバーは、前カバーを開けて定着器を手前に倒してから、ロック解除ボタンを押して開けます。ロック解除ボタンの位置については、「プリンタ内部」(➞P.1-10）を参照してください。
排紙トレイは、印刷された用紙が排紙されます。(➞P.4-15)

⑫ **電源スイッチ**

プリンタの電源を入れたり、切ったりします。(➞P.2-61)

⑬ **運搬用取っ手**

プリンタを運ぶときは、ここを持ちます。(➞P.5-77)

⑭ **給紙カセット**

普通紙、ラベル用紙をセットすることができます。(➞P.4-17)

⑮ **用紙サイズ表示**

給紙カセットにセットした用紙サイズの用紙サイズ表示板を差し込みます。(➞P.4-17)

⑯ **延長トレイ**

手差しトレイに用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。

⑰ **補助トレイ**

手差しトレイに用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。

⑱ **手差しトレイ**

普通紙、厚紙、ラベル用、コート紙、はがき、封筒をセットすることができます。(➞P.4-45)

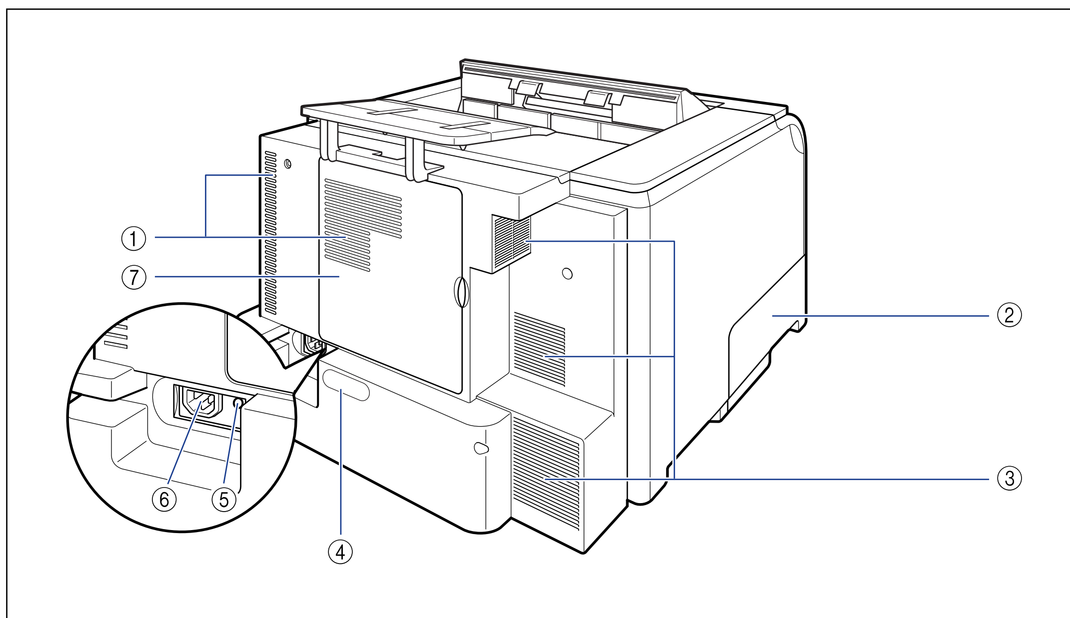
⑲ **用紙ガイド**

手差しトレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。積載制限マークが付いており、このマークの下まで用紙をセットできます。

⑳ **前カバー**

定着器の交換や紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。(➞P.6-4)

背面



① **通気口**

プリンタ内部冷却用の通気口です。

② **回収トナーカバー**

回収トナー容器の交換をするときに、ここを開けて作業します。(➞P.5-54)

③ **通気口**
プリンタ内部冷却用の通気口です。

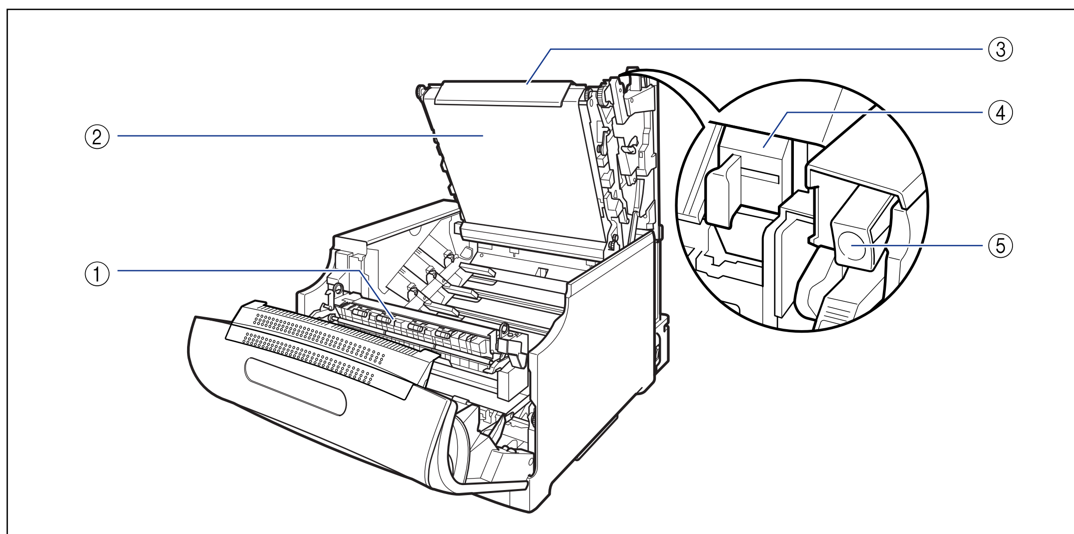
④ **定格銘板ラベル**
プリンタ識別のためのシリアルナンバー（SerialNo.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値は、平均消費電流です。

⑤ **アース線端子**
付属のアース線をこの端子に接続します。

⑥ **電源コード差し込み口**
付属の電源コードをここに接続します。

⑦ **後カバー**
オプションの RAM や ROM を取り付けるときに、ここを開けて作業します。

プリンタ内部



① **定着器（倒した状態）**
トナーを用紙に定着させる装置です。

② **ITB（Intermediate Transfer Belt：中間転写ベルト）ユニット**
4 色のトナーを用紙に転写する装置です。

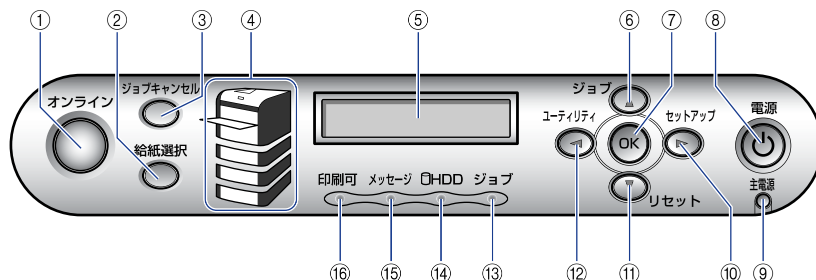
③ **上カバー（開いた状態）**
ドラムカートリッジを交換するときやプリンタ内部を清掃するときに、ここを開けて作業します（紙づまりを除去するときは、開ける必要はありません）。上カバーは、前カバーを開けて定着器を手前に倒してから、ロック解除ボタンを押して開けます。

④ **針カートリッジ**
ステイプルする針がなくなったときは、この針カートリッジを交換します。（→P.5-61）

⑤ **ロック解除ボタン**
上カバーを開けるときに、このボタンを押します。

操作パネル

本プリンタの上部には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本プリンタの状態を知ったり、本プリンタの持つ各種の機能を使うことができます。



■ キー

番号	名称	機能		
①	［オンライン］キー	コンピュータとの接続をオン（オンライン）／オフ（オフライン）します。また、エラーが発生してプリンタが停止したときに、そのエラーを一時的に解除して印刷を続行させる機能も持っています。ただし、エラーによっては、このキーを押しても解除できないことがあります。		
番号	名称	オンライン時	オフライン時	メニュー操作時
②	［給紙選択］キー	給紙選択メニューを表示します。		動作しません。
③	［ジョブキャンセル］キー	ジョブランプ点灯または点滅時はジョブキャンセルを行います。ジョブランプ消灯時は、動作しません。		動作しません。
⑥	［ジョブ］（▲）キー	ジョブメニューを表示します。	動作しません。	ひとつ前のメニュー（上の階層）へ戻します。
⑦	［OK］キー	動作しません。		次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定します。
⑩	［セットアップ］（▶）キー	セットアップメニューを表示します。ただし、オンライン状態ではユーザメンテナンスグループの設定はできません。		メニューの右側の項目を表示します。設定値を増やします。
⑪	［リセット］（▼）キー	リセットメニューを表示します。		次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定します。
⑫	［ユーティリティ］（◀）キー	ユーティリティメニューを表示します。	動作しません。	メニューの左側の項目を表示します。設定値を減らします。

■ ランプ

番号	名称	点灯時	点滅時	消灯時
①	オンラインランプ（緑色）	オンライン状態（コンピュータから印刷データを受信できる状態）プリンタがスリープモードに移行しているときは、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯します。（→P.2-65）	–	オフライン状態（コンピュータからの印刷データを受信できない状態）。
④	給紙元表示ランプ（緑色）	現在選択されている給紙元のランプが点灯します。	現在選択されている給紙元の用紙がない、または給紙カセットが装着されていない状態。ただし、手差しトレイの場合は、用紙がないときでもランプは点灯します。	現在選択されていない状態。オプション品を含む給紙カセットまたはペーパーフィーダが装着されていない状態。
⑨	主電源ランプ（緑色）	電源が入っている状態。	–	電源が入っていない状態。
⑬	ジョブランプ（緑色）	印刷データ受信中または、プリンタのメモリに印刷データが残っている状態。	印刷データを処理している状態。	プリンタのメモリに印刷データが何もない状態。
⑭	HDD ランプ（緑色）	ハードディスクに読み書きを行っている状態。	–	ハードディスクに読み書きを行っていない状態。
⑮	メッセージランプ（オレンジ色）	プリンタに何かトラブルが起きて印刷できない状態。（オフラインでスリープモードに入った場合は、メッセージランプ（オレンジ）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。）	–	プリンタが正常な状態。
⑯	印刷可ランプ（緑色）	印刷可能な状態。（オンラインでスリープモードに入った場合は、印刷可ランプ（緑）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。）	自己診断中。ウォーミングアップ中。	印刷できない状態。

■ その他

番号	名称	機能
⑤	ディスプレイ	プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。(→P.1-13)
⑧	操作部電源スイッチ（サブ電源）	「スリープモード」が「ツカワナイ」以外に設定されている場合、スリープモードに移行します。(→P.2-65) 4 秒以上押し続けると「シャットダウン」* を実行します。(→P.2-63) * シャットダウンを行ってから電源を切ってください。 特にハードディスクを使用しているときは、ハードディスク保護のため、シャットダウンを行ってください。

ディスプレイ

本プリンタの操作パネルには下図のようなディスプレイがあり、プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

印刷可能な状態



操作パネルでメニュー操作中の状態



① **状態、動作欄**

プリンタの状態や動作モードを表示します。

② **給紙元、用紙サイズ欄**

現在選択されている給紙元の用紙サイズを略号で表示します。次の用紙は略号で表示されます。
（SRA3：SA3、12 × 18：TxE、レジャー（11 × 17）：LD、リーガル：LG、レター：LT、エグゼクティブ：EX、はがき：HG、往復はがき：H2、4 面はがき：H4、洋形 4 号封筒：Y4、洋形 2 号封筒：Y2、角形 2 号封筒：K2、ユーザ設定用紙：80 ～ 99、ユーザ設定用紙縦、長尺紙：80R ～ 99R、フリー：FR）

オプション品について

本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

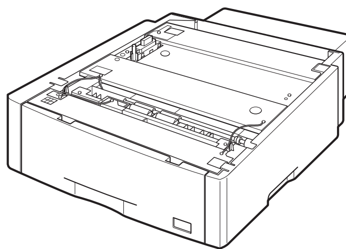
ペーパーフィーダ

本プリンタは、標準状態で給紙カセットと手差しトレイの合計 2 つの給紙部があります。オプションのペーパーフィーダを 3 台装着すると、最大 5 つの給紙部を使用することが可能です。

550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98B は、ペーパーフィーダと給紙カセットがセットになっています。

給紙カセットには、A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブサイズと次のサイズのユーザ設定用紙を普通紙（64g/m^2 の場合）で最大約 550 枚までセットできます。

- 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
- 横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm



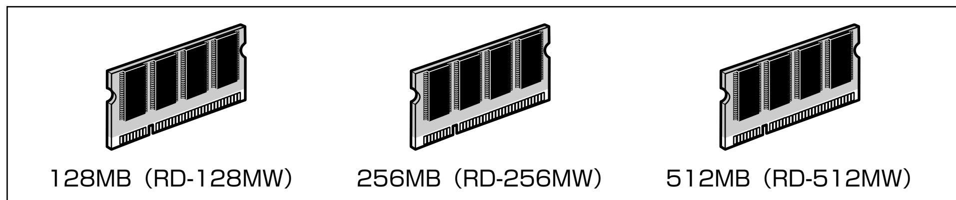
550枚ペーパーフィーダユニットPF-98B



- ペーパーフィーダは、最大 3 台まで取り付けることができます。
- 550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98B は、LBP5910/5910F/5900/5900SE/5610/5600/5600SE 専用です。他の機種用のペーパーフィーダは使用できません。
- ペーパーフィーダの取り付けかたについては、「ペーパーフィーダ」（➞P.7-2）を参照してください。

拡張 RAM

拡張 RAM は、メモリ容量を拡張するための増設メモリです。本プリンタは 256MB のメモリを標準装備しています。拡張 RAM は 1 個増設可能で、メモリ総容量を最大 768MB まで増やすことが可能です。



総 RAM 容量（拡張 RAM 容量）	印字保証サイズ
256（標準）	A4
384（+ 128MB）	A3
512（+ 256MB）	B4 x 2
768（+ 512MB）	A3 × 2

表中に（+●● MB）とあるのは、標準の RAM に加えて必要なオプションの拡張 RAM の容量を示します。

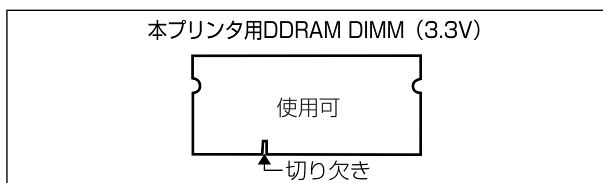
表中の印字保証サイズは、「解像度」を「ファイン」、「階調処理」を「コウカイチョウ 1」に設定し、片面カラー印刷の場合の値です。また、用紙サイズは AB 系サイズを例にした場合の値です。用紙サイズ（面積）は大きい順に SRA3、12 × 18、A3、レジャー（11 × 17）、B4、角形 2 号封筒、リーガル、A4、レター、4 面はがき、エグゼクティブ、B5、A5、B6、往復はがき、洋形 4 号封筒、洋形 2 号封筒、はがきです。

印刷時の解像度や階調処理、両面印刷、カラーモードの設定によって、次のように印字保証可能なサイズが変わります。上記の表の用紙サイズから換算してください。

設定項目	設定値	倍率
解像度／階調処理	ファイン／高階調 1	等倍
	ファイン／高階調 2	1/2 倍
	スーパーファイン／標準	1/2 倍
両面印刷	しない	等倍
	する	1/2 倍
カラーモード	カラー	等倍
	モノクロ	4 倍

重要

- 拡張RAM は、必ず本プリンタに対応した 3.3V 用 DDRAM DIMM をご使用ください。キヤノン製拡張 RAM（RD-128MW、RD-256MW、RD-512MW）のご使用をおすすめします。また、本プリンタに装着可能な拡張 RAM は次の形状をしています。



- 従来の拡張 RAM DIMM（RD-4M、RD-8M、RD-16M、RD-4ME、RD-8ME、RD-16ME、RD-8ML、RD-32ML、RD-64ML）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。



メモ

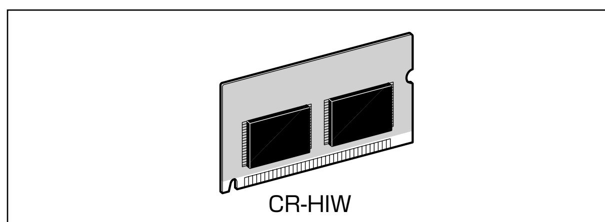
- オーバレイなどの大量の登録データを処理する場合にも拡張 RAM の増設が必要です。
- 拡張 RAM の取り付けかたについては、「RAM/ROM」（➞P.7-21）を参照してください。
- RAM（RD-256MW、RD-512MW）と次のオプションを装着すると、PDFファイルのダイレクトプリント（➞P.3-14）を使用することができます。
  - ・ハードディスク
  - ・コントロール ROM

コントロールROM

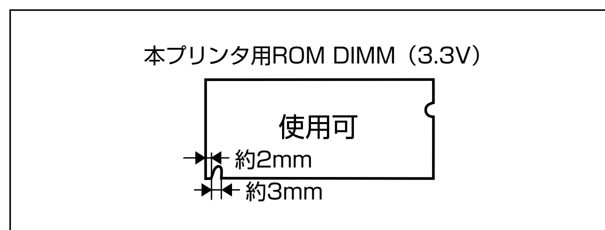
コントロールROMは、エミュレーションモードを追加するためのROMです。本プリンタを、お使いのコンピュータに対応した専用プリンタのように動作させることができます。1枚のコントロールROMに、次のエミュレーションモードとフォントが収録されています。

- PC-PR201/80Aプリンタエミュレーション（標準N201）
- IBM5577プリンタエミュレーション
- HP-7550B（HP-GL）プロッタエミュレーション
- HP Designjet 800（HP-GL/2）プリンタエミュレーション
- バーコード用フォントROM（FR-BFV2CL相当）
- バーコード用フォント（EAN-128、標準料金代理収納用EAN-128）

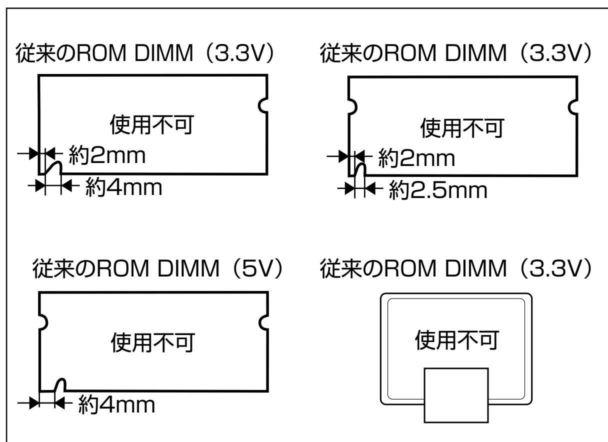
本プリンタには、このコントロールROMを1個のみ増設可能です。



重要 • コントロールROMは、必ず本プリンタに対応したもの（CR-HIW）をご使用ください。



- 従来のコントロール ROM（CR-5577/2、CR-359/2、CR-5273/2、CR-7550/C、CR-201/2、CR-ES/2、CR-5577L、CR-359L、CR-5273L、CR-7550L、CR-201L、CR-ESL、CR-MEL、CR-MEN、CR-MEQ CR-MEQ、CR-MER、CR-MES、CR-MET、CR-HIS、CR-HIT）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。

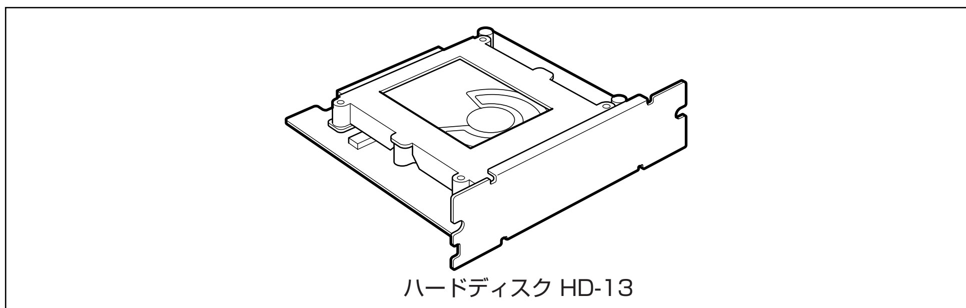




- コントロール ROM の取り付けかたについては、「RAM/ROM」（➞P.7-21）を参照してください。
- コントロール ROM と次のオプションを装着すると、PDF ファイルのダイレクトプリント（➞P.3-14）を使用することができます。
  - ・ハードディスク
  - ・RAM（RD-256MW、RD-512MW）

ハードディスク

ハードディスクは、受信した印刷ジョブを一時的に保存するためのプリンタ内蔵型ハードディスクです。ハードディスクを取り付けることにより、印刷ジョブのスプールや E メール印刷、暗号化セキュアプリント、セキュアプリント、電子ソート、RIP Once（リップワンス）などの機能が使えるようになります。


ハードディスク HD-13



- ハードディスクを使用するときは、セットアップメニューの「タイムアウト」の設定を「シナイ」以外に設定してください。工場出荷時の状態の「15 ビョウ」に設定することをおすすめします。

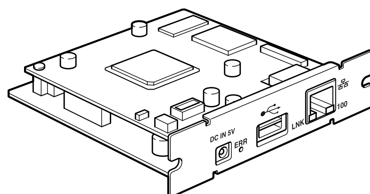
- ハードディスクと次のオプションを装着すると、PDF ファイルのダイレクトプリント（➞P.3-14）を使用することができます。
  - ・コントロール ROM
  - ・RAM（RD-256MW、RD-512MW）

 ハードディスクの取り付けかたについては、「ハードディスク」（➞P.7-31）を参照してください。

インテリジェントコントローラ NB-J2

NB-J2 は、プリンタの拡張ボードスロットに装着するインタフェースボードです。

Java 言語で開発された専用のアプリケーションソフトをインストールすることで、プリンタの機能を独自にカスタマイズすることができます。また、NB-J2 にはブラウザを使って MEAP-Lite アプリケーションソフトのインストールや管理などを行うことができる「SMS（Service Management Service）」が内蔵されています。



インテリジェントコントローラ NB-J2

 NB-J2 とプリンタに標準装備されているネットワークインタフェース（標準ネットワーク）の 2 つのインタフェースを同時に使用することはできません。
使用するインタフェースの選択は、セットアップメニューのインタフェースグループにある「拡張カード」の「優先ネットワーク」で設定します。詳しくは、NB-J2 に付属のユーザーズガイド「第 3 章 SMS を使用する」を参照してください。

 NB-J2 の取り付け方については、「インテリジェントコントローラ NB-J2」（➞P.7-38）を参照してください。

プログラマーズマニュアル

本プリンタ用のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用の取扱説明書です。次の 3 種類が用意されています。

- プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書 4.2」
（LIPS コマンドの概要を知るための取扱説明書）
- プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス 4.2」
（LIPS コマンドの手引き）
- プログラマーズマニュアル「クックブック 4.2」
（プログラムサンプル集）

 LIPS IV のプログラマーズマニュアルは、キヤノンホームページからダウンロードすることができます。

プリンタの設置

2
CHAPTER

この章では、本プリンタをパッケージから取り出して設置するまでの手順について説明しています。

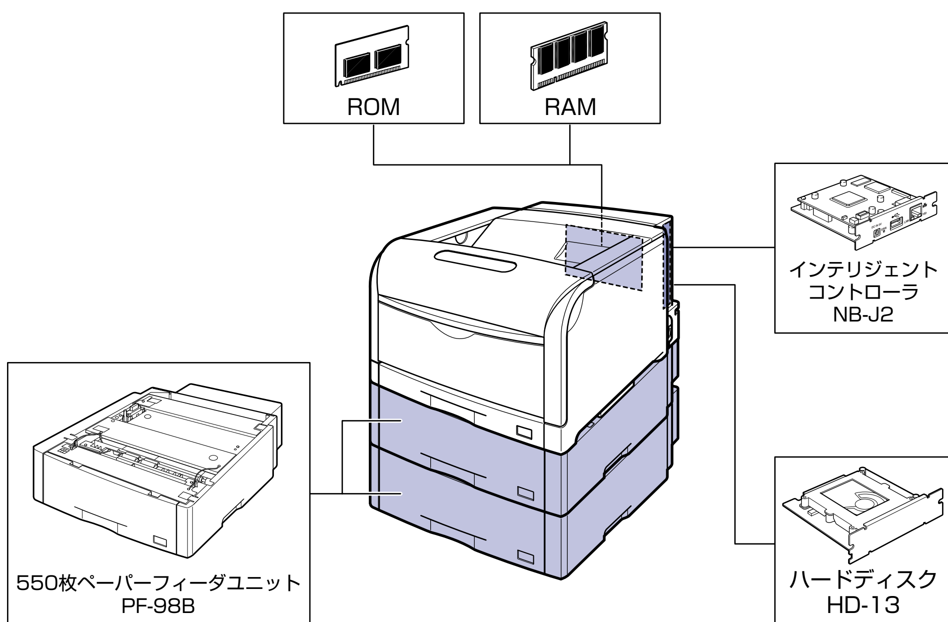
設置手順について 2-3
オプション品の取り付け位置 2-3
設置の手順 2-4
設置場所と取り扱いについて 2-5
設置環境. 2-5
設置スペース 2-7
取り扱い上のご注意 2-9
パッケージの内容を確認する 2-10
設置場所に運び、プリンタの梱包材を取り外す. 2-11
電源コードとアース線を接続する. 2-24
ドラムカートリッジをセットする. 2-27
ドラムカートリッジをセットするときのご注意 2-27
ドラムカートリッジのセット 2-28
トナーカートリッジをセットする. 2-47
トナーカートリッジをセットするときのご注意 2-47
トナーカートリッジのセット 2-47
用紙をセットする. 2-53
コンピュータと接続する 2-54
USB ケーブルで接続する場合 2-54
LAN ケーブルで接続する場合. 2-56
ソフトウェアをインストールする. 2-59
Windows の場合 2-59
DOS の場合. 2-60
Macintosh の場合. 2-60
電源を入れる／切る 2-61
電源を入れる 2-61
電源を切る 2-63
消費電力の節約（スリープモード）について 2-65

動作を確認する 2-68
プリンタの動作を確認する 2-68
プリントサーバの動作を確認する 2-71

設置手順について

本プリンタは、取り付けるオプション品によって、設置する手順が異なります。お買い求めになったオプション品の内容を確認し、次表の手順で作業を行ってください。

オプション品の取り付け位置



設置の手順

お客様の設置状況に合わせ、該当する手順にそって作業を進めてください。オプション品を取り付けない場合は、（オプション）と表記された手順は読み飛ばしてください。

1	ペーパーフィーダの設置（→P.7-2）	（オプション）
2	プリンタの設置（→P.2-11）	
3	電源コード、アース線の接続（→P.2-24）	
4	ドラムカートリッジのセット（→P.2-27）	
5	トナーカートリッジのセット（→P.2-47）	
6	用紙のセット（→P.2-53）	
7	RAM/ROM の取り付け（→P.7-21） ハードディスクの取り付け（→P.7-31）	（オプション）
8	プリンタとコンピュータの接続（→P.2-54）	

設置場所と取り扱いについて

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。また、取り扱いについての注意事項を記載しています。お使いになる前に必ずお読みください。

重要　本プリンタを設置する前に、「安全にお使いいただくために」（➞P.xv）を必ずお読みください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が次の範囲内の場所でご使用ください。

- 周囲温度：10 ～ 30 ℃
- 周囲湿度：10 ～ 80%RH（結露のないこと）

重要
- 次のような場合は、プリンタ内部に水滴が生じる（結露）ことがあります。本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、2 時間以上放置してからご使用ください。
  - ・本プリンタが設置されている部屋を急激に暖めた場合
  - ・本プリンタを温度や湿度が低い場所から高い場所へ移動させた場合
- プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因になったり、印刷不良となることがあります。

■ 超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因になります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

LBP5910/5910F の最大消費電力は 1300W 以下です（AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz）。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、コンピュータ本体の誤作動やデータ消失の原因になることがあります。

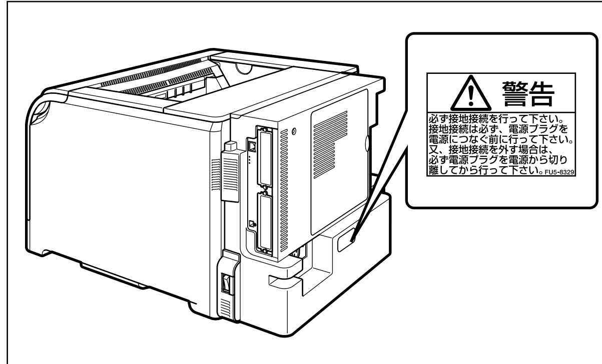
電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

- 必ず 15A 以上の電源コンセントに、プリンタの電源を接続してください。
- アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。



アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。





- 一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。
- コンピュータ本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- 複写機やエアコン、シュレッダーなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントに電源を接続しないでください。

設置条件

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所



アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。



- 本プリンタを次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  ・湿気やほこりの多い場所
  ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  ・雨や雪が降りかかるような場所
  ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  ・直射日光のあたる場所
  ・高温になる場所
  ・火気に近い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。



本プリンタは次のような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。

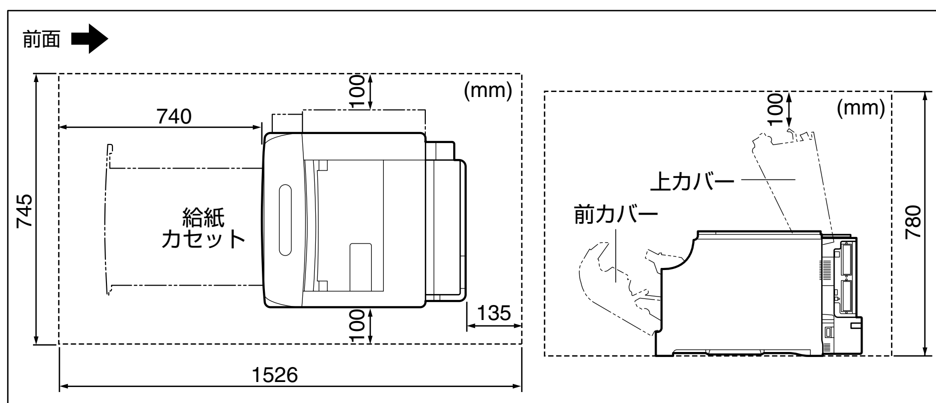
・急激な温度変化や湿度変化がある場所や結露の発生する場所

・風通しの悪い場所（使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。）
・磁気や電磁波を発生する機器の近く
・実験室など、化学反応を起こすような場所
・空気中に、塩分やアンモニアガスなどの腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
・本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）

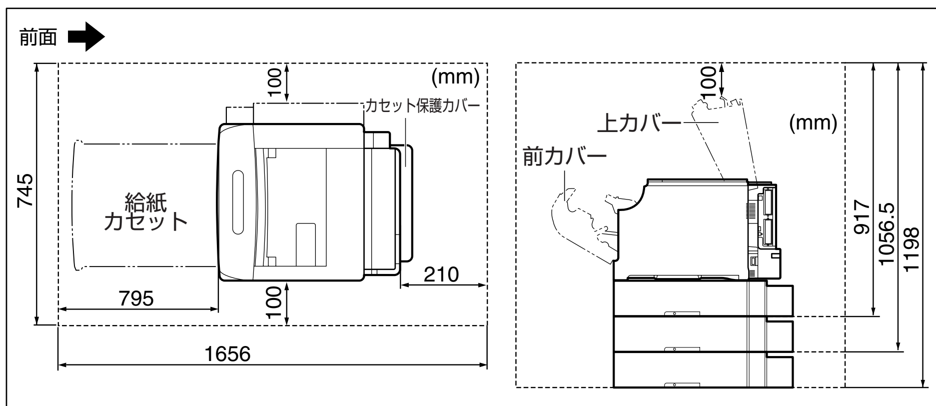
設置スペース

周囲に必要なスペース（LBP5910）

■ 標準状態

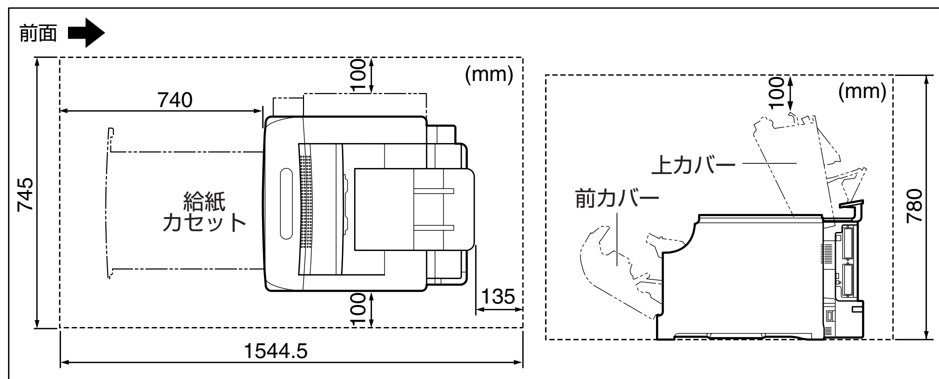


■ ペーパーフィーダ×３段装着状態

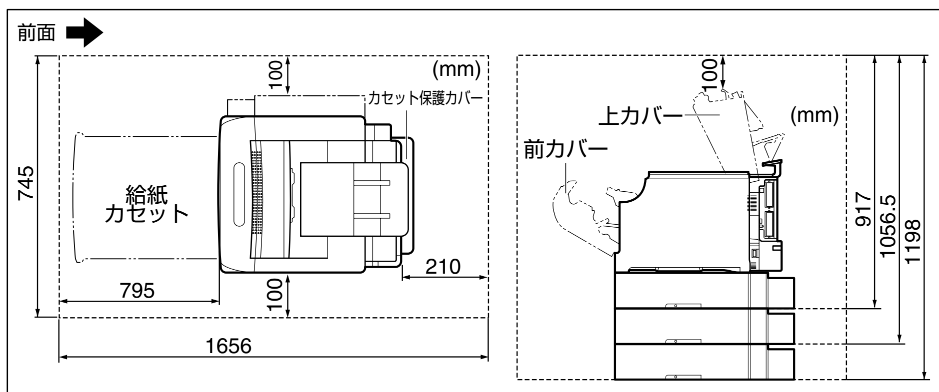


周囲に必要なスペース（LBP5910F）

■ 標準状態

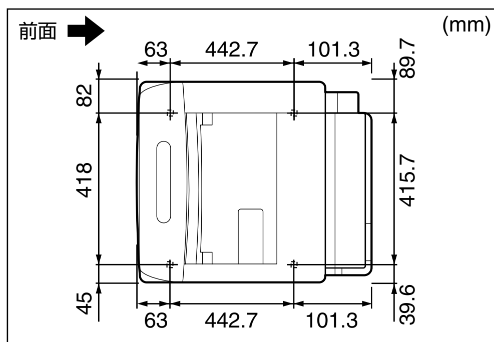


■ ペーパーフィーダ× 3 段装着状態



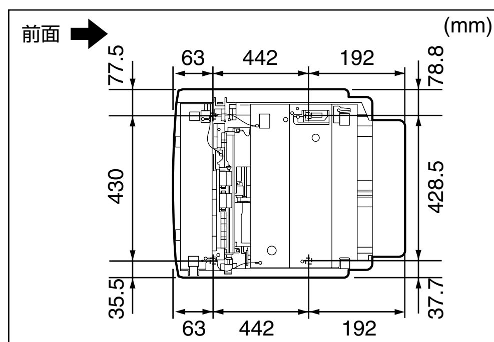
足の位置

■ プリンタ



メモ　ゴム足の高さは 6mm、先端は前側 15mm × 23mm、後側 24mm × 10mm の長方形です。

■ 550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98B



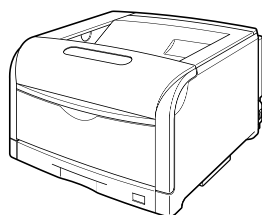
メモ　足の高さは 5mm、先端の直径は 18mm です。

取り扱い上のご注意

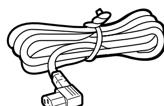
⚠注意　万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、受信したデータや記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

パッケージの内容を確認する

プリンタを設置する前に、パッケージに次のものがすべて揃っているかを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。



□ プリンタ
次のものが取り付けられています。
・給紙カセット
・定着器
・回収トナー容器
・針カートリッジ
（LBP5910Fのみ）



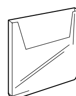
□電源コード



□アース線



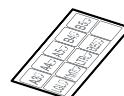
□ 用紙サイズ表示板



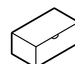
□操作ガイドシート
ポケット



□操作ガイドシート
（4枚）



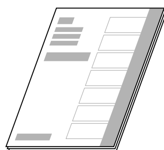
□ 用紙サイズシール



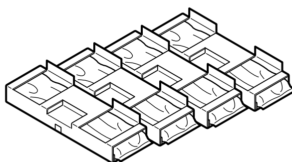
□ 交換用
針カートリッジ
（3個セット）
（LBP5910Fのみ）



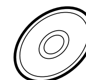
□ 保証書



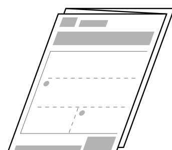
□ かんたん操作ガイド



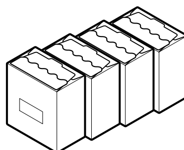
□ドラムカートリッジ×4
（Drum Cartridge 502）



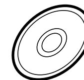
□LIPS V User Software CD-ROM
■ プリンタドライバ
■ ユーティリティソフト



□かんたん設置ガイド



□トナーカートリッジ×4
（Toner Cartridge 502）



□取扱説明書CD-ROM
■ ユーザーズガイド
■ ネットワークガイド／本編
■ LIPS機能ガイド
■ リモートUIガイド



本プリンタにはインタフェースケーブルは付属していません。お使いのコンピュータ、または接続方法に合わせてご用意ください。USB ケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。



設置場所に運び、プリンタの梱包材を取り外す



設置場所に運ぶ前に、給紙カセットを止めているテープを取り外さないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。



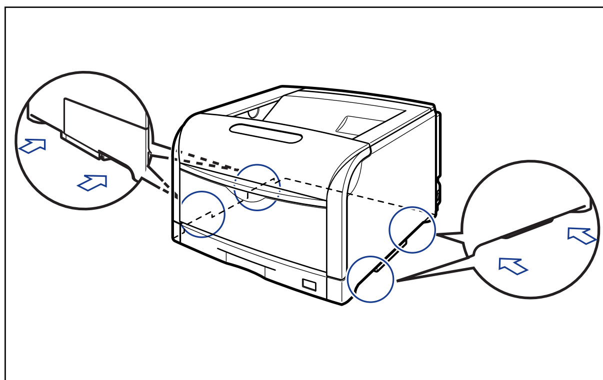
- 本プリンタを設置する場合は、プリンタの質量に耐えられる机などに設置してください。
- オプションのペーパーフィーダを取り付けるときは、プリンタをパッケージから取り出す前にペーパーフィーダを設置してください。
  ペーパーフィーダの設置方法については、「ペーパーフィーダ」（➞P.7-2）を参照してください。
- プリンタ内部に梱包材が残っていると、動作時に印字不良や故障の原因になります。必ず手順にしたがって梱包材を残さずに取り外してください。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

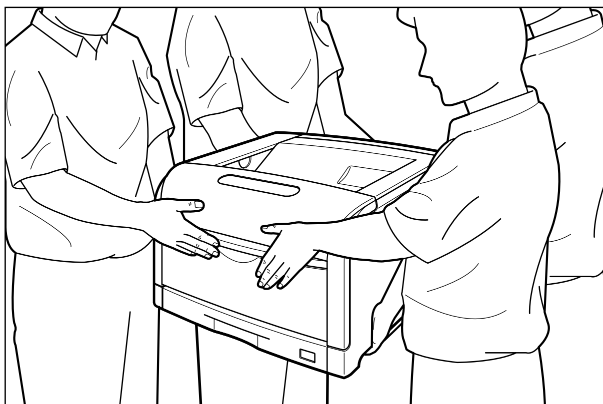


梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 プリンタを設置場所へ運びます。

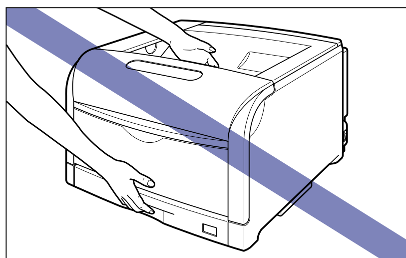
プリンタ下部にある運搬用取っ手に４人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

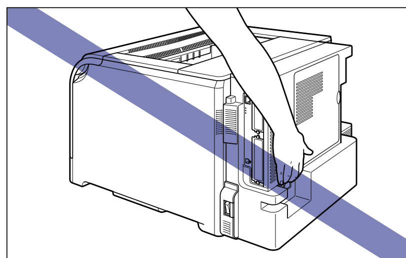




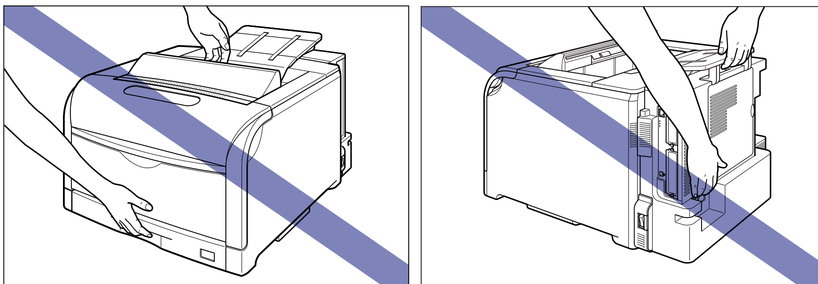
注意
- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジを取り付けていない状態で　LBP5910　は約48.5kg、LBP5910F は約 52.5kg あります。必ず４人以上で腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に給紙カセットや排紙部など、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

・LBP5910





・LBP5910F

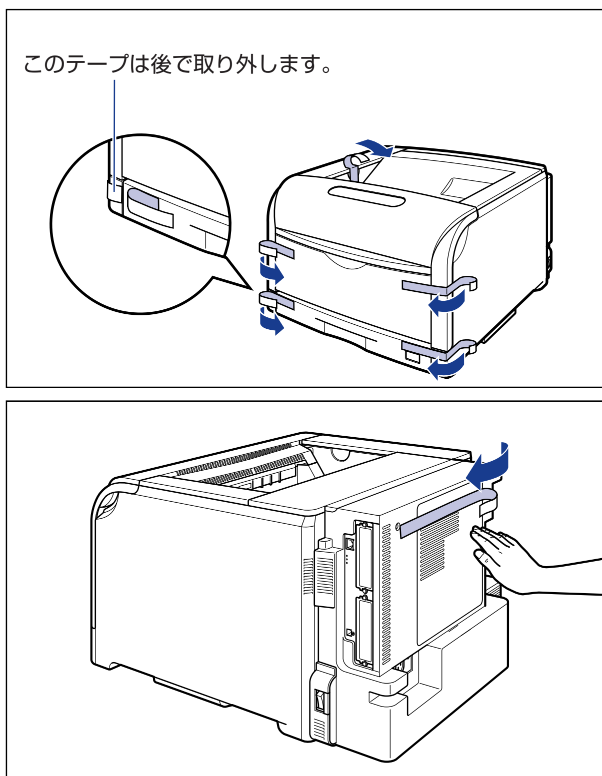


2 設置場所にゆっくりとおろします。

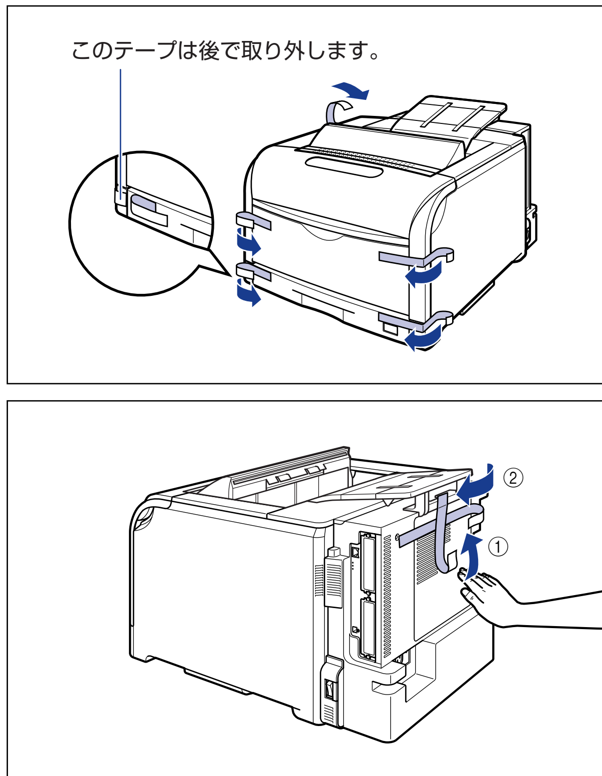
⚠注意 プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

3 プリンタに貼られているテープを取り外します。

● LBP5910（6 箇所）



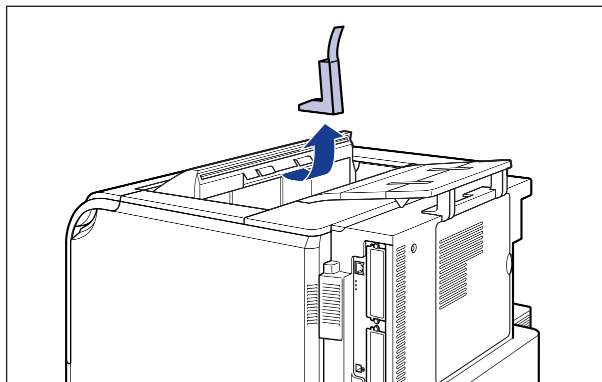
- LBP5910F（7 箇所）





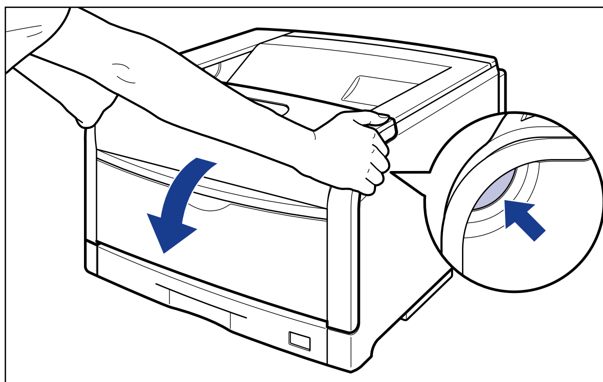
後カバーを止めているテープを取り外すときは、図のように手で後カバーを押さえながら、テープを取り外してください。

4 LBP5910F の場合は、テープ付き梱包材を取り外します。



5 前カバーを開けます。

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

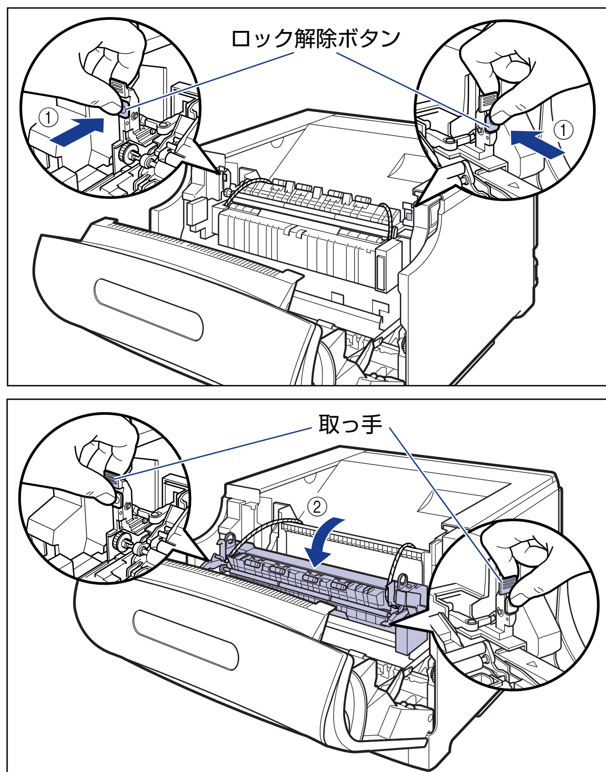




重要　前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイとプリンタの給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

6 定着器を手前に倒します。

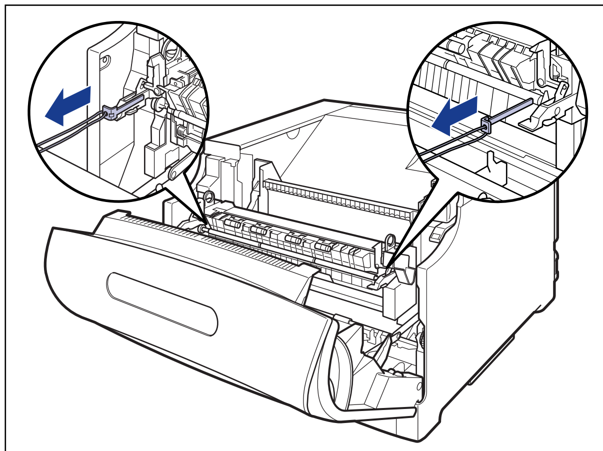
図のように定着器の左右にあるロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。



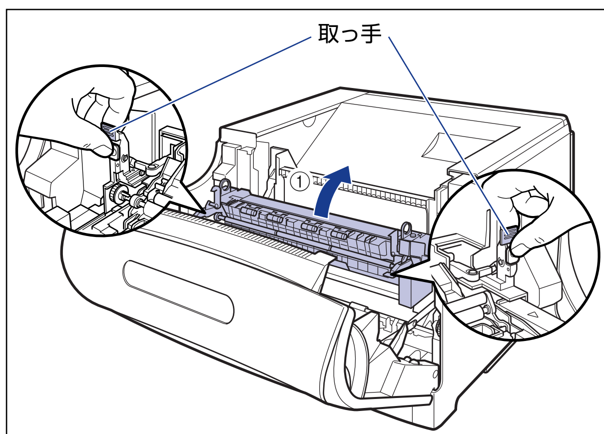


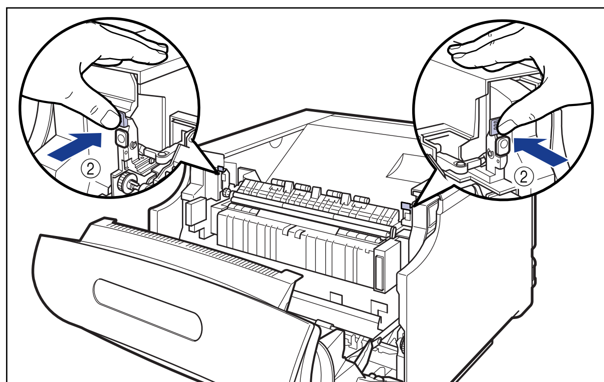
定着器に取り付けられているヒモ付き金具は、次の手順で取り外します。定着器が手前に倒れていない状態でヒモ付き金具を取り外さないでください。

7 定着器のヒモ付き金具はヒモを持って引き抜きます。



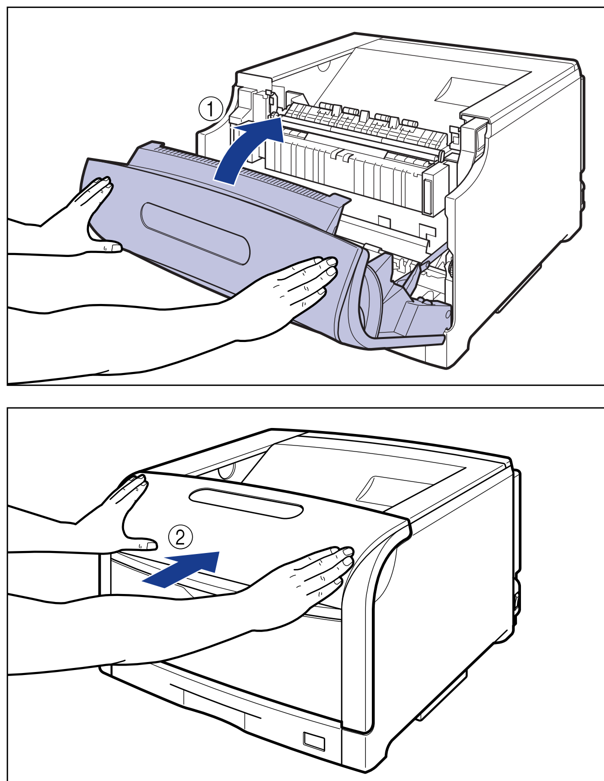
8 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。





9 前カバーを閉めます。

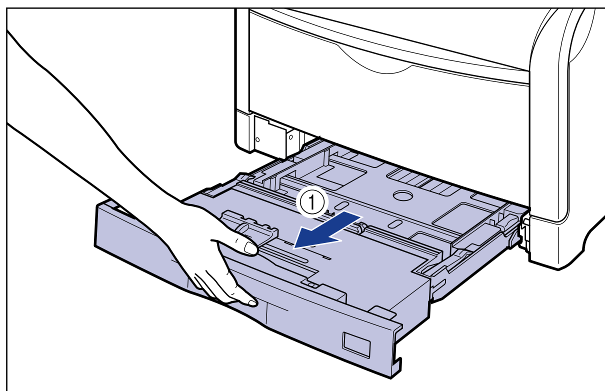
図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。



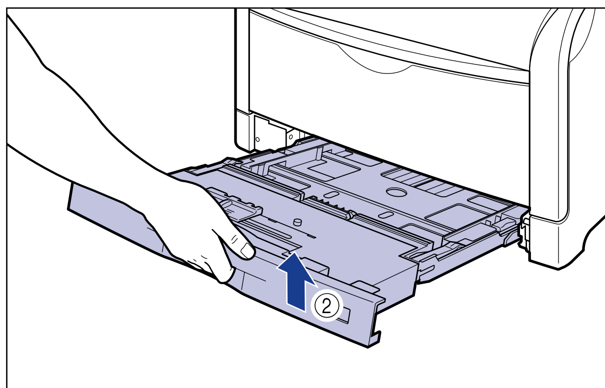
注意　前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

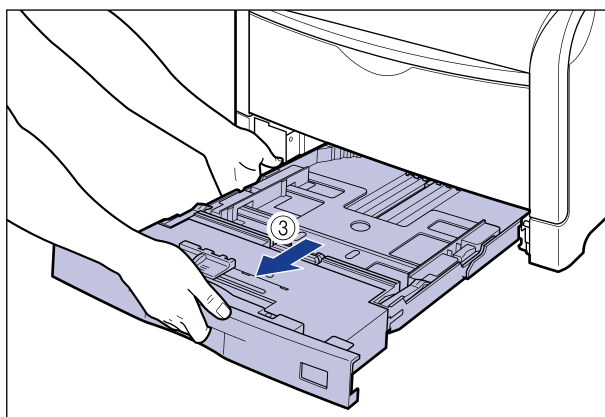
10 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

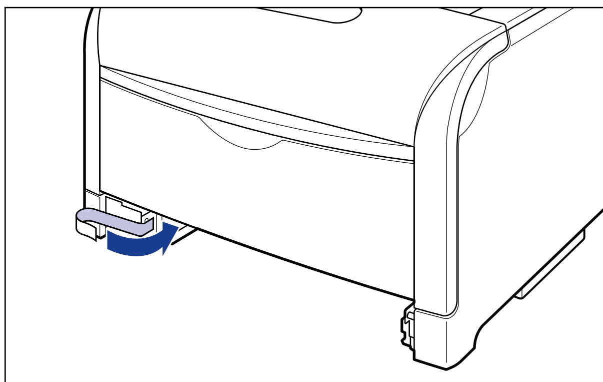




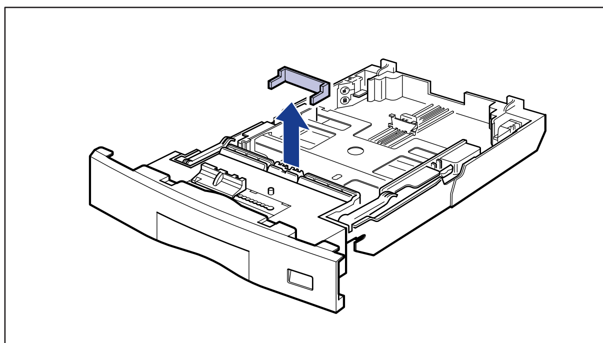


給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

11 図の位置にあるテープを取り外します。



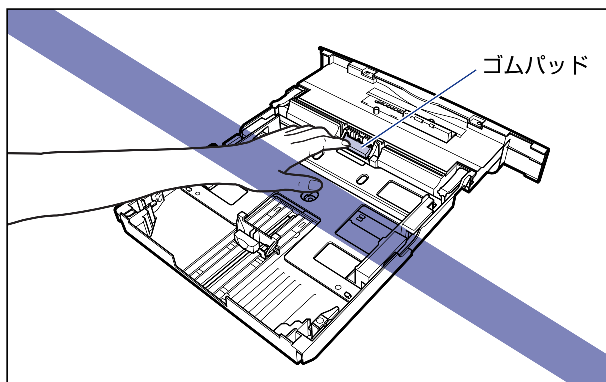
12 給紙カセット内部の梱包材を取り外します。





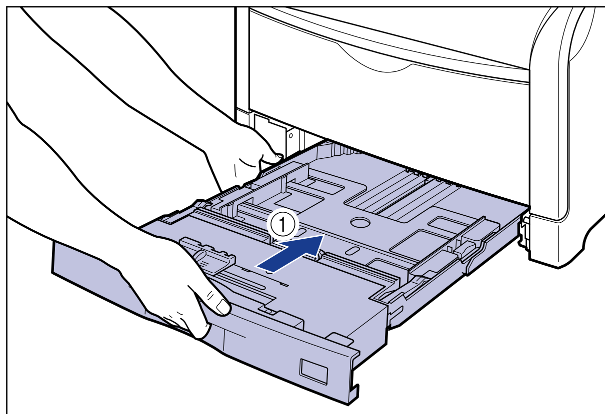
- 給紙カセットには、梱包材が取り付けられています。必ず給紙カセットを引き出し、残さずに取り外してください。

- 給紙カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。

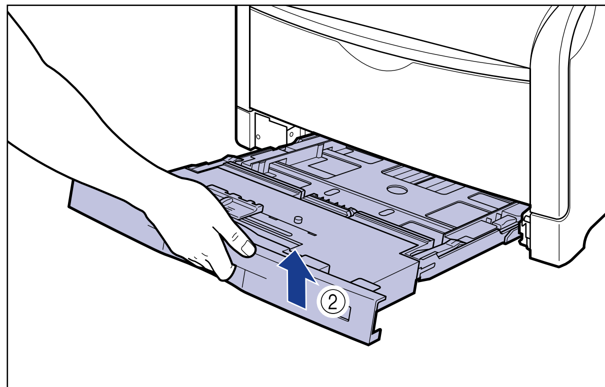


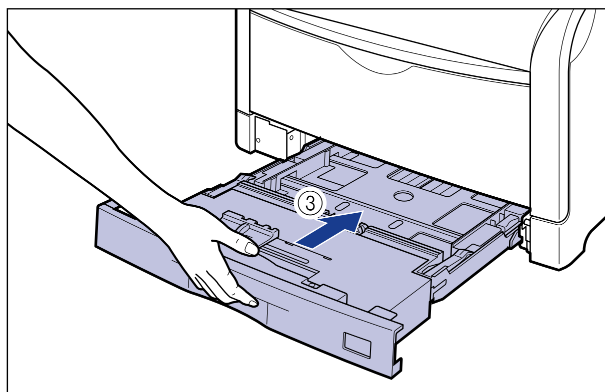
13 給紙カセットをプリンタにセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。





電源コードとアース線を接続する

本プリンタの電源コードとアース線の接続方法を説明します。接続する際には「安全にお使いいただくために」（→P.xv）を参照してください。

注意

- 感電防止のため、プリンタの電源コードが接続されていないことを確認してからアース線を接続してください。
- プリンタとコンピュータがUSBケーブルで接続されているときは、感電防止のため、USBケーブルを抜くか、コンピュータの電源コードを抜いてからアース線を接続してください。

重要

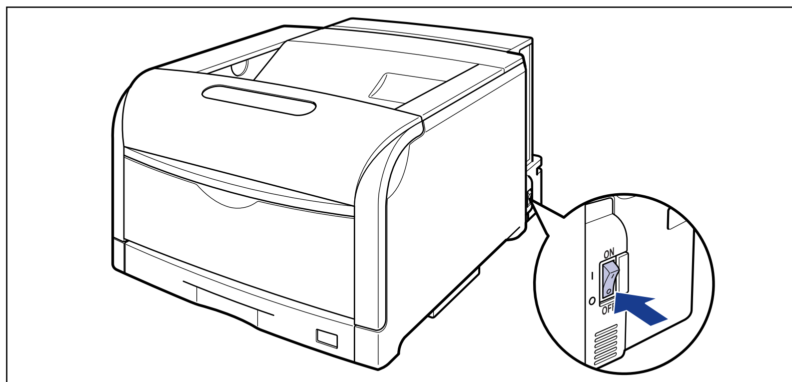
- アース線を接続するときは、プリンタ、コンピュータ双方とも接続してください。片方だけ接続すると、機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。
- コンピュータ本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- なるべくひとつのコンセントを専用にしてお使いください。
- 本プリンタを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作を起こしたり、故障する恐れがあります。

メモ

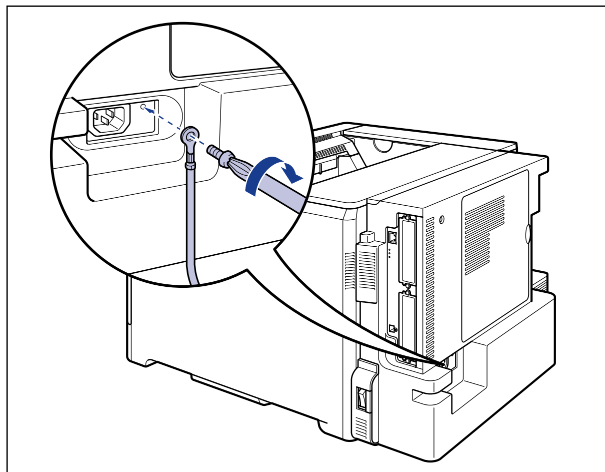
アース線の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 プリンタの電源が入っていないことを確認します。

電源スイッチの“○”側を押した状態がオフです。

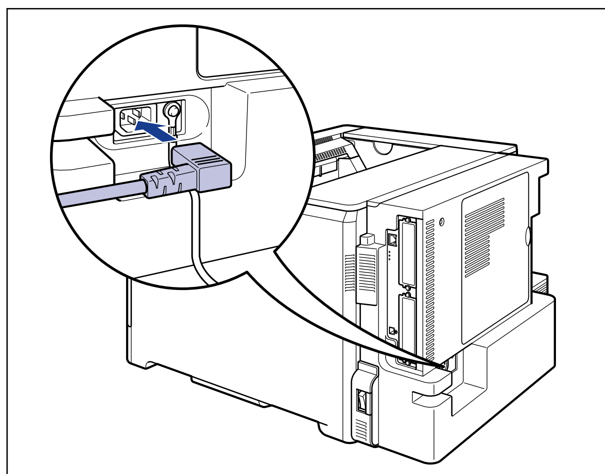


2 アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。

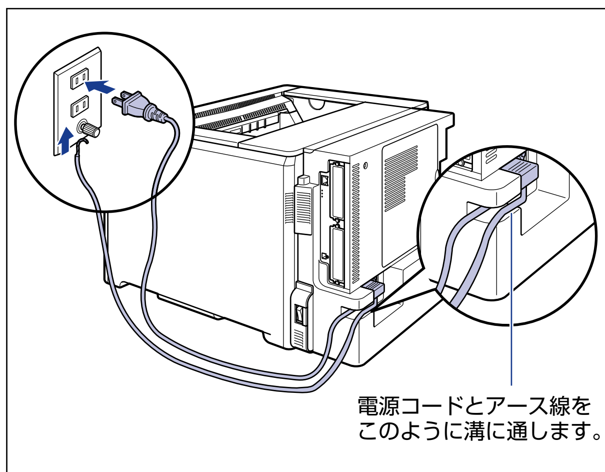


重要
- アース線が、 電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。
- アース線端子のネジを取り外すときは、ワッシャーをアース線端子の下にある溝に落とさないように気を付けて取り外してください。

3 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。



4 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。



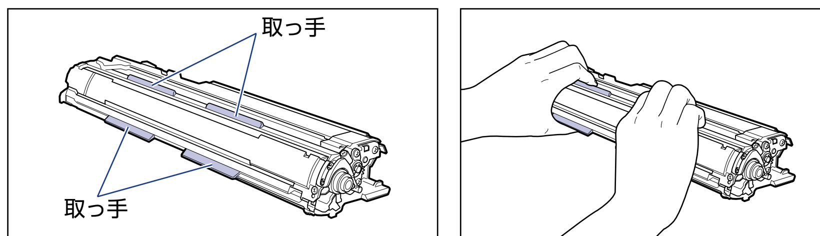
ドラムカートリッジをセットする

本プリンタは、工場出荷状態ではドラムカートリッジは取り付けられていません。電源コードとアース線を接続したら、必ず同梱されている 4 つのドラムカートリッジを取り付けてください。

ドラムカートリッジをセットするときのご注意

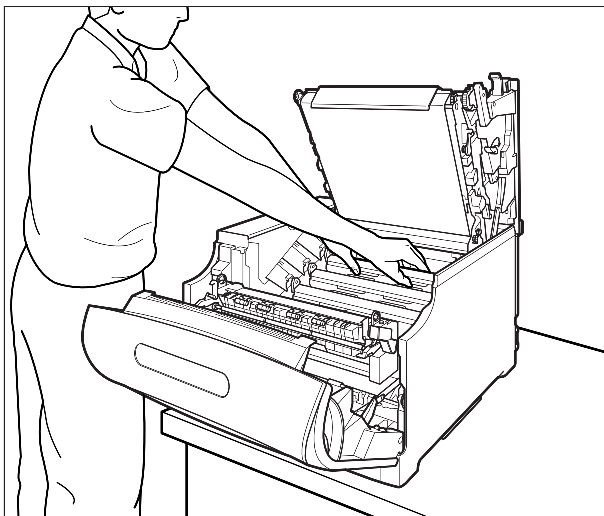
警告 ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

重要
- 取り外した梱包材は、 地域の条例にしたがって処分してください。
- 必ず本プリンタ専用のドラムカートリッジを使用してください。
- ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。



- ドラムカートリッジは、保護袋に入っています。ドラムカートリッジをセットする準備ができるまで、 保護袋から取り出さないでください。

- ドラムカートリッジを取り外すときや取り付るときは、図のようにプリンタの左側から作業を行ってください。



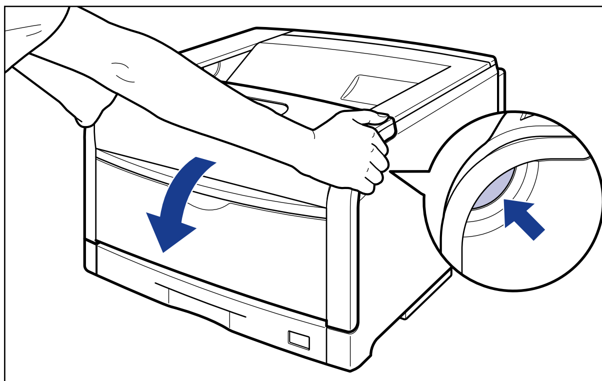


- ドラムカートリッジの取り扱いについては、「ドラムカートリッジの取り扱いのご注意」(➞P.5-41)を参照してください。
- 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

ドラムカートリッジのセット

1 前カバーを開けます。

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

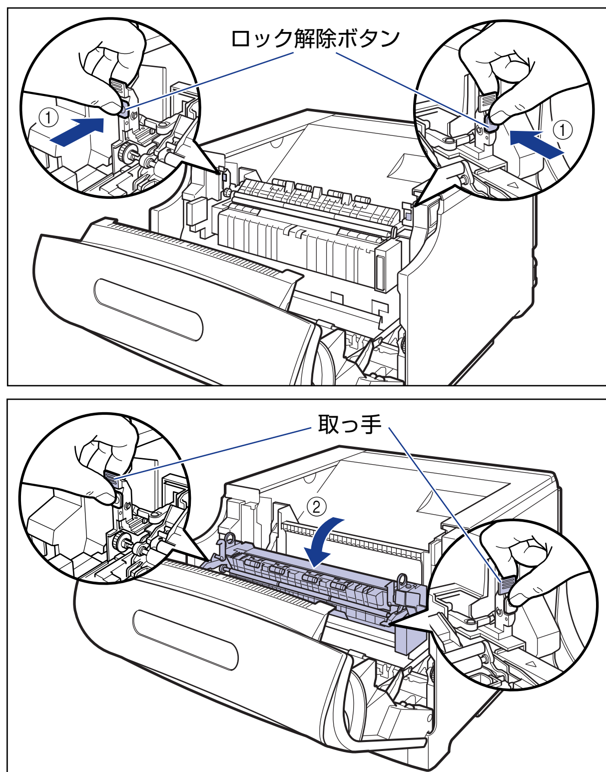


 重要

前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイとプリンタの給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

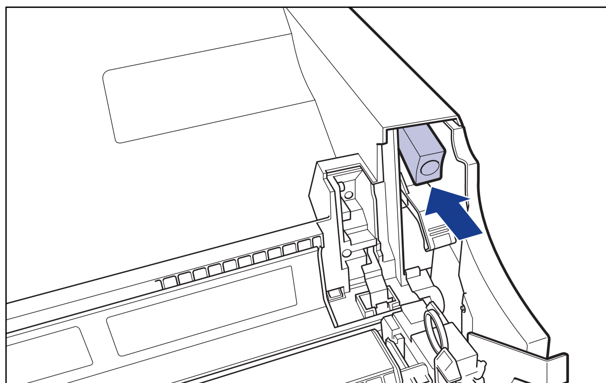
2 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

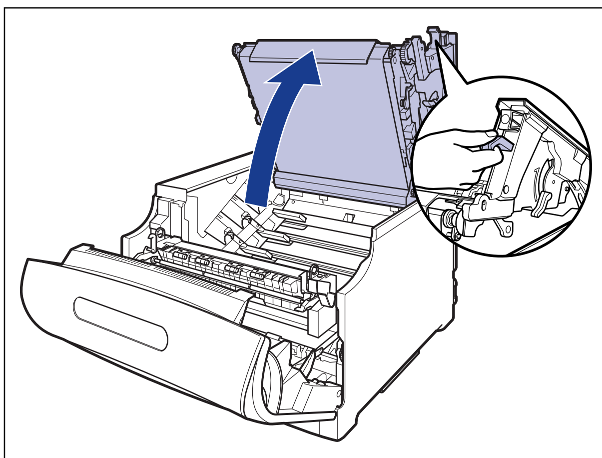


3 上カバーを開けます。

上カバーの青色のロック解除ボタンを押します。

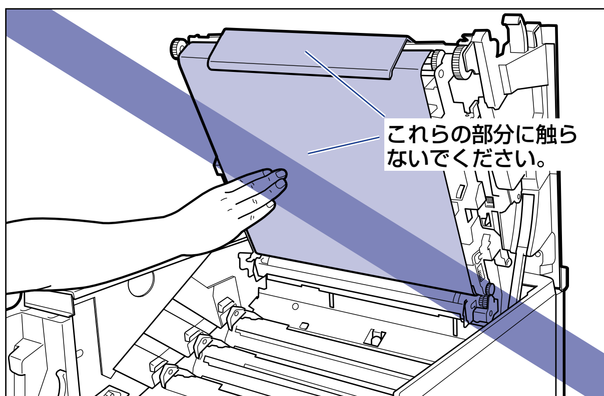


上カバーのレバーを持って、上カバーを開けます。

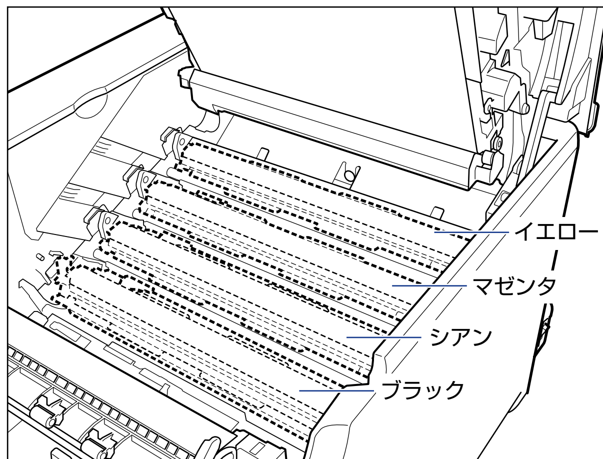


重要

- ITB ユニットの転写ベルトや ITB ユニットカバーに触れたりしないでください。転写ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、「ITB ユニットの転写ベルトを清掃する」(→P.5-68)を参照して、転写ベルトの清掃を行ってください。転写ベルトにトナーが付着している場合は、自動的に清掃する機能が付いていますので清掃する必要はありません。



- ドラムカートリッジを取り付ける位置は、図のように奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックとなっています。



4 ドラムカートリッジを箱から取り出します。

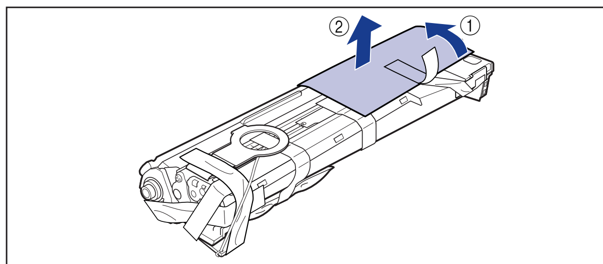
5 保護袋からドラムカートリッジを取り出します。


重要

ドラムカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、ドラムカートリッジを取り出すときに必要になります。

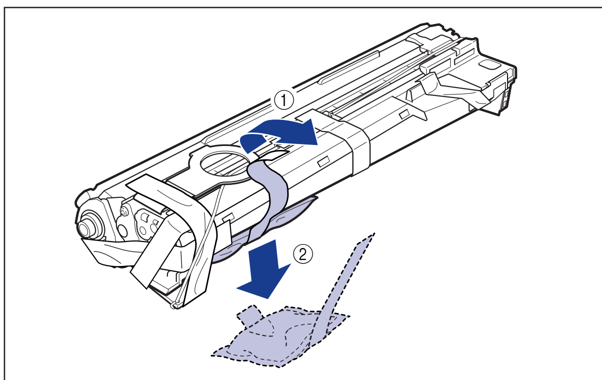
6 注意事項が記載されている用紙をドラムカートリッジから取り外して、内容をよく読みます。

用紙はテープをはがしてから ①、取り外します ②。



7 図の位置にあるテープ付き乾燥剤（1 個）を取り外します。

テープ付き乾燥剤はテープをはがしてから ①、取り外します ②。

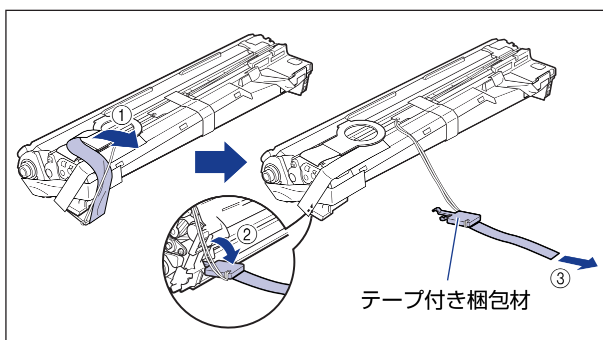




取り外した乾燥剤は、地域の条例にしたがって処分してください。

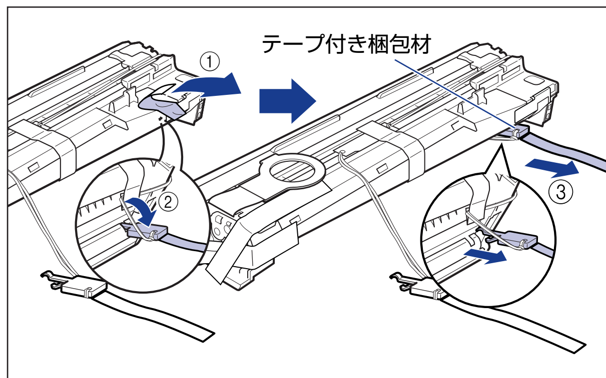
8 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。



9 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

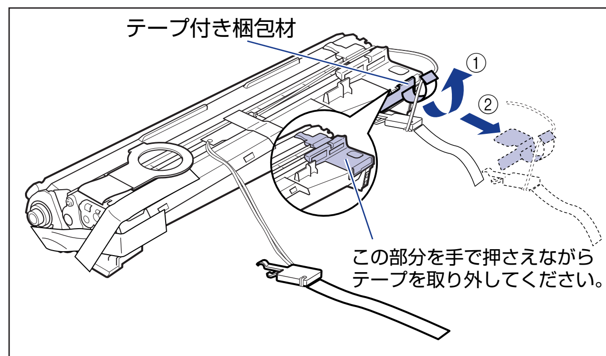
テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。



10 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

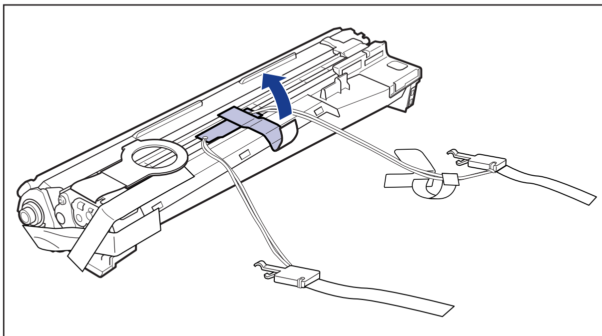
テープ付き梱包材は、テープをはがしてから ①、梱包材を引き抜いてください ②。

テープを取り外す際は、青色のシャッターを手で押さえながらゆっくりと取り外します。



2
プリンタの設置

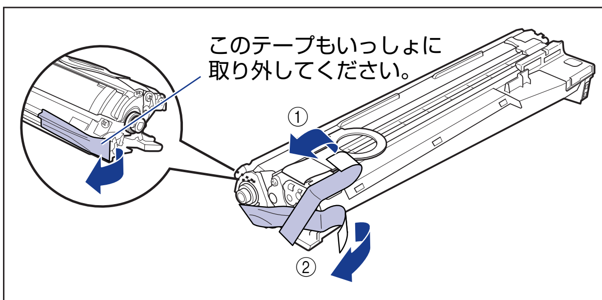
11 図の位置にあるテープ（1 枚）とタグ（2 個）を取り外します。



重要　取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

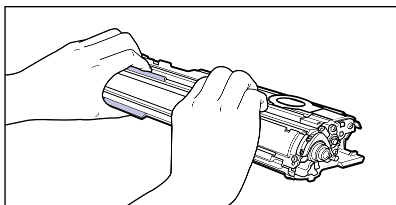
12 図の位置にあるテープ（3 枚）を ①、② の順に取り外します。

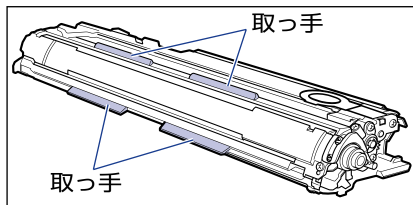
② で取り外すテープは、テープの後端にもう 1 枚のテープが貼り付いていますので、いっしょに取り外します。



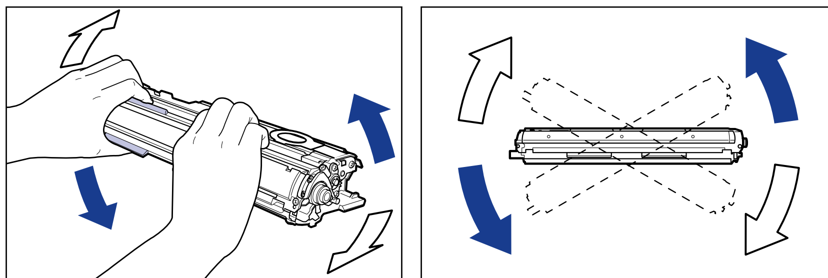
13 ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ち､図のように往復 10 ～ 12 回振って、内部の現像剤を均一にならします。

ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ちます。



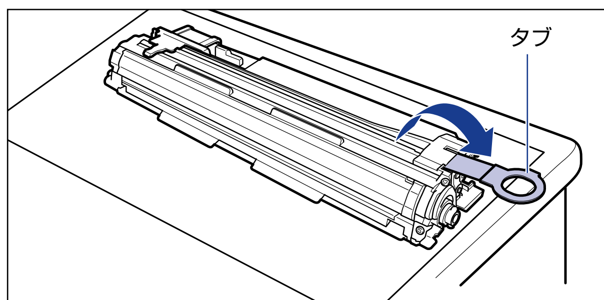


ドラムカートリッジを図のように往復 10 ～ 12 回振ります。



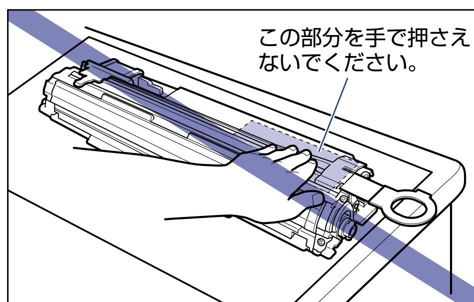
重要　現像剤が均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

14 平らな場所に用紙などを敷いて、その上にドラムカートリッジを置き、シーリングテープのタブを図のように倒します。



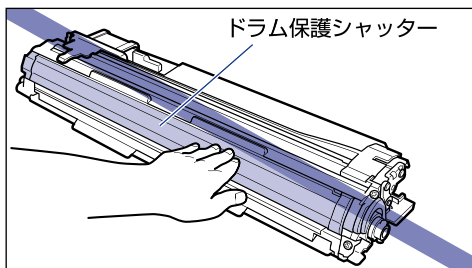
重要

- ドラムカートリッジを置くときは、ドラムカートリッジの底面で机などを傷つけないために、用紙などをドラムカートリッジの下に敷いてください。
- シーリングテープを引き抜くときは、シーリングテープの引き出し口付近を手で押さえないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

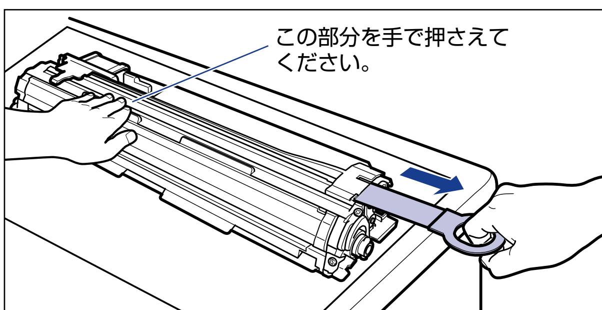


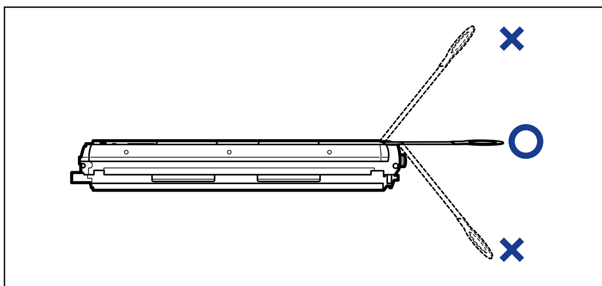
2 プリンタの設置

- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。



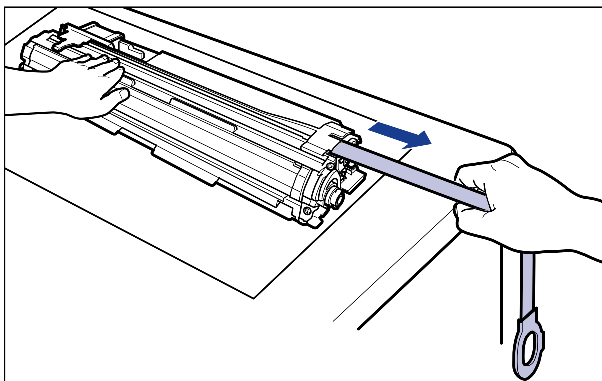
15 ドラムカートリッジを押さえながらシーリングテープ(長さ約70cm)をゆっくりと水平にまっすぐ引き抜きます。
シーリングテープを引き抜く際、重くなる場合がありますが故障ではありませんので最後まで完全に引き抜きます。





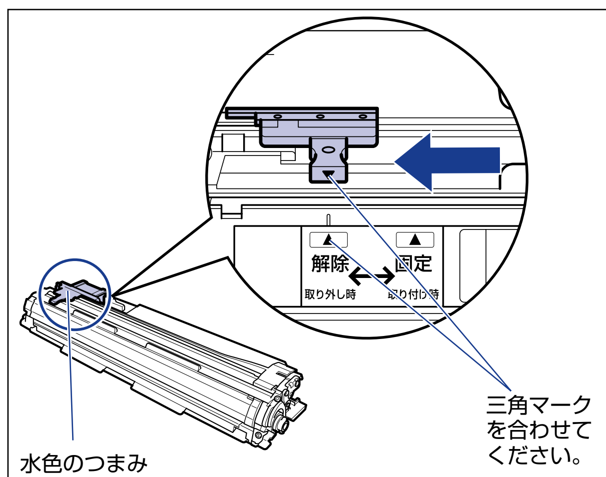
重要

- シーリングテープのタブを持って引き抜きにくい場合は、図のようにテープ部分を持って引き抜いてください。ただし、シーリングテープには、トナーが付着していますので、トナーで手が汚れることがあります。

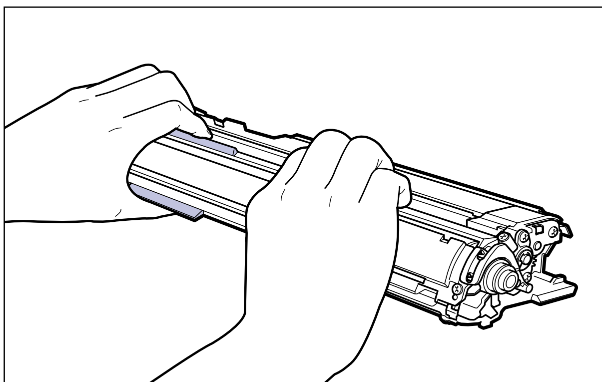


- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。
- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがドラムカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

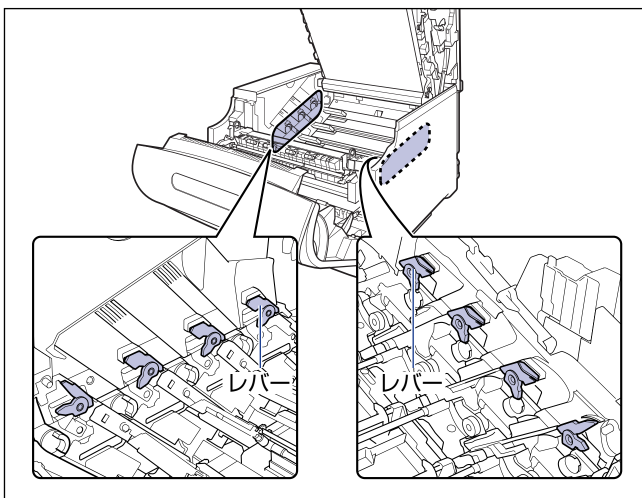
16 ドラムカートリッジをセットする前に、図のように水色のつまみの三角マークとラベルの「解除」の三角マークの位置を同じ位置に合わせてください。



ドラムカートリッジをセットするときは、図のように青色の取っ手を持ちます。

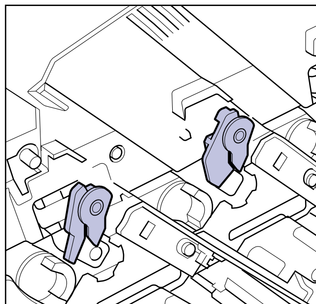


17 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように上がっているか確認します。

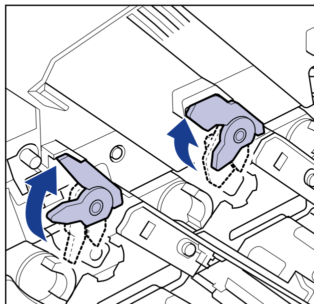


レバーが下がっているとドラムカートリッジを正しく取り付けることはできません。
図のように手でレバーを押し上げてください。

●下がっている状態

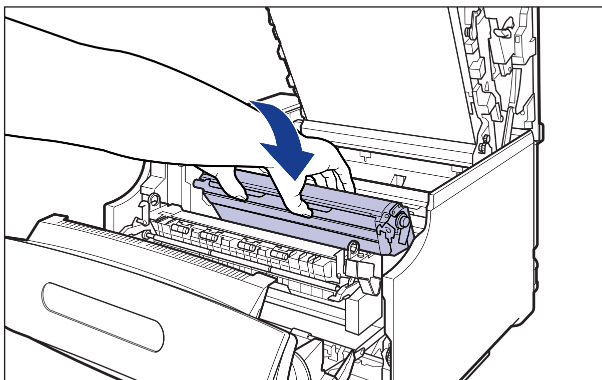


●上がっている状態



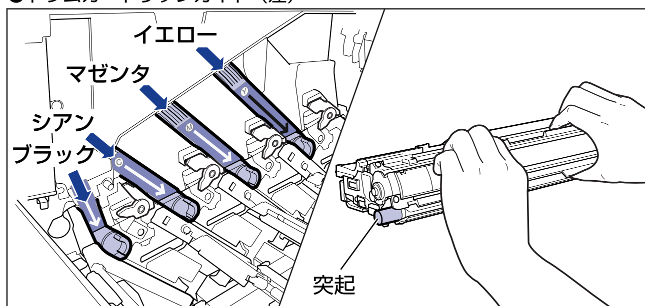
18 ドラムカートリッジをブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の順で取り付けます。

ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けます。

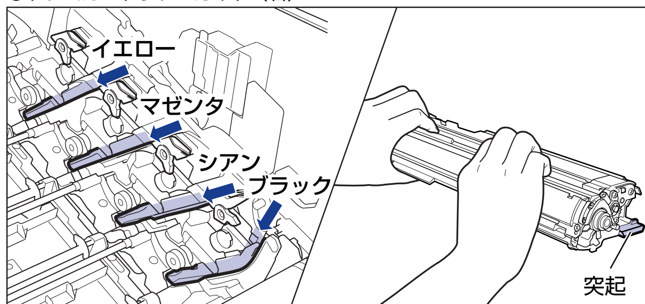


図のようにドラムカートリッジの左右の突起をドラムカートリッジガイドの矢印に沿って挿入します。

●ドラムカートリッジガイド（左）



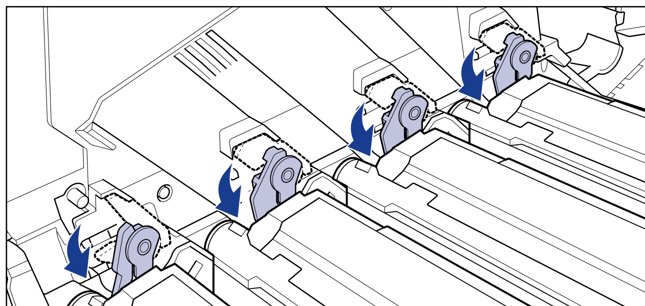
●ドラムカートリッジガイド（右）



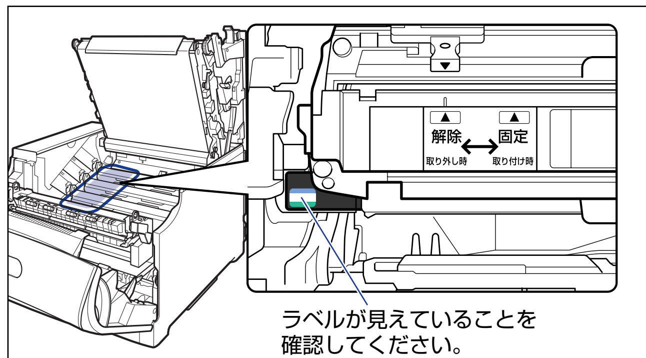


ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、印字不良の原因になります。

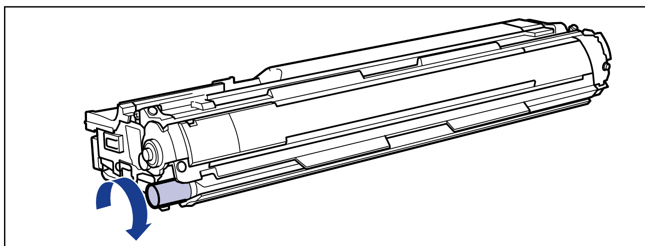
19 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように下がっていることを確認します。



20 ドラムカートリッジの突起部のラベルが見えていることを確認します。

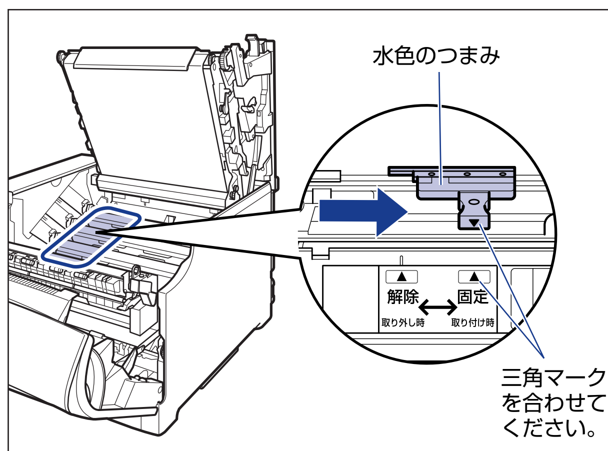


見えない場合は、一度ドラムカートリッジを取り出し、矢印の方向にカチッと止まるまで回してから、取り付けなおしてください。



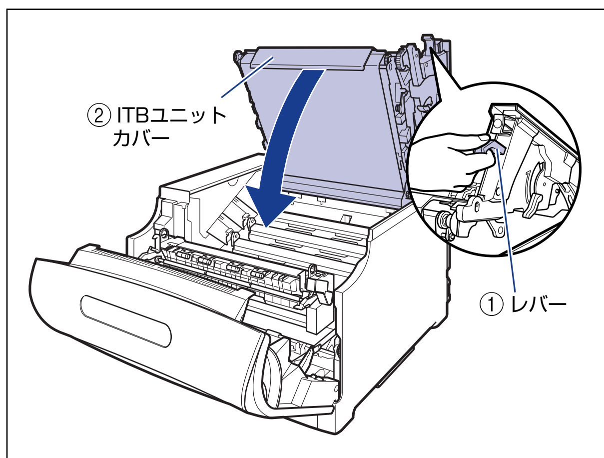
21 取り付けた色のドラムカートリッジの水色のつまみを「固定」の位置までスライドさせて、ドラムカートリッジを固定します。

水色のつまみの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。



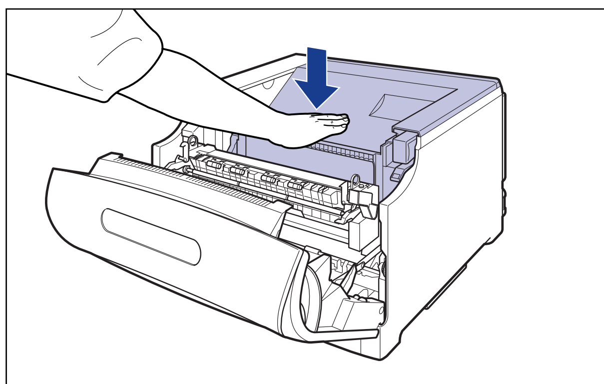
22 すべてのドラムカートリッジを取り付けたら、上カバーを閉めます。

プリンタの上カバーはレバーを持って ①、ゆっくりと閉めます。
上カバーを勢いよく閉めると、ITB ユニットカバー ② が元の位置に戻らず、プリンタが破損する原因になります。



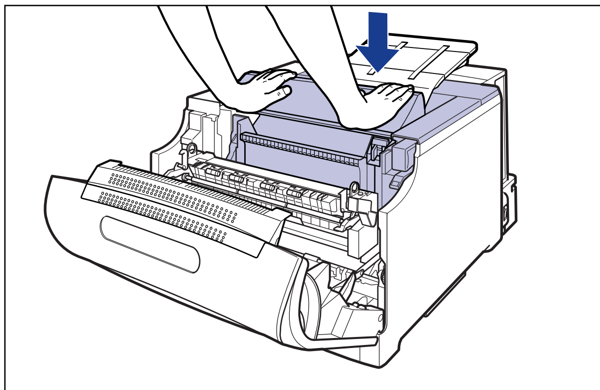
● LBP5910

❑ 図のように上カバーの「PUSH」と記載されている部分を押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。



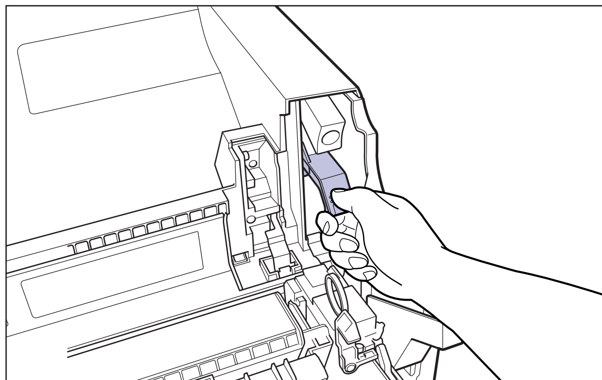
● LBP5910F

❑ 図のように両手で押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。



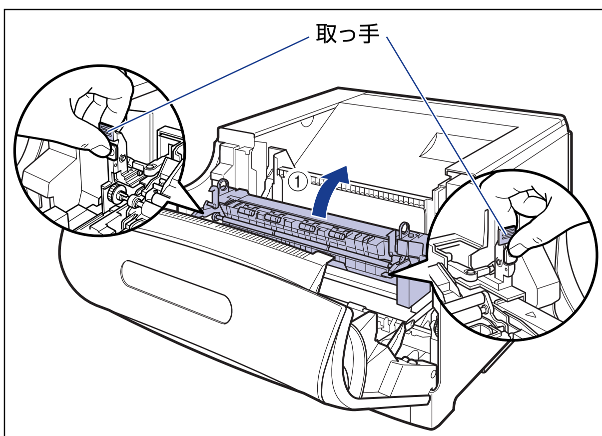
重要　上カバーを閉めるときは、両手で図の位置（突起部分の両端）を押してください。

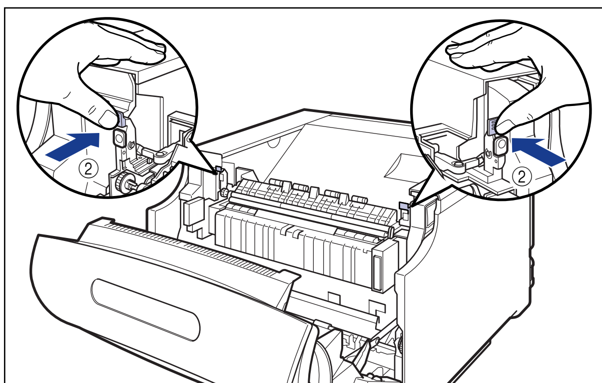
23 図のようにレバーを持って、上カバーが開かないことを確認します。



重要　上カバーは突き当たるまで確実に閉めてください。確実に閉めないと、印字不良の原因になります。

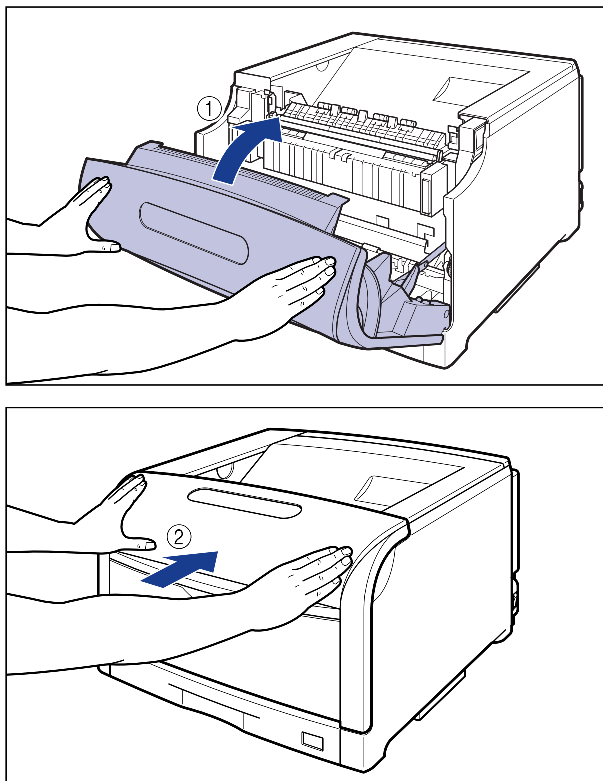
24 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。





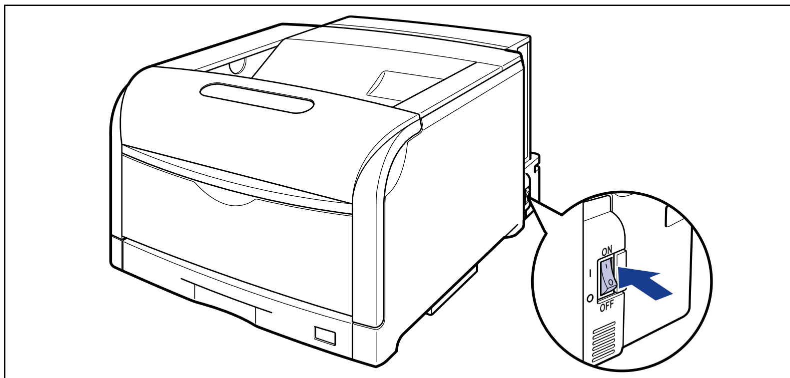
25 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。



注意　前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

26 プリンタの電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源を入れます。



「14　トナー / カバー　カクニン」が操作パネルのディスプレイに表示されます。

27 プリンタの動作音が止まるまで、約３～４分お待ちください。

プリンタの電源を入れてから、約３～４分でドラムカートリッジの準備が完了します。
プリンタの動作音が止まったことを確認してから、「トナーカートリッジをセットする」（→P.2-47）を参照して、トナーカートリッジを取り付けてください。

トナーカートリッジをセットする

本プリンタは、工場出荷状態ではトナーカートリッジは取り付けられていません。ドラムカートリッジを取り付けたら、必ず同梱されている 4 色のトナーカートリッジを取り付けてください。

トナーカートリッジをセットするときのご注意

注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要
- 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。
- 必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

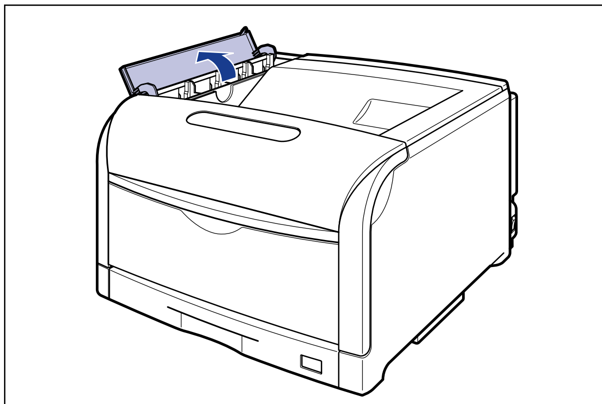
メモ
- トナーカートリッジの取り扱いについては、「トナーカートリッジの取り扱いのご注意」(→P.5-13) を参照してください。
- 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

トナーカートリッジのセット

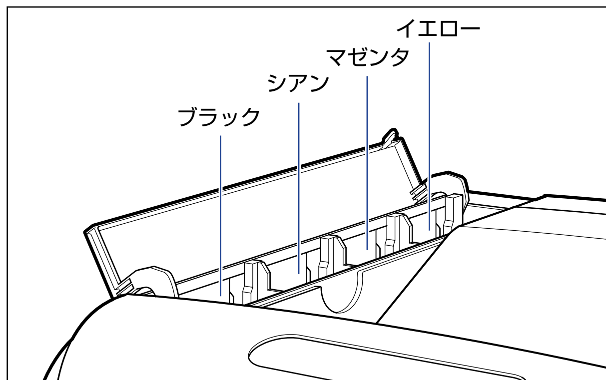
1 プリンタの動作音が止まっていることを確認します。

ドラムカートリッジを取り付けたあと、プリンタの電源を入れてから、約 3 ～ 4 分でドラムカートリッジの準備が完了します。ドラムカートリッジの準備が完了すると、プリンタの動作音が止まります。

2 トナーカバーを開けます。



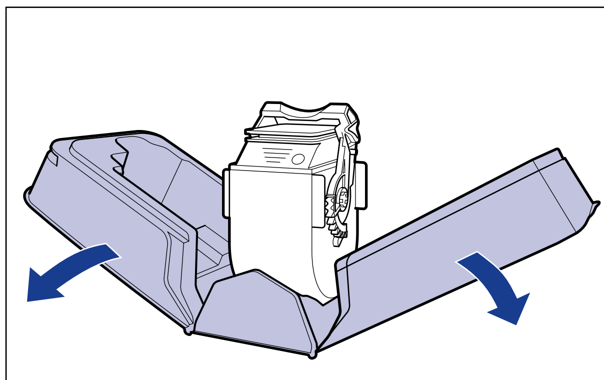

重要　トナーカートリッジを取り付ける位置は、図のように奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックとなっています。



3 トナーカートリッジを箱から取り出します。

4 保護パックからトナーカートリッジを取り出します。

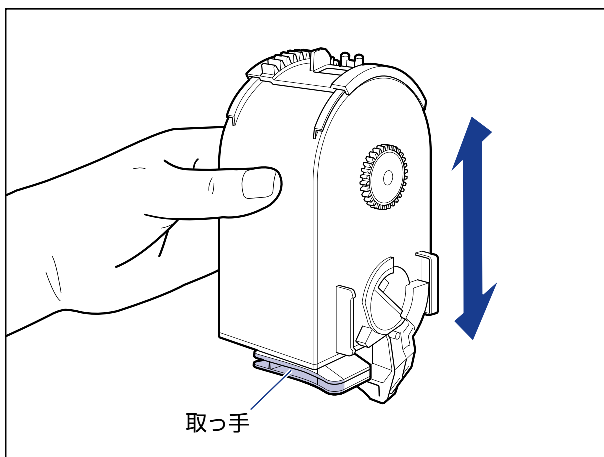
保護パックは上面の中央部を持って、左右に開きます。





トナーカートリッジが入っていた保護パックは、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

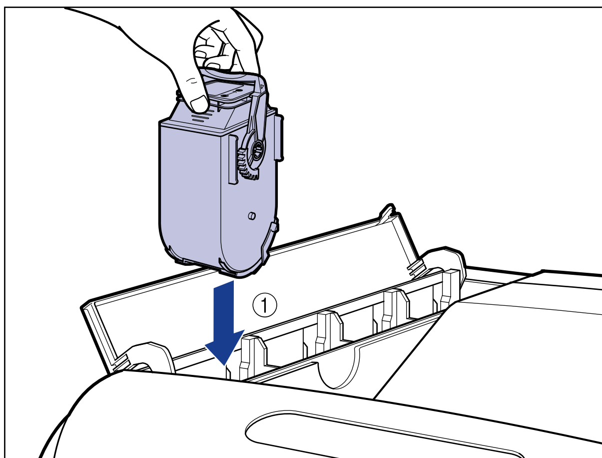
5 図のようにトナーカートリッジの取っ手部分を下側にして、上下に往復10回振って、内部のトナーを均一にならします。

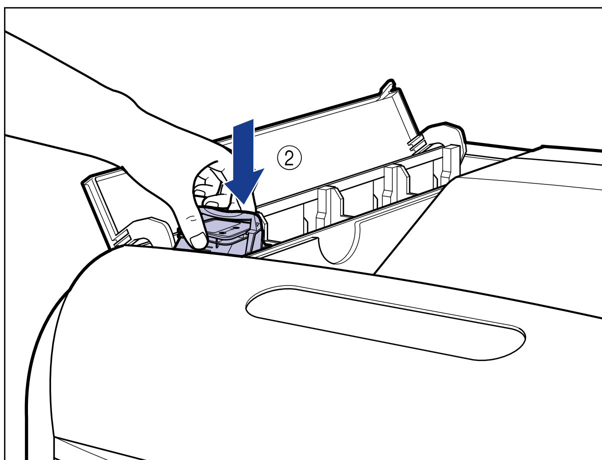




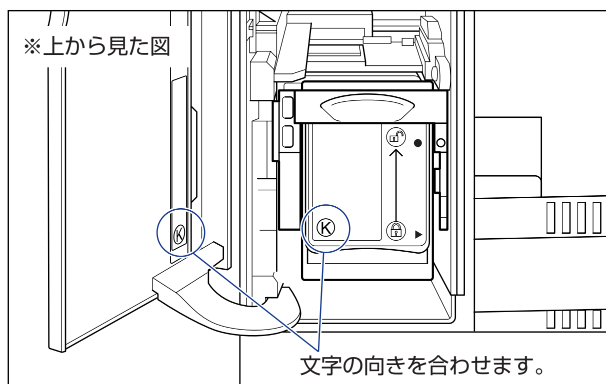
トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

6 図のように取っ手を持って、トナーカートリッジを挿入し ①、止まるまでゆっくりと押し込みます ②。

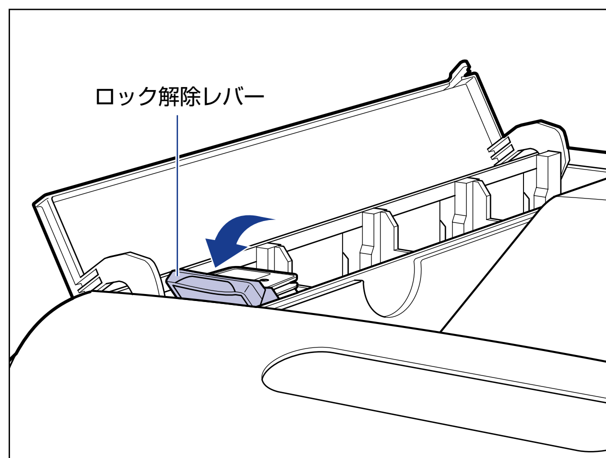




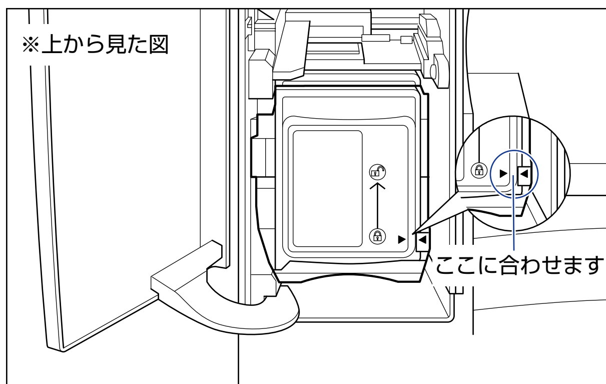
トナーカートリッジとトナーカバーにある文字の向きが合うように取り付けます。



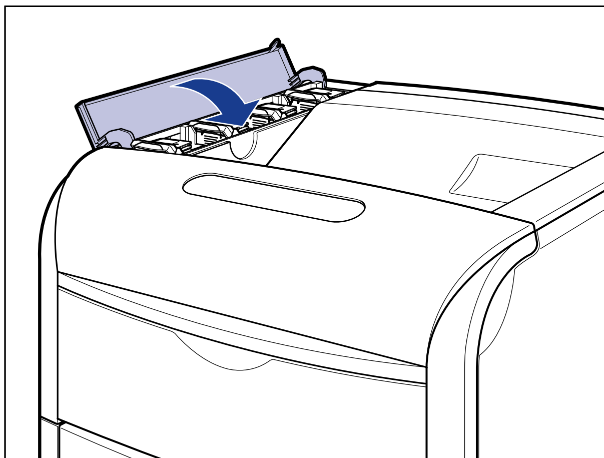
7 **ロック解除レバーを「🔒」の位置まで倒して、トナーカートリッジをロックします。**



ロック解除レバーの三角マークをトナーカートリッジの三角マークに合わせます。



8 すべてのトナーカートリッジを取り付けたら、トナーカバーを閉めます。



重要
- トナーカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にトナーカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、トナーカバーを開けたまま長時間放置しないでください。
- トナーカートリッジを取り外す場合は、トナーカートリッジのロック解除レバーを「🔓」の位置まで倒して、ロックを解除してから、取り外します。

メモ
トナーカートリッジを取り付けたあと、「1G　X　トナー　コウカン」（X は K または Y、M、C）が表示された場合は、次の操作を行ってください。

1. 表示された色のトナーカートリッジを取り出す（“K”はブラック、“Y”はイエロー、“M”はマゼンタ、“C”はシアンを表しています）
2. 取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならす
3. トナーカートリッジを取り付ける

用紙をセットする

本プリンタは、標準状態では給紙カセット（カセット 1）と手差しトレイの合計 2 つの給紙部から給紙することができます。また、オプションのペーパーフィーダ（カセット 2、3、4）を装着することにより、最大 5 つの給紙部から給紙することができます。

用紙をセットする方法や、オプションのペーパーフィーダをプリンタに取り付ける方法については、次の項目を参照してください。

- 用紙をセットする場合
  「給紙カセットに用紙をセットする」（➞P.4-17）
  「手差しトレイに用紙をセットする」（➞P.4-45）
- オプションのペーパーフィーダをプリンタに取り付ける場合
  「ペーパーフィーダ」（➞P.7-2）
- ペーパーフィーダの給紙カセットに用紙をセットする場合
  「給紙カセットに用紙をセットする」（➞P.4-17）

また、本プリンタの排紙先については、「排紙先について」（➞P.4-15）を参照してください。

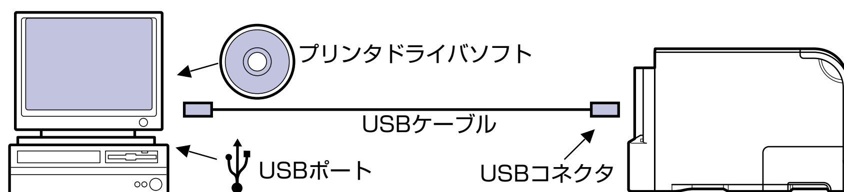
コンピュータと接続する

本プリンタをコンピュータやネットワークに接続します。

本プリンタは標準で USB コネクタ、LAN コネクタを装備しています。USB ケーブルでコンピュータに接続したり、LAN ケーブルで直接ネットワークに接続することができます。

USB ケーブルで接続する場合

USB ポートを装備したコンピュータに USB ケーブルで本プリンタを接続します。



USB ケーブルを接続するときのご注意

警告

- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

重要

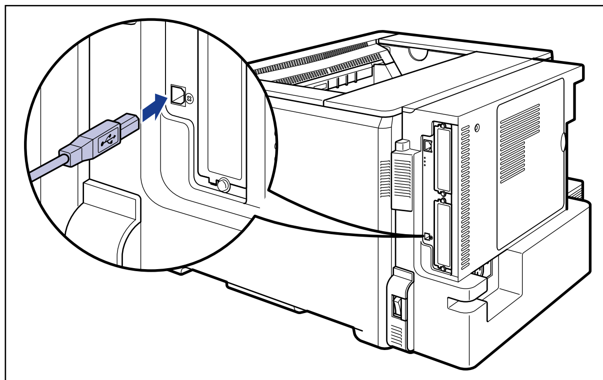
- コンピュータまたはプリンタの電源が入っている状態でUSB ケーブルを抜き差ししないでください。プリンタの故障の原因になります。
- 本プリンタは、双方向通信を行います。片方向通信のプリントサーバや USB ハブ · 切替器等を使用しての接続は、動作確認を行っておりませんので動作保証はできません。
- 本プリンタの USB インタフェースは、接続するコンピュータの OS によって次のようになっています。詳細については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
  - ･Windows 98/Me：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ･Windows 2000/XP/Server 2003/Vista :USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ･Mac OS 9、X（10.3.2 以前）、X（Classic）：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ･Mac OS X（10.3.3以降）：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
- 本プリンタにはインタフェースケーブルは付属していません。お使いのコンピュータ、または接続方法に合わせてご用意ください。USB ケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。



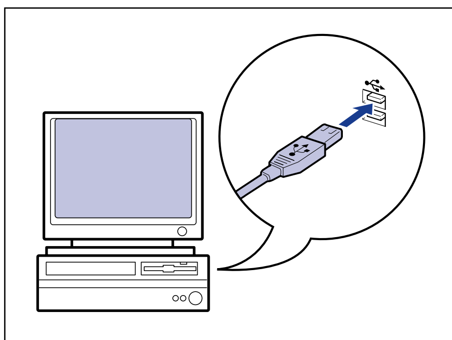
USB ケーブルを接続する

1 プリンタとコンピュータの電源が入っていないことを確認します。

2 USB ケーブルの B タイプ(四角い)側を本プリンタの USB コネクタへ接続します。

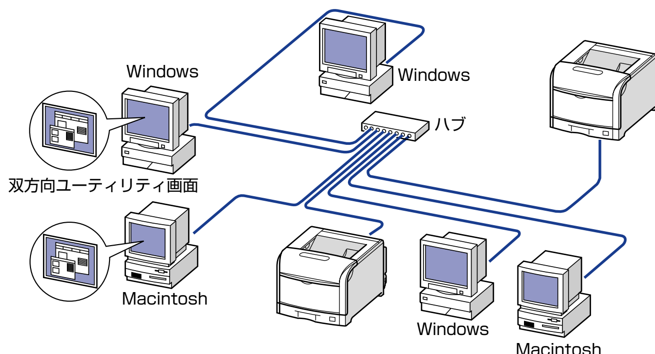


3 USB ケーブルの A タイプ (平たい) 側をコンピュータの USB ポートへ接続します。



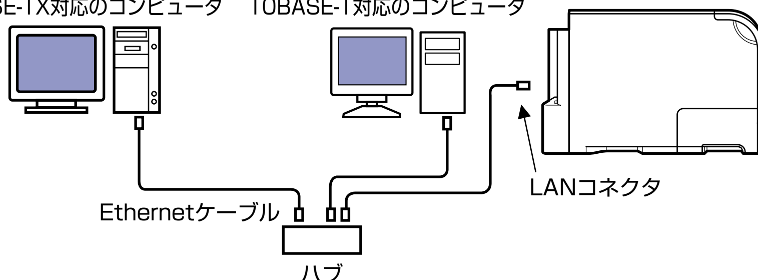
LAN ケーブルで接続する場合

本プリンタを Ethernet などのネットワークに接続すると、ネットワーク上のコンピュータからプリンタを共有して使用することができます。UNIX、Windows、Mac OS などの OS で使用可能です。



本プリンタは、10BASE-T/100BASE-TX 対応のプリントサーバを標準装備しており、ネットワークへ直接接続して Windows、Macintosh、UNIX などのコンピュータからプリンタを共有することができます。本プリンタのプリントサーバは TCP/IP、AppleTalk (EtherTalk)、SMB のプロトコルに対応しています。

カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルで、本プリンタの LAN コネクタとハブのポートを接続します。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。使用できるケーブルやハブについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



LAN ケーブルを接続するときのご注意

⚠注意 プリンタにネットワークケーブルを接続するときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。感電の原因となることがあります。

重要 AppleTalk ネットワーク上に 2 台以上の機器が接続されている場合、それぞれの電源は、10 秒以上間隔をおいて入れてください。

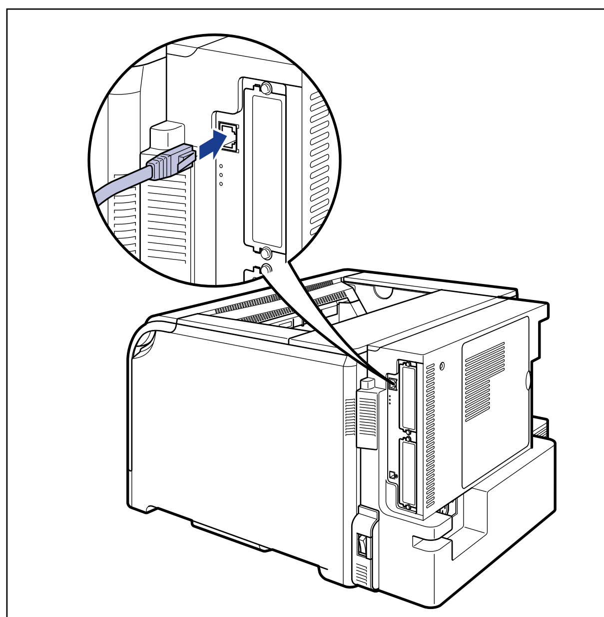
メモ
- 本プリンタは、Ethernet の種類（100BASE-TX または 10BASE-T）を自動認識します。

- 100BASE-TX、10BASE-T 対応の機器が混在しているときは、スイッチングハブなど、100BASE-TX、10BASE-T の両方に対応した機器が必要です。詳しくは、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ステータスプリントを行ってプリントサーバの MAC アドレスなどを確認し、ネットワーク OS（UNIX など）の設定やプリントサーバの設定を行ってください。これらの設定については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

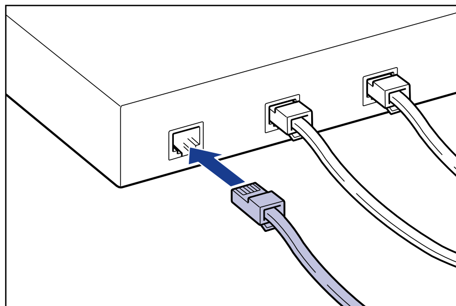
LAN ケーブルを接続する

1 LAN ケーブルを本プリンタの LAN コネクタへ接続します。

お使いのネットワークに合わせて、LAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。



2 LAN ケーブルの反対側をハブのコネクタへ接続します。



ソフトウェアをインストールする

コンピュータから印刷するには、プリンタドライバやユーティリティソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。お使いのコンピュータやネットワークに合ったソフトウェアをインストールしてください。

Windows の場合

Windows から印刷するときは、本プリンタに付属の CD-ROM からプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。

本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

メモ　ネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行ったり、プリントサーバや各クライアントコンピュータにプリンタドライバなどをインストールします。
ネットワークの設定については「ネットワークガイド／本編」、プリンタドライバなどのインストールについては User Software CD-ROM に収められている取扱説明書を参照してください。

■ LIPS プリンタドライバ

Windows のアプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。必ずインストールしてください。

重要
- BMLinkS プリンタドライバは、付属の CD-ROM には同梱されていません。次の URL にアクセスし、BMLinkS プリンタドライバをダウンロードしてインストールしてください。インストールのしかたや詳細については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
http://www.jbmia.or.jp/bmlinks/
- LBP5910F とコンピュータを USB ケーブルで接続してお使いの場合は、プリンタドライバをインストールしたあと、必ず次の操作を行ってください。次の操作を行わないとステイプル機能は使用できません。
  1. プリンタドライバの［デバイスの設定］ページを表示する
  2. ［デバイス情報取得］をクリックする

■ NetSpot Device Installer

コンピュータからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定や設定変更を行うユーティリティソフトです。NetSpot Device Installer はコンピュータへインストールすることなく使用できるので、簡単にプリンタの初期設定や設定変更を行うことができます。

■ NetSpot Job Monitor

プリンタの状態をコンピュータの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。



次の場合、「NetSpot Job Monitor」は使用できません。
・プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続した場合
・お使いの OS が Windows Vista の場合

DOS の場合

DOS から印刷するときは、各アプリケーションソフトのプリンタ設定で本プリンタまたは互換性のあるプリンタを選択して印刷します。

本プリンタは、キヤノン独自の LIPS モードと IBM PC/AT 互換機（DOS/V コンピュータ）の ESC/P エミュレーションモードなどの動作モードを内蔵しており、キヤノン製 LIPS プリンタや ESC/P 準拠プリンタを互換性のあるプリンタとして選択できます。



- エミュレーションモードの印刷については、「動作モードについて」（→P.3-54）を参照してください。
- プリンタ設定の方法については、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。
- オプションのコントロール ROM を装着することにより、PC-9800、PS/55 シリーズ用のプリンタを互換プリンタとして選択できたり、HP-GL、HP-GL/2 対応のアプリケーションソフトから印刷できるようになります。オプションのコントロール ROM については、「コントロール ROM」（→P.1-17）を参照してください。

Macintosh の場合

Macintosh から印刷するときは、本プリンタに付属の CD-ROM からプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。

本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。



ネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行います。
ネットワークの設定については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

■ LIPS プリンタドライバ

Macintosh アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。EtherTalk 接続用プリンタドライバと USB 接続用プリンタドライバの 2 種類があります。接続方法に合わせて、いずれかを必ずインストールしてください。

■ プリントモニタ

プリンタの状態をコンピュータの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。プリンタドライバと一緒にインストールされます。

■ NetSpot Device Installer

コンピュータからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定や設定変更を行うユーティリティソフトです。NetSpot Device Installer はコンピュータへインストールすることなく使用できるので、簡単にプリンタの初期設定や設定変更を行うことができます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

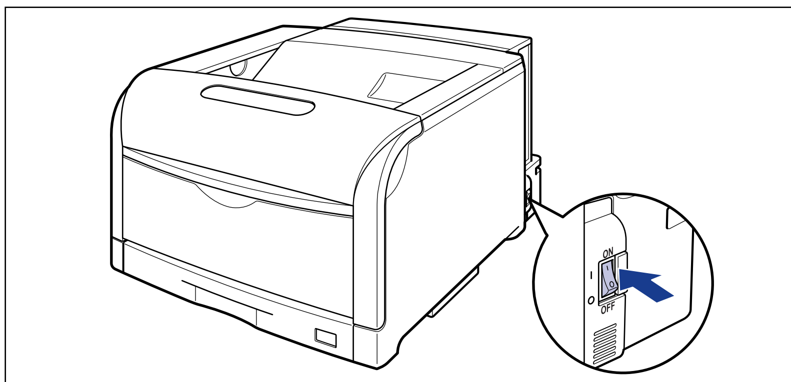

重要

- 電源を切った直後に、再度電源を入れないでください。電源を切った後に再度電源を入れるときは、電源を切ってから 10 秒以上経ったあと、電源を入れてください。
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」（➞P.6-32）、「サービスコール表示」（➞P.6-58）を参照してください。
- プリンタを設置後、初めて電源を入れるときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットをプリンタにセットしてからプリンタの電源を入れてください。


メモ

ハードディスクを取り付けて初めて電源を入れるときやハードディスクに異常があるときは、電源を入れた後フォーマットが行われるため、印刷可能な状態になるまで約 60 秒かかります。

1 **プリンタの電源スイッチの“I”側を押します。**



操作パネルのランプやディスプレイが点灯し、プリンタやオプション品の状態を自己診断します。

- 自己診断の結果が正常な場合
  オンラインランプと印刷可ランプ、選択されている給紙ランプが点灯し、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　ESC/P」と表示されて印刷可能な状態になります。



ディスプレイには、次の情報が表示されます。

印刷可能で処理中の印刷データがない状態 ― 00 インサツ カノウ　A4 ― 現在選択されている給紙元の用紙サイズ

- 自己診断の結果が異常な場合
  メッセージランプが点灯して、ディスプレイにエラーメッセージやサービスコールが表示されます（→P.6-32）。

電源を切る

本プリンタは、次の手順で電源を切ります。

重要
- シャットダウンを行ってから電源を切ってください。
  特にハードディスクを使用しているときは、ハードディスク保護のため、シャットダウンを行ってください。
- シャットダウンを実行すると、途中で止めることはできません。再びプリンタの電源を入れたい場合は、メッセージに従って電源スイッチを一度切ってから、電源スイッチを入れてください。

メモ
操作パネルの［リセット］を押して、リセットメニューでシャットダウンを実行することもできます。（→ LIPS 機能ガイド「第 8 章 セットアップ以外のメニューの設定項目」）

---

1 電源を切るときは、プリンタが次の状態ではないことを確認してください。

- 印刷している状態
- HDD ランプが消灯している状態
- ジョブランプが点灯している状態
- 電源を入れた直後の自己診断中の状態
- （ネットワークに接続している場合）他のコンピュータから印刷している状態
- ディスプレイに「02　キドウチュウ」、「02　キャリブレーションチュウ」、「NVRAM INITIALIZE」のメッセージが表示されている状態

重要
ジョブランプが点灯している状態で電源を切ると、プリンタのメモリに残っている印刷データは消去されます。必要な印刷データは、印刷し終わるまで待つかオフラインの状態で［リセット］を押して「ハイシュツ」を選択し、印刷してから電源を切ってください。（➞P.3-59）



2 操作パネルの操作部電源スイッチ（サブ電源）を押し続け、「02　シャットダウンチュウ」と表示されたら離します。

「02　シャットダウンチュウ」が表示されるまで（約 4 秒）押し続けます。4 秒未満の場合、「スリープモード」を「ツカワナイ」以外に設定しているときはスリープモードに移行します（➞P.2-65）。

02 ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝﾁｭｳ

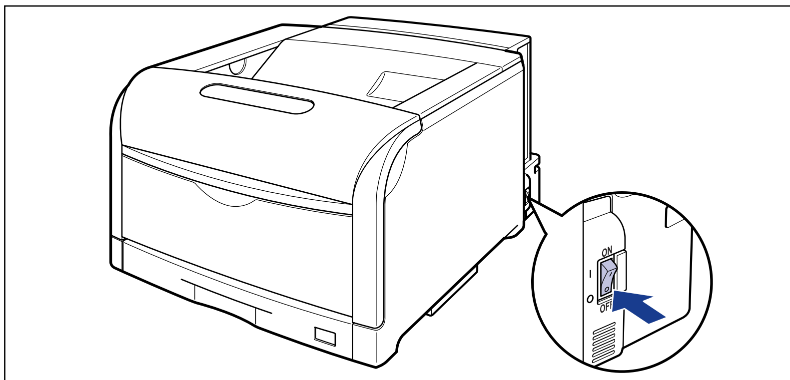
重要
ハードディスクに停止操作したジョブやセキュアプリントのジョブがある場合にシャットダウン操作を行うと、「ジョブガ　ノコッテイマス」または「ジッコウ　デキマセンデシタ」のメッセージが表示されます。
シャットダウンを実行する場合は、ソフトリセットをしてジョブを消去したあと、再度シャットダウン操作を行ってください。
シャットダウンを実行しない場合は、［オンライン］を押してください。

3 メッセージを確認します。

ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦ ｵｷﾘｸﾀﾞｻｲ

電源を切るための処理が行われ、準備が整うと、「デンゲンヲ　オキリクダサイ」のメッセージが表示されます。

4 「デンゲンヲ　オキリクダサイ」のメッセージが表示されたら、プリンタの電源スイッチの“○”側を押します。



消費電力の節約（スリープモード）について

本プリンタが動作していないときや、ご使用になっていないときに、スリープモードにすることで効率的に節電することができます。

重要

- プリンタ右側面にある電源スイッチの“○”側を押した場合でも、電源プラグを電源コンセントに差し込んだ状態では、わずかですが電力が消費されています。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 各設定項目についての詳細は、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

スリープモードにする方法

プリンタをスリープモードにする方法は、次の 4 種類あります。

プリンタが動作していないときに自動的にスリープモードにする	「スリープ移行時間」でスリープモードに移行するまでの時間を設定します。 5 分から 180 分で設定でき、工場出荷時は 10 分になっています。
プリンタの操作パネルでスリープモードにする	プリンタの操作パネルにある「操作部電源スイッチ（サブ電源）」を押します。
ネットワークで接続されているコンピュータからスリープモードにする	リモート UI の［デバイス管理］→［状態］→［デバイス制御］で［スリープ］を選択し、［実行］をクリックします。
毎日決まった時刻にスリープモードにする	「スリープ時刻」でスリープモードに移行する時刻を設定します。 「スリープタイマー」を「ツカウ」に設定すると、「スリープ時刻」の設定が有効になります。

上記の操作や設定を行い、「スリープモードの種類」（➞P.2-66）に記載されている移行条件を満たすと、プリンタが消費電力の少ないスリープモードになります。

スリープモードの種類

スリープモードには次の 3 種類あり、それぞれ移行条件が異なります。

スリープモードの種類	移行可能な「スリープモード」の設定				移行条件
	ツカワナイ	パネルオフ	ツカウ	ディープスリープ	
スリープモード 1 (パネルオフモード) 節電効果：小	×	○	○	○	･パネル操作を行っていない ･コンピュータからデータが送られてきていない ･プリンタの起動中ではない ･シャットダウン中ではない ･ハードディスク初期化中ではない
スリープモード 2 (プリンタスリープモード) 節電効果：中	×	×	○	○	･スリープモード 1 に移行している ･電源を入れたあと、またはスリープモード 2 が解除されたあと、印刷可能な状態が 10 分間経過した ･印刷待ちのジョブがない ･サービスコールが発生していない ･紙づまりが発生していない ･カバーが開いていない ･トナーカートリッジが装着されている
スリープモード 3 (ディープスリープモード) 節電効果：大	×	×	×	○	･スリープモード 2 に移行している ･「標準ネットワーク」の次の項目が「オフ」または「ツカワナイ」に設定されている -「AppleTalk」 -「SMB」の「SMB サーバ」* -「TCP/IP 設定」の「BMLinlkS」 ･プリンタの拡張ボードスロットにオプションの NB-J2 が装着されていない ･USB　ケーブルが接続されていない ･電源を入れたあと、またはスリープモード 2 が解除されたあと、印刷可能な状態が 15 分間経過した

* 「SMB サーバ名」が設定されていない場合は「SMB サーバ」の設定に関わらず、移行可能です。



- スリープモード 1、2 に移行すると、印刷可ランプと主電源ランプが点灯します。ただし、次のときは印刷可ランプ以外のランプも点灯します。
  ･オフライン状態のとき（メッセージランプのみが点灯します）
  ･ボックスへのジョブの保存中 *（ジョブランプが点灯します）
  * ボックスにジョブを保存できるのは、ハードディスク装着時のみ
- スリープモード 3 に移行すると、主電源ランプのみが点灯します。
- プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときにスリープモードに移行しないようにするには、「エラースリープ」を「シナイ」に設定します。

- SNTPまたはDHCPの通信が1分以内に行われる状態、ウェイクアップ機能が1分以内に実行される状態では、スリープモード3へ移行しません。

スリープモードを解除する

スリープモードを解除する方法は、次の通りです。

プリンタの操作パネルでスリープモードを解除する	プリンタの操作パネルのキーを押します。* * スリープモード3に移行しているときは、操作部電源スイッチ（サブ電源）が押されたときのみスリープモードを解除できます。
毎日決まった時刻にスリープモードを解除する	「ウェイクアップ時刻」でスリープモードを解除する時刻を設定します。「タイマー設定」の「ウェイクアップタイマー」を「ツカウ」に設定すると、「ウェイクアップ時刻」の設定が有効になります。
コンピュータからスリープモードを解除する	・プリンタにデータを送信します（ボックスへのジョブの保存を除く）。 ・リモートUIで以下の操作を行います。 - ユーティリティメニューの操作を行う - キャリブレーション実行の操作を行う - デバイス制御の操作を行う - ［デバイス管理］メニューにある［ユーザメンテナンス］ページの表示および設定を行う



- スリープモード1、2は、エラーが発生したときにもスリープモードが解除されます（ただし、スリープモード2の場合、エラーの種類によっては、解除されない場合があります）。
- 「タイマー設定」の「キャリブレーションタイマー」を「ツカウ」に設定していて、「キャリブレーション時刻」で設定した時間になったときもスリープモードが解除されます。

動作を確認する

本プリンタには、現在使用可能な機能および現在の設定値を確認するためのステータスプリント機能があります。また、本プリンタをネットワークに接続している場合は、プリントサーバの動作状態をランプで確認することができます。プリンタの準備や接続が終了したらステータスプリントやプリントサーバの動作確認を行い、正しく動作することを確認してください。

プリンタの動作を確認する

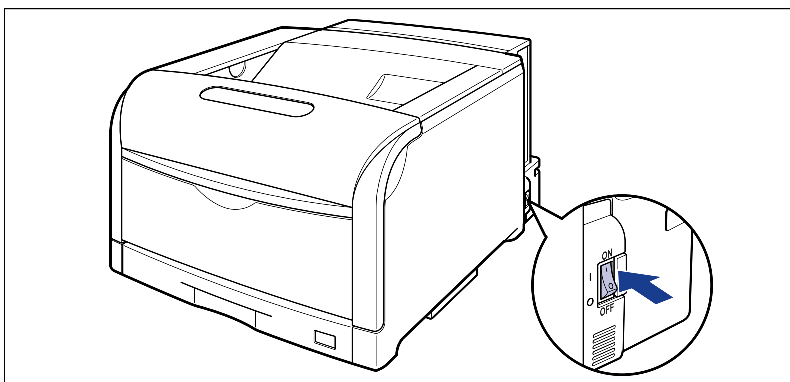
現在使用できる機能やメニュー設定値の一覧を確認するときは、ステータスプリントを行います。

メモ
- ステータスプリントは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイにA4 サイズの用紙をセットしてください。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。例えば、自動両面印刷が設定されている場合は、ステータスプリントも両面に 2 ページ分印刷されます。ただし、コピー枚数は無視され、常に 1 枚の用紙が印刷されます。

ステータスプリント

ステータスプリントは、次の手順で行います。

1 **電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源を入れます。**



しばらくするとディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　ESC/P」と表示され、印刷可能な状態になります。



正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」（➞P.6-32）を参照してください。



2 プリンタがオンラインになっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

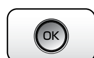


3 ［ユーティリティ］を押します。

ユーティリティ

ステータスプリント →

ディスプレイに「ステータスプリント」と表示されます。



4 ［OK］を押します。

ステータスプリント →

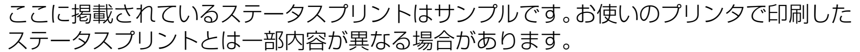
ジッコウ チュウ （約1秒間）

ステータスプリント →

ステータスプリントが印刷されます。

ステータスプリントの内容

ステータスプリントを行うと、次のように印刷されます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、印刷枚数などを確認できます。印刷枚数は、ステータスプリントの右下にある「Page Count」で確認できます。



重要　ここに掲載されているステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで印刷したステータスプリントとは一部内容が異なる場合があります。

Canon　ステータスプリント　LBP5910

バージョン : XXX
エンジンバージョン : XXX
オプションカセットバージョン : XXX
フィニッシャバージョン : XXX
フォントバージョン : XXX
拡張フォントバージョン : XXX

ハードディスク名称 : TOSHIBA MK3008GAL
RAM容量 : 256 MB
モデル : 日本

拡張機能グループ
スリープモード : パネルオフ
エラースリープ : する
スリープモード移行時間 : 10分
警告処理/トナー交換予告 : 継続
自動エラースキップ : しない
パネル表示言語 : 日本語
ブザー : 1回
警告表示/トナー交換予告 : する
定着器交換予告 : する
回収トナー容器交換予告 : する
ドラム交換予告 : する
カセット用紙なし : する
Eメール通信エラー : する
ウェイクアップタイマー : 使わない
ウェイクアップ時刻 : 12:00
スリープタイマー : 使わない
スリープ時刻 : 12:00
キャリブレーションタイマー : 使わない
キャリブレーション時刻 : 12:00
ハードディスク : 使う
割り込み印刷 : 許可する
セキュアプリント消去までの時間 : 1時間
セキュアプリント保存形式 : イメージ
RIP Once : 使う
ジョブ履歴保証 : しない
静音モード移行時間 : 10秒
PDL選択(PnP) : LIPS LX

給紙グループ
デフォルト用紙サイズ : A4
手差しトレイ用紙サイズ : A4
手差しトレイ優先 : しない
用紙不一致時トレイ : 使わない
自動選択/手差しトレイ : 使う
カセット1 : 使う
カセット2 : 使う
用紙名称/手差しトレイ :
カセット1 :
カセット2 :
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
手差しトレイ用紙タイプ : フリー
カセット1用紙タイプ : フリー
カセット2用紙タイプ : フリー
手差し両面 : 1面目
両面印刷 : しない

レイアウトグループ
コピー枚数 : 1枚
縦位置補正 : 0.0mm
横位置補正 : 0.0mm
とじ方向 : 長辺とじ
とじしろ : 0.0mm
特殊両面処理 : する

インタフェースグループ
I/F選択/USB : 使う
標準N/W : 使う
タイムアウト : 15秒
コネクション認識 : する

動作モードグループ
動作モード選択 : 自動選択
自動切換/LIPS : 使う
N201 : 使う
ESC/P : 使う
I5577 : 使う
HP-GL : 使う
HP-GL/2 : 使う
優先エミュレーション : なし

印字調整グループ
解像度 : ファイン(600dpi)
階調処理 : 高階調1
ドラフトモード : 使わない
トナー濃度/C(シアン) : 9
M(マゼンダ) : 9
Y(イエロー) : 9
K(ブラック) : 9
カラーモード : 自動
モノクロ中間調/テキスト : 解像度
グラフィック : 階調
イメージ : 色調
カラー中間調/テキスト : 解像度
グラフィック : 色調
イメージ : 色調
グレー補償/テキスト : する
グラフィック : する
イメージ : する

CMS(マッチング)選択 : プリンタ
CMS(マッチング)/ガンマ テキスト : CMS
グラフィック : CMS
イメージ : CMS
RGBソースプロファイル/テキスト : sRGB_v1.31
グラフィック : sRGB_v1.31
イメージ : sRGB_v1.31
出力プロファイル/テキスト : Normal
グラフィック : Normal
イメージ : Photo
マッチング方法/テキスト : 鮮やかさ優先
グラフィック : 色み優先
イメージ : 色み優先
ガンマ補正/テキスト : 1.4
グラフィック : 1.4
イメージ : 1.4
画質警告 : 継続
グラデーション : しない

アドバンスドスムージング(AST) : スムーズ1
グラフィックに適用 : しない
テキストに適用 : する
トナー印字量補正 : 標準
ライン処理 : 解像度優先

ユーザメンテナンスグループ
縦位置補正 : 0.0 mm
トレイ/横位置補正 : 0.0 mm
カセット1/横位置補正 : 0.0 mm
カセット2/横位置補正 : 0.0 mm
両面/横位置補正 : 0.0 mm
リカバリ印刷 : する
特殊モードJ : 使わない
用紙サイズ置換 : しない
画像特殊処理 : しない
小サイズ特殊処理1 : しない
小サイズ特殊処理2 : しない
特殊印字処理/普通紙 : しない
コート紙 : しない
機能制限モード/ステイプル : 制限しない

デバイス
製造会社 : Canon
製品名 : LBP5910
表示名 : LBP5910
シリアルナンバー : XXX

搭載コントローラ
LIPS : XXX
LIPS LX : XXX
ESC/P : XXX
N201 : XXX
I5577 : XXX
HP-GL : XXX
HP-GL/2 : XXX

LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。
HP-GLは、Hewlett-Packard Companyの商標です。
HP-GL/2は、Hewlett-Packard Companyの商標です。

標準ネットワーク
バージョン : XXX
MAC Address : XXX

トナー残量
シアン : 100%
マゼンタ : 100%
イエロー : 100%
ブラック : 99%

USB
ベンダーID : XXX
プロダクトID : XXX
シリアルナンバー : XXX
USB動作モード : USB

最終キャリブレーション
日時 : 2007/03/06 19:45
総印刷ページ数 : 0000042

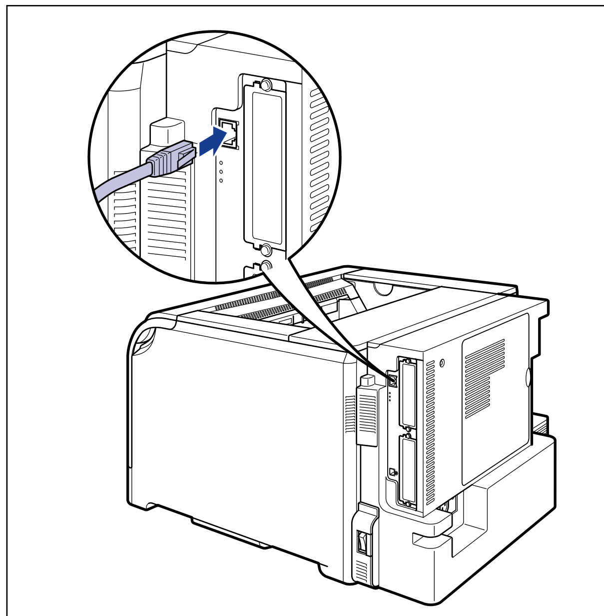
CanonおよびCanonロゴはキヤノン株式会社の商標です。

2007/03/08 18:29:40　　Page Count : 0000052

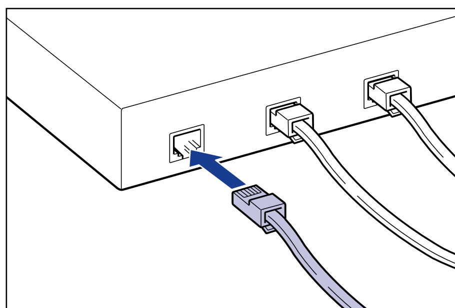
プリントサーバの動作を確認する

プリントサーバの動作確認は、次の手順で行います。

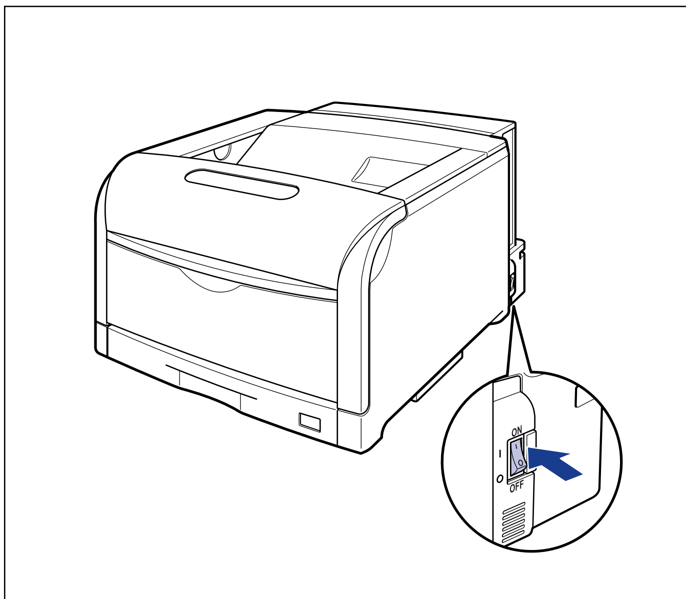
1 LAN ケーブルを本プリンタの LAN コネクタへ接続します。



2 LAN ケーブルの反対側をハブのコネクタへ接続します。



3 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源を入れます。

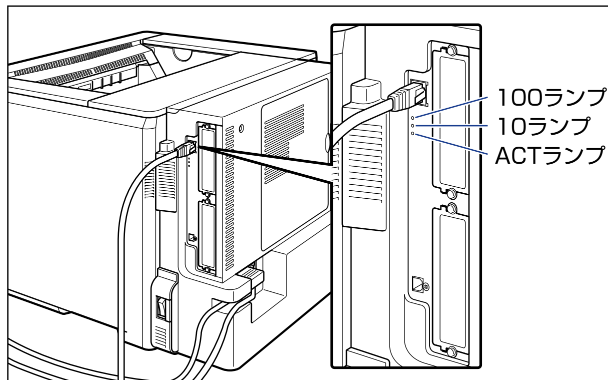


しばらくすると、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　ESC/P」と表示され、印刷可能な状態になります。

重要　正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」(➞P.6-32) を参照してください。

4 プリントサーバのランプを確認します。

10BASE-T の場合は、10 ランプが点灯していれば、正常です。
100BASE-TX の場合は、100 ランプが点灯していれば、正常です。



正常に動作していない場合は、LAN ケーブルの接続やハブの動作状態を確認してください。他の機器がすべて正常に動作している場合は、プリンタの電源を切り、プリントサーバの通信設定（Ethernet ドライバの設定）を接続したネットワークに合わせて変更してください。（→ネットワークガイド／本編「第 2 章 ネットワークの共通設定」）

5 確認が終わったら、電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源を切ります。

プリンタの使いかた

3
CHAPTER

この章では、本プリンタの基本的な使用方法について説明しています。

オンラインとオフライン 3-3
オンラインにする. 3-3
オフラインにする. 3-4
プリンタの機能と設定方法について 3-5
代表的な機能 3-5
設定のしかた 3-6
設定の優先順位 3-7
BMLinkS について 3-8
BMLinkS とは 3-8
BMLinkS プリンタドライバについて 3-9
プリンタで行う BMLinkS の設定について 3-10
ダイレクトプリントについて 3-14
ダイレクトプリントとは. 3-14
リモート UI からダイレクトプリントするには 3-15
コマンドプロンプトからダイレクトプリントするには. 3-28
E メール印刷について（ハードディスク装着時のみ） 3-29
E メール印刷とは. 3-29
E メール印刷の設定項目. 3-31
E メール印刷をするには. 3-32
E メール受信履歴を印刷するには 3-36
E メール印刷ができなかったときには. 3-38
ジョブの印刷と保存について （ハードディスク装着時のみ）. 3-42
ジョブの処理方法の種類. 3-42
パスワードを設定して印刷する（セキュアプリント／暗号化セキュアプリント） 3-43
ボックスに保存したジョブを印刷する（保存ジョブプリント）. 3-46
画質について. 3-48
解像度モードの種類 3-48
階調モードの種類. 3-48
解像度モードを設定する. 3-49
階調モードを設定する 3-50
カラーモードについて 3-52

カラーモードの種類 3-52
カラーモードを設定する 3-52
動作モードについて. 3-54
動作モードの種類 3-54
自動切り替えがうまくできないとき 3-55
専用プリンタと同じ動作で使う（動作モード固定）. 3-57
エミュレーションモードで使うとき 3-58
印刷を中止したいときは 3-59
データを排出する（強制排出）. 3-59
印刷をキャンセルする（ジョブキャンセル） 3-60
現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）. 3-61
すべての作業を中止する（ハードリセット） 3-62

オンラインとオフライン

プリンタがコンピュータからデータを受け取り、印刷できる状態を「オンライン」、コンピュータとの接続が切り離され、データを受け取れない状態を「オフライン」といいます。

操作パネルから各メニューを設定するには次の状態に切り替えます。

○：メニューに入ることができる状態
×：メニューに入ることができない状態

	オンライン状態	オフライン状態
セットアップメニュー	○ *	○
給紙選択メニュー	○	○
リセットメニュー	○	○
ジョブメニュー	○	×
ユーティリティメニュー	○	×

* オンライン状態ではユーザメンテナンスグループの設定はできません。

オンラインにする

コンピュータから印刷するときは、プリンタがオンラインの状態になっていることが必要です。印刷するときは、プリンタがオンラインになっていることを確認してください。オンラインになっていないときは、次の手順でオンラインにします。電源を入れたときは、自動的にオンラインの状態になります。



1 [オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、印刷できる状態になります。



プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときは、オンラインになりません。エラーの原因を取り除いてからオンラインにしてください。



プリンタがスリープモードに移行しているときには、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみが点灯します。スリープモード中にデータを受信すると、スリープモードは解除されオンラインランプが点灯し、印刷可能な状態になります。

オフラインにする

コンピュータからのデータを受け取らない状態にしたり、セットアップメニューのすべての項目を設定するには、プリンタを次の手順でオフラインにします。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

重要 本プリンタは、オフラインにしたまま 5 分間以上放置すると、自動的にオンライン状態になります。ただし、プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のとき、またはメニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中は、自動的にはオンラインになりません。

プリンタの機能と設定方法について

本プリンタは、拡大／縮小印刷や複数ページ印刷、とじしろの設定など、いろいろな機能を持っています。これらの機能を設定するには、プリンタの操作パネル、プリンタドライバ、リモート UIの 3 つの方法があり、それぞれの方法によって設定できる項目が多少異なります。

メモ　BMLinkS プリンタドライバの設定項目については、BMLinkS プリンタドライバに添付の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

代表的な機能

本プリンタの代表的な機能を次の表に示しています。○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。

機能	機能の概要	プリンタドライバ（Windows）	リモートUI	操作パネル
給紙選択	どこから用紙を給紙するか（給紙元）を設定します。	○	○	○
手差しトレイ用紙サイズ	手差しトレイにセットした用紙のサイズを設定します。	○	○	○
両面印刷	用紙の両面に印刷します。	○	○	○
ステイプルソート（LBP5910F のみ）	ステイプルして印刷します。	○	×	×
ページフォーマット	エミュレーションモードで印刷するときに、用紙に合わせてページフォーマットを設定します。	×	×	○
カラーモード	モノクロまたはカラーに固定して印刷するか、自動で印刷するかを設定します。	○	○	○
解像度 *1	スーパーファインモード（1200dpi）、ファインモード（600dpi）のモード設定をします。	○	○	○
拡大／縮小 *1	データを拡大または縮小して印刷します。	○	×	○ *2
複数ページ印刷 *1	拡大／縮小印刷の機能で縮小したデータを複数ページ並べて1枚の用紙に印刷します。	○	×	○ *2

機能	機能の概要	プリンタドライバ（Windows）	リモートUI	操作パネル
オーバレイ印刷 *1（LIPS モード時のみ）	LIPS のコントロールコマンドで登録したフォーマットを選択し重ねて印刷します。	○ *3	×	○ *4
とじ方向	とじしろを作る辺（長辺または短辺）を設定します。	○	○	○
とじしろ	とじ方向で設定された辺のとじしろの幅を設定します。	○	○	○
トナー濃度	印字濃度を調節します。	×	○	○
ドラフトモード	テスト印刷するモードの設定をします。	○	○	○
ブザー警告	エラー発生時のブザー音の鳴りかたを設定します。	×	○	○
スリープモード	プリンタの消費電力を節約するモードの設定をします。	×	○	○

*1 これらの機能は、プリンタドライバとリモートUI、操作パネルとで設定内容や印刷結果に違いがありますので気を付けてください。詳細については、プリンタドライバのヘルプや「LIPS 機能ガイド」、「リモート UI ガイド」を参照してください。

*2 LIPS 専用セットアップメニューからのみ設定可能です。

*3 LIPS IV プリンタドライバからのみ設定可能です。

*4 フォーム作成登録は LIPS コマンドで行います。使用するフォームの指定のみ可能です。

設定のしかた

プリンタの機能は、プリンタドライバやリモート UI、プリンタの操作パネルで、それぞれ次のように設定して使います。

メモ
- プリンタドライバのインストール方法や操作方法については、User Software CD-ROM に収められている取扱説明書およびプリンタドライバのヘルプを参照してください。
- リモートUIからの操作方法については、「リモートUIガイド」およびリモートUIのヘルプを参照してください。
- プリンタの操作パネルからの操作方法については、「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

■ LIPS プリンタドライバ

本プリンタに付属の LIPS プリンタドライバをコンピュータにインストールし、プリンタ設定画面を表示して設定します。

■ リモート UI

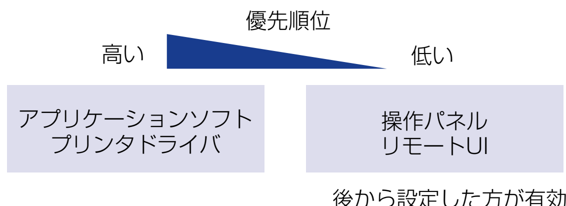
本プリンタをネットワーク経由で接続している場合は、コンピュータから Web ブラウザで本プリンタを設定します。

■ プリンタの操作パネル

プリンタの操作パネルのキーでメニューを選択して設定します。

設定の優先順位

設定した項目は、プリンタドライバやアプリケーションソフトとプリンタのメニュー項目に同じ機能がある場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトの設定が優先されます。

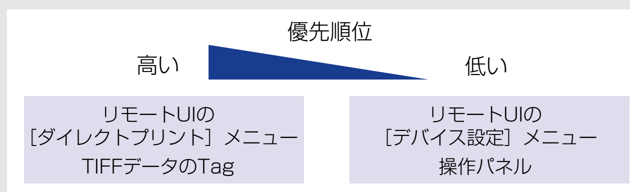


後から設定した方が有効

● ダイレクトプリント時（→P.3-14）の設定の優先順位

メニュー機能にしかない項目を、操作パネルで行う場合とリモート UI の［デバイス設定］メニューで行う場合では、後から設定した方の内容が有効になります。

ダイレクトプリント時には、操作パネルやリモート UI の［デバイス設定］メニューで設定した内容よりもリモート UI の［ダイレクトプリント］メニューや画像ファイルの TIFF データのヘッダーが持つ IFD（Image file directory）の中にある Tag で設定されている内容が優先されます。



TIFF データのヘッダーが持つ一部の Tag の機能は有効にならない場合があります。

BMLinkS について

本プリンタは、BMLinkS に標準で対応しています。ここでは、BMLinkS についての概要やプリンタドライバの入手方法、BMLinkS から印刷するための設定について説明します。

BMLinkS とは

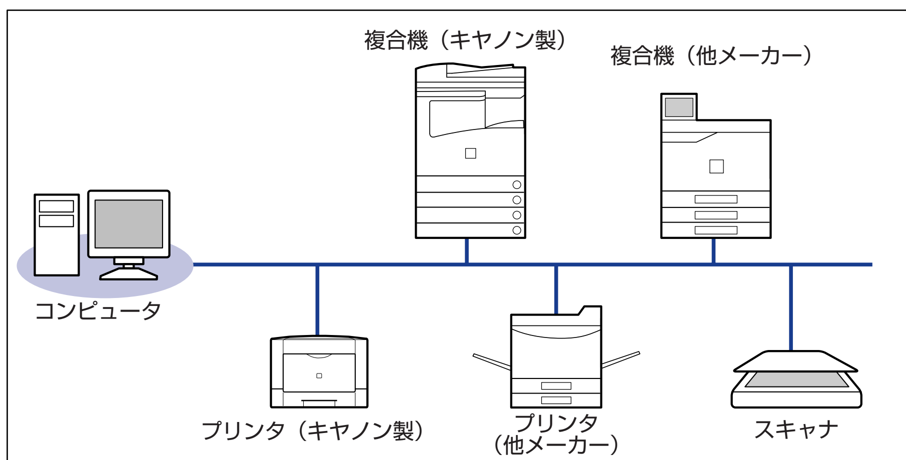
BMLinkS は、ネットワーク上にある様々なメーカーのプリンタやスキャナを共通のフォーマットを用いて接続する技術です。

BMLinkS に対応したプリンタやスキャナを利用することで、次のようなことが可能になります。

■ 1 種類のプリンタドライバで異なるメーカーのプリンタに印刷が可能

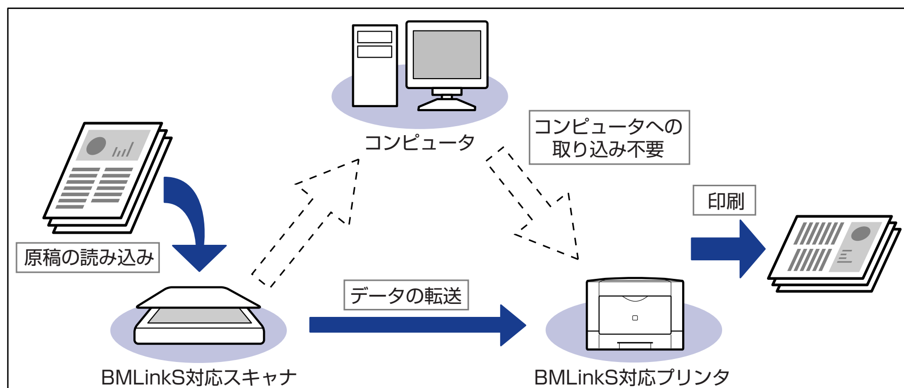
従来は、プリンタごとに専用のプリンタドライバをコンピュータにインストールしなければなりませんでしたが、BMLinkS 対応のプリンタの場合、異なるメーカーのプリンタであっても、1 つのプリンタドライバで印刷することができ、プリンタごとに共通の操作、共通の設定で印刷することができます。

また、お得意先や出張先などで、自分のノート PC から印刷するときなども、BMLinkS に対応したプリンタがあれば、プリンタドライバをインストールしなくても印刷することができます。



■ スキャナで読み込んだ画像を PC を介すことなくプリンタに印刷が可能

BMLinkS 対応のスキャナとプリンタがネットワーク上にある場合、スキャナからプリンタにダイレクトに印刷することができます。スキャナで読み込んだ画像を PC に取り込んでから印刷するという手間が省けます。



- BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）が推進しているオフィス機器インタフェースです。
- 本プリンタは JBMIA による BMLinkS 認証を受けています。
- 実装サービス名：プリントサービス
- 仕様環境 BMLinkS 2005 対応

BMLinkS プリンタドライバについて

BMLinkS を利用するには、専用のプリンタドライバが必要になります。BMLinkS プリンタドライバは、次の BMLinkS ホームページからダウンロードしてインストールします。

http://www.jbmia.or.jp/bmlinks/

必要なシステム環境やインストール方法、使用方法については、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。「ユーザーズマニュアル」は BMLinkS ホームページからダウンロードするか、BMLinkS プリンタドライバをインストールするとお使いのコンピュータにインストールされます。

■ BMLinkS プリンタドライバのお問い合わせ先

BMLinkS プリンタドライバについてのお問い合わせは、次のメールアドレスにご連絡ください。

bmlinks-support@jbmia.or.jp

重要

- BMLinkS プリンタドライバからステイプルを行うと、BMLinkS プリンタドライバの画面に表示される綴じ位置とは異なる位置にステイプルされることがあります。
- BMLinkS プリンタドライバから部単位で印刷を行う場合は、オプションのハードディスクが必要です。

メモ

BMLinkS プリンタドライバに関するお問い合わせのみを受け付けております。プリンタについては、キヤノン「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

プリンタで行う BMLinkS の設定について

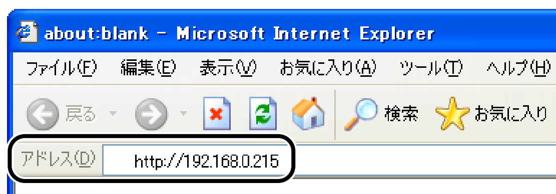
BMLinkS プリンタドライバから印刷するために、次の設定を行ってください。

BMLinkS の設定は、リモート UI で行います。リモート UI については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

メモ　BMLinkS の設定は、プリンタの操作パネルからも行うことができますが、設定できるのは BMLinkS プリンタドライバからの印刷を有効にするかしないかの設定のみです。

1　Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

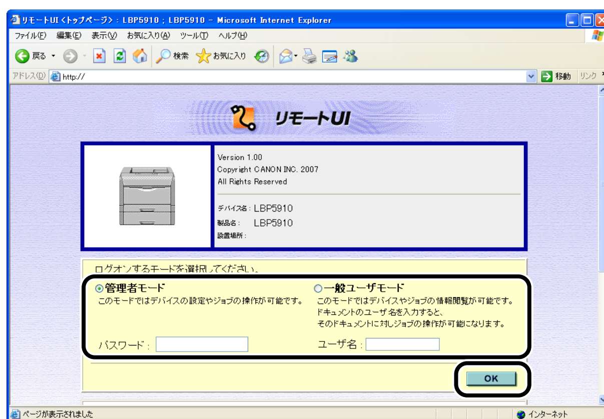
http:// ＜プリンタの IP アドレス＞ /



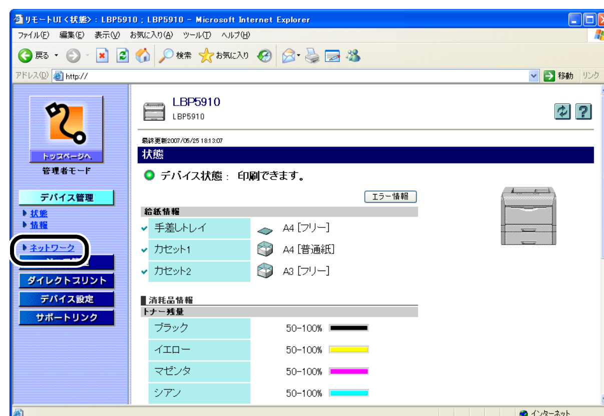
メモ

- プリンタの IP アドレスがわからないときは、ネットワーク管理者に相談してください。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /」を入力します。［セキュリティ警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。
- SSL による暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

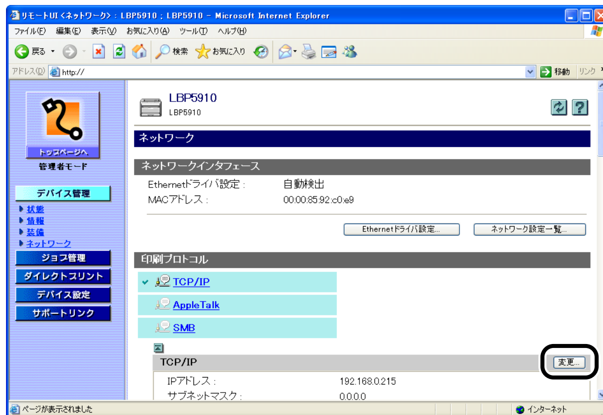
2 ［管理者モード］を選択し、［パスワード］を入力して、［OK］をクリックします。



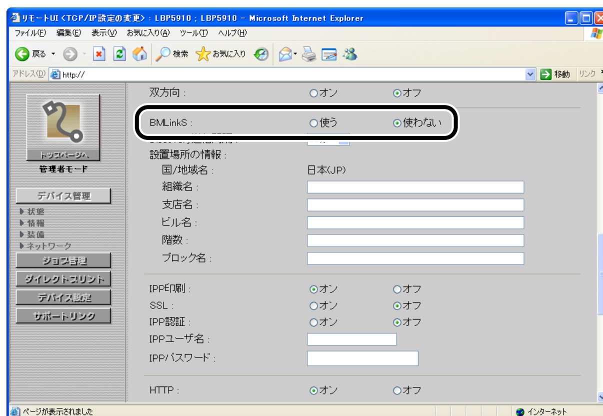
3 ［デバイス管理］メニューから［ネットワーク］を選択します。



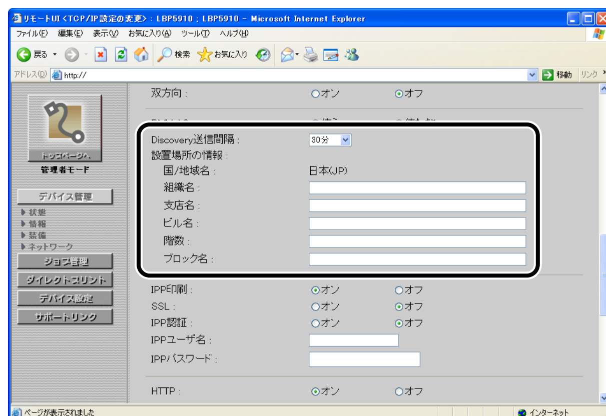
4 [TCP/IP] の右にある [変更] をクリックします。



5 [BMLinkS] で [使う] を選択します。

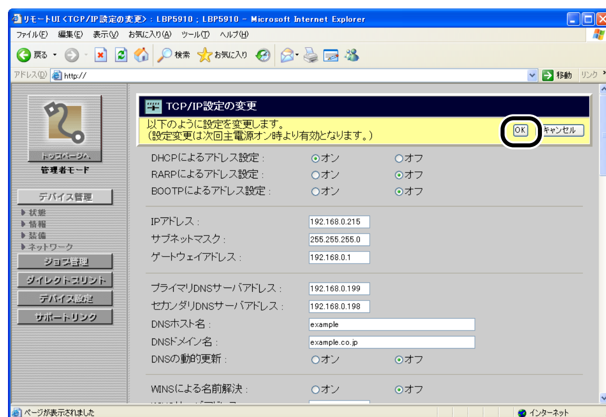


6 ［Discovery 送信間隔］で、プリントサーバがネットワーク上で動作していることを示す情報を送信する間隔を設定します。



必要に応じて、［組織名］、［支店名］、［ビル名］、［階数］、［ブロック名］を入力します。

7 設定後、［OK］をクリックします。



8 ハードリセットまたはプリンタを再起動します。

ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。



「ハードリセット」の実行方法については、「すべての作業を中止する（ハードリセット）」（➞P.3-62）を参照してください。

ダイレクトプリントについて

ダイレクトプリントとは

ダイレクトプリントは、プリンタドライバを使用せずにホスト端末からファイルをプリンタに転送し、ファイルそのものをプリンタが認識し、印刷する機能です。したがって、ファイルを開いて印刷する必要がありません。

印刷するには、リモート UI から印刷したい PDF ファイルや TIFF/JPEG 形式の画像ファイルを指定します。PDF ファイルの場合は、Web 上の URL を指定して印刷することもできます。

また、コマンドプロンプトからのコマンド入力（LPR コマンド）によるダイレクトプリントにも対応しています。

■ リモート UI から印刷する（→P.3-15）

■ コマンドプロンプトから印刷する（→P.3-28）

重要

- PDF ファイルをダイレクトプリントするときは、次のことに気をつけてください。
  - ･PDF ファイルをダイレクトプリントするには、次のオプションが必要です。
    - ハードディスク
    - コントロール ROM
    - RAM（RD-256MW、RD-512MW）
  - ･PDF のバージョンは 1.5 に準拠していますが、一部の機能には対応していません。バージョン 1.6 以降の PDF ファイルは、バージョン 1.5 に準拠した機能（ただし一部機能は除く）で処理します。
- 画像ファイルをダイレクトプリントするときは、次のことに気をつけてください。
  - ･JPEG データは ITU-T 勧告 T.81 の仕様に対応しています。TIFF データは Adobe TIFF Revision6.0 の仕様に対応しています。
  - ･JPEG データの符号化方式の対応は、次のようになっています。
    - 対応している符号化方式
      基本 DCT 方式
    - 対応していない符号化方式
      拡張 DCT 方式
      可逆方式
      ハイアラーキカル方式

・TIFF データの符号化方式の対応は、次のようになっています。
- 対応している符号化方式
  非圧縮
  ITU-T 勧告 T.4 一次元符号化方式
  ITU-T 勧告 T.4 二次元符号化方式
  ITU-T 勧告 T.6 ベーシックファクシミリ符号化方式
  ITU-T 勧告 T.81 JPEG（基本 DCT 方式のみ）
  PackBits（Apple Macintosh PackBits 方式）
- 対応していない符号化方式
  LZW
  ITU-T 勧告 T.82 JBIG
  ITU-T 勧告 T.43 JBIG
  ITU-T 勧告 T.44 MRC

リモート UI からダイレクトプリントするには

3 プリンタの使いかた

リモート UI から PDF ファイル、TIFF/JPEG 形式の画像ファイルを指定してダイレクトプリントすることができます。リモート UI については「リモート UI ガイド」を参照してください。

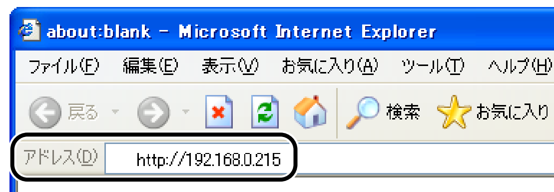


ダイレクトプリントを使用して印刷できない場合や印字位置がずれる場合でも、ファイルをアプリケーションソフトから開いてプリンタドライバを使用することで正しく印刷できる場合があります。

PDF ファイルをダイレクトプリントする場合

1 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレス> /

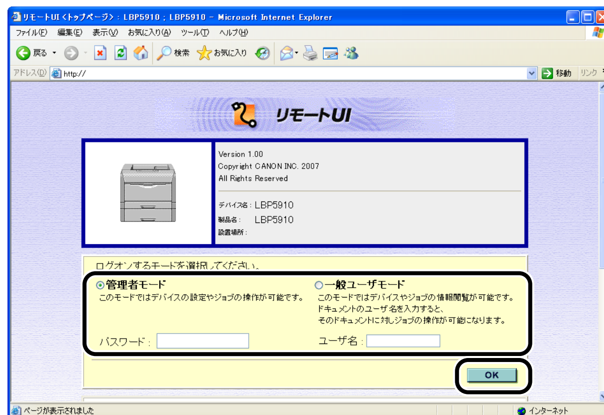




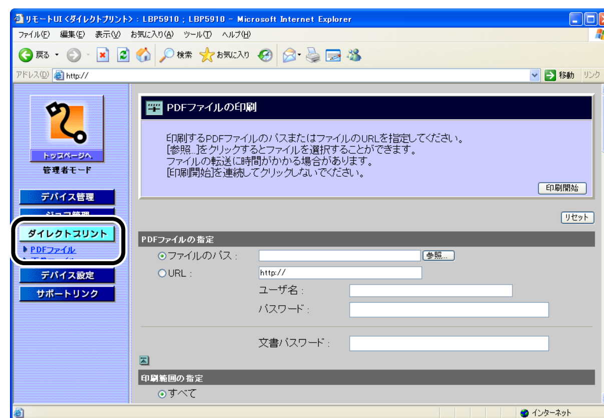
- プリンタの IP アドレスがわからないときは、ネットワーク管理者に相談してください。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSL による暗号化通信を利用してリモートUIによる設定を行う場合は、「https:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /」を入力します。［セキュリティ警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。
- SSL による暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

2 **リモートUIにログオンするモード（[管理者モード]または[一般ユーザモード]）を選択して、[OK]をクリックします。**

[管理者モード]を選択した場合は、「パスワード」を入力してから[OK]をクリックします。



3 **[ダイレクトプリント]メニューから[PDFファイル]を選択します。**

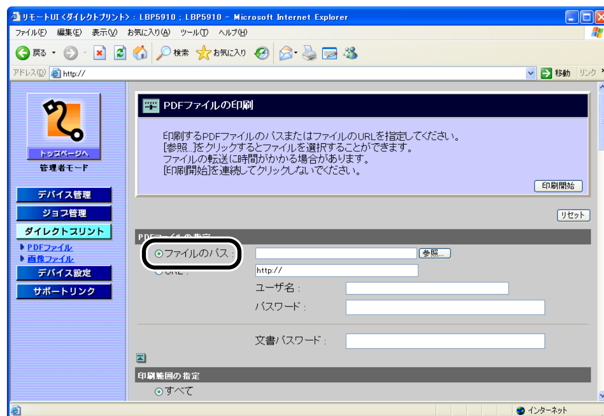


4 ［PDF ファイルの指定］を行います。

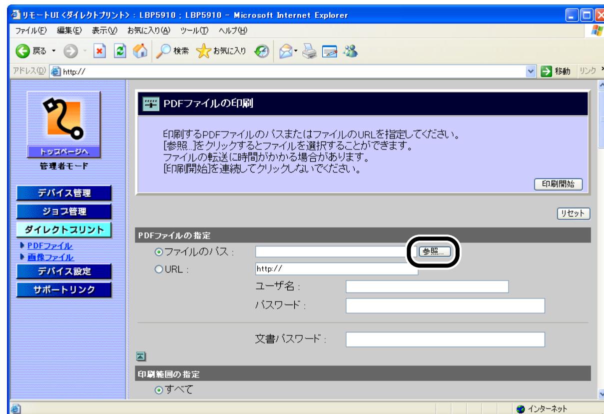
- ファイルのパスを指定する場合（→P.3-17）
- URL を指定する場合（→P.3-18）

● ファイルのパスを指定する場合

❑ ［ファイルのパス］を選択します。



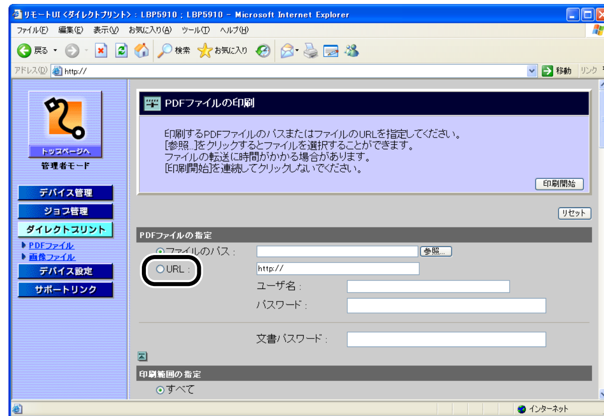
❑ ［参照］をクリックし、PDF ファイルを選択したあと、［開く］をクリックします。



❑ 手順５に進みます。

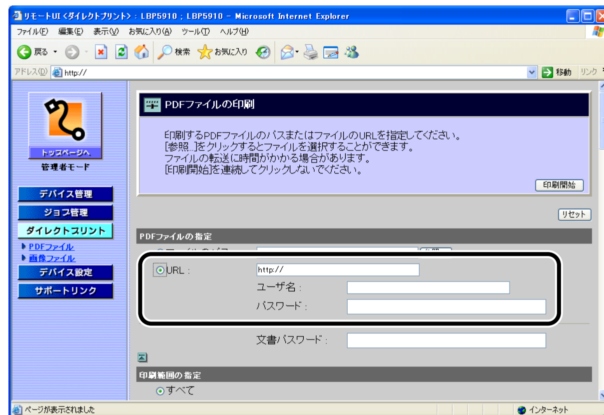
● URL を指定する場合

❑ ［URL］を選択します。



❑ 印刷したい PDF ファイルがある URL を入力します。

ユーザ認証が必要な URL を指定した場合は、[ユーザ名]、[パスワード] を入力します。

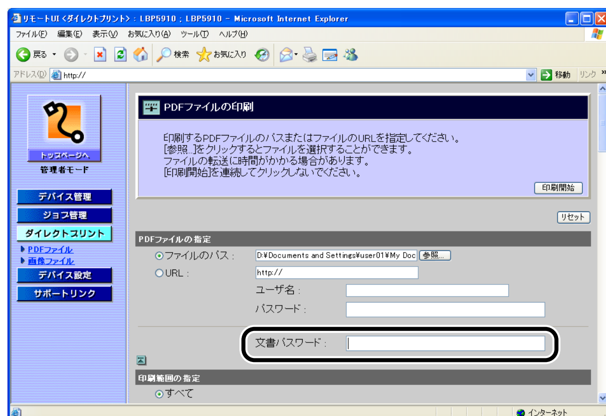


❑ 手順 5 に進みます。



- URL を指定して印刷する場合は、PDF のダウンロードが終了するか、Web サーバとの接続が切断されるまで次の印刷ジョブを行うことはできません。
- URL を指定して印刷する場合のプロトコルは、HTTP にのみ対応しています。

5 PDFファイルに、文書を開くためのパスワードが設定されている場合は、［文書パスワード］にパスワードを入力します。



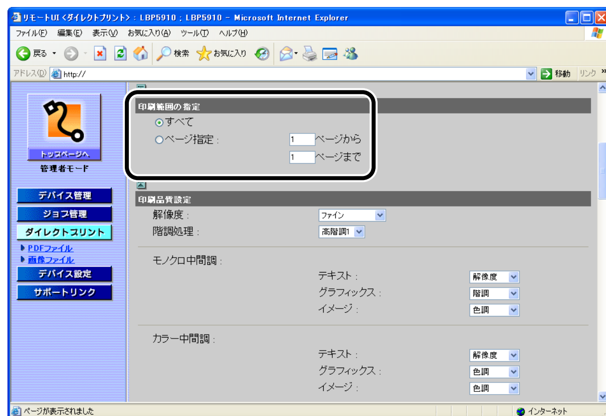


- 印刷が禁止されている PDF ファイルを印刷する場合は、マスタパスワードを［文書パスワード］に入力してください。
- セキュリティ設定を変更するためのパスワードだけが設定されている場合は入力する必要はありません。

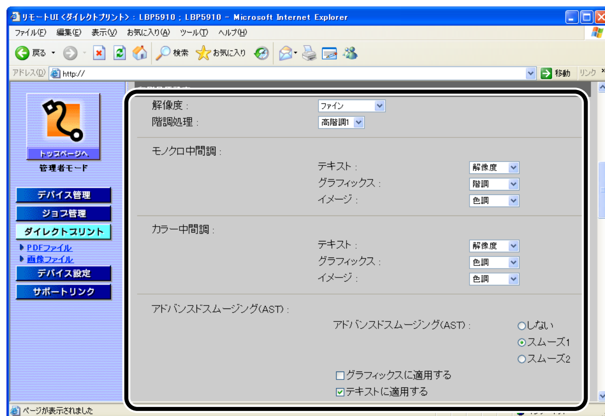
6 ［印刷範囲の指定］を設定します。

［すべて］を選択すると、すべてのページを印刷します。

［ページ指定］を選択し、ページ範囲を入力すると、入力したページの範囲のみ印刷します。

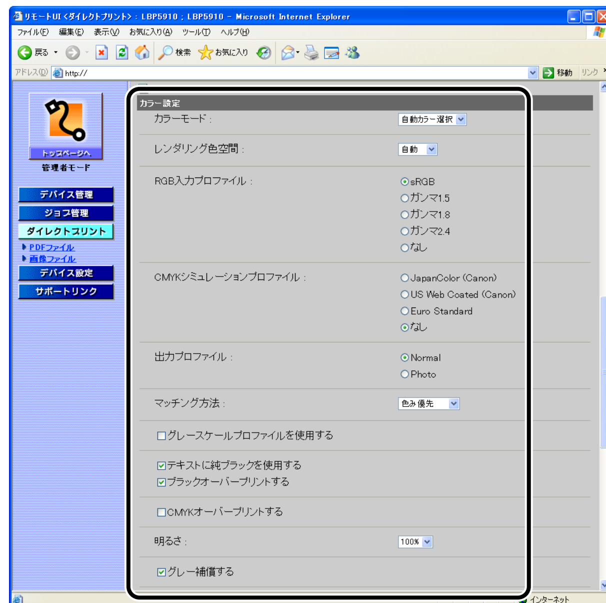


7 必要に応じて次の［印刷品質設定］を行ってください。



［解像度］	印刷データを処理するときの解像度を設定します。
［階調処理］	印刷するときの、データの階調処理の方法を設定します。写真などを一般的な品質で印刷するときは「高階調 1」に、より高い品質で印刷するときは「高階調 2」に設定すると効果的です。
［モノクロ中間調］	モノクロデータの微妙な階調（中間の階調）の表現方法を設定します。
［カラー中間調］	カラーデータの微妙な階調（中間の階調）の表現方法を設定します。
［アドバンスドスムージング（AST）］	グラフィックス（アプリケーションソフトで作成されたイラスト）や文字の輪郭を滑らかに印刷するスムージング処理を使用するかどうかを設定します。 ［グラフィックスに適用する］／［テキストに適用する］のチェックマークの有無で、スムージング処理を行う対象を選択することもできます。

8 必要に応じて次の［カラー設定］を行ってください。



［カラーモード］	カラー印刷を行うか、モノクロ印刷を行うかを選択します。
［レンダリング色空間］	PDF ファイルのレンダリング方法を設定します。
［RGB 入力プロファイル］	RGB データに対して、使用中のモニタに合わせて適切なプロファイルを選択します。
［CMYK シミュレーションプロファイル］	CMYK データを印刷する際にインク特性をシュミレートする設定を行います。
［出力プロファイル］	出力プロファイルを指定します。出力プロファイルは、すべての印刷データに適用されます。
［マッチング方法］	「RGB ソースプロファイル」が適用される際の色の調整方法を設定します。用途や好みによって調整方法を選択します。
［グレースケールプロファイルを使用する］	チェックマークを付けると、グレーのデータは本プリンタの「グレースケールプロファイル」を使って CMYK データに変換されます。
［テキストに純ブラックを使用する］	チェックマークを付けると、アプリケーションソフトによって作られたブラックをブラック（Bk）のトナーだけを使ってデータを印刷することができます。
［ブラックオーバープリントする］	チェックマークを付けると、ブラックのテキストをカラーの背景に重ねて印刷します。［テキストに純ブラックを使用する］と合わせて使用した場合、はじめに背景をすべて印刷し、その後でテキストをブラック（Bk）のトナーだけを使ってカラーの背景の上に重ねて印刷します。印刷したブラックのテキストの縁が白く抜ける現象を抑えます。

[CMYK オーバープリントする]	チェックマークを付けると、CMYK データを、コンポジット出力のままオーバープリントすることができます。
[明るさ]	画像全体の明るさを調整できます。設定値が小さくなるほど明るくなり、大きくなるほど暗くなります。
[グレー補償する]	グレーのデータをブラック（Bk）のみで印刷するかどうかを設定します。

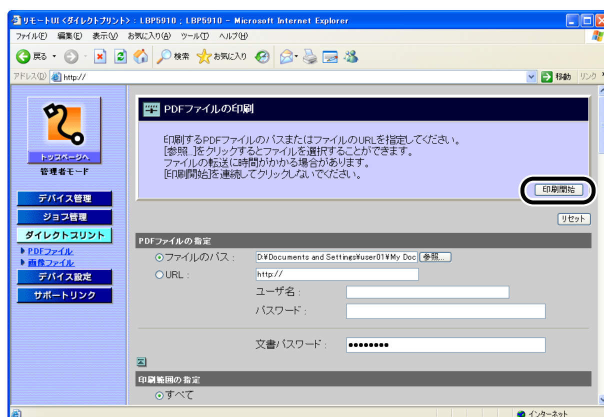
9 必要に応じて以下の［印刷設定］を行ってください。



[部数]	印刷する部数を「1」（部）〜「9999」（部）で入力します。
[用紙サイズ]	印刷する用紙のサイズを指定します。
[用紙タイプ]	印刷する用紙の種類を指定します。
[手差し固定]	チェックマークを付けると、給紙元を手差しトレイに固定することができます。
[サイズ調整印刷する]	チェックマークを付けると、PDF ファイルのページサイズが印刷できる範囲よりも大きい場合、印刷できる範囲におさまるようにページサイズを縮小して印刷します。また、PDF ファイルのページサイズが印刷できる範囲よりも小さい場合、印刷できる範囲いっぱいにページサイズを拡大して印刷します。
[印字領域拡大する]	有効印字領域を広げて印刷するかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、用紙の周囲に余白を入れずに、用紙の端まで有効印字領域を広げて印刷します。ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。
[両面印刷する]	自動で両面印刷をするかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、両面に印刷をします。
[とじ方向]	とじ方向を［短辺とじ］、［長辺とじ］から選択します。
[ページレイアウト]	複数ページの原稿を 1 枚の用紙に並べて印刷します。

［配置順］	「ページレイアウト」を使用する場合の設定です。ページを配置する順序を設定することができます。
［仕上げ］	［指定しない］を選択すると、ページごとに指定された部数を印刷します。［ソート］を選択すると、ページ順に指定された部数を繰り返して印刷します。 また、［ステイプルソート］（LBP5910F のみ）を選択すると、ページ順に印刷して、ステイプルします。
［製本する］	1 枚の用紙の両面にそれぞれ 2 ページずつ印刷し、2 つ折りにするだけで、そのまま本のように 1 ページ目から順序どおりにとじることができます（したがって、1 枚の用紙に表裏で 4 ページ分が印刷されることになります）。
［仕上がりの設定］	［製本する］にチェックマークを付けた場合のとじる方向の設定します。
［注釈印刷］	注釈を印刷するかどうかを設定します。
［ボックスに保管する］	プリンタのハードディスク（ボックス）に保管する場合は、チェックマークを付けて、保管先のボックスを選択します。

10 ［印刷開始］をクリックします。



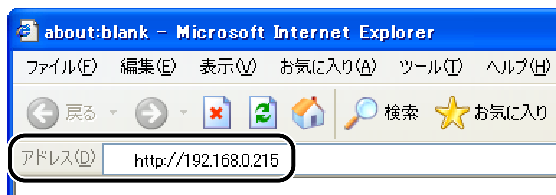


- 設定を工場出荷時の値に戻すときは［リセット］をクリックします。
- PDF ファイルの転送中に［印刷開始］を連続してクリックしないでください。PDF ファイルの転送には時間がかかる場合がありますが、転送中に連続してクリックすると、PDF ファイルに不具合が生じて転送できない場合があります。

画像ファイルをダイレクトプリントする場合

1 **Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

http:// <プリンタの IP アドレス> /

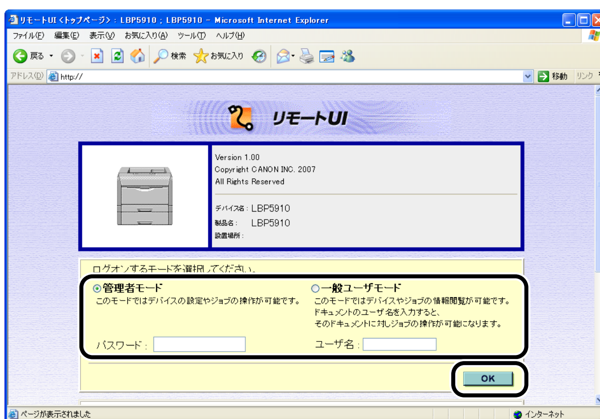




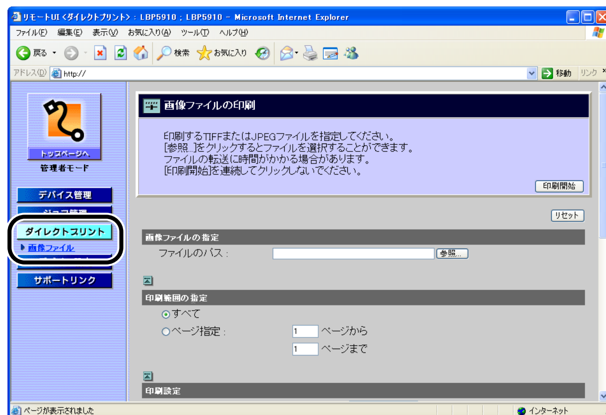
- プリンタの IP アドレスがわからないときは、ネットワーク管理者に相談してください。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSLによる暗号化通信を利用してリモートUIによる設定を行う場合は、「https:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /」を入力します。［セキュリティ警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。
- SSLによる暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

2 **リモート UI にログオンするモード（［管理者モード］または［一般ユーザモード］）を選択して、［OK］をクリックします。**

［管理者モード］を選択した場合は、「パスワード」を入力してから［OK］をクリックします。

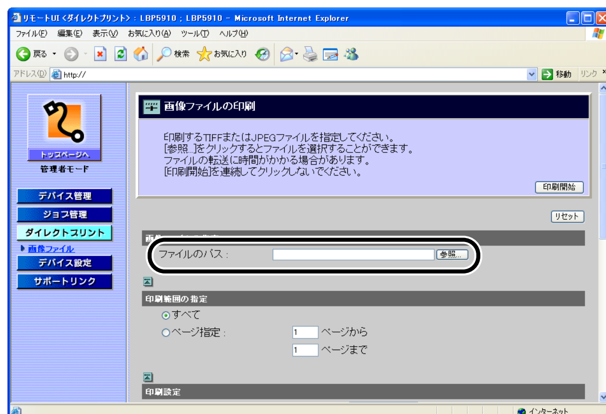


3 ［ダイレクトプリント］メニューから［画像ファイル］を選択します。



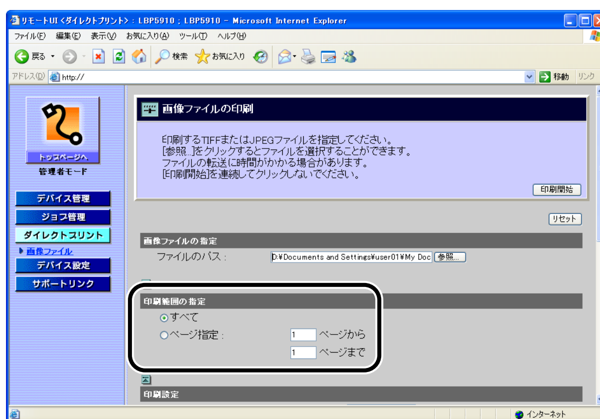
4 ［ファイルのパス］を設定します。

［参照］をクリックし、ファイルを選択したあと、［開く］をクリックします。



5 印刷範囲を指定します。

［印刷範囲の指定］を［すべて］にすると、指定されたファイルの全範囲を印刷します。
［印刷範囲の指定］を［ページ指定］にすると、印刷範囲をページ番号で指定して印刷します。印刷開始するページと印刷終了するページを入力します。



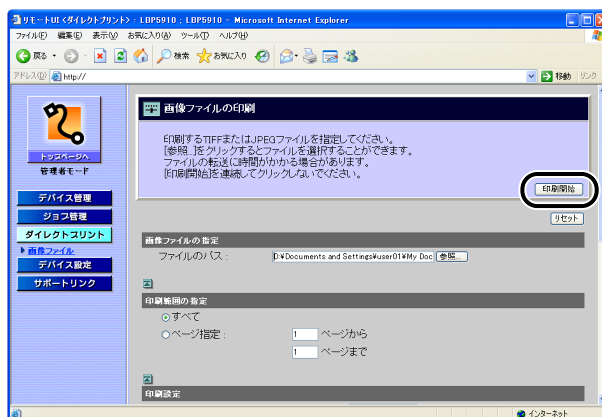
6 必要に応じて以下の［印刷設定］を行ってください。



［カラーモード］	カラー印刷を行うか、モノクロ印刷を行うかを選択します。
［部数］	印刷する部数を「1」（部）～「9999」（部）で入力します。
［用紙サイズ］	印刷する用紙のサイズを指定します。
［用紙タイプ］	印刷する用紙の種類を指定します。
［画像の向き］	印刷する画像の向きを［自動］、［縦］、［横］から選択します。

[印字位置]	画像を印字する位置を［自動］、［中央］、［左上］から選択します。［自動］を選択すると、TIFF 形式のデータで印字位置が指定されている場合は、指定された位置に印字します。印字位置が指定されていない場合は、中央に印字します。JPEG 形式のデータには印字位置の指定がないため、［自動］を選択した場合は、中央に印字されます。
[拡大 / 縮小]	有効印字領域に合わせて拡大 / 縮小印刷をするかどうかを［しない］、［自動］から選択します。
[印字領域拡大する]	有効印字領域を広げて印刷するかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、用紙の周囲に余白を入れずに、用紙の端まで有効印字領域を広げて印刷します。ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。
[両面印刷する]	自動で両面印刷をするかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、両面に印刷をします。
[とじ方向]	両面印刷時のとじ方向を［短辺とじ］、［長辺とじ］から選択します。
[警告表示]	エラー発生時の警告表示方法を［印刷］、［パネル］、［しない］から選択します。 ［印刷］：エラーの内容を用紙に印刷しジョブを終了します。 ［パネル］：プリンタのディスプレイにエラーメッセージが表示され印刷を停止します。 ［しない］：エラーが発生しても何も表示を行わずにジョブを終了します。
[印字保証する]	TIFF データに対しての印字保証をするかどうかを設定します。（ハードディスクを使用している場合にのみ表示されます。）
[Exif 補正する]	デジタルカメラで撮影したときの設定情報を元に補正を行うかどうかを設定します。

7 ［印刷開始］をクリックします。





● 設定を工場出荷時の値に戻すときは［リセット］をクリックします。

- 画像ファイルの転送中に［印刷開始］を連続してクリックしないでください。画像ファイルの転送には時間がかかる場合がありますが、転送中に連続してクリックすると、画像ファイルに不具合が生じて転送できない場合があります。

コマンドプロンプトからダイレクトプリントするには

コマンドプロンプトから LPR でダイレクトプリントを行うことができます。

次の書式でコマンドを入力します。その他のコマンドはご使用になれません。

lpr （スペース）-P （スペース）＜プリンタ名＞ （スペース）＜ファイル名＞

プリンタ名： プリンタの名称を入力します。プリンタの名称は、次の方法で確認できます。

1. Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押す
   http:// ＜プリンタの IP アドレス＞ /
2. ［デバイス管理］メニューから、［情報］をクリックする
3. ［デバイス情報］の［デバイス名］を確認する

ファイル名： 印刷するファイルのファイル名を入力します。

＜入力例：プリンタ名が「LBP-Printer」、ファイル名が「sample.txt」の場合＞

lpr -P LBP-Printer sample.txt



プリンタの操作パネルで設定した設定項目は有効になります。ダイレクトプリントでご使用になれる設定項目は次のセットアップメニューです。各メニューの設定項目については「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

・共通セットアップメニュー

・IMAGING 専用セットアップメニュー

・PDF1.5 専用セットアップメニュー

E メール印刷について（ハードディスク装着時のみ）

E メール印刷とは

E メール印刷は、ホスト端末から本プリンタ宛に送信された E メールをプリンタが受信して、E メールの本文や添付されたファイルを印刷する機能です。したがって、プリンタドライバを使用したり、添付ファイルを開いて印刷する必要がありません。

使用できるプロトコル	必要な条件
POP3	POP3 プロトコルの UIDL コマンドをサポートしている必要があります。 次の場合は、メールサーバへはアクセスしますが、E メールを受信することはできません。メールサーバについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ・UIDL コマンドがサポートされていない場合 ・UIDL コマンドの応答が「negative("-ERR")」の場合
	次のいずれかの方法で「POP3 受信」の設定を「オン」にしてください。* ・プリンタの操作パネル（→ LIPS 機能ガイド） ・リモート UI、FTP クライアント（→ネットワークガイド／本編）
SMTP	プリンタの IP アドレスを設定してください。（→ネットワークガイド／本編）
	次のいずれかの方法で「SMTP 受信」の設定を「オン」にしてください。* ・プリンタの操作パネル（→ LIPS 機能ガイド） ・リモート UI、FTP クライアント（→ネットワークガイド／本編）

* その他の設定項目については、「E メール印刷の設定項目」（→P.3-31）を参照して、必要に応じて設定してください。

重要

- E メール印刷には次の制限があります。
  - ・印刷可能な添付ファイルの形式は、TIFF または JPEG のみです。
  - ・印刷可能な添付ファイルのファイルサイズは、1 ファイルあたり 100MB までです。100MB を超える添付ファイルは、印刷されません。
  - ・添付ファイルの数は、1 メールにつき 14 個までです。14 個を超えた場合は、14 個目まで印刷され、15 個目以降の添付ファイルは印刷されません。
  - ・HTML 形式のメール本文は印刷されません。
  - ・E メールの本文データが 25MB を超える場合、メールの本文は印刷されません。
  - ・E メールの本文には、メールヘッダの情報も併せて印刷されます。
  - ・E メールの本文で 1 行（改行なし）全角 499 文字、半角 998 文字を超える場合、自動的に改行されるため、次行の文字が正しく印刷されないことがあります。
- 本プリンタの E メール印刷では、JPEG データは ITU-T 勧告 T.81 の仕様に対応しています。TIFF データは Adobe TIFF Revision6.0、IETF RFC2301（File Format for Internet FAX）の仕様に対応しています。
- 本プリンタの E メール印刷は、Internet FAX Simple Mode に対応しています。

- 本プリンタでは、JPEG データの符号化方式の対応は、次のようになっています。
  - ･対応している符号化方式
    基本 DCT 方式
  - ･対応していない符号化方式
    拡張 DCT 方式
    可逆方式
    ハイアラーキカル方式
- 本プリンタでは、TIFF データの符号化方式の対応は、次のようになっています。
  - ･対応している符号化方式
    非圧縮
    ITU-T 勧告 T.4 一次元符号化方式
    ITU-T 勧告 T.4 二次元符号化方式
    ITU-T 勧告 T.6 ベーシックファクシミリ符号化方式
    ITU-T 勧告 T.81 JPEG（基本 DCT 方式のみ）
    PackBits（Apple Macintosh PackBits 方式）
  - ･対応していない符号化方式
    LZW
    ITU-T 勧告 T.82 JBIG
    ITU-T 勧告 T.43 JBIG
    ITU-T 勧告 T.44 MRC
- 本プリンタでは、エンコード形式の対応は、次のようになっています。
  - ･7bit
  - ･8bit
  - ･binary
  - ･quoted-printable
  - ･base64
  - ･uuencode
  - ･x-uuencode
- 本プリンタでは、文字セットの対応は、次のようになっています（文字セットの指定がない場合は、「us-ascii」で処理されます）。
  - ･iso-2022-jp
  - ･Shift_JIS
  - ･SJIS
  - ･EUC-JP
  - ･eucJP
  - ･us-ascii

E メール印刷の設定項目

E メール印刷に関する設定は、次の通りです。プリンタの操作パネル、リモート UI、FTP クライアントから設定することができます。詳しい設定内容については、「LIPS 機能ガイド」、「リモート UI ガイド」、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。

■ POP3 プロトコル使用時の設定

設定項目	設定内容	設定方法		
		操作パネル	リモート UI	FTP クライアント
POP3 サーバ名	E メールを受信するサーバ名または IP アドレスを設定します。	×	○	○
POP3 ユーザ名	E メールを受信するユーザ名を設定します。	×	○	○
POP3パスワード	E メールを受信するユーザ名のパスワードを設定します。	×	○	○
POP3 受信間隔	E メールを受信するサーバへ自動的に接続する間隔を分単位で設定します。	○	○	○
POP3 受信	E メール印刷機能を有効にするかどうかを選択します。	○	○	○
POP3 サーバのポート番号	E メールを受信するサーバのポート番号を設定します。	×	○	○
E メール受信	E メールの手動受信を行います。	○	○	×

■ SMTP プロトコル使用時の設定

設定項目	設定内容	設定方法		
		操作パネル	リモート UI	FTP クライアント
SMTP 受信	E メール印刷機能を有効にするかどうかを選択します。	○	○	○
SMTP サーバのポート番号	E メールを受信するサーバのポート番号を設定します。	×	○	○

■ その他の設定

設定項目	設定内容	設定方法		
		操作パネル	リモートUI	FTP クライアント
印刷履歴リスト	E メール印刷の履歴を印刷します。	○	○	×
E メール通信エラー	E メール印刷時に受信エラーが発生したとき、メッセージの表示やランプの点滅をさせるかどうかを設定します。	○	×	×
E メール本文印刷	E メール印刷時に、E メールの本文を印刷するかどうかを設定します。	○	×	×
E メール印刷制限	E メール本文の印刷枚数を制限するかどうかを設定します。	○	×	×

E メール印刷をするには

E メールを受信して印刷する方法は、使用しているプロトコルによって異なります。

- POP3 プロトコルを使用している場合（➞P.3-32）
- SMTP プロトコルを使用している場合（➞P.3-35）

POP3 プロトコルを使用している場合

E メールを受信して印刷する方法は、次の 2 種類あります。

■ 自動的に E メールを受信して、E メール印刷を行う

プリンタの操作パネル、リモート UI、FTP クライアントのいずれかの方法で、「POP3 受信間隔」を設定します。「POP3 受信間隔」で設定された間隔で、自動的にメールサーバへ接続して E メールを受信し、E メール印刷を行います。

- プリンタの操作パネル（➞ LIPS 機能ガイド）
- リモート UI、FTP クライアント（➞ネットワークガイド／本編）

■ 手動で E メールを受信して、E メール印刷を行う

プリンタの操作パネル、リモート UI のどちらかの方法で、手動でメールサーバへ接続して E メールを受信し、E メール印刷を行います。

- プリンタの操作パネル

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［◀］、［▶］を押して「E メールインサツユーティリティ」を表示します。
4. ［OK］を押します。
5. ［◀］、［▶］を押して「E メールジュシン」を表示します。
6. ［OK］を押します。

- リモート UI

次の手順で、リモート UI から手動で E メールを受信して、E メール印刷を行うことができます。リモート UI については「リモート UI ガイド」を参照してください。

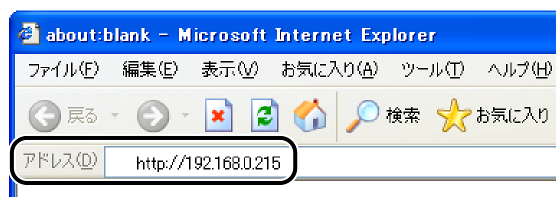


- オンライン時にのみ、E メールを受信することができます。
- 「POP3 受信間隔」で自動的に E メールを受信するように設定していても、手動で E メールを受信することができます。ただし、E メールの受信中に、手動で E メールを受信しようとしても無視されます。

---

1 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレス> /

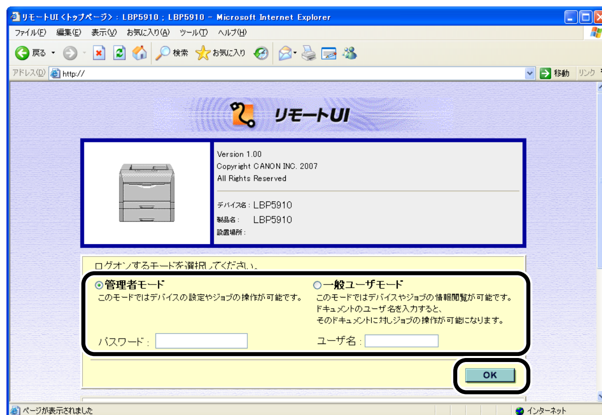




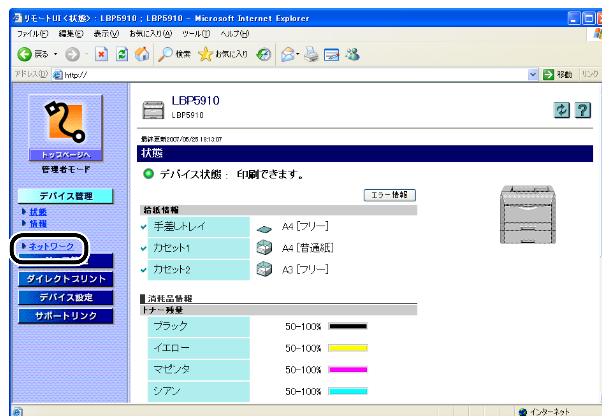
- プリンタの IP アドレスがわからないときは、ネットワーク管理者に相談してください。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http:// my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /」を入力します。［セキュリティ警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。
- SSL による暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

2 リモートUIにログオンするモード（[管理者モード]または[一般ユーザモード]）を選択して、[OK]をクリックします。

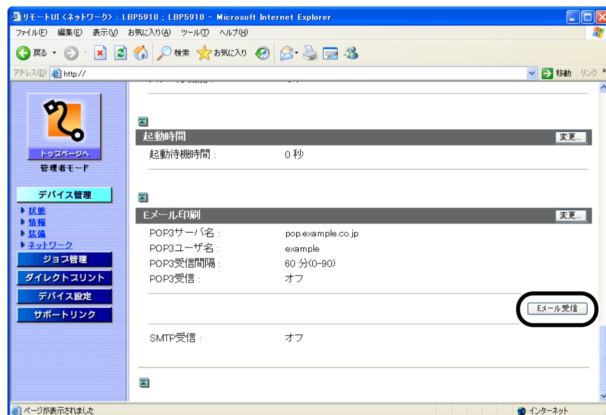
[管理者モード]を選択した場合は、「パスワード」を入力してから[OK]をクリックします。



3 [デバイス管理]メニューから、[ネットワーク]をクリックします。



4 ［E メール受信］をクリックします。



メールサーバへ接続されます。本プリンタ宛の E メールを受信し、E メール印刷が行われます。

SMTP プロトコルを使用している場合

E メールを受信すると、自動的に E メール印刷を行います。

メモ　SMTP プロトコルを使用している場合、E メールを手動で受信する必要はありません。

E メール受信履歴を印刷するには

E メールの受信履歴を印刷することができます。受信履歴には、件名や送信元などが印刷されます。E メールの受信履歴の印刷は、プリンタの操作パネル、リモート UI のどちらかの方法で行います。

- プリンタの操作パネル

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. [ユーティリティ] を押してユーティリティメニューを表示します。
3. [◀]、[▶] を押して「E メールインサツユーティリティ」を表示します。
4. [OK] を押します。
5. [◀]、[▶] を押して「ジュシンリレキリスト」を表示します。
6. [OK] を押します。

- リモート UI

次の手順で、リモート UI から E メールの受信履歴を印刷することができます。リモート UI については「リモート UI ガイド」を参照してください。

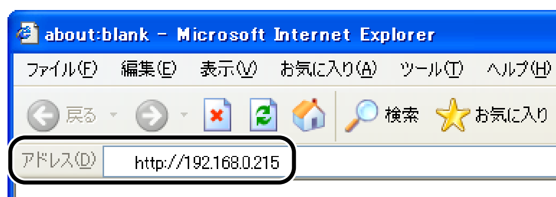
重要 セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD　メンテナンス」で、ハードディスクをフォーマットすると、すべての E メール受信履歴が削除されます。

メモ
- 最大 96 通までの E メール受信履歴を印刷することができます。
- 何らかの理由で正常に E メール印刷が行われなかった場合は、E メール受信履歴の「受信結果」にエラーコードが印刷されます。エラーコードの詳細については、「E メール印刷ができなかったときには」(➞P.3-38) を参照してください。

---

1 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。

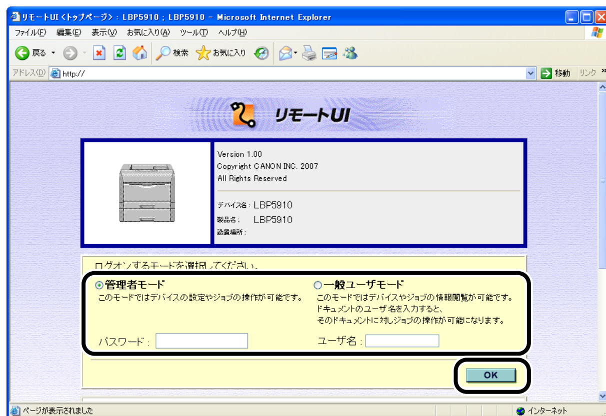
http:// <プリンタの IP アドレス> /



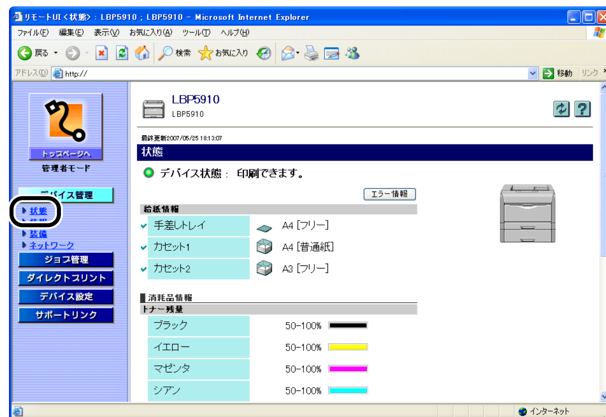
メモ
- プリンタの IP アドレスがわからないときは、ネットワーク管理者に相談してください。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに [ホスト名 . ドメイン名] で入力することもできます。
  例：http:// my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /」を入力します。[セキュリティ警告] ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。

- SSLによる暗号化通信は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

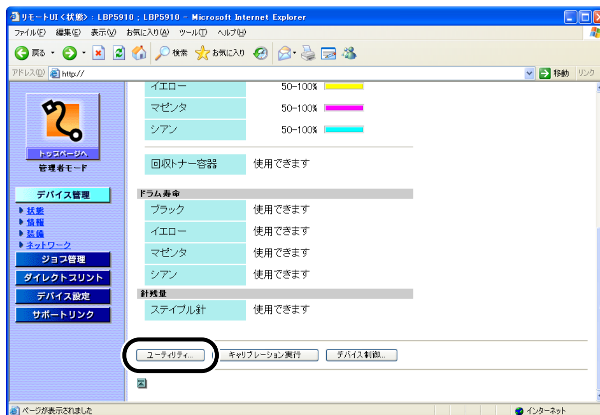
2 ［管理者モード］を選択し、［パスワード］を入力して、［OK］をクリックします。



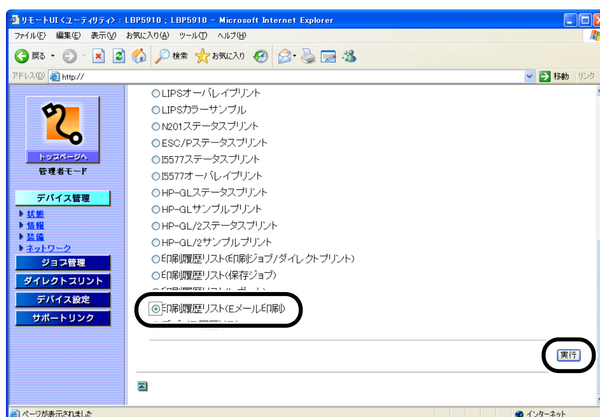
3 ［デバイス管理］メニューから、［状態］をクリックします。



4 ［状態］ページの［ユーティリティ］をクリックします。



5 ［印刷履歴リスト（E メール印刷）］を選択し、［実行］をクリックします。



E メール受信履歴が印刷されます。

E メール印刷ができなかったときには

何らかの理由で正常に E メール印刷が行われなかった場合は、プリンタのディスプレイやリモート UI、N/W ステータスプリントにエラーメッセージか、E メール受信履歴にエラーコードが表示されます。表示されたエラーメッセージ、エラーコードに応じて、次のような処置を行ってください。



- リモート UI のエラーメッセージは、［デバイス管理］メニューの［ネットワーク］ページにある［E メール印刷］に表示されます。
- N/W ステータスプリントの印刷方法については、LIPS 機能ガイド「第 9 章 付録」を、E メール受信履歴の印刷方法については「E メール受信履歴を印刷するには」(➞P.3-36) を参照してください。

■ ディスプレイ、リモート UI、N/W ステータスプリントに表示されるエラーメッセージ

エラーメッセージ		原　因	処　置
ディスプレイ	リモート UI、N/W ステータスプリント		
EM　サーバセッテイ　エラー	POP3 サーバ接続エラー	E　メール印刷時、POP3 サーバに接続できなかった	次のことを確認してください。 ・リモート UI の［ネットワーク］ページにある次の設定が正しいか -［E メール印刷］の［POP3 サーバ名］と［POP3 サーバのポート番号］ -［TCP/IP］の DNS ・POP3 サーバ、DNS サーバが正常に動作しているか
	POP3　サーバユーザ名エラー	E　メール印刷時、POP3　サーバでユーザ名の認証に失敗した	次のことを確認してください。 ・リモート UI の［ネットワーク］ページにある［E メール印刷］の［POP3 ユーザ名］の設定が正しいか ・POP3 サーバにユーザ名が正しく登録されているか
	POP3 サーバパスワードエラー	E　メール印刷時、POP3 サーバでパスワードの認証に失敗した	次のことを確認してください。 ・リモート UI の［ネットワーク］ページにある［E メール印刷］の［POP3 パスワード］の設定が正しいか ・POP3 サーバにパスワードが正しく登録されているか
	POP3　サーバ UIDL エラー	E　メール印刷時、POP3　サーバが UIDL コマンドをサポートしていないため接続できなかった	UIDL に対応している POP3 サーバをご使用ください。
	SMTP サーバ接続エラー	E　メール印刷時、SMTP サーバに接続できなかった	次のことを確認してください。 ・リモート UI の［ネットワーク］ページにある次の設定が正しいか -［E メール印刷］の［SMTP サーバのポート番号］ -［TCP/IP］の DNS ・SMTP サーバ、DNS サーバが正常に動作しているか
EM　E メールアクセス　エラー	－	POP3　サーバのハードディスクにエラーがあるため、POP3 サーバに接続できなかった	POP3 サーバのハードディスクのエラーを解消してください。

■ E メール受信履歴に表示されるエラーコード *

* 複数のエラーが発生した場合は、優先順位の高いエラー（高：407 ＞低：499）のみが表示されます。

エラーコード	原　因	処　置
407	Eメール受信時に5分以上、応答がなかった	・ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ・同じ E メールのデータで何度もエラーが発生する場合は、E メールのデータが正常かどうかを確認してください。
	E メール受信中、10 分間に 1Kbyte(1024byte) のデータを受信できなかった	
408	POP サーバから「ERR」の応答が返ってきた	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
412	Eメール受信時に5分以上、応答がなかった	・ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ・同じ E メールのデータで何度もエラーが発生する場合は、E メールのデータが正常かどうかを確認してください。
420	E メールのデータサイズが 1.5GB を超えた	E メールのデータを 1.5GB 以下にしてください。
421	E メールの本文のサイズが 25MB を超えた	E メールの本文を減らしてください。
422	添付ファイルのファイルサイズが 100MB を超えた	添付ファイルのファイルサイズを 100MB 以下にしてください。
423	非サポートの形式の添付ファイルが送られてきた	添付ファイルの形式を TIFF または JPEG にしてください。
424	添付ファイルが 14 個を超えた	添付ファイルの数を 14 個以内にしてください。
430	送信者が不明の E メールが送られてきた	送信者を入力してください。
431	対応していないエンコードや文字コードが含まれた E メールが送られてきた	本プリンタに対応したエンコード、文字コードにしてください（➞P.3-29）。
	対応していないマルチパートメールを受信した	マルチパートメールのコンテンツタイプを本プリンタに対応した次のタイプにしてください。 ・multipart/mixed ・multipart/parallel ・multipart/alternative ただし、ネストした場合は multipart/mixed の中で multipart/alternative が指定された場合のみ対応します。
432	不正なデータが送られてきた	送信したEメールのデータが正常かどうかを確認してください。
433	HTML形式のE メールが送信された	本プリンタは HTML 形式の E メールには対応していません。

エラーコード	原　因	処　置
434	Eメールの本文がない	本文を入力してください。
440	何らかの理由でジョブがキャンセルされた	再度、Eメールを送りなおしてください。
441	処理中に何らかのエラーが発生した	再度、Eメールを送りなおしてください。
499	プリンタに何らかのエラーが発生した	「メッセージ一覧」(➞P.6-32)を参照してください。

ジョブの印刷と保存について（ハードディスク装着時のみ）

本プリンタにオプションのハードディスクを取り付けると、本プリンタ用の LIPS プリンタドライバでさまざまな印刷ジョブの処理機能を利用できるようになります。

メモ　DOS アプリケーション、UNIX などプリンタドライバを使用できないコンピュータや BMLinkS プリンタドライバでは、この機能を利用することはできません。印刷ジョブは、［印刷］モードで処理されます。

ジョブの処理方法の種類

本プリンタ用のプリンタドライバでは、次のような機能を利用することができます。

メモ
- ハードディスクに保存可能なジョブ数や容量を超えると「53　セキュアプリント　エラー」や「53　ホゾン　エラー」のメッセージが表示されます。これらのメッセージが表示されたときは次の操作を行います。
  1. ［オンライン］を押してエラースキップする（エラースキップしたジョブは削除されます）。
  2. ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除する
  3. セキュアプリントやジョブを保存する
- データ通信時のセキュリティを強化した「暗号化セキュアプリント」機能を使用する場合は、「暗号化セキュアプリントドライバ Add-in」をインストールする必要があります。インストール方法は、付属の CD-ROM 内の「Readme.txt」を参照してください。

■［印刷］モード

通常の印刷を行います。

メモ　このモードは、ハードディスクを使用しなくても利用することができます。

■［セキュアプリント］モード

印刷ジョブにユーザ名とパスワードを設定できるモードです。印刷ジョブは、プリンタのハードディスクに保存され、プリンタの操作パネルやリモート UI からの操作でパスワードを入力して印刷できます。機密書類など他人に印刷結果を見られたくないときに便利です。

メモ
- ［セキュアプリント］モードでハードディスクに保存したジョブは、次の場合に消去されます。
  - ･プリンタの電源を切った場合
  - ･ハードリセットまたはソフトリセットの操作を行った場合
  - ･セキュアプリントのジョブを印刷した場合
  - ･一定時間内にプリンタの操作パネルやリモート UI で印刷操作を行わなかった場合

- 一定時間内にプリンタの操作パネルやリモート UI で印刷操作を行わなかった場合に自動消去されるまでの時間は、工場出荷時は 1 時間に設定されています。消去するまでの時間は変更することができます。詳細については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■［保存］モード

印刷ジョブをプリンタのハードディスク（ボックス）に保存するモードです。保存したジョブを印刷するには、プリンタの操作パネルやリモート UI でボックス内のジョブを指定します。リモート UI では、印刷時に部数などを指定できるので、よく使うフォームなどを印刷するときに便利です。また、保存時に保存するボックスを指定できるので、用途別にジョブを分けることができます。



［保存］モードで印刷した印刷ジョブはハードディスクに保存され、電源を切っても消去されません。消去したい場合はリモート UI で操作してください。

■［割り込み印刷］モード

今処理中の印刷ジョブを止めて先に印刷するモードです。止められた印刷ジョブは、プリンタのハードディスクに保持され、割り込み印刷の印刷ジョブが終わると、印刷しなおされます。



- すでに割り込み印刷の印刷ジョブを処理している場合は、さらに割り込んで先に印刷することはできません。
- LBP5910F は、処理中の印刷ジョブの次に割り込んで印刷されます（処理中の印刷ジョブを止めて先に印刷することはできません）。

■［編集＋プレビュー］モード

複数の印刷ジョブを［Canon PageComposer］で編集して印刷するモードです。編集機能では、ページを入れ替えたり、印刷結果のプレビューを表示したり、部数などを指定して印刷することができます。簡易製本用に印刷したいときや、複数のアプリケーションソフトやファイルから印刷したものを 1 冊に編集して印刷したいときに便利です。



このモードは、ハードディスクを使用しなくても利用することができます。

パスワードを設定して印刷する（セキュアプリント／暗号化セキュアプリント）

セキュアプリントや暗号化セキュアプリントは、パスワードをかけたジョブをプリンタに保存し、そのジョブをプリンタの操作パネルやリモート UI から印刷します。リモート UI の操作については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
ここでは、プリンタの操作パネルを使って印刷する手順を説明します。

1 **プリンタドライバで、セキュアプリントまたは暗号化セキュアプリントを印刷します。**



- セキュアプリントは、プリンタドライバで［セキュアプリント］を選択し、ユーザ名とパスワードを入力して印刷します。

- セキュアプリントのユーザ名は半角英数字で 15 文字以内、パスワードは数字で 1 文字以上 7 文字以下で入力します。
- 暗号化セキュアプリントのパスワードの文字制限およびジョブの印刷方法については、暗号化セキュアプリントドライバのヘルプを参照してください。
  ヘルプは、暗号化セキュアプリントドライバのインストール後にプリンタドライバから表示することができます。

2 印刷するときは、プリンタの所へ行きます。



- セキュアプリントジョブ／暗号化セキュアプリントジョブは、次の場合に消去されます。
  - ・プリンタの電源を切った場合
  - ・ハードリセットまたはソフトリセットの操作を行った場合
  - ・セキュアプリントジョブ／暗号化セキュアプリントジョブを印刷した場合
  - ・一定時間内にプリンタの操作パネルやリモート UI で印刷操作を行わなかった場合
- 一定時間内にプリンタの操作パネルやリモート UI で印刷操作を行わなかった場合に自動消去されるまでの時間は、工場出荷時は 1 時間に設定されています。消去するまでの時間は変更することができます。詳細については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。



3 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンラインになっていない場合、［オンライン］を押します。



4 ［ジョブ］を押します。

```
ｼﾞｮﾌﾞ
▼
ｾｷｭｱ ﾌﾟﾘﾝﾄ          →
```

ジョブメニュー項目が表示されます。







5 ［◄］、［►］で「セキュア　プリント」または「アンゴウカセキュアプリント」を選択し、［OK］を押します。

```
ｾｷｭｱ ﾌﾟﾘﾝﾄ          →
▼
UserName            →
```



6 ユーザ名が表示された場合は、［◄］、［►］で目的のユーザ名を選択し［OK］を押します。

UserName →

FileName.txt →



7 ファイル名が表示された場合は、［◄］、［►］で目的のファイル名を選択し、［OK］を押します。

SecretList.doc →

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ



8 ［パスワード］と表示されますので［OK］を押します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ

_



9 ［▲］、［▼］で数字を選択し、［◄］、［►］で桁を移動させます。

この操作を繰り返してパスワードを入力してください。

1

1_



- 操作パネルからは数字のみが入力可能です。
- 暗号化セキュアプリントドライバのバージョンによっては、パスワードに英文字・記号を設定することができます。パスワードに英文字・記号が設定されている場合は、リモートUIから暗号化セキュアプリントのジョブを印刷してください（➞リモートUIガイド）。



10 設定したパスワードを入力し終わったら、［OK］を押します。

1234

指定したファイルが印刷されます。パスワードが違うと、入力したパスワードの表示が消去されるので、入力しなおしてください。

ボックスに保存したジョブを印刷する（保存ジョブプリント）

保存ジョブプリントは、プリンタドライバから［保存］でプリンタのハードディスク（ボックス）にジョブ保存した後、プリンタの操作パネルやリモート UI を使って印刷します。リモート UI の操作については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
ここでは、プリンタの操作パネルを使って印刷する手順を説明します。

メモ
- 保存ジョブは印刷しても、ハードディスクに残ります。保存ジョブの消去は、リモート UI で行ってください。（→リモート UI ガイド）
- 保存するデータの名称は、プリンタドライバで印刷時に変更することができます。名称は半角英数字で24文字以内で入力します。名称に全角文字を入力すると、操作パネルのディスプレイには正しく表示されません。

---

1 **プリンタドライバで［保存］を選択し、保存するボックスを指定して、印刷します。**

メモ 保存ジョブはすべてのボックス内のジョブを合わせて、100 ジョブまで保存できます。

2 **印刷するときは、プリンタの所へ行きます。**



3 **プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。**

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。



4 **［ジョブ］を押します。**

ｼﾞｮﾌﾞ
▼
ｾｷｭｱ ﾌﾟﾘﾝﾄ →

ジョブメニュー項目が表示されます。







5 **［◀］、［▶］で「ホゾンジョブ　プリント」を選択し、［OK］を押します。**

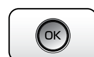
ﾎｿﾞﾝｼﾞｮﾌﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ→
▼
Box NO.0 →



6 ［◀］、［▶］でジョブが保存されているボックス番号を選択し［OK］を押します。

Box NO.2 →

FileName.txt →



7 ［アンショウバンゴウ］と表示された場合は、［OK］を押します。

ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳ

_

［▲］、［▼］で数字を選択し、［◀］、［▶］で桁を移動させます。

この操作を繰り返して暗証番号を入力してください。

1

1_



8 ［◀］、［▶］で目的のファイル名を選択し、［OK］を押します。

ListFile.doc →

指定したファイルが印刷されます。

画質について

本プリンタは解像度や階調を設定することにより印刷する画質を変更することができます。



BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、画質の設定方法が異なります。詳しくは、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

解像度モードの種類

各解像度モードには、それぞれ次のような特長があります。

■ スーパーファインモード

スーパーファインモードは、超微粒子スーパーファイントナーとスーパーレーザチップ、高速 RISC プロセッサにより実現した、リアル 1200dpi の超高解像度モードです。きめ細かい解像力で文字や図形輪郭をリアルに再現できます。特に小さい文字が多く含まれるデータを印刷するのに適したモードです。



スーパーファインモードで印刷する場合は、印刷速度が約半分に低下します。



- スーパーファインモードは、LIPS LX プリンタドライバからの印刷時に使用可能です。その他のエミュレーションモードでは使用できません。
- スーパーファインモードで印刷する際には、処理に多くのメモリを必要とします。このため、データの量や種類によっては「39　スプールメモリフル」と表示されて印刷できないことがあります。その場合は、次の処置を行ってください。
  - ・「解像度」を「ファイン」に、「階調処理」を「コウカイチョウ 1」に設定して印刷しなおす
  - ・必要に応じて、拡張 RAM を増設する（➞ 拡張 RAM：P.1-15）

■ ファインモード

ファインモードは、600dpi の高解像度モードです。キヤノン独自の新スーパースムージングテクノロジーにより、文字や線画などの線や階調を滑らかに再現できます。一般的な文書や表を高速に印刷する場合に適したモードです。

階調モードの種類

階調モードには、標準モード、高階調モード 1、高階調モード 2 の 3 つのモードがあり、工場出荷時は高階調モード 1 に設定されています。各モードには、それぞれ次のような特長があります。

■ 標準モード（スーパーファインモード時のみ）

解像度モードをスーパーファインモードに設定した場合、このモードで印刷されます。

■ 高階調 1 モード（ファインモード時のみ）
写真などを一般的な品質で印刷する場合に適したモードです。

■ 高階調 2 モード（ファインモード時のみ）
高階調 1 モードより高い品質で印刷する場合に適したモードです。



高階調モード 2 で印刷する際には、処理に多くのメモリを必要とします。このため、データの量や種類によっては「39　スプールメモリフル」と表示されて印刷できないことがあります。その場合は、次の処置を行ってください。

・「階調処理」を「コウカイチョウ 1」に設定して印刷しなおす
・必要に応じて、拡張 RAM を増設する（➞ 拡張 RAM：P.1-15）

解像度モードを設定する

■ Windows から印刷する場合
プリンタドライバで次の設定を行います。初期値は「ファイン」に設定されています。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1. プリンタドライバの［印刷品質］ページを表示する
2. ［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］をクリックする
3. ［ユーザ設定］ダイアログボックスの［解像度］で解像度モードを設定する

■ Macintosh から印刷する場合
プリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX から印刷する場合
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、プリンタの操作パネルで次の手順を行います。初期値は「ファイン」に設定されています。

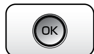


1 ［セットアップ］を押します。









2 ［◀］、［▶］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［OK］を押します。



印字調整グループの設定項目が表示されます。



3 ［◄］、［►］で「カイゾウド」を選択し、［OK］を押します。



解像度モードの設定値が表示されます。



4 ［◄］、［►］で目的の解像度モードを選択し、［OK］を押します。



解像度モードが変更されます。

階調モードを設定する

■ Windows から印刷する場合

プリンタドライバで次の設定を行います。初期値は「パネル優先」に設定されています。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1. プリンタドライバの［印刷品質］ページを表示する
2. ［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］をクリックする
3. ［ユーザ設定］ダイアログボックスの［階調］で階調モードを設定する

■ Macintosh から印刷する場合

プリンタドライバで指定します。プリンタ ドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX から印刷する場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、プリンタの操作パネルで次の手順を行います。初期値は「コウカイチョウ 1」に設定されています。



1 ［セットアップ］を押します。





2 ［◀］、［▶］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［OK］を押します。



印字調整グループの設定項目が表示されます。



3 ［◀］、［▶］で「カイチョウショリ」を選択し、［OK］を押します。



階調モードの設定値が表示されます。



4 ［◀］、［▶］で階調モードを選択し、［OK］を押します。



階調モードが変更されます。

カラーモードについて

本プリンタは、印字モードを「カラー」、「モノクロ」、「ジドウ」に設定できます。



BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、カラーモードの設定方法が異なります。詳しくは、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

カラーモードの種類

各カラーモードはそれぞれ次のような特長があります。

■ カラーモード

受信したデータがカラーの場合でもモノクロの場合でも、常にカラー処理して印刷します。「ジドウ」モードに設定していると、カラーデータの場合でも、薄い色を使用した画像などは、モノクロデータと判断されて印刷されることがありますが、このようなときにカラーモードを指定して印刷します。

■ モノクロモード

受信したデータがカラーの場合でもモノクロの場合でも、常にモノクロ処理して印刷します。カラーデータをモノクロで印刷したいときに設定します。

■ ジドウモード

受信した印字データがカラーのときはカラー処理、モノクロのときはモノクロ処理に自動的に切り替えて印刷します。

カラーモードを設定する

■ Windows から印刷する場合

プリンタドライバで次の設定を行います。初期値は「カラー」に設定されています。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1. プリンタドライバの［印刷品質］ページを表示する
2. ［印刷品質］の［カラーモード］でカラーモードを設定する

■ Macintosh から印刷する場合

プリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX から印刷する場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、プリンタの操作パネルで次の手順を行います。初期値は「ジドウ」に設定されています。



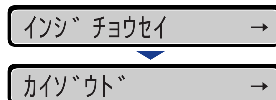
1 ［セットアップ］を押します。







2 ［◀］、［▶］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［OK］を押します。

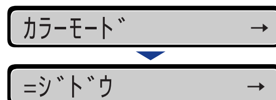


印字調整グループの設定項目が表示されます。



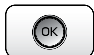


3 ［◀］、［▶］で「カラーモード」を選択し、［OK］を押します。



カラーモードの設定値が表示されます。





4 ［◀］、［▶］でカラーモードを選択し、［OK］を押します。



カラーモードが変更されます。

動作モードについて

本プリンタは、標準で「LIPS モード」と「ESC/P エミュレーションモード」を内蔵しており、印刷データを受信すると、自動的にデータを判別して、適切な動作モードに切り替えて印刷します。

通常は工場出荷時の設定のままで対応できますが、次のときに動作モードを設定したり、固定したりします。

- 自動的に切り替えができないとき（➞P.3-55）
- いままで使用していた専用プリンタと同じ設定で使用したいとき（➞P.3-57）

動作モードの種類

本プリンタは、次のエミュレーションモードが使用できます。

■ LIPS モード

LIPS は、キヤノンが独自に開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPS に対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）はこのモードで印刷します。付属のプリンタドライバを組み込むと、自動的に LIPS モードで印刷されます。

■ ESC/P エミュレーションモード

IBM-PC/AT 互換機（DOS/V コンピュータ）、AX コンピュータで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンタの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。これらのコンピュータで、LIPS に対応していないアプリケーションソフトを使用しているときはこのモードで印刷します。エプソンが提唱する ESC/P-J84 のコマンド体系に準拠しています。

■ その他のエミュレーションモード

コントロール ROM を取り付けることにより、PC-9800 シリーズ、PS/55 シリーズ、HP-GL、HP-GL/2 対応のアプリケーションソフトから印刷できるようになります。

メモ　コントロール ROM については、「コントロール ROM」（➞P.1-17）を参照してください。

自動切り替えがうまくできないとき

本プリンタの動作モード設定を「自動選択」（工場出荷時のままの状態）で使用しているときに、ESC/P データが LIPS で印刷されるなど、動作モードの自動切り替えがうまくいかない場合は、次の設定を行ってください。

■ 優先エミュレーションを切り替えたい動作モードに設定する（→P.3-55）

■ 不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す（→P.3-56）

メモ　設定を変更しても自動切り替えがうまくいかないときは、印刷データに合った動作モードに固定して印刷してください（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）。

優先エミュレーションを切り替えたい動作モードに設定する

動作モードの自動切り替えを設定した状態で、本プリンタがコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える「優先エミュレーション」を設定しておくことができます。この設定を印刷するデータに合わせて「ESC/P」や「LIPS」、コントロール ROM（オプション）のエミュレーションモードに変更します。初期値は「ナシ」に設定されています。



1 ［セットアップ］を押します。

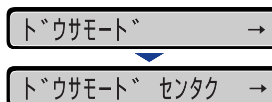








2 ［◄］、［►］で「ドウサモード」を選択し、［OK］を押します。



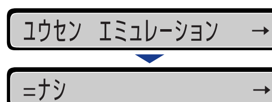
動作モードグループの設定項目が表示されます。







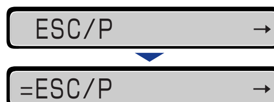
3 ［◄］、［►］で「ユウセン　エミュレーション」を選択し、［OK］を押します。



優先エミュレーションの設定値が表示されます。



4 [◀]、[▶] で優先エミュレーションを選択し、[OK] を押します。



優先エミュレーションが変更されます。

不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す

自動切り替えの工場出荷時の設定は、すべての動作モードが「ツカウ」になっています。この設定で、不要な動作モードを「ツカワナイ」に設定します。



1 [セットアップ] を押します。





2 [◀]、[▶] で「ドウサモード」を選択し、[OK] を押します。



動作モードグループの設定項目が表示されます。

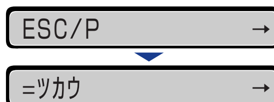


3 [◀]、[▶] で「ジドウ　キリカエ」を選択し、[OK] を押します。





4 [◀]、[▶] で不要な動作モードを選択し、[OK] を押します。





5 ［◀］、［▶］で「ツカワナイ」を選択し、［OK］を押します。



設定値が変更されます。

専用プリンタと同じ動作で使う（動作モード固定）

動作モードを LIPS モード、ESC/P エミュレーションモード、コントロール ROM（オプション）のエミュレーションモードのいずれかに固定することができます。

■ IBM-PC/AT 互換機（DOS/V コンピュータ）や AX コンピュータ

ESC/P エミュレーションモードに固定

■ PC-9800 シリーズや PS/55 シリーズなどのコンピュータ

取り付けたコントロール ROM（オプション）のエミュレーションモードに固定

詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。



ESC/P エミュレーションモードで印刷する場合、ページフォーマットの設定が必要です（➞P.3-58）。

エミュレーションモードで使うとき

本プリンタを ESC/P エミュレーションモードで使用する場合、いままで ESC/P 準拠のプリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションソフトで指定していた用紙の種類に合わせ、次の 7 種類のページフォーマットから選択します。工場出荷時の状態では、「実寸縦」に設定されています。

実寸縦：用紙を縦に使って印刷します

実寸横：用紙を横に使って印刷します

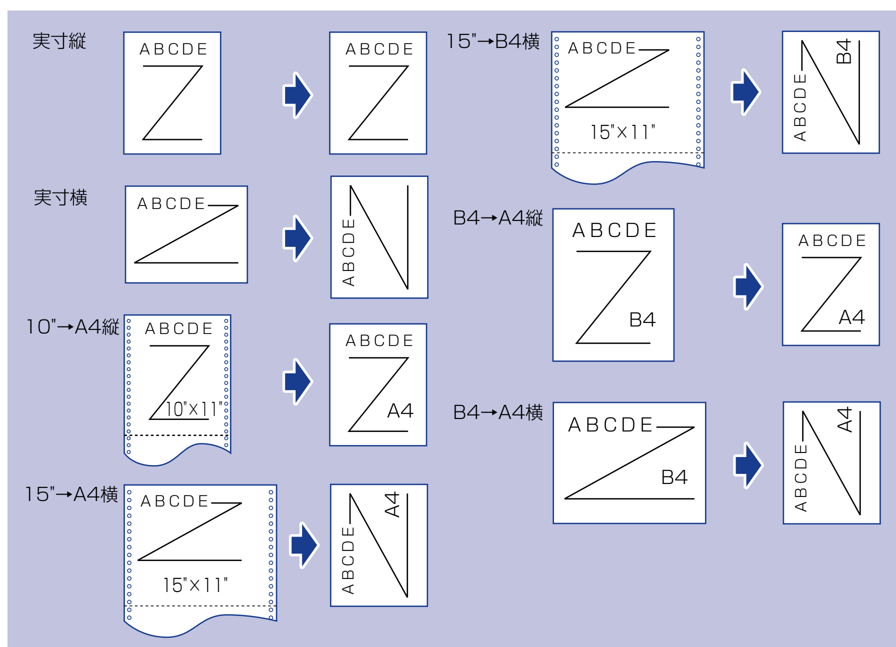
10" → A4 縦：10" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小して印刷します

15" → A4 横：15" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小して印刷します

15" → B4 横：15" × 11" の連続用紙用に作成したデータを B4 に縮小して印刷します

B4 → A4 縦：B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を縦に使って印刷します

B4 → A4 横：B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を横に使って印刷します





- 用紙サイズは「10"→A4縦」「15"→ A4 横」「B4 →A4 縦」「B4 →A4 横」では A4、「15" → B4 横」では B4 が標準ですが、ESC/P 設定メニューの「用紙サイズ」で設定します。詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
- 10"× 11"の連続用紙のサイズは、254.0mm × 279.4mmです。15" × 11"の連続用紙のサイズは、381.0mm × 279.4mm です。

印刷を中止したいときは

コンピュータ側の操作で印刷を中止しても、すでにプリンタに一部データが送られている場合、印刷ジョブが終わらないことがあります。そのような場合に、状況に合わせて、次の操作を行います。

- データを排出する（→P.3-59）
- 現在印刷中のジョブをキャンセルする（→P.3-60）
- 現在実行中の処理を中止する（→P.3-61）
- すべての作業を中止する（→P.3-62）

データを排出する（強制排出）

コンピュータ側で印刷を中止した場合や受信したデータが 1 ページ分に満たない場合には、プリンタのメモリに印刷データが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、印刷ができません。このようなときは、次の手順で強制的に印刷データを排出してください。

重要
- LIPS/LIPS LX プリンタドライバからの印刷データは排出できません。
- データを排出したときは、印刷中のデータは消されますので、再度コンピュータから印刷しなおしてください。
- エラーランプが点灯している状態では、データの排出はできません。受信したデータを消去したい場合は、ソフトリセットを行ってください。（→P.3-61）
- オプションのハードディスクを使用している場合は、セットアップメニューの「タイムアウト」の設定を「シナイ」以外に設定してください。工場出荷時の状態の「15 ビョウ」に設定することをおすすめします。

メモ
- 印刷データがプリンタのメモリに残ったまま、または印刷データがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブの「タイムアウト」が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、1 ページ分に満たないデータも自動的に排出されます（LIPS/LIPS LX プリンタドライバからの印刷データは排出されません）。工場出荷時の状態では、ジョブの「タイムアウト」は「15 ビョウ」に設定されています。



1 ［リセット］を押します。

リセット
ソフトリセット →

リセットメニューが表示されます。



2 ［◀］、［▶］で「ハイシュツ」を選択し、［OK］を押します。

ハイシュツ →

メモリに残っているデータが印刷されます。

データ排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。（→P.3-61）

印刷をキャンセルする（ジョブキャンセル）

現在実行中の印刷をキャンセルしたいときは、次の操作で「ジョブキャンセル」を実行します。ジョブキャンセルは、そのときデータ受信中またはデータ処理中のジョブをキャンセルすることができます。次の印刷データやまだデータ処理が始まっていないジョブには影響しません。

重要

- すでにデータ処理が終わり印刷処理中（給紙動作が始まった状態）のデータは、キャンセルできません。その場合、その次の印刷データがキャンセルされることがあります。
- 本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信された印刷データが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。

メモ

ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされないことがあります。また、パスワード入力前のセキュアプリントジョブやボックスに保存するジョブはキャンセルすることはできません。セキュアプリントジョブやボックスに保存するジョブは、リモート UI で削除してください。（→リモート UI ガイド）

1 ジョブランプが点灯または点滅していることを確認します。

ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき（ジョブランプが点灯または点滅中）に行います。ジョブランプが消灯しているときに［ジョブキャンセル］をしてもジョブキャンセルは行われません。



2 ［ジョブキャンセル］を押します。



3 ジョブキャンセルをする場合、［OK］を押します。

キャンセル ジッコウ?

▼

03 ジョブ キャンセル

▼

00 インサツ カノウ　　A4

「03　ジョブ　キャンセル」が表示され、処理中の印刷データがキャンセルされます。
「00　インサツ　カノウ」が表示されたら、ジョブキャンセル完了です。

重要　「03　ジョブ　キャンセル」が表示されているときは、プリンタの操作はできません。

現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）

現在実行中の処理を中止したいときは、次の操作で「ソフト　リセット」を実行します。ソフトリセットは、すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。

重要

- ソフトリセットを行うと、そのとき印刷中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度コンピュータから印刷しなおしてください。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のコンピュータからのデータに影響しないように、この操作を行ってください。

メモ　ハードリセットを行うと、プリンタの RAM に保存されているフォームデータなどの登録ファイルはすべて消去されますが、ソフトリセットでは消去されません。

---

1 **コンピュータ側で印刷中止の操作を行います。**



2 **［リセット］を押します。**



リセットメニューが表示されます。







3 **［◄］、［►］で「ソフト　リセット」を選択し、［OK］を押します。**

［OK］をそのまま 3 秒以上押し続けると「ハード　リセット」の操作になります。



「03　ソフト　リセット」の表示が消えたらソフトリセットが完了します。

すべての作業を中止する（ハードリセット）

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときは、次の操作で「ハード　リセット」を実行します。ハードリセットは、すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。

重要
- データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しく印刷されないことがあります。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のコンピュータからのデータに影響しないように、この操作を行ってください。

3

プリンタの使いかた



1 [リセット] を押します。



リセットメニューが表示されます。





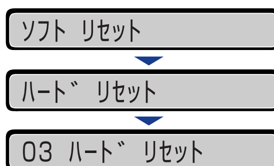
2 [◄]、[►] で「ソフト　リセット」を選択します。





3 [OK] を押し続け、「ハード　リセット」と表示されたら離します。

「ハード　リセット」が表示されるまで（約 3 秒）押し続けます。3 秒未満の場合は、「ソフト　リセット」の操作になります。



「03　ハード　リセット」の表示が消えたらハードリセットが完了します。

給紙・排紙のしかた

4
CHAPTER

この章では、本プリンタで使用できる用紙や給紙、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について 4-3
- 使用できる用紙 4-3
- 印刷できる範囲 4-7
- 使用できない用紙 4-9
- 用紙の保管について 4-10
- プリントの保管について 4-10

給紙部について 4-11
- 給紙部の種類 4-11
- 給紙部の積載枚数 4-12
- 給紙元の選択 4-12
- 手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意 4-13

排紙先について 4-15
- 排紙トレイ 4-15
- 排紙先の積載枚数 4-16

給紙カセットに用紙をセットする 4-17
- 用紙をセットするときの注意 4-17
- 用紙のセット方法 4-18
- ユーザ設定用紙の向きを設定する 4-42
- 給紙カセットの用紙タイプを設定する 4-43

手差しトレイに用紙をセットする 4-45
- 用紙のセット方法 4-45
- 手差しトレイの用紙サイズを設定する 4-56
- 手差しトレイの用紙タイプを設定する 4-57

プリンタドライバの設定をして印刷する 4-60

両面に印刷する 4-65
- 自動両面印刷と片面印刷を切り替える 4-66
- 手動で両面に印刷する 4-67

とじしろを付けて印刷する 4-69
- とじしろを設定する 4-69

ステイプルして出力する（LBP5910Fのみ）. 4-72
用紙のセット向きについて 4-79

用紙について


重要 幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなります。（最終的に A5、B5、B4 サイズの普通紙の場合で約 10 ページ／分、はがきの場合で約 4 ページ／分まで低下することがあります。）

使用できる用紙

用紙サイズ

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙サイズ	給紙部				
	手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）	カセット 3（オプション）	カセット 4（オプション）
A5*1	◎	◎	◎	◎	◎
B5*1	◎	◎	◎	◎	◎
A4*1	◎	◎	◎	◎	◎
B4*2	◎	◎	◎	◎	◎
A3*2	◎	◎	◎	◎	◎
レター *1	◎	◎	◎	◎	◎
エグゼクティブ *1	◎	◎	◎	◎	◎
リーガル *2	◎	◎	◎	◎	◎
レジャー（11 × 17）*2	◎	◎	◎	◎	◎
12 × 18*2	○	×	×	×	×
SRA3*2	○	×	×	×	×
ユーザ設定用紙	◎ *3	×	◎ *4	◎ *4	◎ *4
長尺紙 *2	○ *5	×	×	×	×
はがき *2 100.0mm × 148.0mm	○	×	×	×	×
往復はがき *1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×	×	×

用紙サイズ	給紙部				
	手差しトレイ	カセット１	カセット２（オプション）	カセット３（オプション）	カセット４（オプション）
４面はがき *1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×	×	×
封筒 *2 洋形４号 105.0mm × 235.0mm	○	×	×	×	×
洋形２号 114.0mm × 162.0mm	○	×	×	×	×
角形２号 240.0mm × 332.0mm	○	×	×	×	×

*1 横置きのみセット可能です。

*2 縦置きのみセット可能です。

*3 次のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅98.0 ～ 320.0mm、長さ 139.7～ 457.2mm
・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅139.7～ 297.0mm、長さ 139.7～ 297.0mm
次のサイズのユーザ設定用紙（普通紙）を自動両面印刷することができます。
・縦置きの場合：幅210.0 ～ 312.0mm、長さ 210.0 ～431.8mm
・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅210.0～ 297.0mm、長さ 148.0～ 297.0mm

*4 次のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～431.8mm
・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅210.0～ 297.0mm、長さ 148.0～ 297.0mm

*5 次のサイズの長尺紙を縦置きにセットすることができます。LIPS LX プリンタドライバからのみ印刷することができます。
・幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～1200.0mm

用紙タイプ

本プリンタでは次の用紙タイプを使用できます。表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙タイプ		給紙部				
		手差しトレイ	カセット１	カセット２（オプション）	カセット３（オプション）	カセット４（オプション）
普通紙 *	64 ～ 105g/m^2	◎	◎	◎	◎	◎
厚紙	106～220g/m^2	○	×	×	×	×
コート紙		○	×	×	×	×
ラベル用紙		○	○	○	○	○
はがき		○	×	×	×	×
封筒		○	×	×	×	×

* 再生紙 (64 ～ 105g/m^2) は、普通紙として使用できます。再生紙は古紙配合率 100% の再生紙が使用できます。


用紙の厚さは、1m^2 あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。用紙の厚さについては用紙メーカーにお問い合わせください。

■ 普通紙

次のサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）を使用できます。

- 定形用紙：A3、B4、A4、B5、A5、SRA3、12 × 18、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがき
- ユーザ設定用紙（縦置き）：幅 98.0 ～ 320.0mm、長さ 139.7 ～ 457.2mm
- ユーザ設定用紙（横置き（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ））：幅 139.7 ～ 297.0mm、長さ 139.7 ～ 297.0mm
- 長尺紙：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～ 1200.0mm

※ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11× 17）、レター、リーガル、エグゼクティブサイズの用紙および次のサイズのユーザ設定用紙は、自動両面印刷が可能
・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 312.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

※ 再生紙(64～105g/m^2)は、普通紙として使用できます。再生紙は古紙配合率100%の再生紙が使用できます。

■ 厚紙

次のサイズの厚紙（106 ～ 220g/m^2）を使用できます。

- 定形用紙：A3、B4、A4、B5、A5、SRA3、12 × 18、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがき
- ユーザ設定用紙（縦置き）：幅 98.0 ～ 320.0mm、長さ 139.7 ～ 457.2mm
- ユーザ設定用紙（横置き（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ））：幅 139.7 ～ 297.0mm、長さ 139.7 ～ 297.0mm
- 長尺紙：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～ 1200.0mm


はがき、往復はがき、4面はがきサイズは、重さ 106 ～ 169g/m^2 の厚紙で使用できます。

■ コート紙

A3、A4 サイズのコート紙を使用できます。


コート紙は、「キヤノン推奨品イメージコート A3」、「キヤノン推奨品イメージコート A4」をご使用ください。

■ ラベル用紙

A4 サイズのラベル用紙を使用できます。



- ラベル用紙は、「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」をご使用ください。「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」の重さは 1 枚 7.8g です。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。使用すると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙

■ はがき

次のサイズのはがきを使用できます。

- はがき、往復はがき、4 面はがき

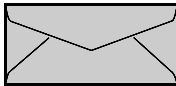
重要

- 郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、およびキヤノン推奨の 4 面はがき以外のはがきへの印刷は、印字品質が低下したり、紙づまりの原因になることがあります。
- 印刷可能な往復はがきは、折り目なしのもののみです。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。
- はがきや往復はがき、4 面はがきに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

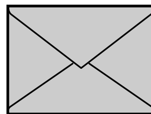
■ 封筒

次のサイズの封筒を使用できます。

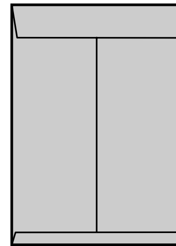
洋形4 号
（105mm×235mm ）



洋形2 号
（114mm×162mm ）



角形2 号
（240mm×332mm ）
（キヤノンLBP専用封筒K-201G／推奨品）



※洋形4号および洋形2号の封筒は、
短辺にふたが付いているものは使用できません。

重要

- 次のような封筒は使用しないでください。使用すると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ･ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ･窓付きの封筒
  - ･糊付きの封筒
  - ･しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ･折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ･長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。
- 封筒に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

メモ

封筒に印刷した場合、しわがよる場合があります。

用紙サイズの略号について

給紙カセットのサイズの表示は、次の略号で表示されます。

用紙サイズ	用紙サイズ設定スイッチ
レジャー	11 x 17
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC
ユーザ設定用紙 *	CUSTOM

* オプションのペーパーフィーダのみ

印刷できる範囲

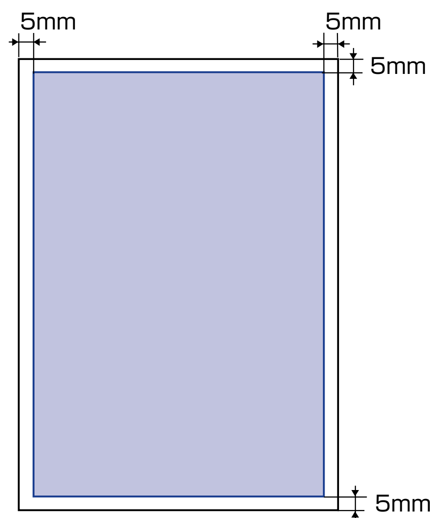
印刷できる範囲を用紙の端近くまで広げる場合は、LIPS プリンタドライバで次の設定を行います。

1. ［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックする
2. ［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付ける

ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

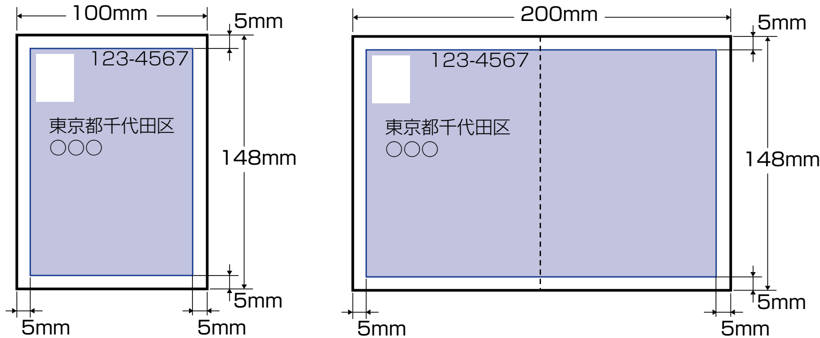
■ 普通紙 / 厚紙 / ラベル用紙 / コート紙

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。



■ はがき / 往復はがき /4 面はがき

はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。



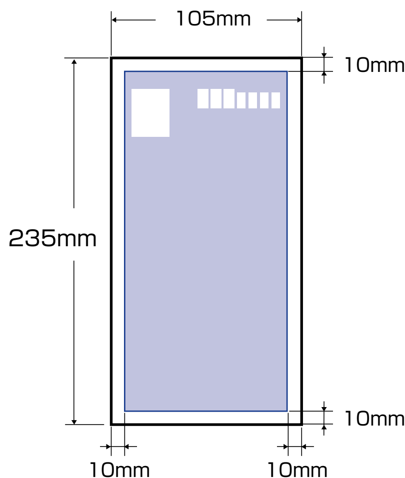
重要　はがきの有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データをはがきの有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

■ 封筒

封筒の周囲 10mm より内側の範囲に印刷できます。

お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）



重要　封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。

使用できない用紙

紙づまりやプリンタの故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - 不規則な形の用紙
  - 湿っている用紙、濡れている用紙
  - 破れている用紙
  - 表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - カールした用紙や折り目のある用紙
  - 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - 裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
  - バリのある用紙
  - しわのある用紙
  - 角折れのある用紙
- 高温によって変質する用紙
  - 定着器の加熱温度（約 190 ℃）以下で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
  - 感熱用紙
  - 表面加工したカラー用紙
  - 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - 糊などがついた用紙
- プリンタの故障や損傷の原因になる用紙
  - カーボン紙
  - ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
- トナーが定着しにくい用紙
  - ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - 繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。

用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

重要

- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気および乾燥を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所、乾燥している場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度や湿度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

プリントの保管について

本プリンタで印刷したプリントの取り扱いや保管するときは、次の点に気を付けてください。

重要

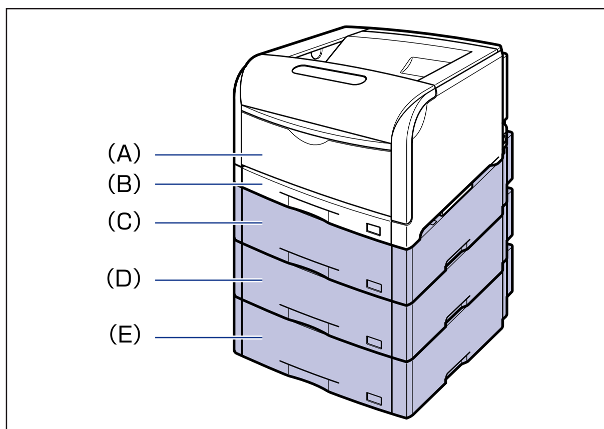
- クリアホルダなど PVC 素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付いてしまうことがあります。
- 糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。
  プリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。
- 平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーが剥がれることがあります。
- 高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。
- 長期間（2 年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）

給紙部について

給紙部の種類

本プリンタには、次の給紙部があります。

(A)：手差しトレイ
(B)：カセット１
(C)：カセット２（オプション）
(D)：カセット３（オプション）
(E)：カセット４（オプション）





ペーパーフィーダは最大３台まで取り付けることができます。

給紙部の積載枚数

用紙の種類	積載枚数				
	手差しトレイ	カセット1	カセット2（オプション）	カセット3（オプション）	カセット4（オプション）
普通紙（64g/m^2 の場合）	約 100 枚	約 250 枚	約 550 枚	約 550 枚	約 550 枚
厚紙（128g/m^2 の場合）	約 50 枚	×	×	×	×
コート紙	約 50 枚	×	×	×	×
ラベル用紙	約 40 枚	約 50 枚	約 50 枚	約 50 枚	約 50 枚
郵便はがき	約 40 枚	×	×	×	×
郵便往復はがき	約 40 枚	×	×	×	×
郵便 4 面はがき	約 40 枚	×	×	×	×
キヤノン推奨 4 面はがき	約 50 枚	×	×	×	×
封筒	約 10 枚	×	×	×	×

給紙元の選択

■ Windows や Macintosh から印刷する場合

給紙元の選択は、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの初期値は［自動］に設定されており、アプリケーションソフトで用紙サイズを設定すれば、自動的に給紙元を探して給紙されます。印刷中に用紙がなくなっても他の給紙元に同じサイズの用紙があれば、自動的に切り替えて給紙されます。

給紙元を指定したい場合は、プリンタドライバで給紙元を設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

重要 BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、操作パネルで給紙元を選択します。ただし、本プリンタの給紙選択の初期値は「ジドウ」に設定されているため、操作パネルで給紙元を選択しなくても、BMLinkS プリンタドライバで設定したサイズの用紙が自動的に給紙されます。給紙元を指定して印刷したい場合は、「DOS や UNIX から印刷する場合」と同様の手順で給紙元を選択してください。

■ DOS や UNIX から印刷する場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、プリンタの操作パネルで次の手順を行います。初期値は「ジドウ」に設定されています。

給紙選択

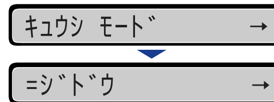
1 ［給紙選択］を押します。

キュウシ モード 

ディスプレイに「キュウシ　モード」と表示されます。

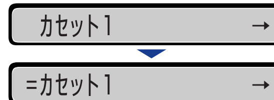


2 **［◄］、［►］で「キュウシモード」を選択し、［OK］を押します。**





3 **［◄］、［►］で給紙元を選択し、［OK］を押します。**





- 「カセット 2」、「カセット 3」、「カセット 4」はペーパーフィーダ装着時にのみ表示されます。
- 自動給紙選択時に、2 つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプの表示に関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされているほかの給紙元へ自動的に切り替わります。

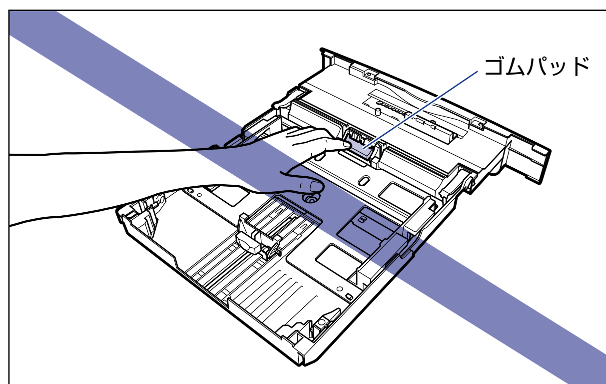
手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意

手差しトレイや給紙カセットを取り扱うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

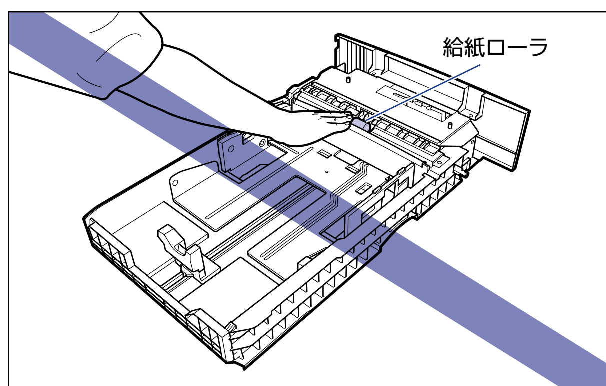


- 印刷中は次のことを守ってください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
  - ・給紙カセットを抜き取らない
  - ・手差しトレイの用紙に触れない、引き抜かない
- 給紙カセットに用紙を補充する場合は、セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
- 手差しトレイの上には印刷する用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。手差しトレイが破損することがあります。
- カセット 1 の黒いゴムパッド、カセット 2、3、4 の給紙ローラには触れないでください。給紙不良の原因になります。

・カセット１



・カセット２、３、４





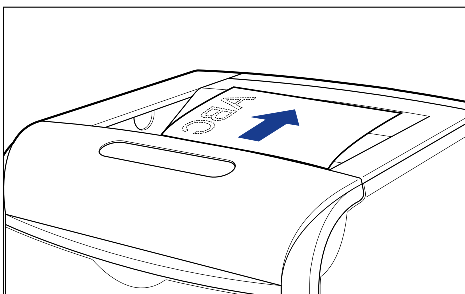
手差しトレイを閉めるときは、セットされている用紙を取り除いて閉めます。
手差しトレイを使わないときは、閉めておいてください。

排紙先について

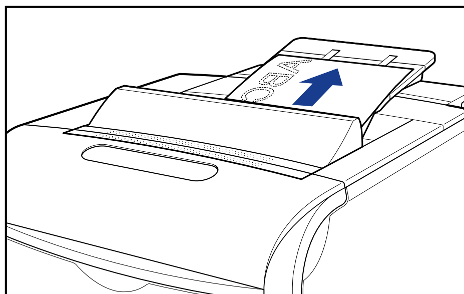
排紙トレイ

プリンタ上面の排紙トレイに印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。

■ LBP5910



■ LBP5910F



※ ステイプルして排紙すると、印刷の向きが 180 度回転します。

注意
- 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- LBP5910F をお使いの場合は、ステイプルされる場所に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。

重要
- 長尺紙は、排紙されるたびに 1 枚ずつ取り除いてください。
- 排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。

・LBP5910

両面印刷時	表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。裏面を印刷したあと、完全に排紙されます。

・LBP5910F

片面印刷時	印刷したあと途中まで排紙され、少し経ってから完全に排紙されます。
両面印刷時	表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。裏面を印刷したあと途中まで排紙され、少し経ってから完全に排紙されます。
ステイプル印刷時	印刷したあと途中まで排紙され、すべての用紙の印刷が終わると、ステイプルされて完全に排紙されます。

排紙先の積載枚数

用紙の種類	積載枚数 *[1]	
	LBP5910	LBP5910F
普通紙（64g/m^2 の場合）	約 250 枚	約 250 枚 *[2]
厚紙（128g/m^2 の場合）	約 200 枚	約 100 枚
コート紙	約 150 枚	約 80 枚
ラベル用紙	約 100 枚	約 100 枚
郵便はがき	約 50 枚	約 50 枚
郵便往復はがき	約 50 枚	約 50 枚
郵便 4 面はがき	約 50 枚	約 50 枚
キヤノン推奨 4 面はがき	約 200 枚	約 100 枚
封筒（洋形 4 号／洋形 2 号の場合）	約 20 枚	約 20 枚
封筒（角形 2 号の場合）	約 20 枚	約 10 枚

*1 設置環境や使用する用紙の種類によっては、実際の積載枚数は異なります。

*2 A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズの数値です。その他のサイズでは、次のようになります。
・A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガル：約 150 枚（64g/m^2）
・SRA3、12 × 18：約 100枚（64g/m^2）

給紙カセットに用紙をセットする

給紙カセットから印刷するときは、次の操作を行います。

■ 用紙をセットする（→P.4-18）

■ ユーザ設定用紙の向きを設定する（→P.4-42）*

*カセット 2、3、4 にユーザ設定用紙をセットした場合のみ

■ 用紙タイプを設定する（→P.4-43）

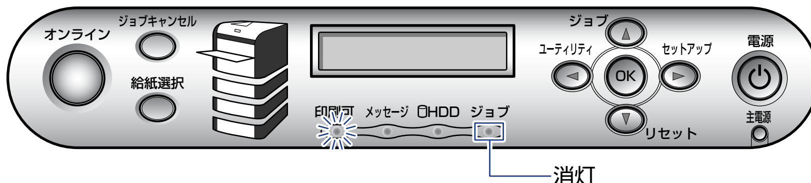
■ プリンタドライバの設定をする（→P.4-60）

用紙をセットするときの注意

用紙をセットするときは、次のいずれかの状態のときに行ってください。ジョブランプが点滅しているときは印刷処理中なので、給紙カセットを引き出さないでください。

重要 印刷中は、絶対にカバーを開けたり、給紙カセットを引き出したりしないでください。プリンタが停止し、印刷できなくなる場合があります。

■ ジョブランプが消灯しているとき

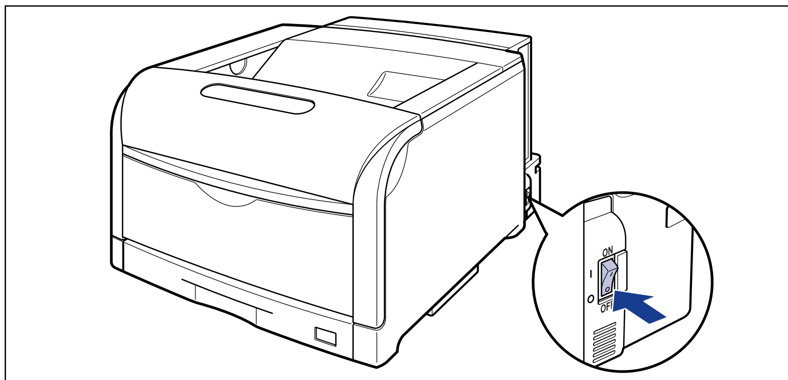


■ 用紙がなくなったことや用紙の交換を知らせるメッセージが表示されているとき

11 A4ヨウシカ゛アリマセン

PC A4ヨウシ ニ コウカン

■ 本プリンタの電源が入っていないとき



用紙のセット方法

給紙カセットには、次の用紙がセットできます。

用紙タイプ	用紙サイズ	セット方法
普通紙	A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ	カセット 1 にセットする場合：P.4-19 カセット 2、3、4にセットする場合 *1：P.4-26
	ユーザ設定用紙 *1	P.4-35
ラベル用紙	A4*2	カセット 1 にセットする場合：P.4-19 カセット 2、3、4にセットする場合 *1：P.4-26

*1 オプションのペーパーフィーダ装着時のみ

*2 キヤノン推奨品ラベル用紙 A4

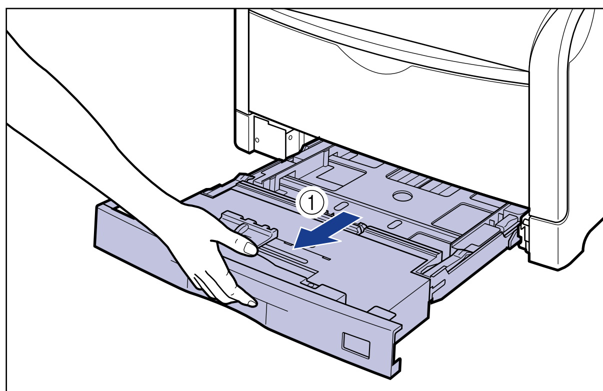
 重要

- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」（➞P.4-3）を参照してください。
- 給紙カセットの取り扱いについては「手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意」（➞P.4-13）を参照してください。

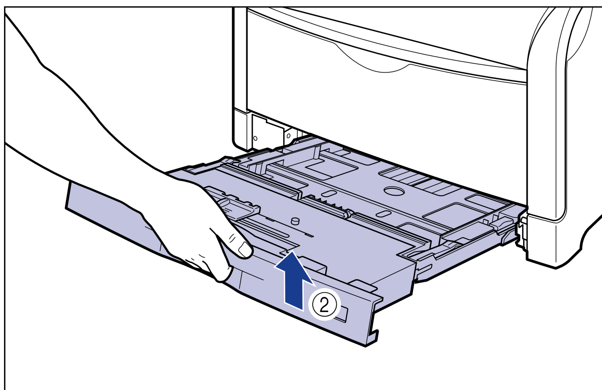
カセット 1 に用紙をセットする

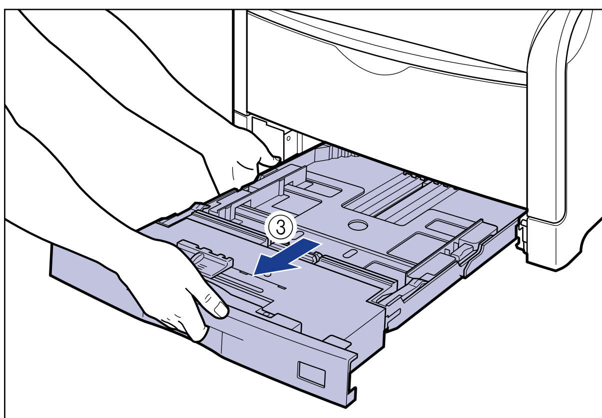
1 **給紙カセットを引き出します。**

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。





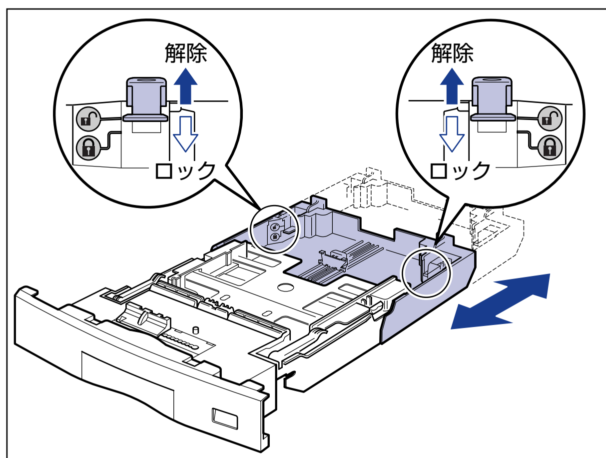
注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

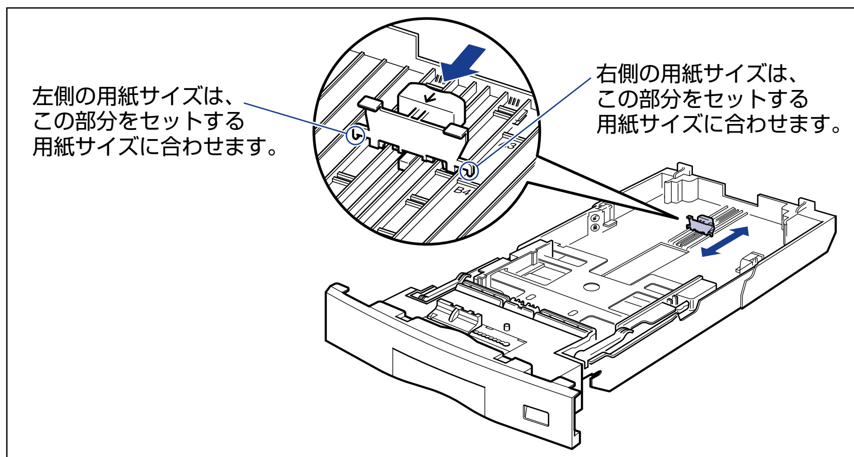
2 セットする用紙のサイズを変更するときは、給紙カセットの長さと用紙ガイドの位置を変更します。

● **セットする用紙に合わせて、給紙カセットの長さを調整します。**

A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、給紙カセットを押し込みます。
A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、給紙カセットを引き出します。
給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーをゆっくりと持ち上げロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを押し下げてロックします。

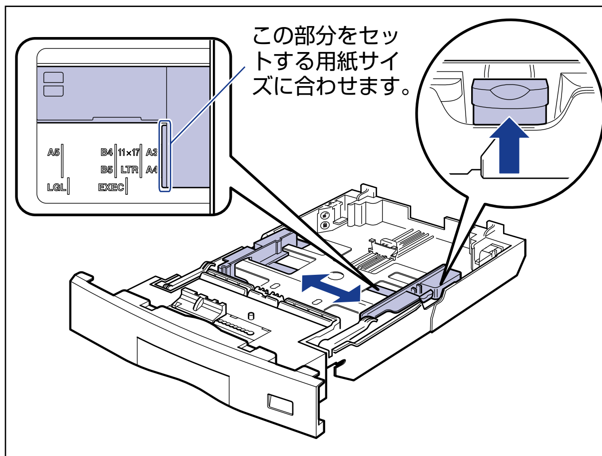


● **後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙に合わせて用紙ガイドを移動します。**

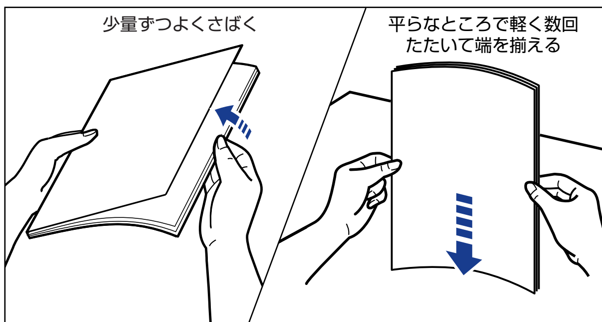


● 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。



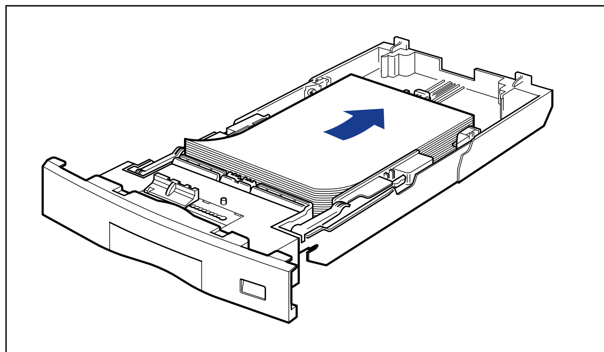
3 ラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要 ラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。

4 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。



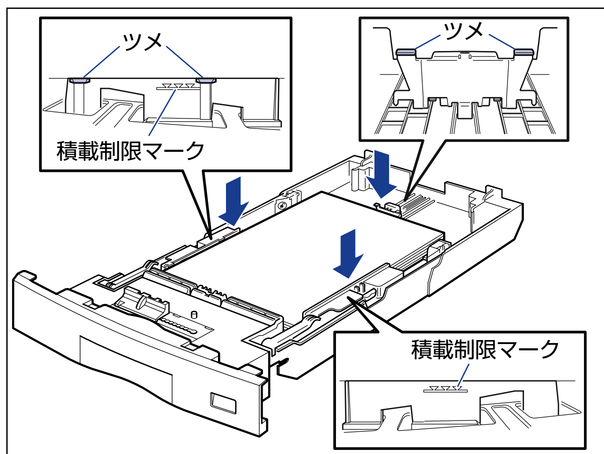
⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因になります。
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、「用紙のセット向きについて」（➞P.4-79）を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

5 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメの下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。



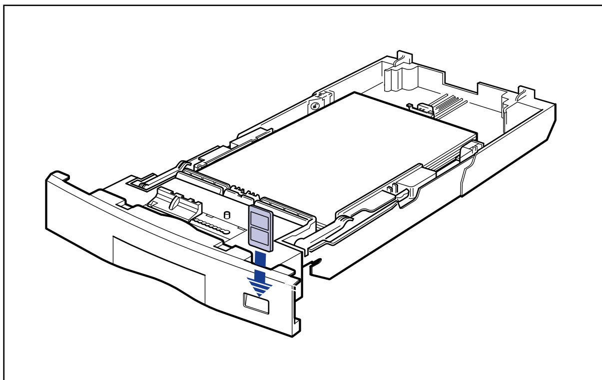
重要　給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、次の通りです。

4 給紙・排紙のしかた

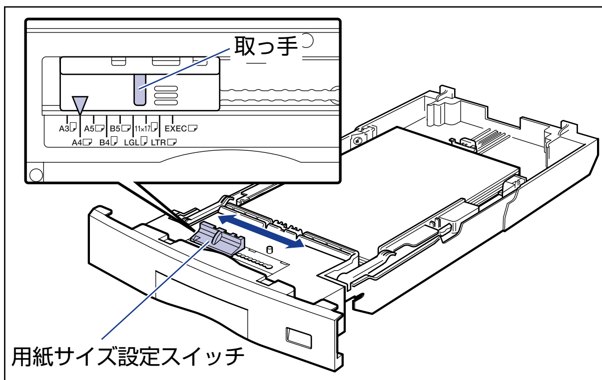
・普通紙（64g/m² の場合）：約 250 枚
・ラベル用紙：約 50 枚

絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。

6 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのシールを貼り、給紙カセット前面の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。



7 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークをセットした用紙のサイズに合わせます。

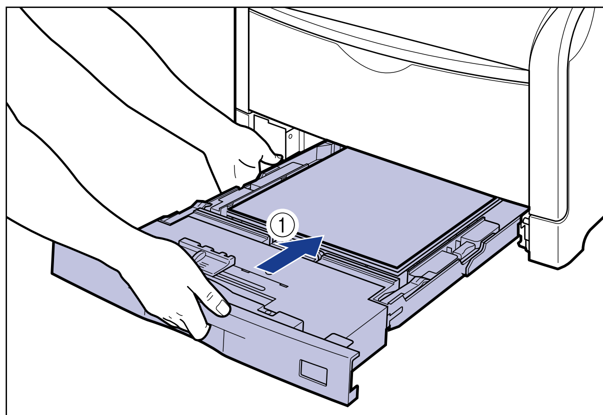




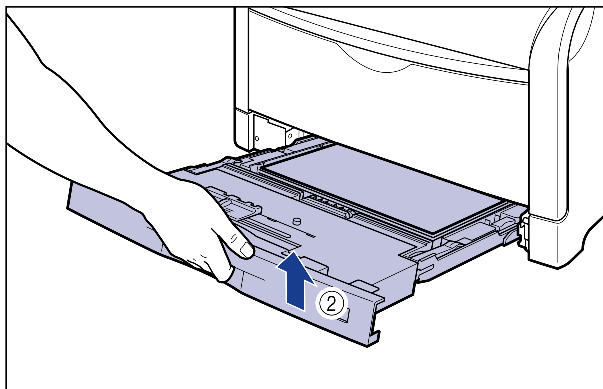
セットした用紙のサイズと用紙サイズ設定スイッチが合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタにセットしてください。用紙サイズ設定スイッチが合っていないと、誤動作の原因になります。

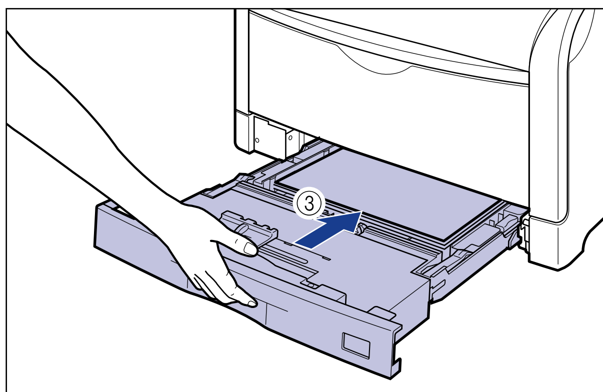
8 給紙カセットをプリンタにセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。





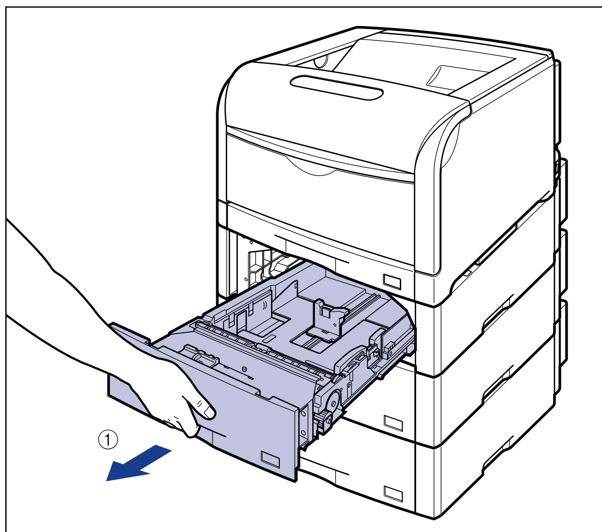
注意　給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

次に給紙カセットの用紙タイプを設定してください（➞P.4-43）。

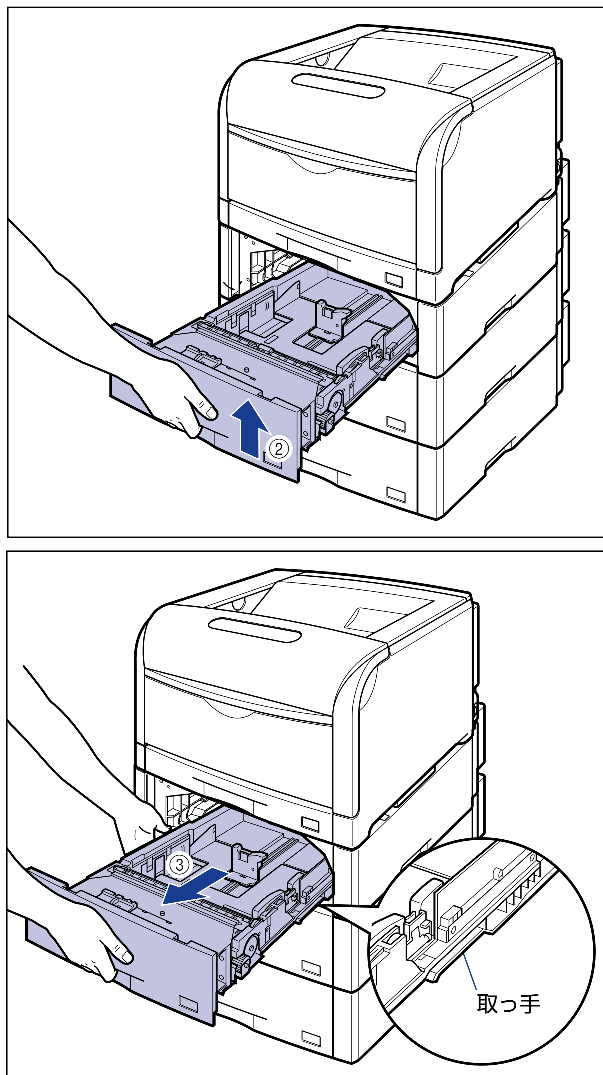
カセット２、カセット３、カセット４に定形の用紙をセットする

1 給紙カセットを引き出します。

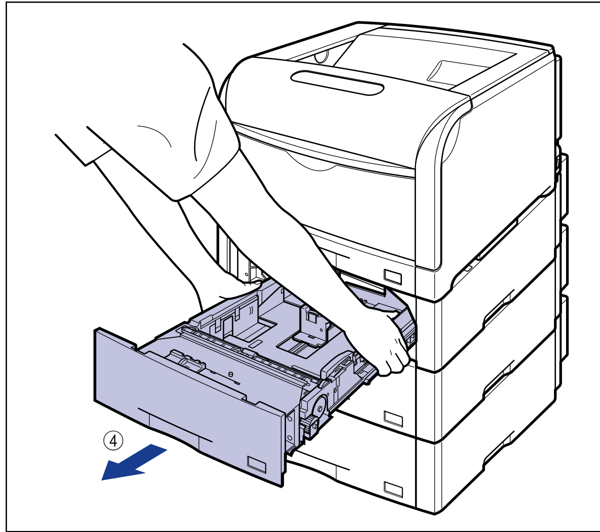
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。



図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

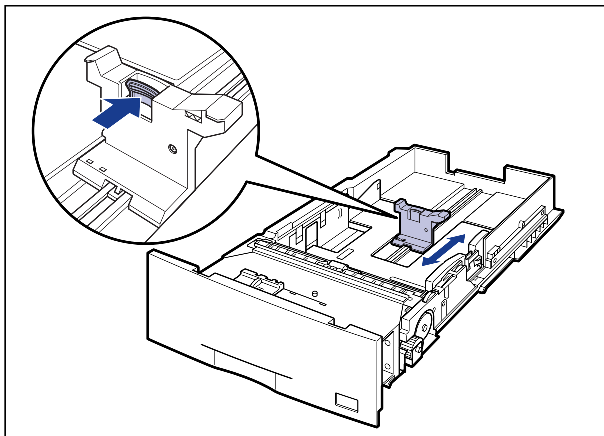


注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをペーパーフィーダから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

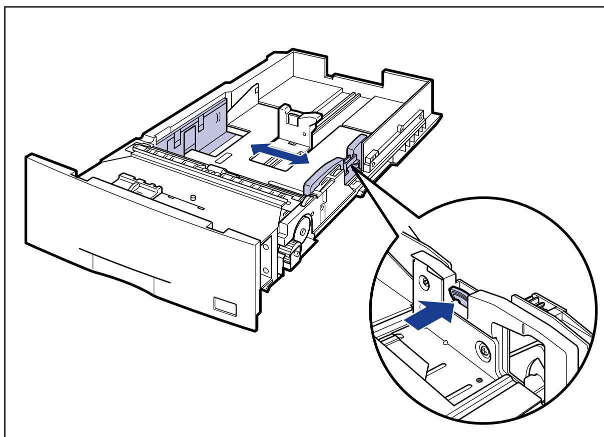
2 セットする用紙のサイズを変更するときは、給紙カセットの長さと用紙ガイドの位置を変更します。

● 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙に合わせて用紙ガイドを移動します。

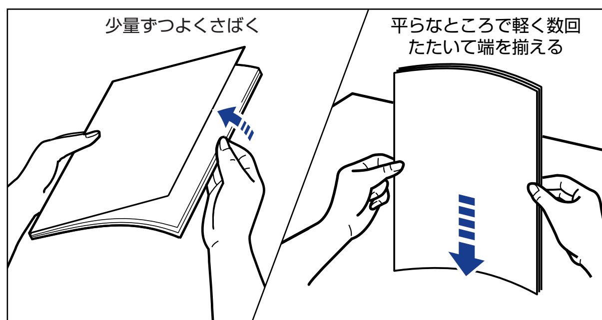


● 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。



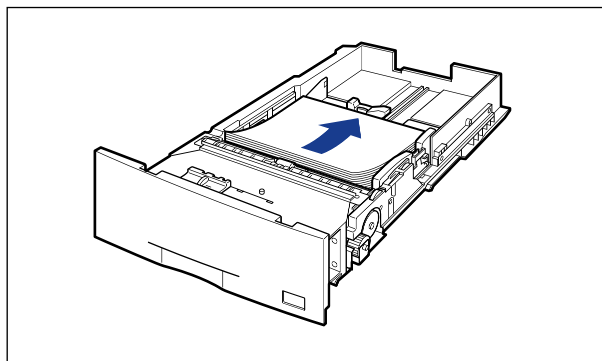
3 ラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要 ラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。

4 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。



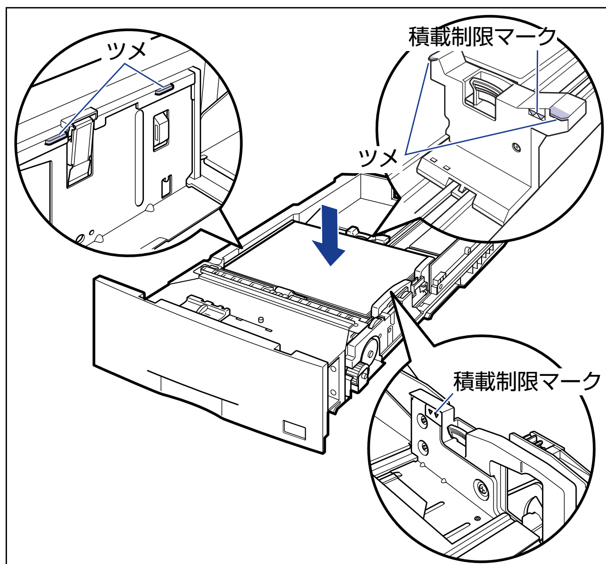
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因になります。
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、「用紙のセット向きについて」(→P.4-79)を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

5 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメの下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。



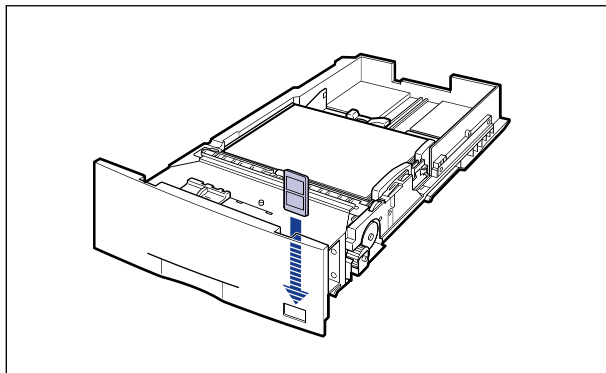


給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、次の通りです。

- 普通紙（64g/m² の場合）：約 550 枚
- ラベル用紙：約 50 枚

絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。

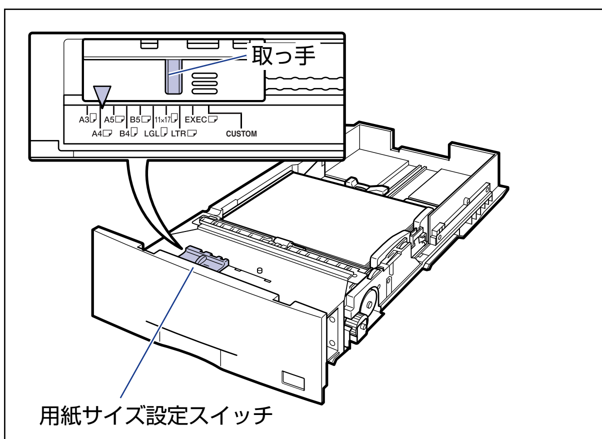
6 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのシールを貼り、給紙カセット前面の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。



4

給紙・排紙のしかた

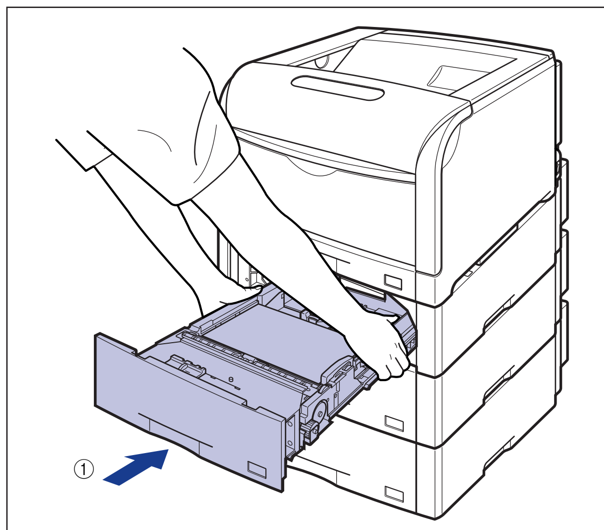
7 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークをセットした用紙のサイズに合わせます。

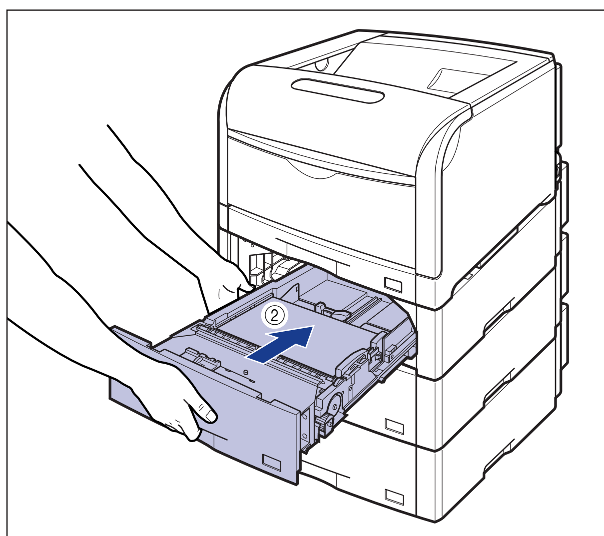


重要 セットした用紙のサイズと用紙サイズ設定スイッチが合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタにセットしてください。用紙サイズ設定スイッチが合っていないと、誤動作の原因になります。

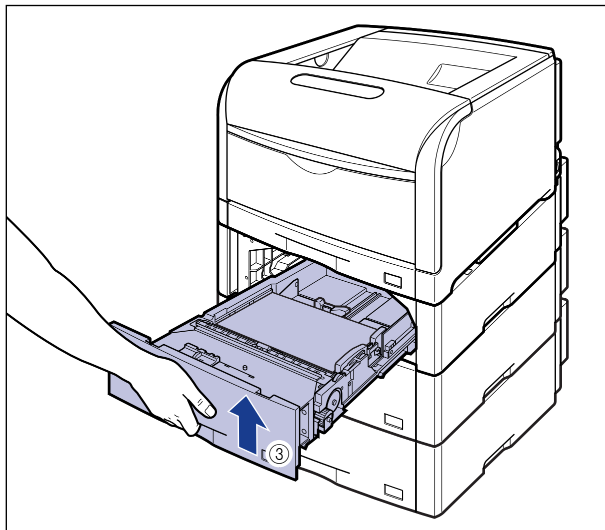
8 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

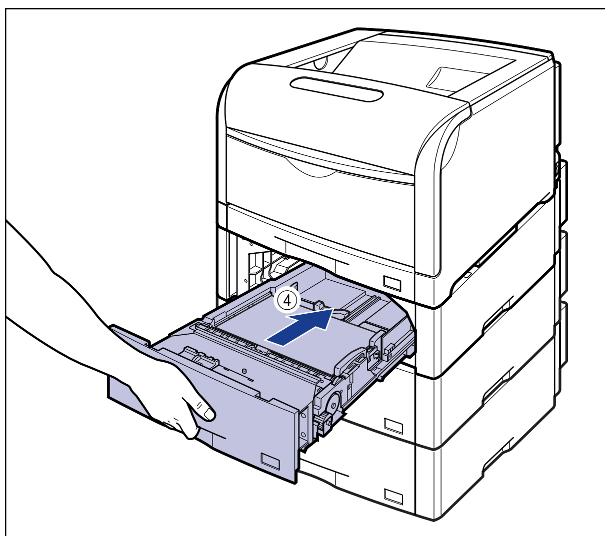
給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。





給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。





⚠注意 給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

次に給紙カセットの用紙タイプを設定してください（➞P.4-43）。

カセット 2、カセット 3、カセット 4 にユーザ設定用紙をセットする



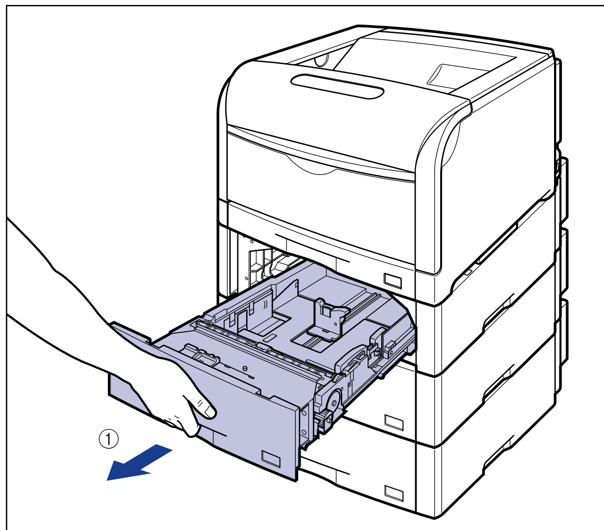
次のユーザ設定用紙をセットすることができます。

・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm

・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

1 給紙カセットを引き出します。

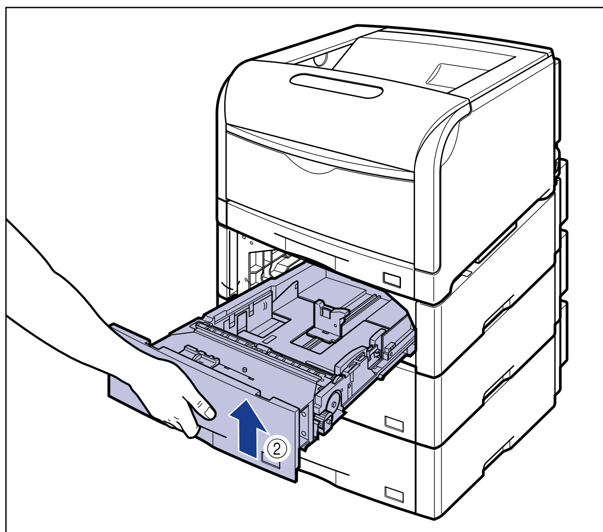
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

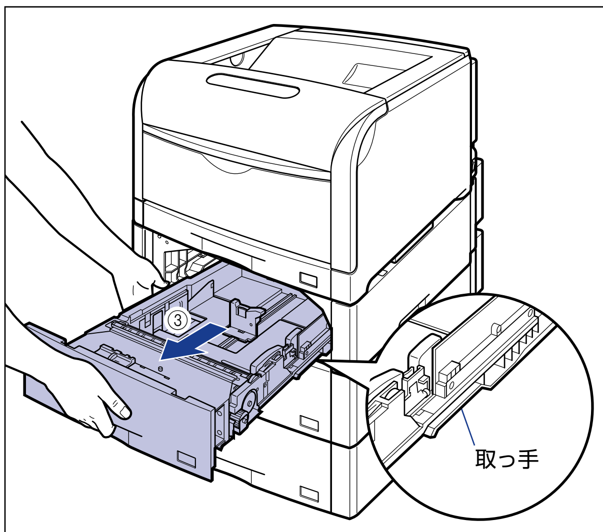


4

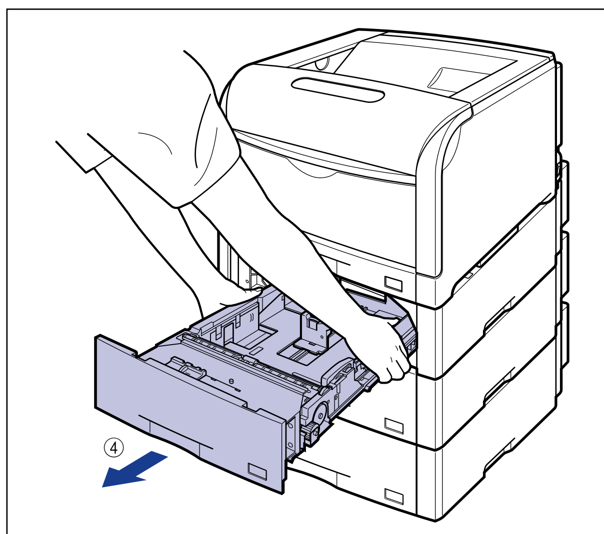
給紙・排紙のしかた

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。





図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。



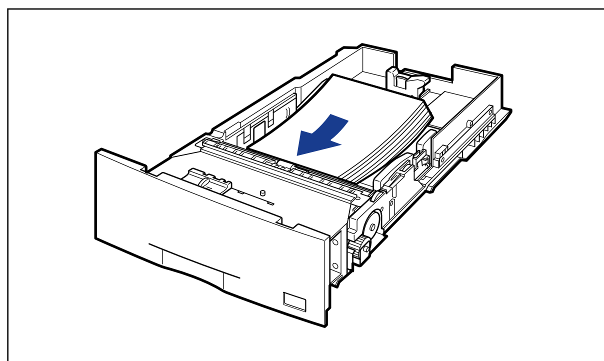
注意

用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをペーパーフィーダから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要

- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

2 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。



注意

用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

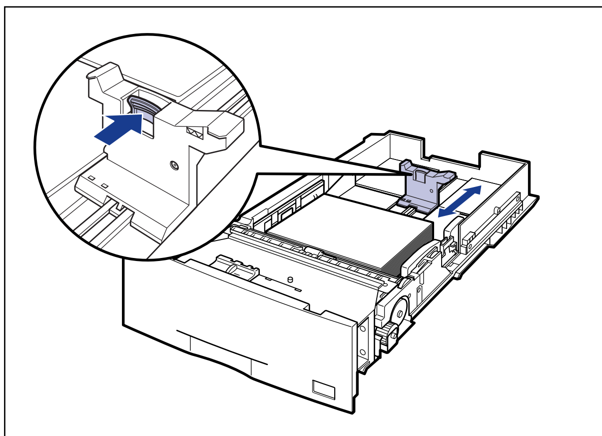
重要

裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



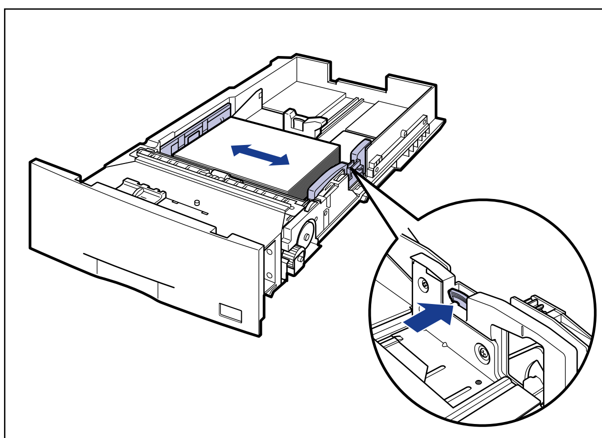
- セットアップメニューの給紙グループにある「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」の設定を「フリー」に設定しているときに、長辺が 297.0mm 以下のユーザ設定用紙を印刷する場合は、お使いのプリンタドライバにしたがって、次のようにセットしてください。
  LIPS LX プリンタドライバを使用している場合：横置きにセット
  LIPS LX プリンタドライバを使用していない場合：縦置きにセット
- レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、「用紙のセット向きについて」（➞P.4-79）を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

3 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙に合わせて用紙ガイドを移動します。



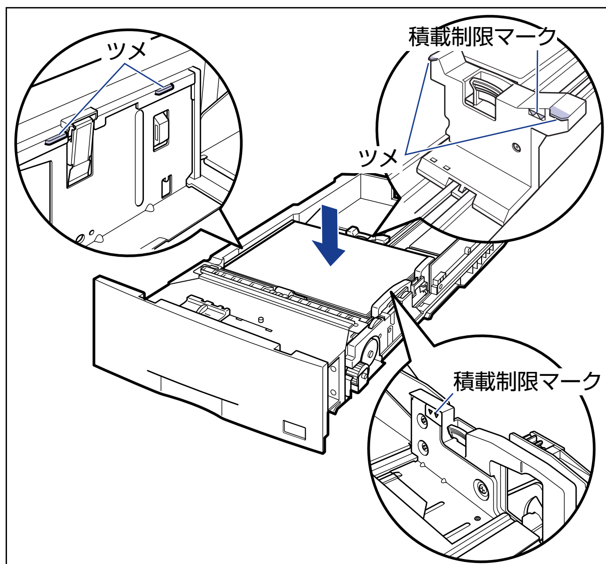
4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。



5 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメの下に用紙を入れます。

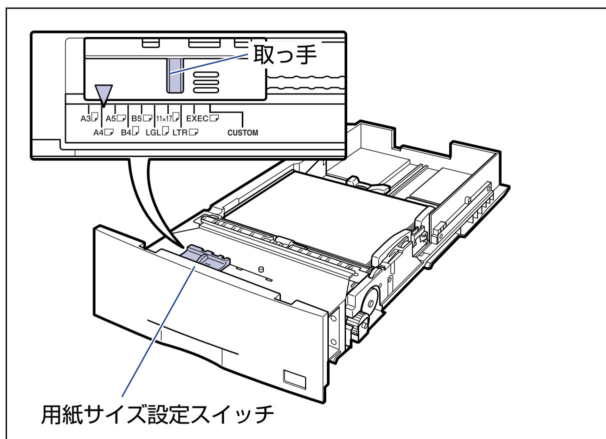
用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。





給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 550 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。

6 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークを「CUSTOM」に合わせます。



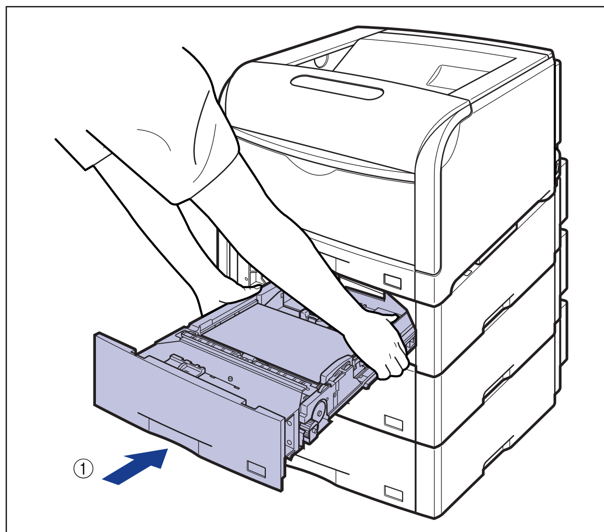
4
給紙・排紙のしかた

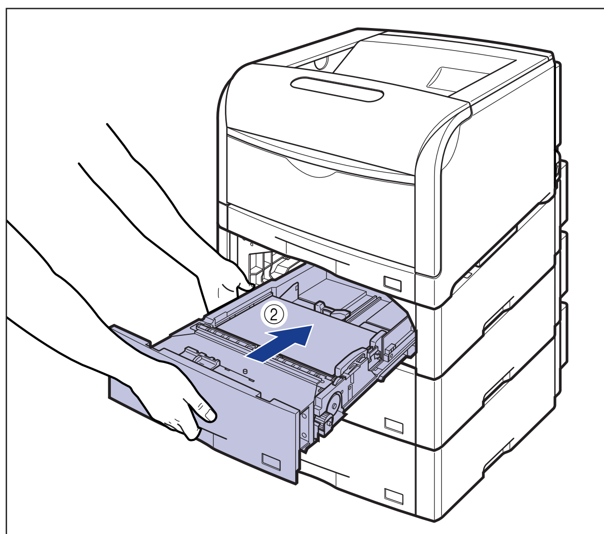


用紙サイズ設定スイッチが「CUSTOM」に合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタにセットしてください。用紙サイズ設定スイッチが合っていないと、誤動作の原因になります。

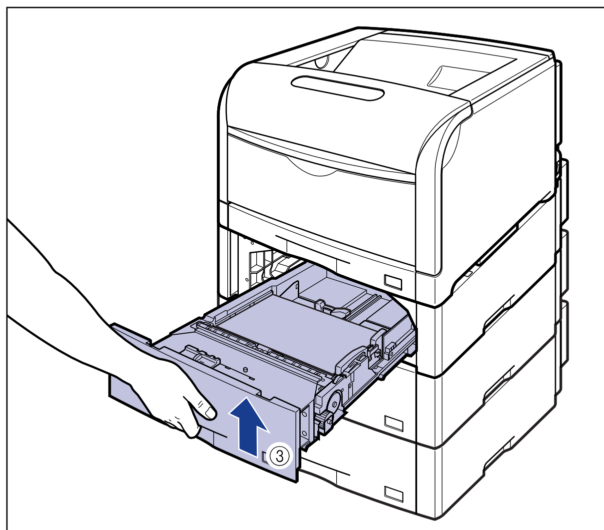
7 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

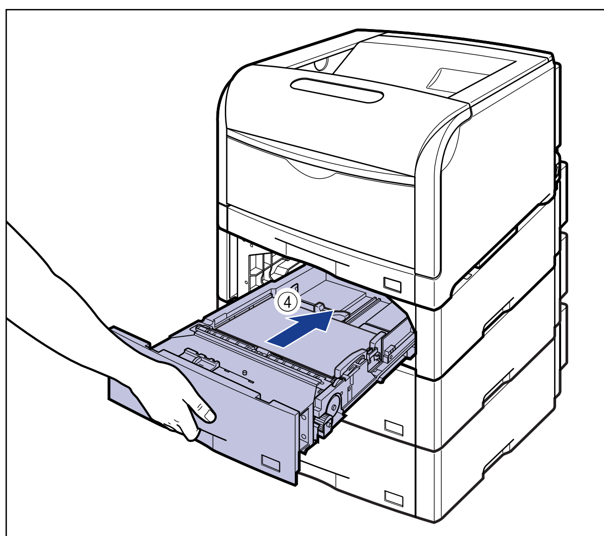
給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。





給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。





注意 給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

次にユーザ設定用紙の向きを設定してください（→P.4-42）。

ユーザ設定用紙の向きを設定する

カセット 2、3、4 にユーザ設定用紙をセットした場合、次の手順でセットしたユーザ設定用紙の向きを設定します。

重要　「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」を「フリー」に設定すると、セットするユーザ設定用紙の向きを変更するたびに設定を変更する必要がありません。ただし、「フリー」に設定する場合は、次のことに気をつけてください。

- セットした用紙とプリンタドライバの用紙サイズの設定が合っていることを確認してください。異なっている場合は、「41　ヨウシサイズ　カクニン」のメッセージが表示されて印刷が中断されたり、紙づまりが発生したりすることがあります。
- LIPS LX プリンタドライバからユーザ設定用紙を印刷する場合、縦置き、横置きにセットすることが可能ですが、長辺が 297.0mm 以下のユーザ設定用紙をセットする場合は、横置きにセットしてください。



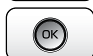
1 ［セットアップ］を押します。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ

ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →







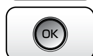
2 ［◄］、［►］で「キュウシ」を選択し、［OK］を押します。

ｷｭｳｼ →

ﾃｻﾞｼﾄﾚｲ ﾖｳｼｻｲｽﾞ→







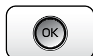
3 ［◄］、［►］で「カセット N（N ＝ 2、3、4）用紙サイズ」を選択し、［OK］を押します。

ｶｾｯﾄ2 ﾖｳｼｻｲｽﾞ →

=ﾕｰｻﾞｾｯﾃｲｻｲｽﾞ →







4 ［◄］、［►］で用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。

- 縦置きにセットした場合：「ユーザセッテイサイズ R」
- 横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：「ユーザセッテイサイズ」

ﾕｰｻﾞｾｯﾃｲｻｲｽﾞR →

=ﾕｰｻﾞｾｯﾃｲｻｲｽﾞR →

用紙サイズの左に「＝」が表示され、ユーザ設定用紙の向きが設定されます。

次に給紙カセットの用紙タイプを設定してください。（→次項目）

給紙カセットの用紙タイプを設定する

給紙カセットに用紙をセットしたときは、用紙の種類に合わせて操作パネルから「カセットN（N=1、2、3、4）　ヨウシタイプ」を設定します。

用紙の種類	共通セットアップメニュー「カセットN（N=1、2、3、4）　ヨウシタイプ」
普通紙（64～105g/m^2）	フツウシ
	フツウシL*
ラベル用紙	ラベルヨウシ

* 「フツウシ」に設定して印刷した結果、次のような不具合があった場合は、「フツウシL」に設定してください。
  ・普通紙（64g/m^2）を印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
  ・幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

重要

- 用紙タイプの設定は、プリンタのセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「カセット N（N=1、2、3、4）ヨウシタイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、印刷を続行することができます。
- 給紙カセットにセットした用紙のタイプと次の設定を必ず合わせてください。これらの設定が一致していないとエンジンに重大な故障が生じる恐れがあります。
  ・プリンタドライバの「用紙タイプ」の設定*
  ・「カセットN（N＝1、2、3、4）用紙タイプ」の設定
  * プリンタドライバを使用できないOS（MS-DOSやUNIXなど）から印刷する場合は、「デフォルト用紙タイプ」の設定を合わせてください（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）。
- 「カセット N（N=1、2、3、4）　ヨウシタイプ」を「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙タイプとのチェックを行いません。必ず、プリンタドライバで設定した用紙タイプと給紙カセットにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。



1 ［セットアップ］を押します。



4

給紙・排紙のしかた



2 [◀]、[▶] で「キュウシ」を選択し、[OK] を押します。





3 [◀]、[▶] で「カセットN（N=1、2、3、4） ヨウシタイプ」を選択し、[OK] を押します。





4 [◀]、[▶] で用紙タイプを選択し、[OK] を押します。



用紙タイプの左に「=」が表示され、給紙カセットの用紙タイプが設定されます。

続いて、次の設定を行います。
Windows や Macintosh のプリンタドライバから印刷する場合：
プリンタドライバを設定する（➞P.4-60）
BMLinkS プリンタドライバから印刷する場合：
1.「デフォルト　ヨウシタイプ」を設定する
　（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
2. プリンタドライバを設定する
　（➞ BMLinkS プリンタドライバの「ユーザーズマニュアル」）
DOS や UNIX などから印刷する場合：
「デフォルト　ヨウシサイズ」と「デフォルト　ヨウシタイプ」を設定する（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイから印刷するときは、次の操作を行います。

■ 用紙をセットする（→P.4-45）

■ 用紙サイズと用紙タイプを設定する（→P.4-56、→P.4-57）

■ プリンタドライバの設定をする（→P.4-60）

メモ　プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、あらかじめ給紙元を「テザシトレイ」に設定してください。（→P.4-12）

用紙のセット方法

手差しトレイには、次の用紙がセットできます。

用紙タイプ	用紙サイズ	セット方法
普通紙 厚紙（106～169g/m²）	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、SRA3、12 × 18、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・はがきサイズ はがき（幅：100.0mm、長さ：148.0mm）、往復はがき（幅：148.0mm、長さ：200.0mm）、4 面はがき（幅：200.0mm、長さ：296.0mm） ・ユーザ設定用紙、長尺紙	P.4-46
厚紙（170～220g/m²）	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、SRA3、12 × 18、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ユーザ設定用紙、長尺紙	
コート紙	A3*1、A4*2	
ラベル用紙	A4*3	
封筒	洋形４号（幅：105.0mm、長さ：235.0mm） 洋形２号（幅：114.0mm、長さ：162.0mm） 角形２号 *4（幅：240.0mm、長さ：332.0mm）	P.4-50
はがき	はがき（幅：100.0mm、長さ：148.0mm） 往復はがき（幅：148.0mm、長さ：200.0mm） 4 面はがき（幅：200.0mm、長さ：296.0mm）	

*1 キヤノン推奨品イメージコート A3

*2 キヤノン推奨品イメージコート A4

*3 キヤノン推奨品ラベル用紙 A4

*4 キヤノン推奨品 LBP 用封筒 K201-G

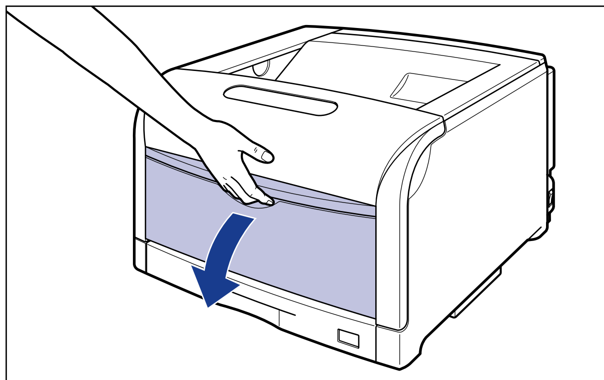
重要
- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」(➞P.4-3)を参照してください。
- 手差しトレイの取り扱いについては「手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意」(➞P.4-13)を参照してください。

用紙(はがき、封筒以外)をセットする場合

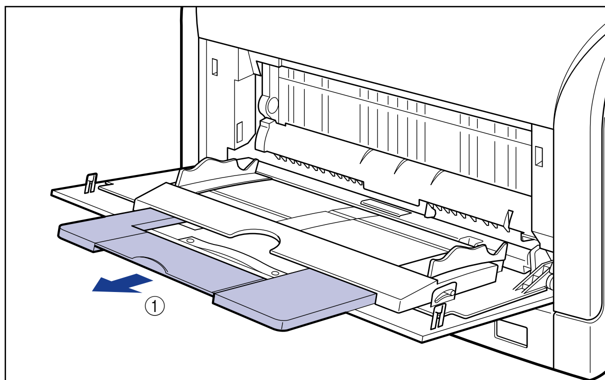
手差しトレイに普通紙や厚紙、ラベル用紙、コート紙をセットするときは、次の手順で行います。

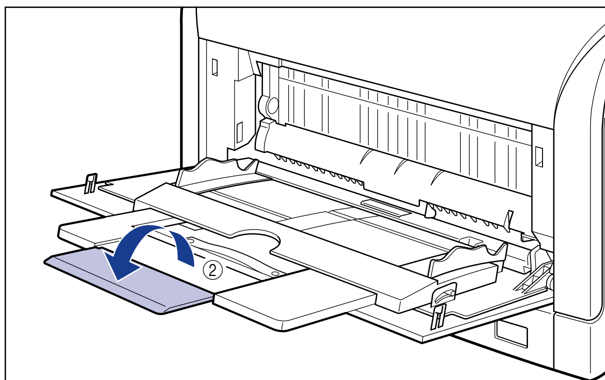
1 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

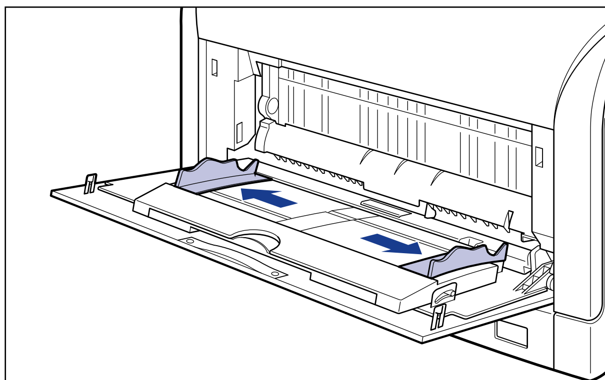


2 A3 や B4、長尺紙などの長いサイズの用紙をセットするときは補助トレイを引き出し ①、延長トレイを開けます ②。

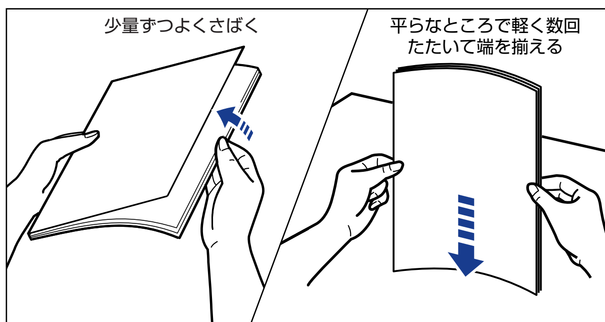




3 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。



4 ラベル用紙、コート紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

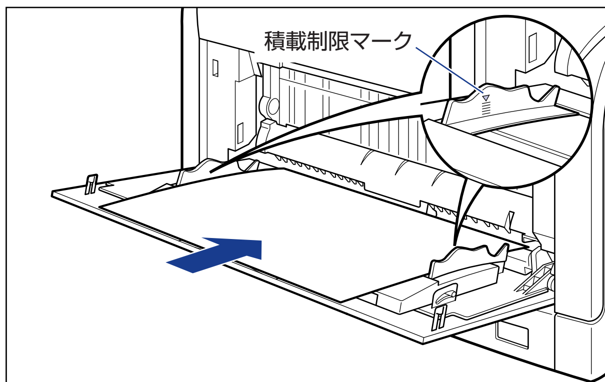


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- ラベル用紙、コート紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。
- コート紙をさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。
- コート紙に手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因になります。

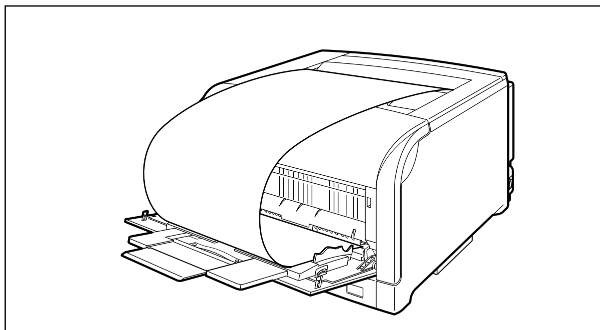
5 用紙の印刷面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限マークの下を通してください。



注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要 ●長尺紙をセットする場合は、1 枚ずつ図のように手差しトレイにセットします。



●手差しトレイには、次の枚数までセットできます。用紙束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
・普通紙：約 100 枚（64g/m^2 の場合）
・厚紙：約 50 枚（128g/m^2 の場合）
・ラベル用紙：約 40 枚
・コート紙：約 50 枚

●用紙を斜めにセットしないでください。

●用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。

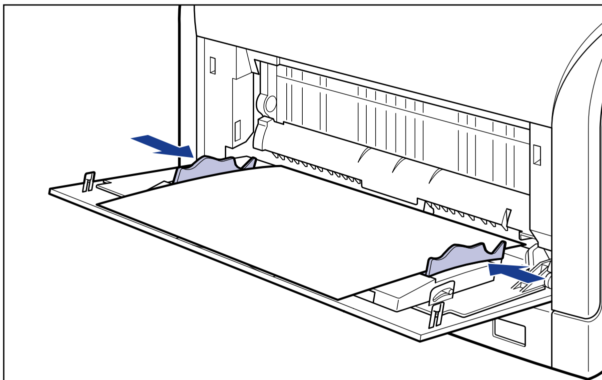
●用紙の先端が折れ曲がっていたり、カールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。

●裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

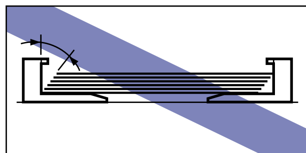
メモ ●セットアップメニューの給紙グループにある「手差しトレイ用紙サイズ」の設定を「フリー」に設定しているときに、長辺が 297.0mm 以下のユーザ設定用紙を印刷する場合は、お使いのプリンタドライバにしたがって、次のようにセットしてください。
LIPS LX プリンタドライバを使用している場合：横置きにセット
LIPS LX プリンタドライバを使用していない場合：縦置きにセット

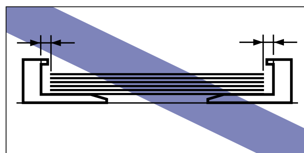
●レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、「用紙のセット向きについて」（➞P.4-79）を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

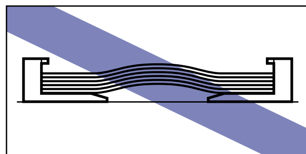
6 **用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。**



重要　必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。







次に手差しトレイの用紙サイズを設定してください（→P.4-56）。

はがき、封筒をセットする場合

手差しトレイには、次のはがき、封筒がセットできます。

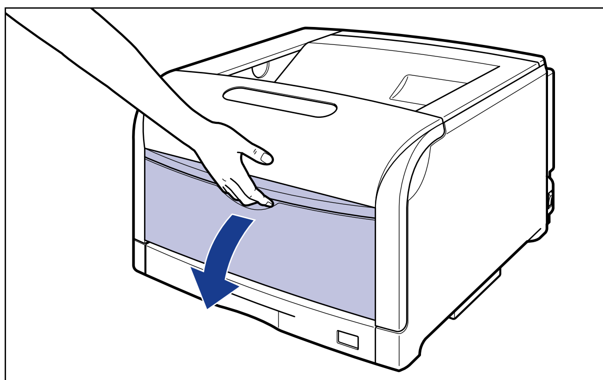
- はがき：郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき、キヤノン推奨４面はがき
- 封筒：洋形４号、洋形２号、角形２号

はがき、封筒を手差しトレイにセットするときは、次の手順でセットします。

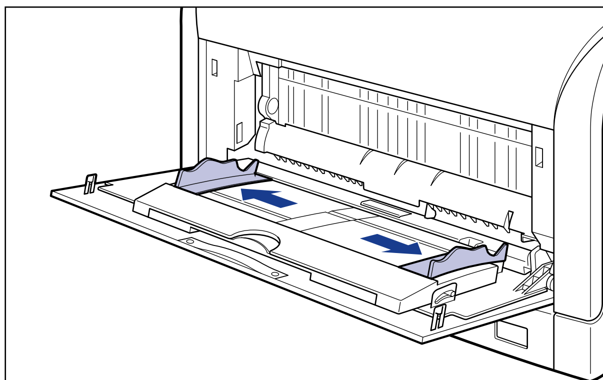
メモ　はがき、往復はがき、４面はがきサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）、厚紙（106 ～ 169g/m^2）に印刷する場合は、「用紙（はがき、封筒以外）をセットする場合」（→P.4-46）を参照してください。

1 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

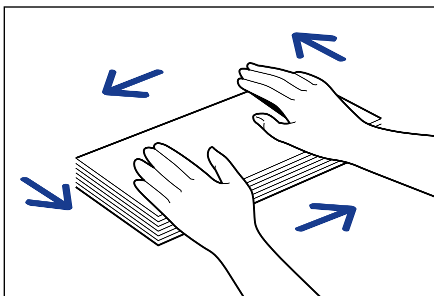


2 用紙ガイドの幅を用紙の幅より少し広めにセットします。



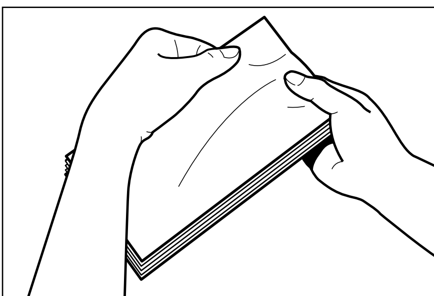
3 封筒をセットする場合は、次のように揃えます。

● 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

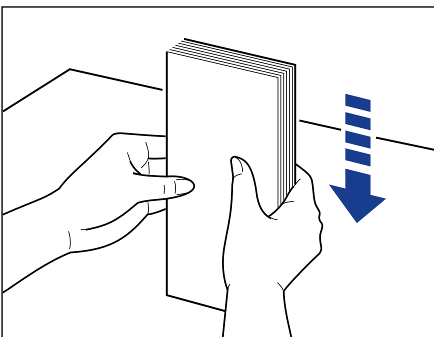


⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

● 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。

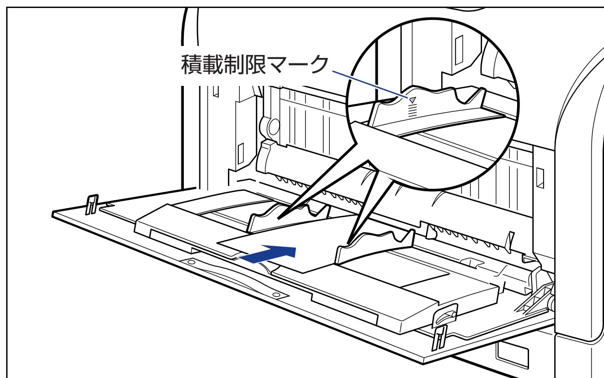


● 封筒を平らな場所で揃えます。



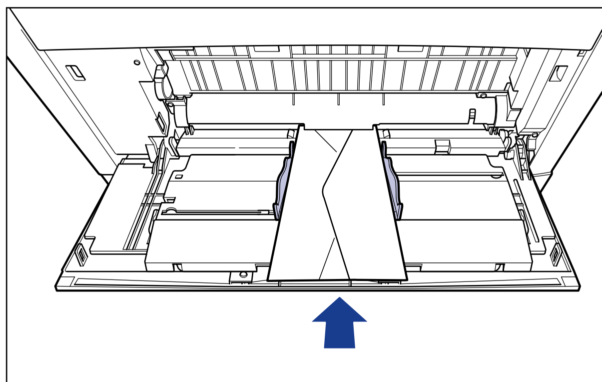
4 用紙の印刷面を下にして、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限マークの下を通してください。

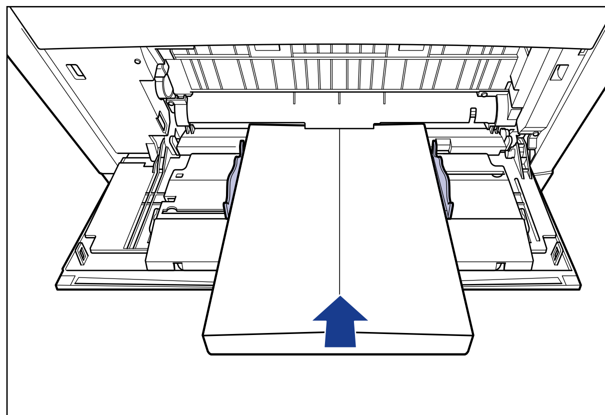


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

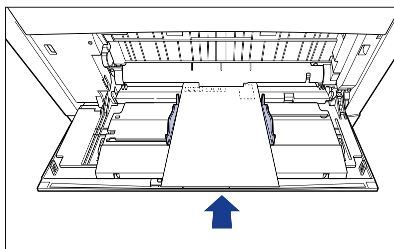
重要
- はがき、封筒は次のようにセットします。
  （←：給紙方向）
  ・洋形４号／洋形２号
  ふたがプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

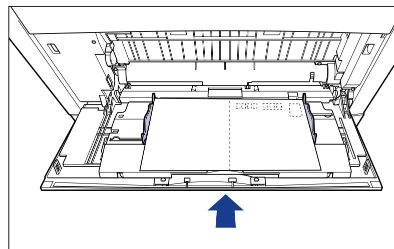


・角形２号
ふたを開けたまま、底辺がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

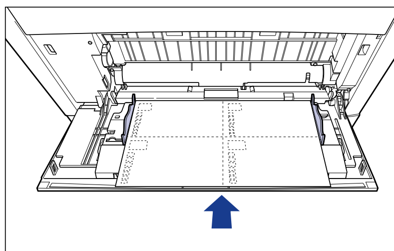


・はがき／往復はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。





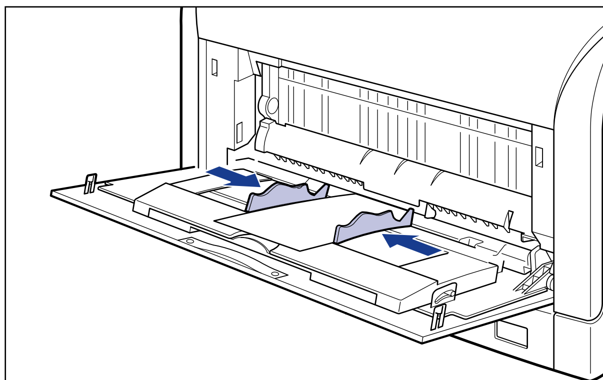
・４面はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。



- 手差しトレイにセットできる用紙の枚数は、次の通りです。
  ・郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき：約 40 枚
  ・キヤノン推奨４面はがき：約 50 枚
  ・封筒：約 10 枚
  絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）には印刷できません。

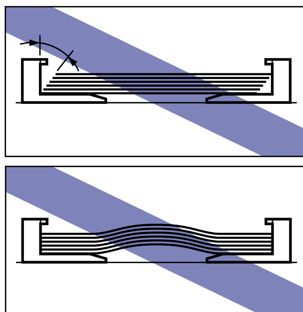
- 往復はがきに印刷するときは、アプリケーションソフトの用紙設定と印字方向をセットする用紙の方向に合わせて設定してください。（例：Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合は、「往復はがき横」を選択してください。）
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- 裁断状態が悪いはがきを使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、はがきを平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

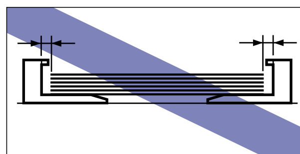
5 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。





必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。





次に手差しトレイの用紙サイズを設定してください（→P.4-56）。

手差しトレイの用紙サイズを設定する

手差しトレイに用紙をセットしたときは、プリンタの操作パネルから手差しトレイの用紙サイズを設定します。

重要

- 用紙サイズの設定は、プリンタのセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「テザシトレイ　ヨウシサイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、印刷を続行することができます。
- 「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると、セットする用紙サイズを変更するたびに設定を変更する必要がありません。ただし、「フリー」に設定する場合は、次のことに気をつけてください。
  - ・セットした用紙とプリンタドライバの用紙サイズの設定が合っていることを確認してください。異なっている場合は、「41　ヨウシサイズ　カクニン」のメッセージが表示されて印刷が中断されたり、紙づまりが発生したりすることがあります。
  - ・LIPS LX プリンタドライバからユーザ設定用紙を印刷する場合、縦置き、横置きにセットすることが可能ですが、長辺が 297.0mm 以下のユーザ設定用紙をセットする場合は、横置きにセットしてください。

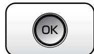


1 ［セットアップ］を押します。









2 ［◄］、［►］で「キュウシ」を選択し、［OK］を押します。









3 ［◄］、［►］で「テザシトレイ　ヨウシサイズ」を選択し、［OK］を押します。







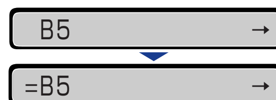


4 ［◄］、［►］で用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。

ユーザ設定用紙をセットしたときは、次のように設定してください。

- 縦置きにセットした場合：「ユーザセッテイサイズ R」

- 横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）:「ユーザセッテイサイズ」



用紙サイズの左に「＝」が表示され、手差しトレイの用紙サイズが設定されます。

次に手差しトレイの用紙タイプを設定してください（→次項目）。

手差しトレイの用紙タイプを設定する

手差しトレイに用紙をセットしたときは、用紙の種類に合わせて操作パネルから「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を設定します。

用紙の種類	共通セットアップメニュー 「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定
普通紙（64 ～ 105g/m^2）	フツウシ
	フツウシ L*1
厚紙（106 ～ 169g/m^2）	アツガミ 1
厚紙（170 ～ 220g/m^2）	アツガミ 2
コート紙	コートシ *2
ラベル用紙	ラベルヨウシ
封筒	フウトウ
はがき	ハガキ

*1「フツウシ」に設定して印刷した結果、次のような不具合があった場合は、「フツウシ L」に設定してください。
　・普通紙（64g/m^2）を印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
　・幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

*2 106 ～ 169g/m^2 以外のコート紙の場合は、次の設定を行ってください。
　・105 g/m^2 以下の場合 :「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を「フツウシ」に設定する
　・170 ～220 g/m^2 の場合 :「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を「コートシ」にして、ユーザメンテナンスグループの「トクシュ　インジショリ」の「コートシ」を「スル」に設定する

重要

- 用紙タイプの設定は、プリンタのセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「テザシトレイ　ヨウシタイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、印刷を続行することができます。
- 手差しトレイにセットした用紙のタイプと次の設定を必ず合わせてください。これらの設定が一致していないとエンジンに重大な故障が生じる恐れがあります。
  ・プリンタドライバの「用紙タイプ」の設定 *
  ・「手差しトレイ用紙タイプ」の設定

* プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）から印刷する場合は、「デフォルト用紙タイプ」の設定を合わせてください（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）。

- 「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙タイプとのチェックを行いません。必ず、プリンタドライバで設定した用紙タイプと手差しトレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。
- 本プリンタは、はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙（64 ～ 105g/m²）、厚紙（106 ～ 169g/m²）やキヤノン推奨 4 面はがきに印刷することができます。その場合は、次の設定を行ってください。
  - ・普通紙（64 ～ 105g/m²）に印刷する場合：「フツウシ」
  - ・厚紙（106 ～ 169g/m²）、キヤノン推奨 4 面はがきに印刷する場合：「アツガミ 1」



1 ［セットアップ］を押します。





2 ［◀］、［▶］で「キュウシ」を選択し、［OK］を押します。





3 ［◀］、［▶］で「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を選択し、［OK］を押します。





4 ［◀］、［▶］で用紙のタイプを選択し、［OK］を押します。



用紙タイプの左に「＝」が表示され、手差しトレイの用紙タイプが設定されます。

続いて、次の設定を行います。
Windows や Macintosh のプリンタドライバから印刷する場合：
プリンタドライバを設定する（➞P.4-60）
BMLinkS プリンタドライバから印刷する場合：
1. 「デフォルト　ヨウシタイプ」を設定する（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
2. プリンタドライバを設定する（➞ BMLinkS プリンタドライバの「ユーザーズマニュアル」）
DOS や UNIX などから印刷する場合：
「デフォルト　ヨウシサイズ」と「デフォルト　ヨウシタイプ」を設定する（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

プリンタドライバの設定をして印刷する

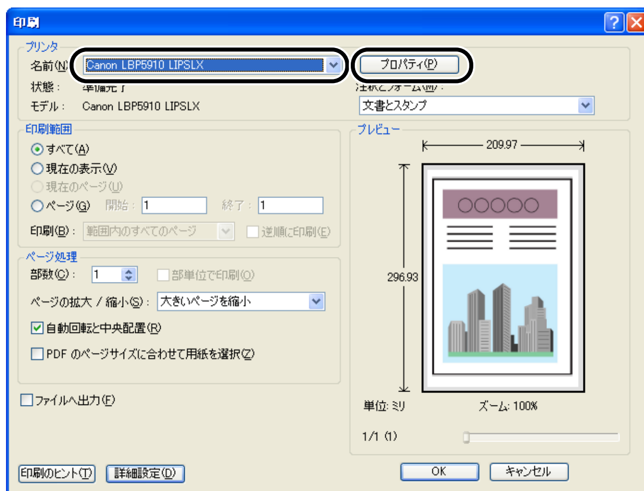
用紙を給紙部にセットしたあと、次の手順でプリンタドライバの設定をして印刷します。

プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

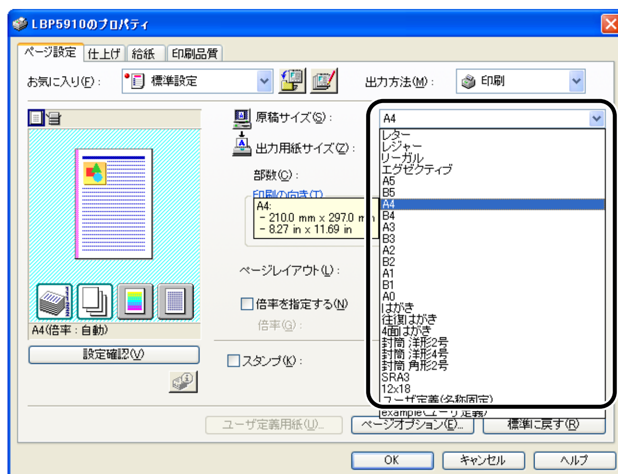
メモ
- プリンタドライバのインストール方法については、User Software CD-ROMに収められている取扱説明書を参照してください。
- プリンタドライバの設定項目の詳しい説明については、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。
- BMLinkSプリンタドライバの用紙の設定方法については、BMLinkSプリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

2 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

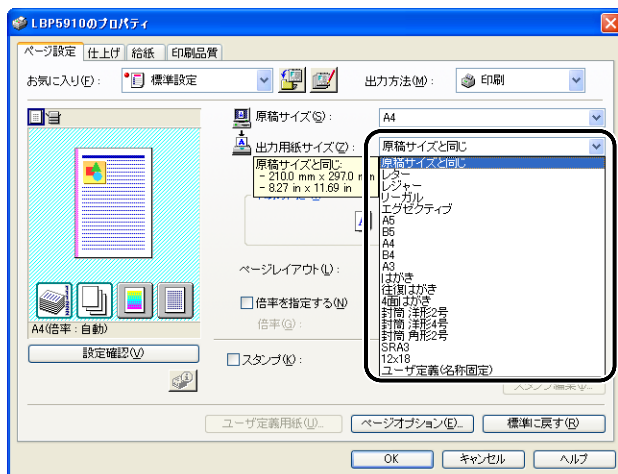


3 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。



4 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

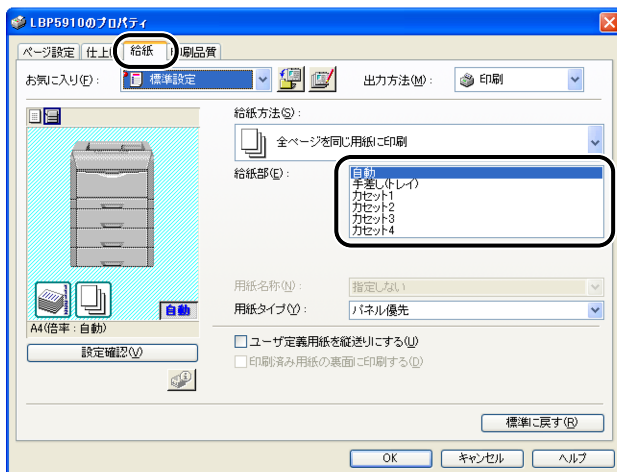
［原稿サイズ］と給紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。



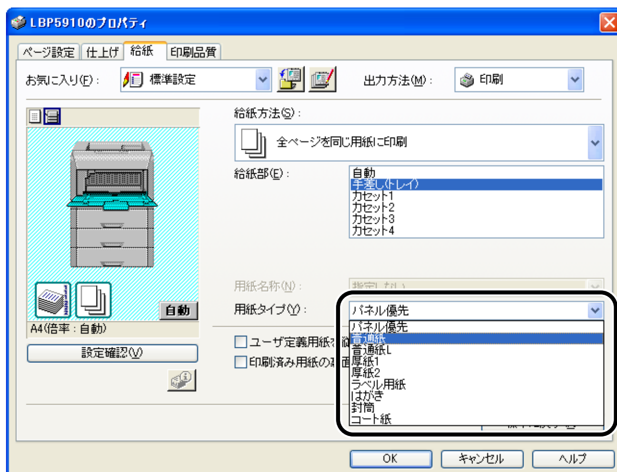


［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

5 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］を選択します。



6 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。



メモ　［用紙タイプ］に応じて、次のように設定してください。

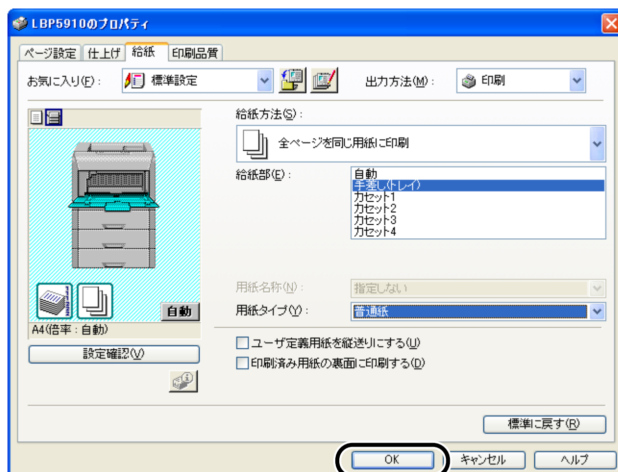
用紙タイプ		プリンタドライバの設定
普通紙	64～105g/m²	［普通紙］
		［普通紙 L］ *1
厚紙	106～169g/m²	［厚紙 1］
	170～220g/m²	［厚紙 2］

用紙タイプ	プリンタドライバの設定
ラベル用紙	［ラベル用紙］
コート紙	［コート紙］*2
はがき	［はがき］
封筒	［封筒］

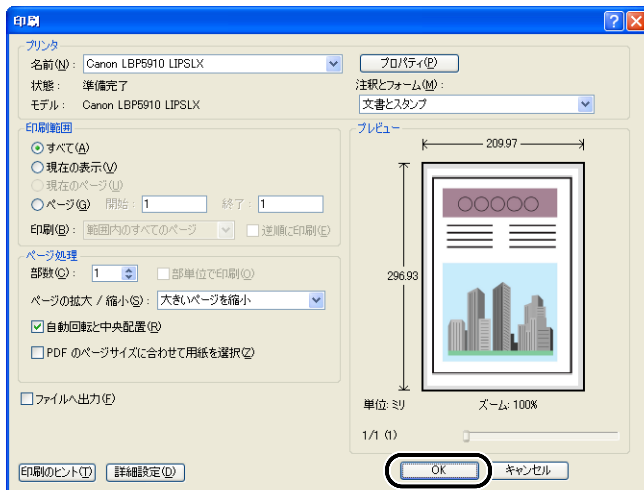
*1［普通紙］に設定して印刷した結果、次のような不具合があった場合は、［普通紙 L］に設定してください。
・普通紙（64g/m^2）を印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合
・幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

*2 106 ～ 169g/m^2 以外のコート紙の場合は、次の設定を行ってください。
・105 g/m^2 以下の場合：［用紙タイプ］を［普通紙］に設定する
・170 ～ 220 g/m^2 の場合：［用紙タイプ］を［コート紙］にして、［仕上げ］-［仕上げ詳細］-［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊印字処理］を［する］に設定する

7 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



8 ［OK］をクリックし、印刷を実行します。



両面に印刷する

次の用紙に両面印刷することができます。

用紙サイズ： A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ、ユーザ設定用紙（縦置きの場合：幅 210.0 ～ 312.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm、横置きの場合＊：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm）

＊ LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ

用紙タイプ： 普通紙（64 ～ 105g/m^2）



- 厚紙、コート紙、ラベル用紙、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒には、自動両面印刷できません。
- 両面印刷の設定をした状態で、奇数ページのジョブを印刷するときの最終ページの印刷面は、共通セットアップメニューのレイアウトグループにある「特殊両面処理」の設定や給紙元によって、次のようになります。
  - ・給紙カセットから印刷する場合
    「スル」に設定すると、セットした用紙の上の面に印刷して排紙します。
    「シナイ」に設定すると、セットした用紙の下の面に印刷して排紙します。
  - ・手差しトレイから印刷する場合
    「スル」に設定すると、セットした用紙の下の面に印刷して排紙します。
    「シナイ」に設定すると、セットした用紙の上の面に印刷して排紙します。
- プレプリント紙など用紙の向きや表裏のある用紙に印刷するとき、最終ページの用紙の向きや表裏を前ページと合わせたいときは、「特殊両面処理」を「シナイ」に設定してください。
- 両面印刷中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面印刷中は表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。



- プリンタの RAM 容量によっては、罫線が多い文書や複雑な図・表・グラフのある文書を自動両面印刷する場合、印字品質が低下したり、「39　スプールメモリフル」と表示されて印刷できないことがあります。その場合は、次の処置を行ってください。
  - ・「階調処理」を「コウカイチョウ 1」に設定して印刷しなおす
  - ・拡張 RAM を増設する（→P.7-21）
- 自動両面印刷では、裏面から印刷されますので、用紙をセットする向きが片面印刷のときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙に印刷するときは、「用紙のセット向きについて」（→P.4-79）を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

自動両面印刷と片面印刷を切り替える

■ Windows から印刷する場合

プリンタドライバで次の設定を行います。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1. プリンタドライバの［仕上げ］ページを表示する
2. ［印刷方法］で［両面印刷］を選択する

重要　BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、両面の設定方法が異なります。詳しくは、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

■ Macintosh から印刷する場合

プリンタドライバで設定します。プリンタ ドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX から印刷する場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、プリンタの操作パネルで次の手順を行います。



1 ［セットアップ］を押します。







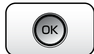


2 ［◀］、［▶］で「キュウシ」を選択し、［OK］を押します。







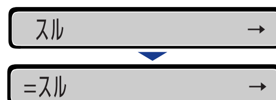


3 ［◀］、［▶］で「リョウメン　インサツ」を選択し、［OK］を押します。





4 ［◀］、［▶］で「スル」を選択し、［OK］を押します。



「スル」の左に「＝」が表示され、両面印刷が設定されます。

手動で両面に印刷する

本プリンタは、裏面に印刷済みの用紙にも対応しており、自動両面印刷できない用紙にも両面印刷することが可能です。印刷済み用紙の裏面に印刷するときは、プリンタドライバや操作パネルで設定が必要です。

重要
- 本プリンタで一度印刷した用紙の裏面に印刷する場合は、必ず「手差し両面」を「2 メンメ」に設定して印刷してください。
- はがきに両面印刷する場合、裏面（文書側の面）から先に「手差し両面」を「1 メンメ」に設定して印刷し、次に表面（宛名側の面）を「2 メンメ」に設定して印刷してください。詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ Windows から印刷する場合

プリンタドライバで次の設定を行います。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1. プリンタドライバの［給紙］ページを表示する
2. ［印刷済み用紙の裏面に印刷する］にチェックマークを付ける

重要　BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、操作パネルで手動両面印刷の設定を行います。「DOS や UNIX から印刷する場合」と同様の手順で設定してください。

■ Macintosh から印刷する場合

プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX から印刷する場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、プリンタの操作パネルで次の手順を行います。



1 ［セットアップ］を押します。



4
給紙・排紙のしかた



2 [◀]、[▶] で「キュウシ」を選択し、[OK] を押します。



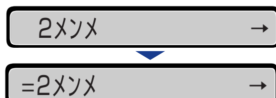


3 [◀]、[▶] で「テザシ　リョウメン」を選択し、[OK] を押します。





4 [◀]、[▶] で「2 メンメ」を選択し、[OK] を押します。



「2 メンメ」の左に「=」が表示され、裏面印刷が設定されます。

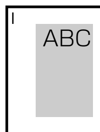
とじしろを付けて印刷する

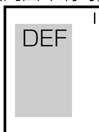
用紙の端にとじしろ用の余白を付けて印刷することができます。とじしろを付けるときは、付ける位置（長手方向または短手方向）ととじしろ（最大 50mm）を指定します。

用紙を縦に使ってとじしろをあけて印刷したいとき

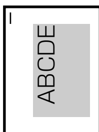
用紙を横に使ってとじしろをあけて印刷したいとき

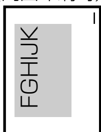
表　裏（両面印刷時）

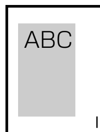


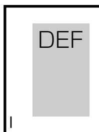


とじ方向：チョウヘントジ
とじしろ：「＋」方向

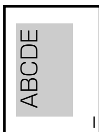


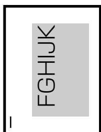


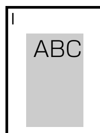


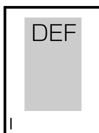


とじ方向：チョウヘントジ
とじしろ：「−」方向

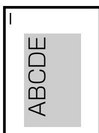


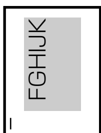


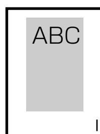


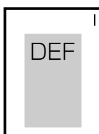


とじ方向：タンペントジ
とじしろ：「＋」方向

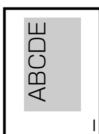


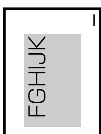






とじ方向：タンペントジ
とじしろ：「−」方向





重要　とじしろを設定した結果、用紙の印字可能領域を超えた部分はカットされます。

メモ
- プリンタドライバの場合、（＋）、（−）方向の設定はとじ位置の選択で行います。
- 自動両面印刷の場合、表裏のとじ位置を自動的に合わせます。
- 縦位置補正、横位置補正の設定はとじしろの設定に関係なく有効です。このため、両面印刷で縦位置補正、横位置補正が設定されている場合、表裏のとじしろがずれることがあります。

とじしろを設定する

■ Windows から印刷する場合

プリンタドライバで次の設定を行います。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1. プリンタドライバの［仕上げ］ページを表示する
2. ［とじ方向］を設定する

3. ［とじしろ］をクリックして、［とじしろ指定］ダイアログボックスでとじしろの幅を設定する

重要 BMLinkS プリンタドライバをご使用の場合、操作パネルでとじしろの設定を行います。「DOS や UNIX から印刷する場合」と同様の手順で設定してください。

■ Macintosh から印刷する場合

プリンタドライバで設定します。プリンタ ドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX から印刷する場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する場合は、プリンタの操作パネルで次の手順を行います。

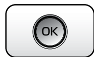


1 ［セットアップ］を押します。









2 ［◄］、［►］で「レイアウト」を選択し、［OK］を押します。









3 ［◄］、［►］で「トジ　ホウコウ」を選択し、［OK］を押します。



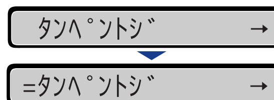
とじ方向の設定値が表示されます。







4 ［◄］、［►］で目的のとじ方向を選択し、［OK］を押します。



選択したとじ方向が設定されます。



5 ［◀］、［▶］で「トジシロ」を選択し、［OK］を押します。

ﾄｼﾞｼﾛ →

=0.0 →

とじしろの設定値が表示されます。



6 ［◀］、［▶］で目的の数値を選択し、［OK］を押します。

数値は、［◀］または［▶］を押すたびに 0.5mm 単位で変化します。

25.5 →

=25.5 →

設定値の左右に「=」が表示され、とじしろが設定されます。

ステイプルして出力する（LBP5910F のみ）

印刷した用紙をステイプルして出力します。次の用紙にステイプルすることができます。

用紙サイズ： A3、B4、A4、B5、レジャー（11 × 17）、レター、エグゼクティブ、ユーザ設定用紙（縦置きの場合：幅 257.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 457.2mm、横置きの場合*：幅 257.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm）

* LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ

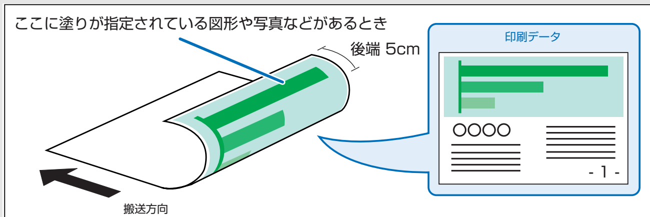
用紙タイプ： 普通紙（64 ～ 105g/m^2）

ステイプル位置： 右上、右下、左上、左下（ステイプル可能な位置は、用紙サイズや送り方向によって異なります）

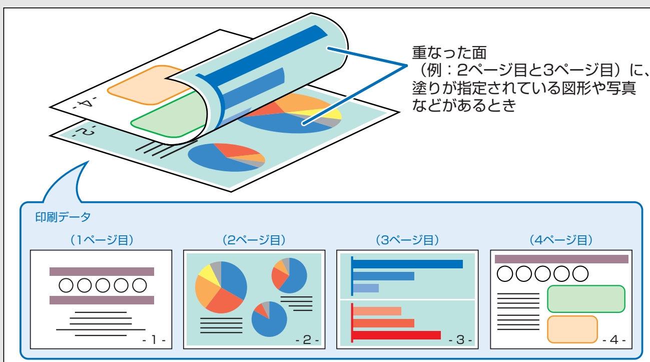
● ステイプルするときの印刷速度について

次の場合、用紙のずれをふせぐために、印刷速度が低下することがあります。
（片面印刷時 18 ページ／分（A4）、両面印刷時 4 ページ／分（A4））

- （搬送方向に対して）用紙の後端から 5cm の範囲に、塗りが指定されている図形や写真などがあるとき
  例：



- 両面印刷時、重なった面（例：2 ページ目と 3 ページ目）に、塗りが指定されている図形や写真などがあるとき
  例：



注意 ステイプルされる場所に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。

重要

- 同一サイズの用紙を最大 15 枚(81.5 ～ 105g/m^2 の場合は、最大 10 枚)までステイプルすることができます。
- 15枚ステイプル時の印刷速度は、カラー／モノクロ印刷とも27枚／分(A4)になります。
- ステイプルした場合、排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。印刷したすべての用紙が途中まで排紙されてから、ステイプルされて完全に排紙されます。
- LBP5910Fとコンピュータを USBケーブルで接続してお使いの場合は、プリンタドライバをインストールしたあと、必ず次の操作を行ってください。次の操作を行わないとステイプル機能は使用できません。
  1. プリンタドライバの［デバイスの設定］ページを表示する
  2. ［デバイス情報取得］をクリックする
- BMLinkSプリンタドライバを使用する場合、BMLinkSプリンタドライバの画面に表示される綴じ位置とは異なる位置にステイプルされることがあります。

メモ

- プリンタドライバのインストール方法については、User Software CD-ROMに収められている取扱説明書を参照してください。
- プリンタドライバの設定項目の詳しい説明については、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。

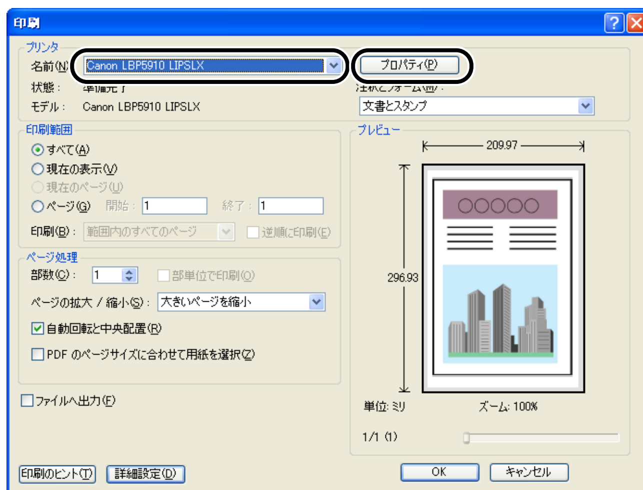
---

1 必要に応じて、とじしろ（ステイプルするための余白）を設定します。

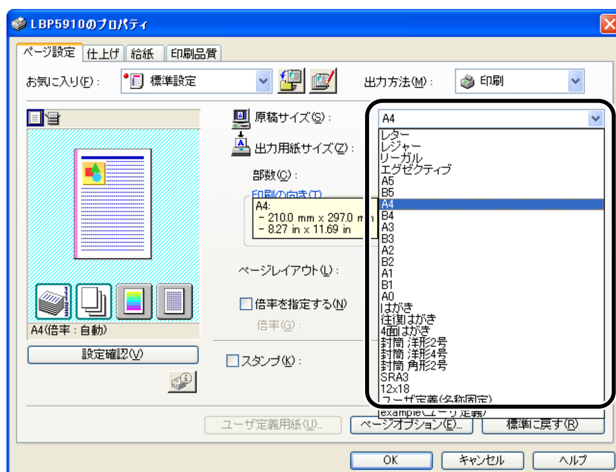
詳細については、「とじしろを付けて印刷する」（→P.4-69）を参照してください。

2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

3 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

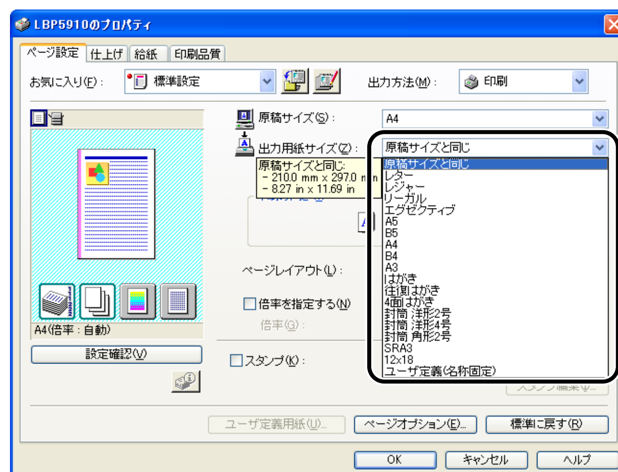


4 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。



5 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

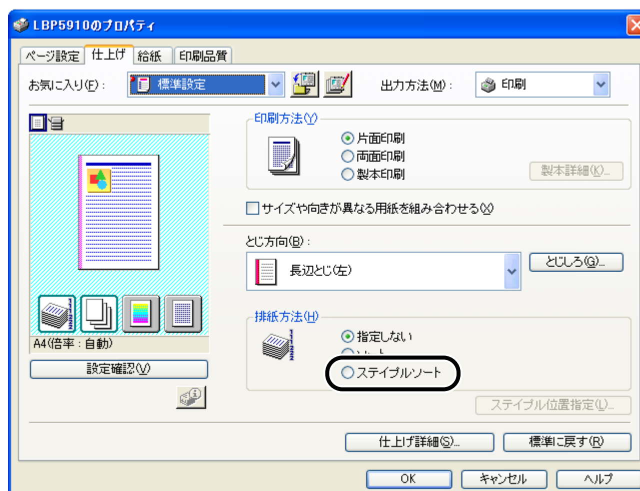
［原稿サイズ］と給紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。



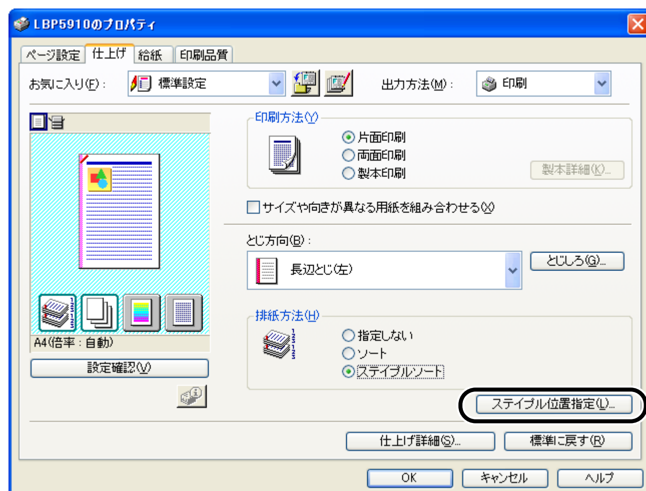


［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

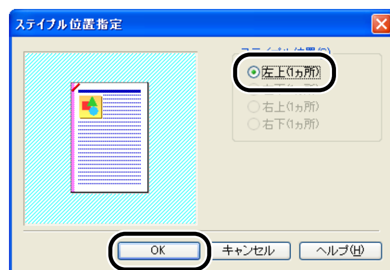
6 ［仕上げ］ページを表示して、［排紙方法］で［ステイプルソート］を選択します。



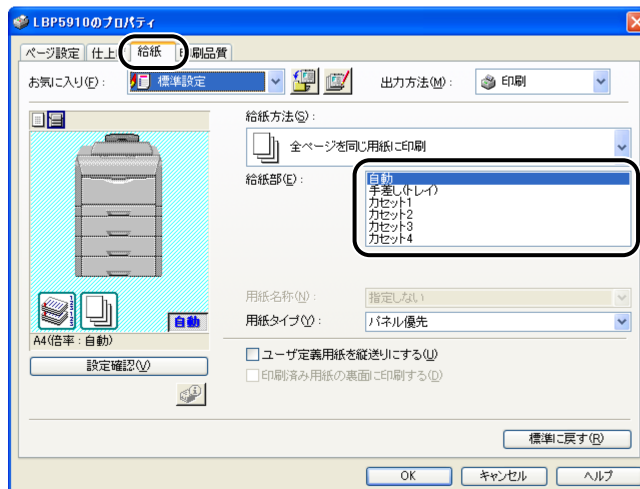
7 ［ステイプル位置指定］をクリックします。



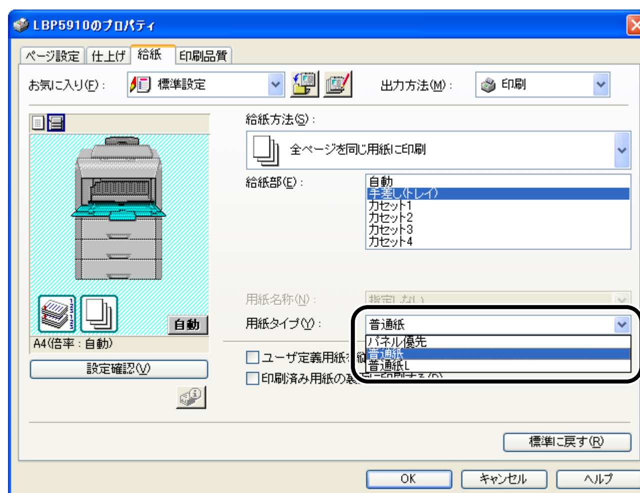
8 ステイプルする位置を選択して、［OK］をクリックします。



9 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］を選択します。



10 ［用紙タイプ］で［普通紙］または［普通紙 L］を選択します。



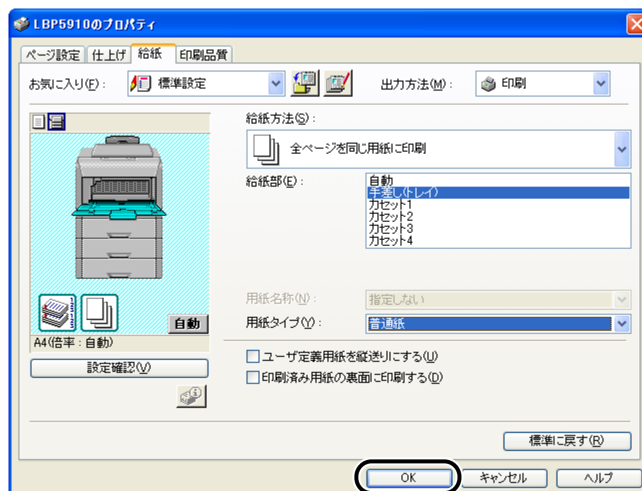


［普通紙］に設定して印刷した結果、次のような不具合があった場合は、［普通紙 L］に設定してください。

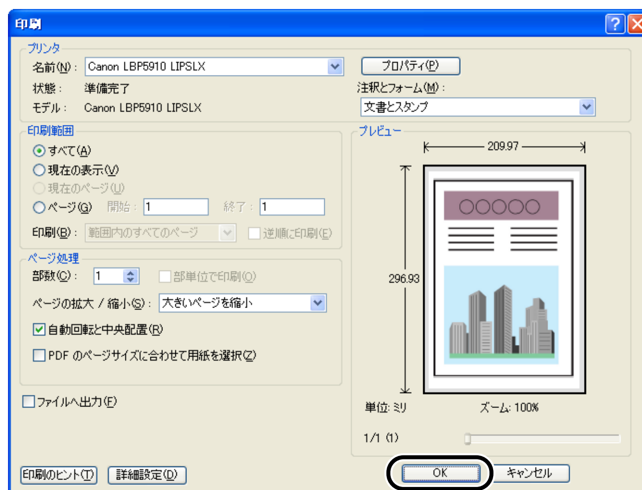
・普通紙（64g/m^2）を印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合

・幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

11 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



12 [OK] をクリックし、印刷を実行します。



用紙のセット向きについて

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次のように正しい向きに用紙をセットしてください。表中の➡は給紙方向を表しています。

	A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合		A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合	
	縦レイアウト	横レイアウト	縦レイアウト	横レイアウト
カセット1～4（片面印刷）				
カセット1～4（自動両面印刷）				
手差しトレイ（片面印刷）				
手差しトレイ（自動両面印刷）				
手差しトレイ（手動両面印刷）				



- 封筒、はがきの用紙セットの方向については「はがき、封筒をセットする場合」（→P.4-50）を参照してください。

- セットアップメニューの給紙グループにある「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」や「手差しトレイ用紙サイズ」の設定を「フリー」に設定しているときに、長辺が297.0mm以下のユーザ設定用紙を印刷する場合は、お使いのプリンタドライバにしたがって、次のようにセットしてください。

  ･LIPS LX プリンタドライバを使用している場合：横置きにセット

  ･LIPS LX プリンタドライバを使用していない場合：縦置きにセット

日常のメンテナンス

5
CHAPTER

この章では、トナーカートリッジの交換や清掃のしかたなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

トナーカートリッジを交換する 5-3
メッセージが表示されたときは 5-3
トナーカートリッジを交換するときのご注意 5-4
トナーカートリッジの交換 5-4
トナーカートリッジのカウンタをリセットする 5-12
使用済みトナーカートリッジ回収のお願い 5-13
トナーカートリッジの取り扱いのご注意 5-13
トナーカートリッジの保管について 5-15
ドラムカートリッジを交換する 5-16
メッセージが表示されたときは 5-16
ドラムカートリッジを交換するときのご注意 5-17
ドラムカートリッジの交換 5-20
使用済みドラムカートリッジ回収のお願い 5-41
ドラムカートリッジの取り扱いのご注意 5-41
ドラムカートリッジの保管について 5-43
定着器を交換する 5-44
メッセージが表示されたときは 5-44
定着器を交換するときのご注意 5-44
定着器の交換 5-45
定着器のカウンタをリセットする 5-52
回収トナー容器を交換する 5-54
メッセージが表示されたときは 5-54
回収トナー容器を交換するときのご注意 5-54
回収トナー容器の交換 5-56
使用済み回収トナー容器回収のお願い 5-60
針カートリッジを交換する（LBP5910Fのみ） 5-61
メッセージが表示されたときは 5-61
針カートリッジを交換するときのご注意 5-62
針カートリッジの交換 5-62

ITB ユニットの転写ベルトを清掃する 5-68
印字位置を調整する 5-69
印字位置の確認. 5-69
印字位置の調整. 5-71
プリンタの外部を清掃する 5-74
プリンタを移動する 5-77
プリンタを移動する 5-77
プリンタの取り扱いについて 5-84

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

メッセージが表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。トナーカートリッジが寿命に近づくと、ディスプレイにメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
16 X ﾄﾅｰ ﾖｳｲ （X は K、Y、M、C）	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
16 X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ （X は K、Y、M、C）	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリンタは停止します ・［オンライン］を押すと印刷は継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
1G X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ （X は K、Y、M、C）	トナーカートリッジが寿命になったとき	・「1G　K　トナー　コウカン」が表示された場合は、プリンタは停止し、継続して印刷することはできません。 ・「1G　X　トナー　コウカン」（X=Y、M、C）が表示された場合は、モノクロ印刷のみ行うことが可能です。 ・表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください

* トナーが少なくなったときに「16　X　トナー　ヨウイ」と「16　X　トナー　コウカン」のどちらが表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16　X　トナー　ヨウイ」が表示されるように設定されています。「警告処理」の設定については、LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

* メッセージの“K”はブラック、“Y”はイエロー、“M”はマゼンタ、“C”はシアンの各トナーカートリッジを表しています。

重要 ● 交換の際は、必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
LBP5910/5910F	Canon Toner Cartridge 502 Black （キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　ブラック） Canon Toner Cartridge 502 Yellow （キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　イエロー） Canon Toner Cartridge 502 Magenta （キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　マゼンタ） Canon Toner Cartridge 502 Cyan （キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　シアン）

- 「1G　X　トナー　コウカン」が表示されていない状態でトナーカートリッジを交換した場合は、必ずトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。(→P.5-12)



本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は下記の条件でのページ数です。
印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙
トナーの消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多く印刷する場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

・Canon Toner Cartridge 502 Black
（キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　ブラック）：約 10,000 ページ
・Canon Toner Cartridge 502 Yellow
（キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　イエロー）：約 6,000 ページ
・Canon Toner Cartridge 502 Magenta
（キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　マゼンタ）：約 6,000 ページ
・Canon Toner Cartridge 502 Cyan
（キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　シアン）：約 6,000 ページ

トナーカートリッジを交換するときのご注意



使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。



トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。



- 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。
- 必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。



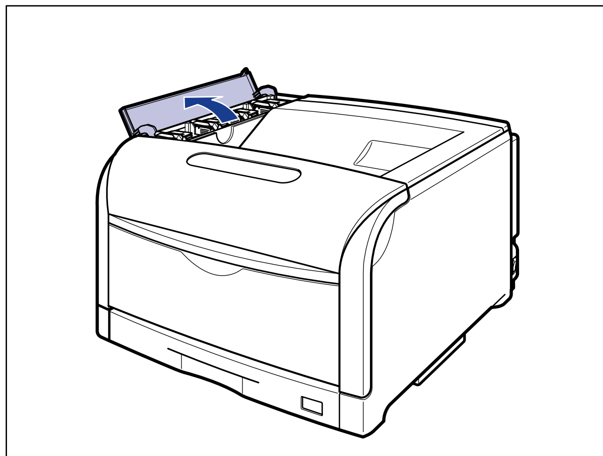
- トナーカートリッジの取り扱いについては、「トナーカートリッジの取り扱いのご注意」(→P.5-13）を参照してください。
- 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

トナーカートリッジの交換

次のメッセージが表示されたときは、表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください。

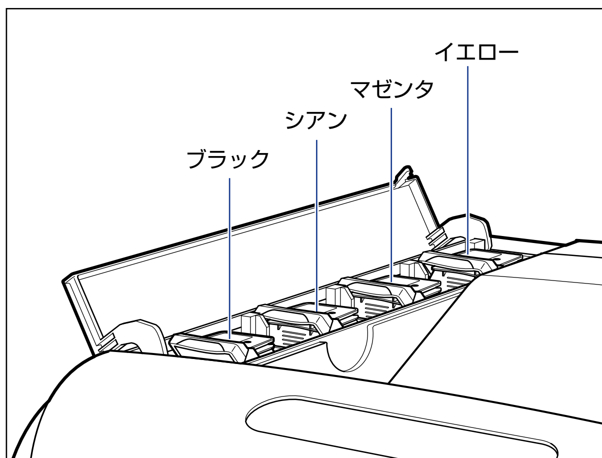
- 「1G　K　トナー　コウカン」・・・ブラックのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　Y　トナー　コウカン」・・・イエローのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　M　トナー　コウカン」・・・マゼンタのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　C　トナー　コウカン」・・・シアンのトナーカートリッジを交換します

1 トナーカバーを開けます。

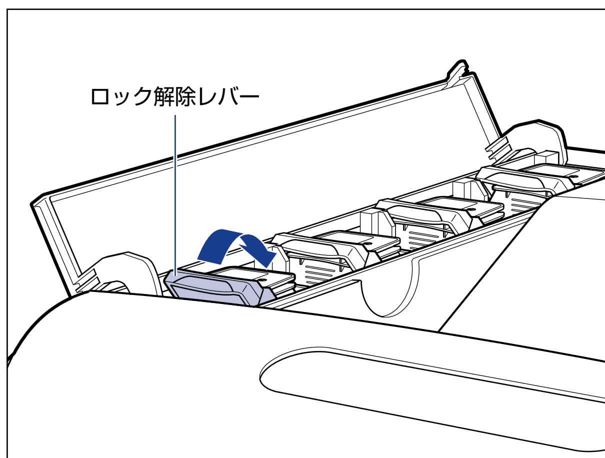




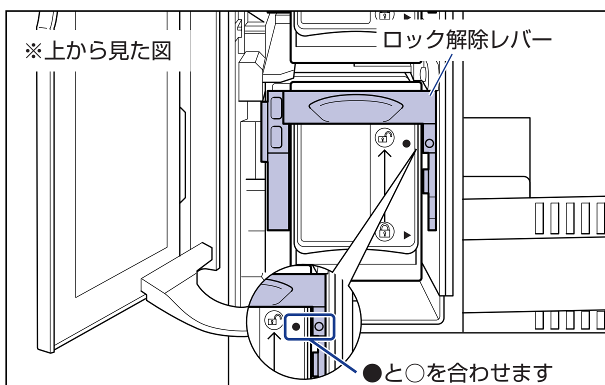
トナーカートリッジは、奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順に取り付けられています。



2 交換する色のトナーカートリッジのロック解除レバーを「🔓」の位置まで倒して、ロックを解除します

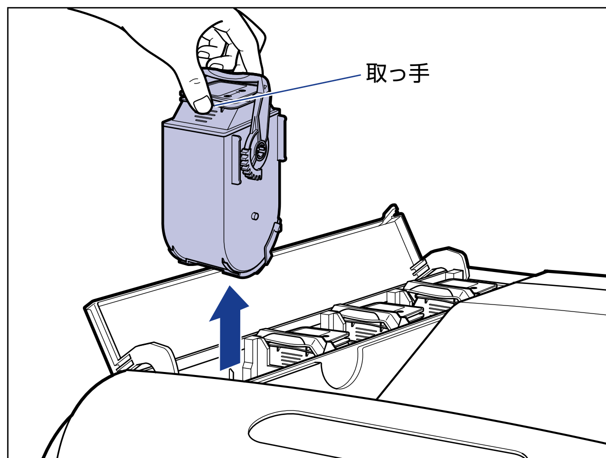


ロック解除レバーの「○」をトナーカートリッジの「●」に合わせます。



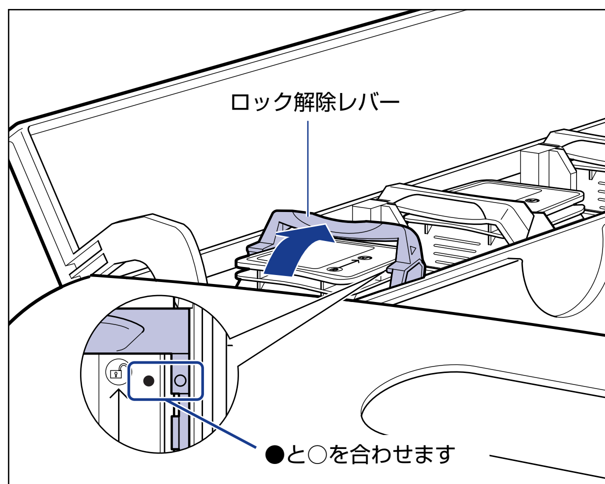
3 図のようにトナーカートリッジの取っ手を持って取り外します。

ロック解除レバーは持たないでください。
「●」と「○」の位置がずれてしまう場合があります。





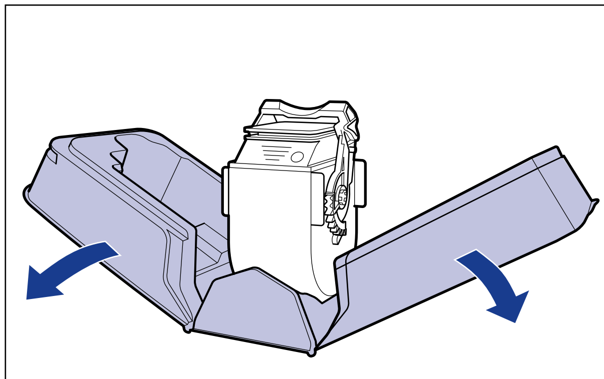
取り外せない場合は、ロック解除レバーの「○」とトナーカートリッジの「●」を再度合わせてください。



4 新しいトナーカートリッジを箱から取り出します。

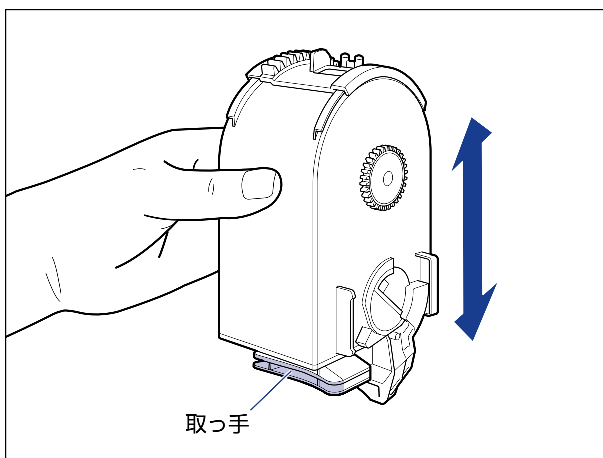
5 保護パックからトナーカートリッジを取り出します。

保護パックは上面の中央部を持って、左右に開きます。



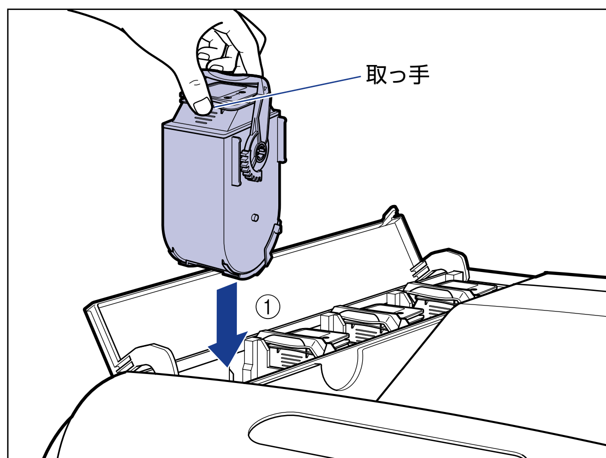
重要　トナーカートリッジが入っていた保護パックは、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

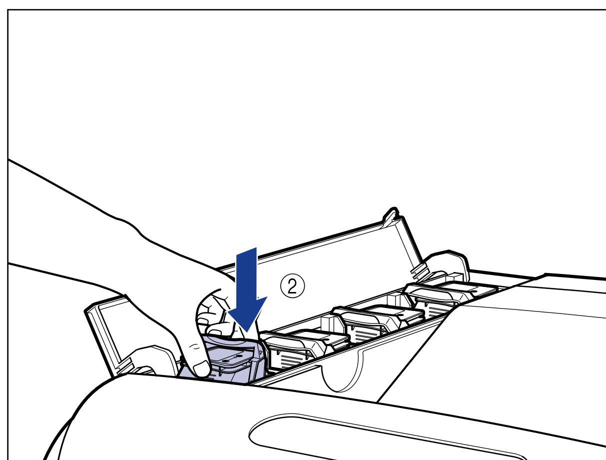
6 図のようにトナーカートリッジの取っ手部分を下側にして、上下に往復10 回振って、内部のトナーを均一にならします。



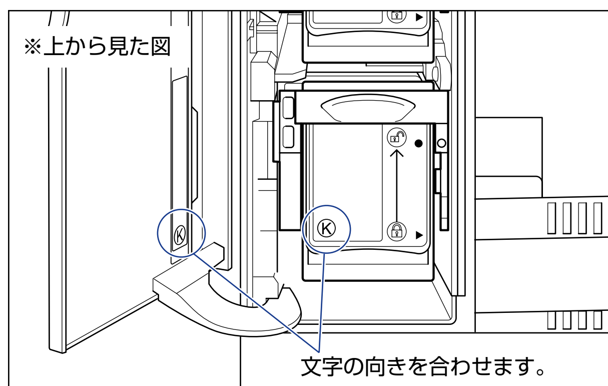
重要　トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

7 図のように取っ手を持って、トナーカートリッジを挿入し ①、止まるまでゆっくりと押し込みます ②。

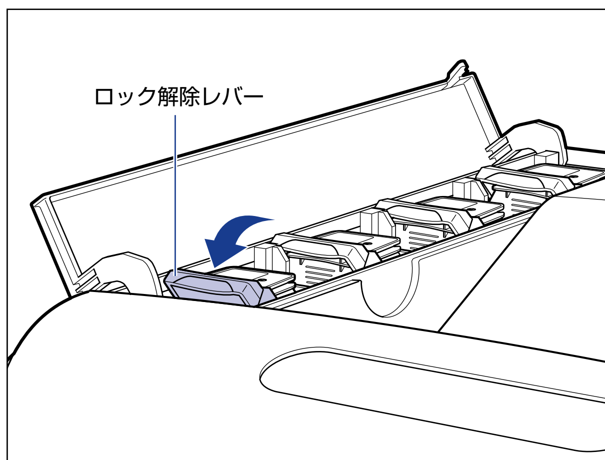




トナーカートリッジとトナーカバーにある文字の向きが合うように取り付けます。



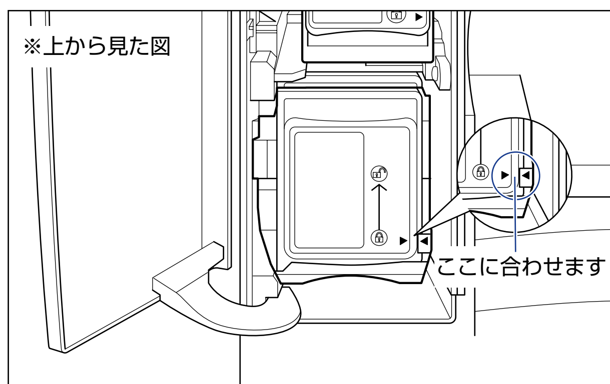
8 ロック解除レバーを「🔒」の位置まで倒して、トナーカートリッジをロックします。



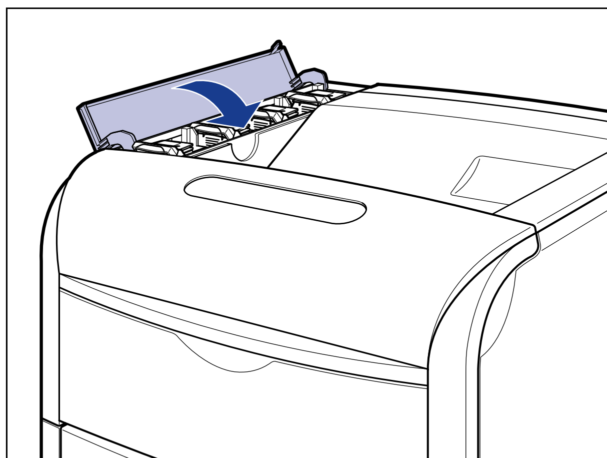
5

日常のメンテナンス

ロック解除レバーの三角マークをトナーカートリッジの三角マークに合わせます。



9 トナーカバーを閉めます。



重要

- トナーカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にトナーカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、トナーカバーを開けたまま長時間放置しないでください。

メモ

トナーカートリッジをセットしても、「1G　X　トナー　コウカン」が消えるまで数秒時間がかかります。「1G　X　トナー　コウカン」が消えない場合は、次の操作を行ってください。

1. 交換したトナーカートリッジを取り出す
2. 取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならす
3. トナーカートリッジを取り付ける

「1G　X　トナー　コウカン」が表示されていない状態で、トナーカートリッジを交換した場合は、「トナーカートリッジのカウンタをリセットする」（→P.5-12）でカウンタのリセットを行います。

トナーカートリッジのカウンタをリセットする

「1G　X　トナー　コウカン」が表示されていない状態で、トナーカートリッジを交換した場合は、次の手順でカウンタのリセットを行います。カウンタのリセットを行わないと、トナーカートリッジの寿命が正しく検知されなくなります。



この操作は「1G　X　トナー　コウカン」が表示されていない状態で、トナーカートリッジを交換した場合にのみ行ってください。



1 **[リセット]を押します。**



リセットメニューが表示されます。







2 **[◄]、[►]で「トナー　コウカン」を選択し、[OK]を押します。**



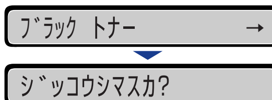
トナーカートリッジの色が表示されます。



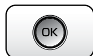




3 **[◄]、[►]でカウンタをリセットするトナーカートリッジを選択し、[OK]を押します。**



確認のメッセージが表示されます。



4 **［OK］を押します。**

［OK］を押さずに、［オンライン］を押すと、初期化を行いません。

ﾌﾞﾗｯｸﾄﾅｰ ｺｳｶﾝﾁｭｳ
↓
ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ｼｭｳﾘｮｳ



トナーカートリッジのカウンタをリセットしたあと、「1G　X　トナー　コウカン」が表示された場合は、次の操作を行ってください。

1. 交換したトナーカートリッジを取り出す
2. 取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならす
3. トナーカートリッジを取り付ける

使用済みトナーカートリッジ回収のお願い



キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
　キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
　使用済みトナーカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

トナーカートリッジの取り扱いのご注意

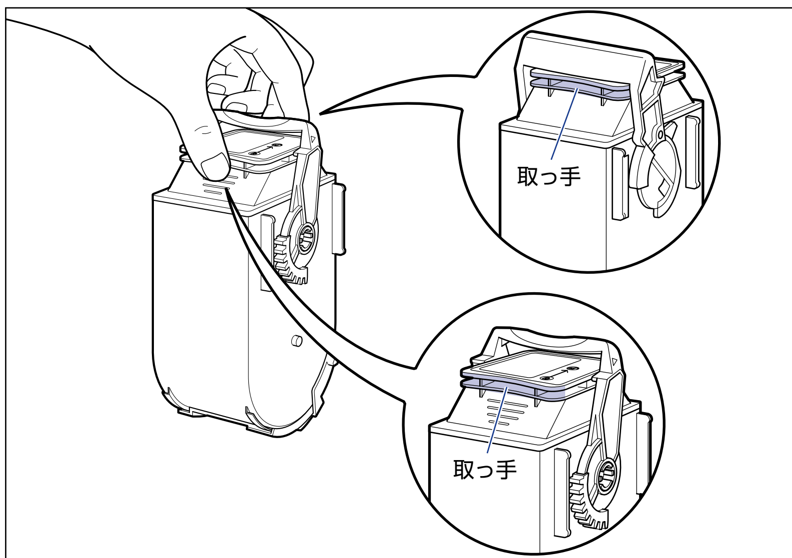
トナーカートリッジは、精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。



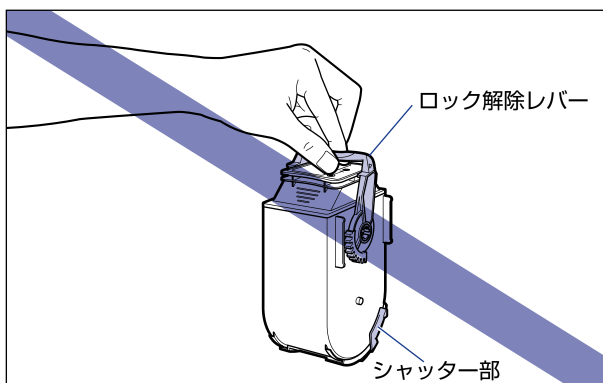
使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠注意　トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要
- プリンタの修理のためにトナーカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにトナーカートリッジを梱包してあった保護パックに入れるか、厚い布で包んでください。
- トナーカートリッジを交換するときは、必ず同じ色のトナーカートリッジに交換してください。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように取っ手を持って取り扱ってください。



- 図のようにトナーカートリッジのロック解除レバーを持ったり、シャッター部を触ったりしないでください。また、指定された以外の部分は、持ったり触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



- 絶対に分解や改造などをしないでください。

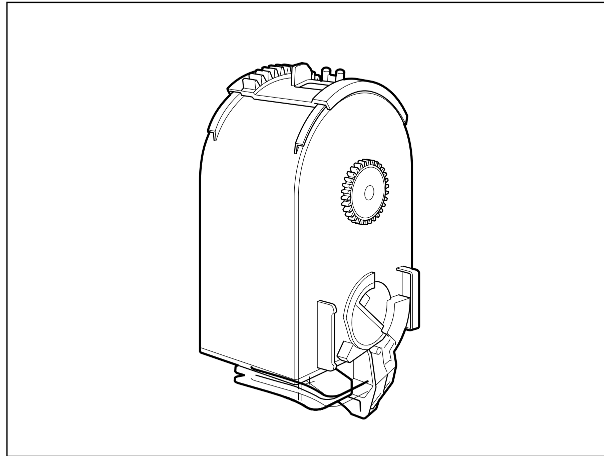
5
日常のメンテナンス

- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護パックを開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

重要
- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護パックから取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護パックに入れるか、厚い布で包み、次の状態で保管してください。



- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

メッセージが表示されたときは

ドラムカートリッジは消耗品です。ドラムカートリッジが寿命に近づくと、ディスプレイにメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
E0 X ドラム ヨウイ （X は K、Y、M、C）	ドラムカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・表示された色の新品のドラムカートリッジを用意してください ・大量のプリントをするときは、ドラムカートリッジを交換することをおすすめします
EF X ドラムコウカン （X は K、Y、M、C）	ドラムカートリッジが寿命になったとき	・プリンタは停止します ・[オンライン] を押すとそのままプリントを継続できますが、印字品質が低下することがあります ・表示された色の新品のドラムカートリッジに交換してください
98 X ドラムコウカン （X は K、Y、M、C）	ドラムカートリッジが使用できなくなったとき	・プリンタは停止し、継続してプリントすることはできません ・表示された色の新品のドラムカートリッジに交換してください

* メッセージの“K”はブラック、“Y”はイエロー、“M”はマゼンタ、“C”はシアンの各ドラムカートリッジを表しています。

 重要　交換の際は、必ず本プリンタ専用のドラムカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正ドラムカートリッジ
LBP5910/5910F	Canon Drum Cartridge 502 Black （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　ブラック） Canon Drum Cartridge 502 Yellow （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　イエロー） Canon Drum Cartridge 502 Magenta （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　マゼンタ） Canon Drum Cartridge 502 Cyan （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　シアン）



- 本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は下記の条件でのページ数です。
  印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、連続／片面印刷
  - ・Canon Drum Cartridge 502 Black
    （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　ブラック）：約 50,000 ページ
  - ・Canon Drum Cartridge 502 Yellow
    （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　イエロー）：約 50,000 ページ
  - ・Canon Drum Cartridge 502 Magenta
    （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　マゼンタ）：約 50,000 ページ
  - ・Canon Drum Cartridge 502 Cyan
    （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　シアン）：約 50,000 ページ
- 2枚ずつ間隔をあけて印刷（2枚間欠印刷）を行なう場合の本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、ブラック約 45,000 ページ、カラー各色約 40,000 ページとなります。この数値はカラー印刷のみを行った場合の印刷可能なページ数です。モノクロ印刷をした場合でも、各カラーのドラムカートリッジの消耗は進むため、モノクロ印刷を多く行ったときには、各カラーのドラムカートリッジの寿命が半分程度の枚数になることがあります。
- 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。

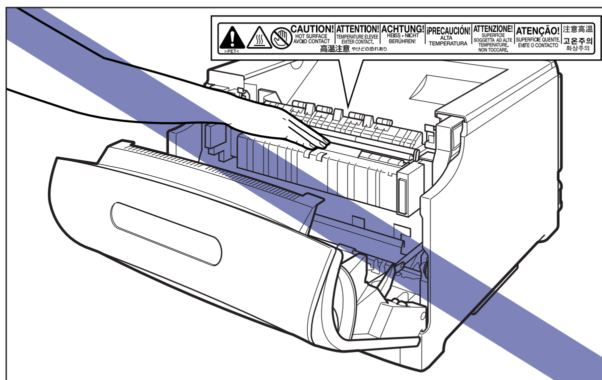
ドラムカートリッジを交換するときのご注意



- 使用済みのドラムカートリッジを火中に投じないでください。ドラムカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。



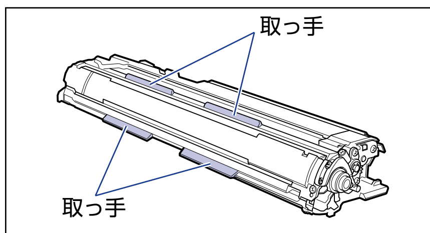
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- プリンタ使用中は定着器周辺（LBP5910F の場合は排紙部、針カートリッジも含む）が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

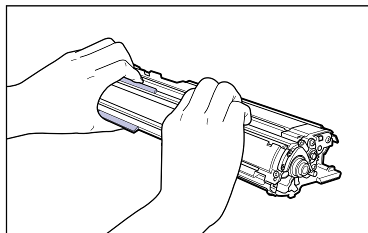


5
日常のメンテナンス

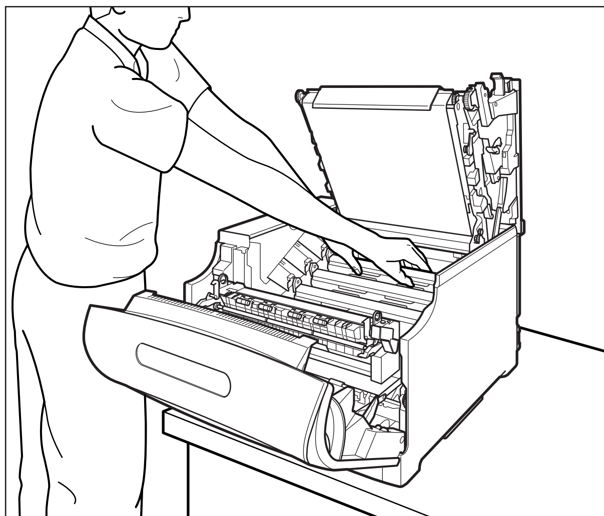
重要

- 必ず本プリンタ専用のドラムカートリッジを使用してください。
- 一度使用したドラムカートリッジを再度プリンタに取り付けないでください。ドラムカートリッジの寿命が正しく検知されなかったり、故障の原因になることがあります。
- ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。



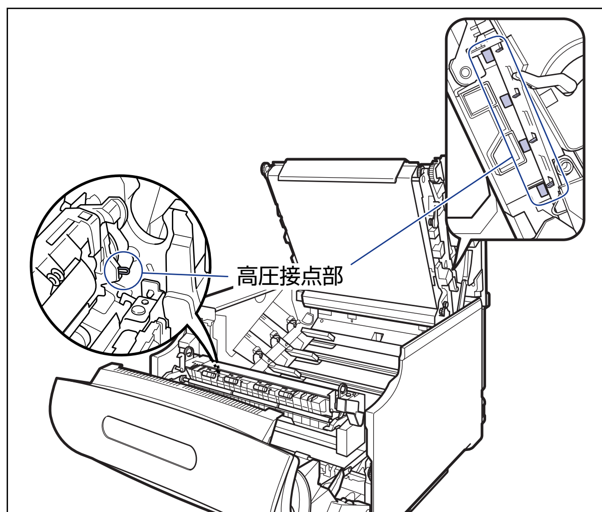


- ドラムカートリッジは、保護袋に入っています。ドラムカートリッジをセットする準備ができるまで、保護袋から取り出さないでください。
- ドラムカートリッジを取り外すときや取り付けるときは、図のようにプリンタの左側から作業を行ってください。

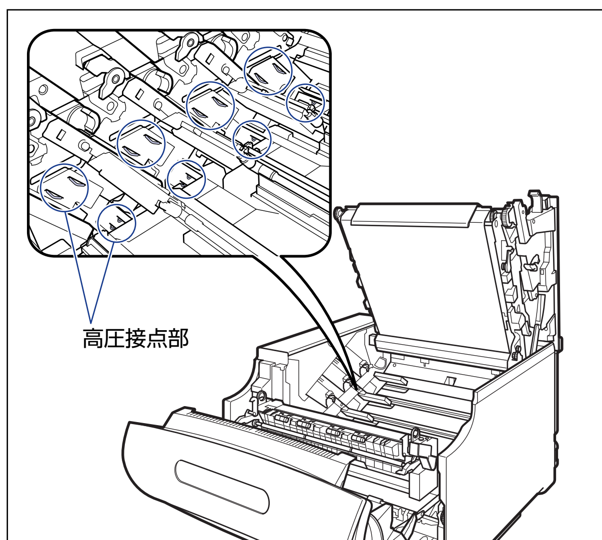


- 次の位置にある高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

  ・ITB ユニット右側、プリンタ内部



  ・ドラムカートリッジガイド部



- 取り外した梱包材は、 地域の条例にしたがって処分してください。



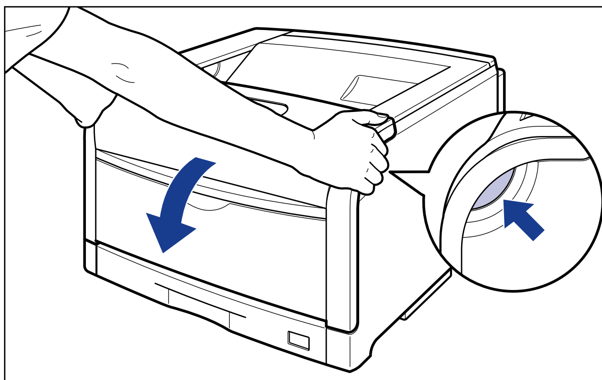
梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

ドラムカートリッジの交換

交換するドラムカートリッジを取り出す

1 前カバーを開けます。

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

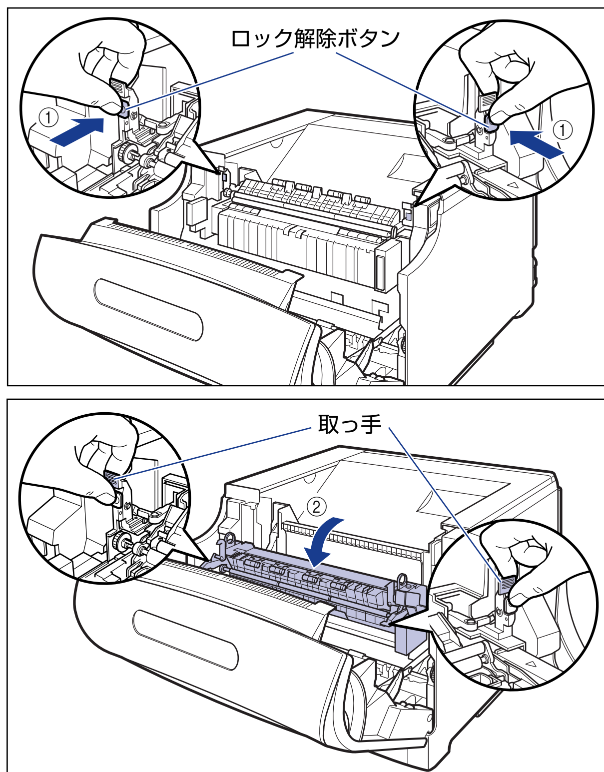




前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイとプリンタの給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

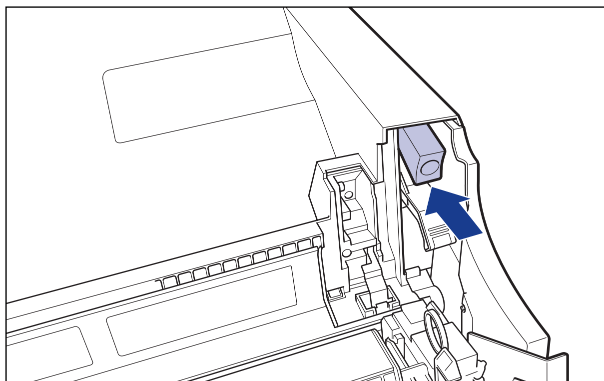
2 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

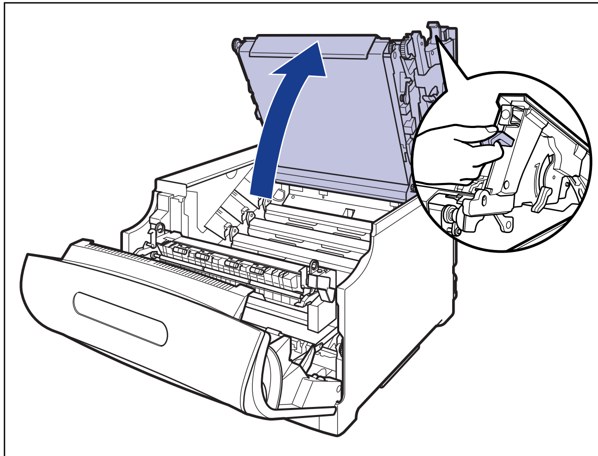


3 上カバーを開けます。

上カバーの青色のロック解除ボタンを押します。

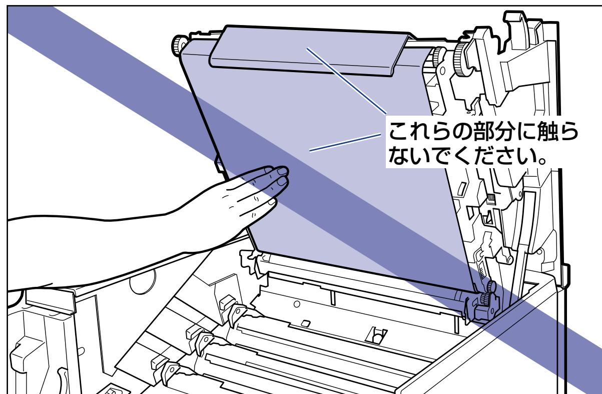


上カバーのレバーを持って、上カバーを開けます。

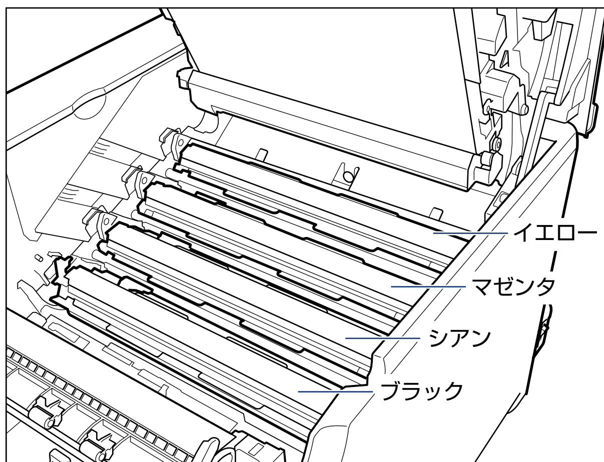


重要

- ITB ユニットの転写ベルトや ITB ユニットカバーに触れたりしないでください。転写ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、「ITB ユニットの転写ベルトを清掃する」(➞P.5-68)を参照して、転写ベルトの清掃を行ってください。転写ベルトにトナーが付着している場合は、自動的に清掃する機能が付いていますので清掃する必要はありません。

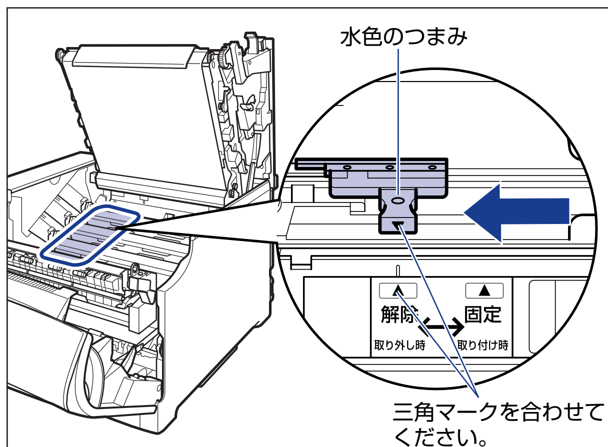


- ドラムカートリッジは、奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順に取り付けられています。

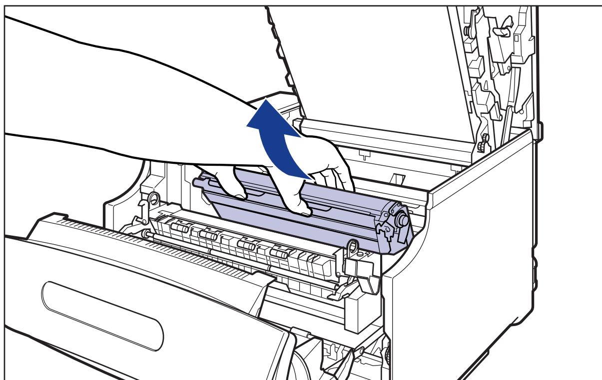


4 **交換する色のドラムカートリッジの水色のつまみを「解除」の位置までスライドさせて、ロックを解除します。**

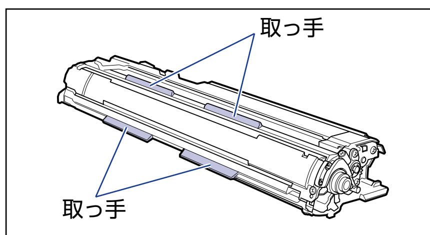
水色のつまみの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

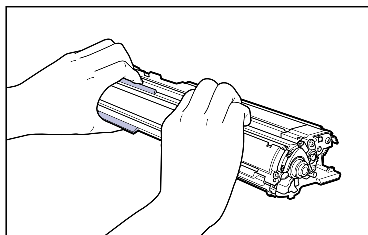


5 ドラムカートリッジを取り出します。

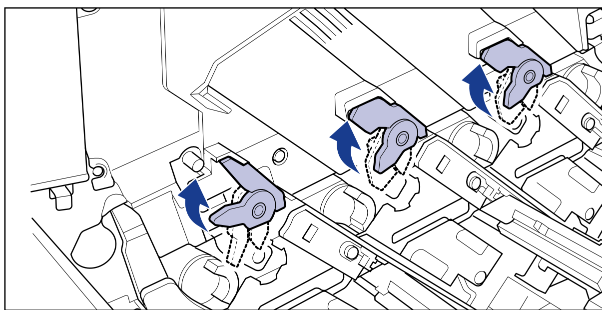


ドラムカートリッジは、図のように青色の取っ手を持って取り外します。





レバーが図のように上がっていることを確認してください。レバーが下がっているとドラムカートリッジを正しく取り付けることはできません。
図のように手でレバーを押し上げてください。



新しいドラムカートリッジを取り付ける

1 新しいドラムカートリッジを箱から取り出します。

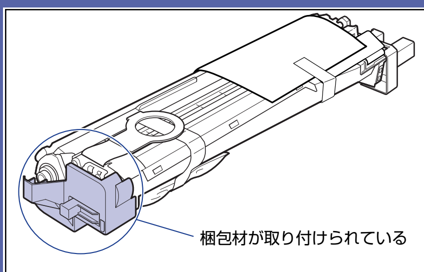
2 保護袋からドラムカートリッジを取り出します。



ドラムカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、ドラムカートリッジを取り出すときに必要になります。

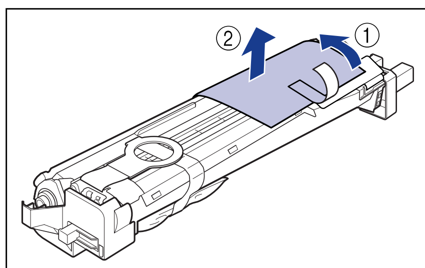
3 交換用のドラムカートリッジは、2 種類あります。
梱包状態によって、手順が異なりますので、梱包状態を確認します。

●次の部分に梱包材が取り付けられている場合

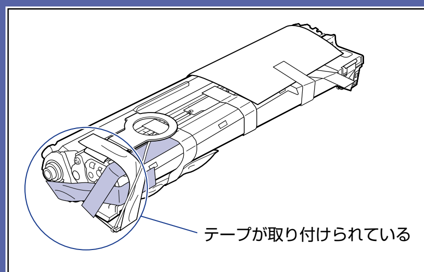


a 注意事項が記載されている用紙をドラムカートリッジから取り外して、内容をよく読みます。

用紙はテープをはがしてから ①、取り外します ②。

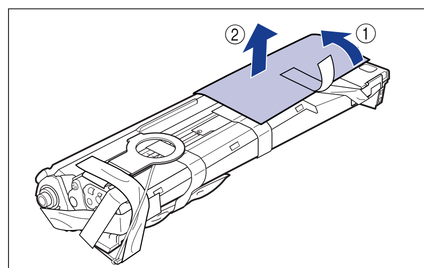


●次の部分にテープが取り付けられている場合



a 注意事項が記載されている用紙をドラムカートリッジから取り外して、内容をよく読みます。

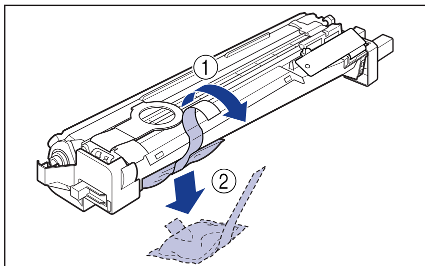
用紙はテープをはがしてから ①、取り外します ②。



梱包材が取り付けられている場合の続き

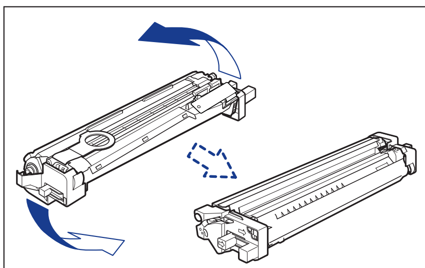
b 図の位置にあるテープ付き乾燥剤（1 個）を取り外します。

テープ付き乾燥剤はテープをはがしてから①、取り外します ②。



重要　取り外した乾燥剤は、地域の条例にしたがって処分してください。

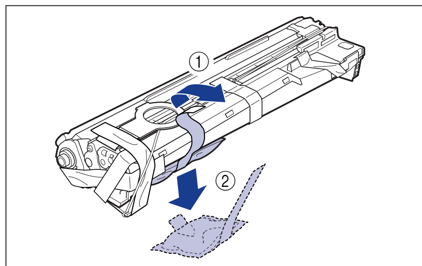
c ドラムカートリッジをゆっくりと矢印の方向に裏返します。



テープが取り付けられている場合の続き

b 図の位置にあるテープ付き乾燥剤（1 個）を取り外します。

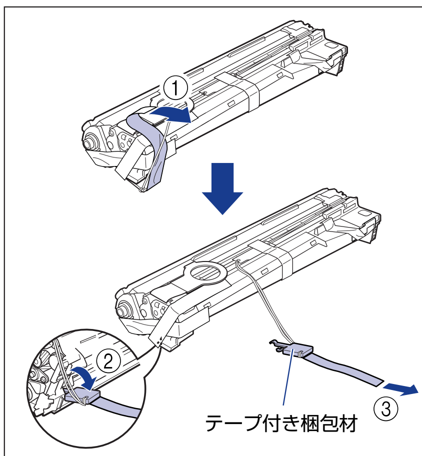
テープ付き乾燥剤はテープをはがしてから①、取り外します ②。



重要　取り外した乾燥剤は、地域の条例にしたがって処分してください。

c 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。



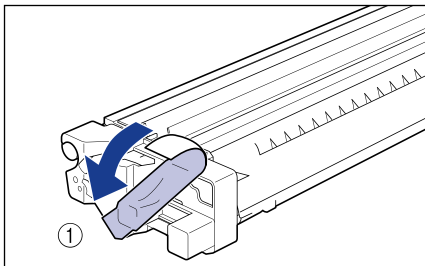
5 日常のメンテナンス

梱包材が取り付けられている場合の続き

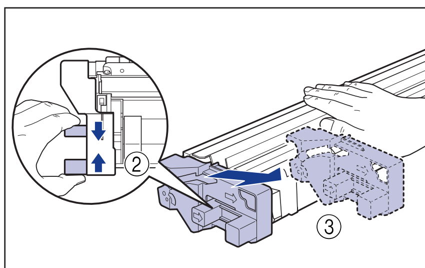
d 左右にある梱包材（2 個）を取り外します。

●左側

図の位置にあるテープ(1 枚)を取り外します ①。

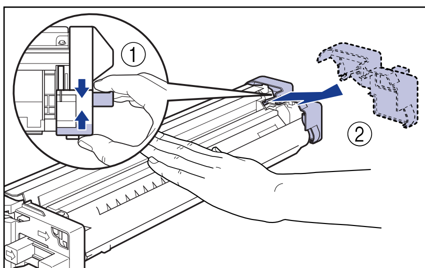


梱包材の取っ手をつまみ ②、斜め上方向に取り外します③。



●右側

梱包材の取っ手をつまみ ①、斜め上方向に取り外します ②。



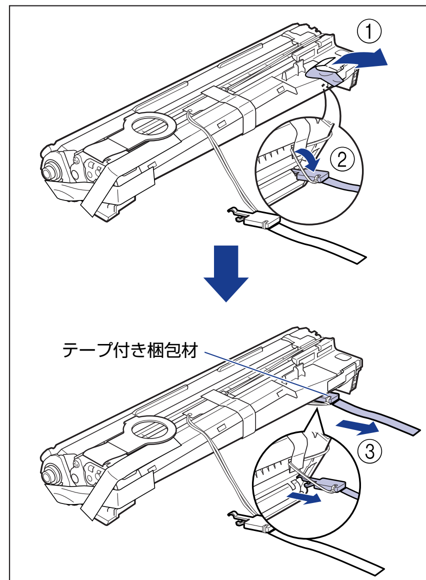


取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

テープが取り付けられている場合の続き

d 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。

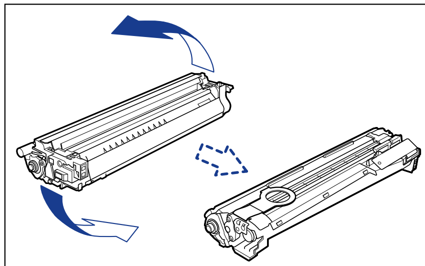


5

日常のメンテナンス

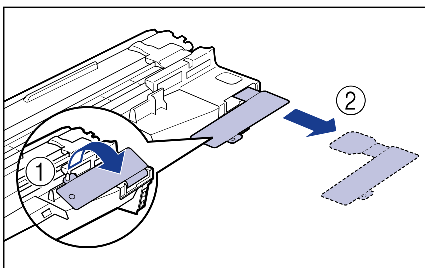
梱包材が取り付けられている場合の続き

e ドラムカートリッジをゆっくりと元に戻します。



f 図の位置にある梱包材（1 個）を取り外します。

梱包材は、手前に倒してから①、引き抜きます②。





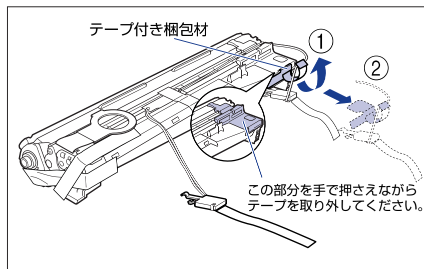
取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

テープが取り付けられている場合の続き

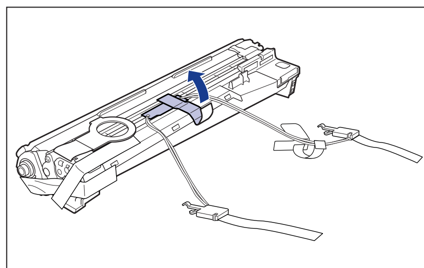
e 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

テープ付き梱包材は、テープをはがしてから ①、梱包材を引き抜いてください ②。

テープを取り外す際は、青色のシャッターを手で押さえながらゆっくりと取り外します。



f 図の位置にあるテープ（1 枚）とタグ（2 個）を取り外します。





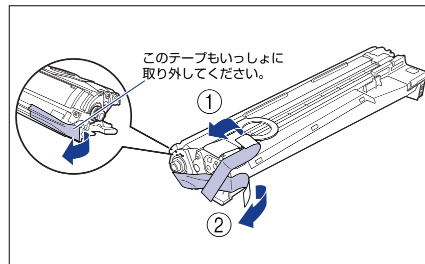
取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

梱包材が取り付けられている場合の続き	テープが取り付けられている場合の続き

g 手順４に進みます。

g 図の位置にあるテープ（3 枚）を ①、②の順に取り外します。

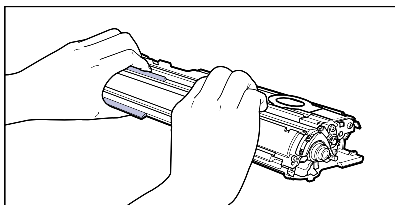
②で取り外すテープは、テープの後端にもう１枚のテープが貼り付いていますので、いっしょに取り外します。

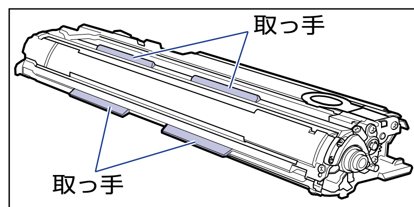


h 手順４に進みます。

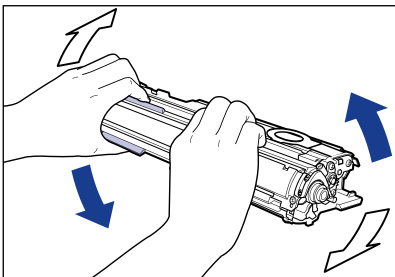
4 ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ち、図のように往復 10 〜 12回振って、内部の現像剤を均一にならします。

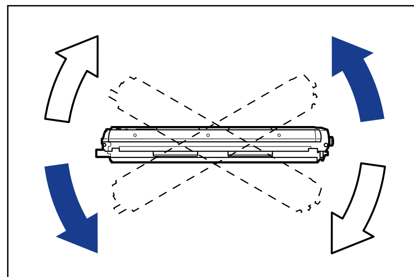
ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ちます。





ドラムカートリッジを図のように往復 10 〜 12 回振ります。

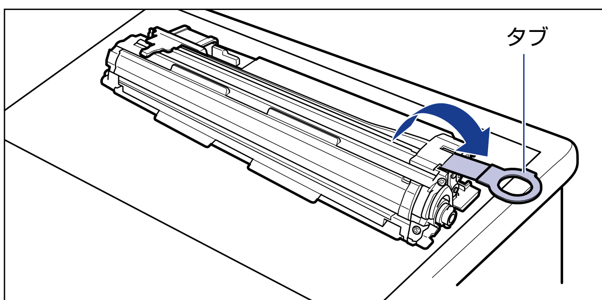






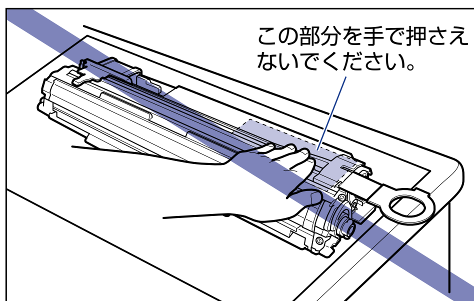
現像剤が均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

5 平らな場所に用紙などを敷いて、その上にドラムカートリッジを置き、シーリングテープのタブを図のように倒します。

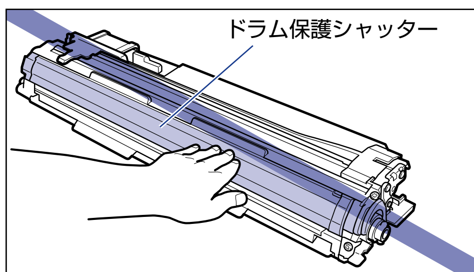


重要

- ドラムカートリッジを置くときは、ドラムカートリッジの底面で机などを傷つけないために、用紙などをドラムカートリッジの下に敷いてください。
- シーリングテープを引き抜くときは、シーリングテープの引き出し口付近を手で押さえないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

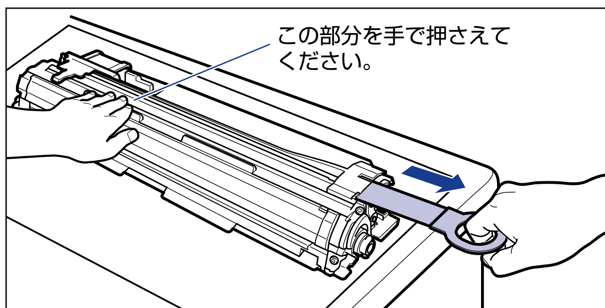


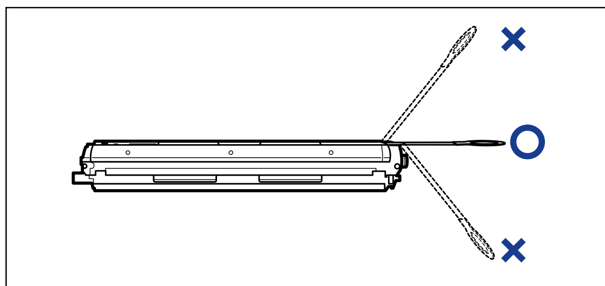
- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。



6 ドラムカートリッジを押さえながらシーリングテープ(長さ約70cm)をゆっくりと水平にまっすぐ引き抜きます。

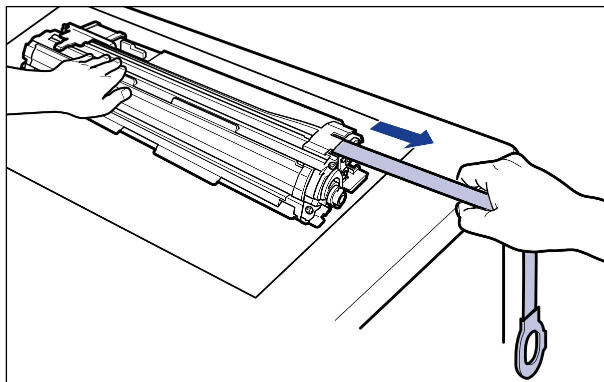
シーリングテープを引き抜く際、重くなる場合がありますが故障ではありませんので最後まで完全に引き抜きます。





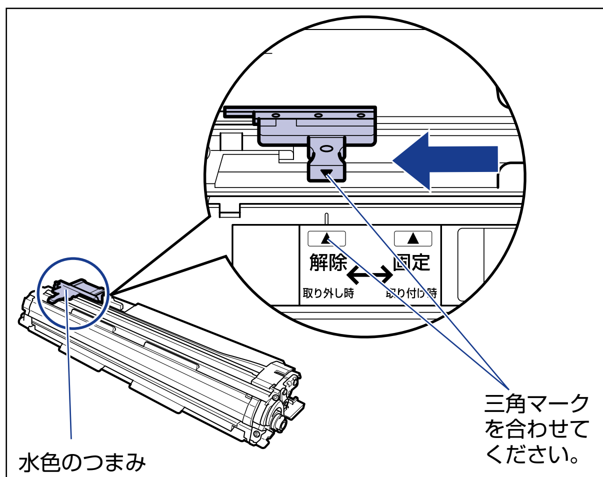
重要

- シーリングテープのタブを持って引き抜きにくい場合は、図のようにテープ部分を持って引き抜いてください。ただし、シーリングテープには、トナーが付着していますので、トナーで手が汚れることがあります。

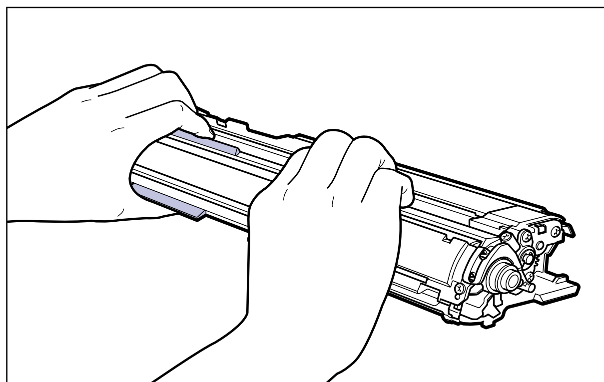


- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。
- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがドラムカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

7 ドラムカートリッジをセットする前に、図のように水色のつまみの三角マークとラベルの「解除」の三角マークの位置を同じ位置に合わせてください。



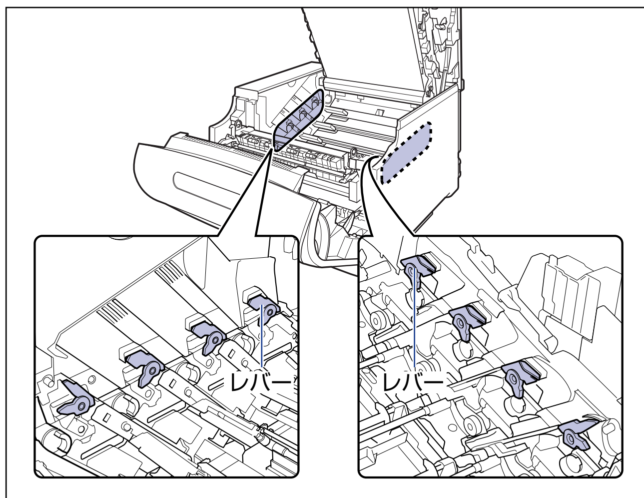
ドラムカートリッジをセットするときは、図のように青色の取っ手を持ちます。



5

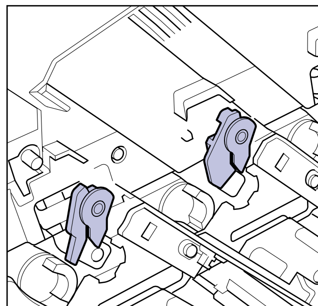
日常のメンテナンス

8 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように上がっているか確認します。

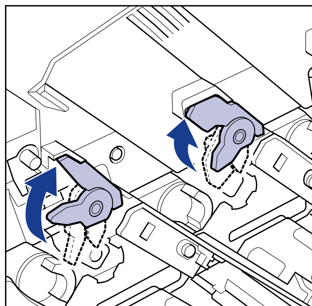


レバーが下がっているとドラムカートリッジを正しく取り付けることはできません。
図のように手でレバーを押し上げてください。

●下がっている状態

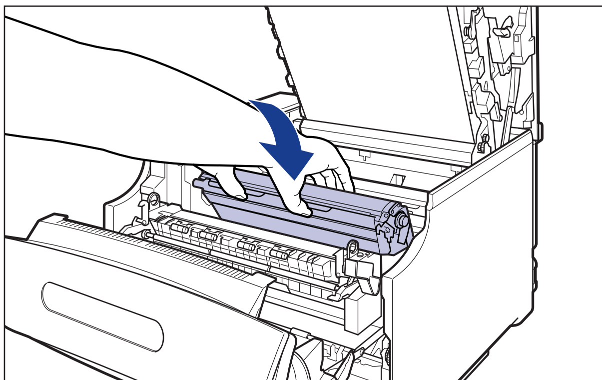


●上がっている状態



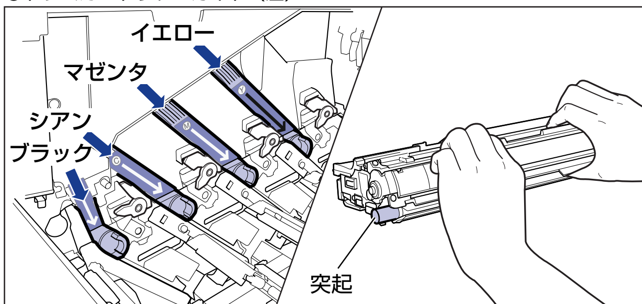
9 ドラムカートリッジを取り付けます。

ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けます。

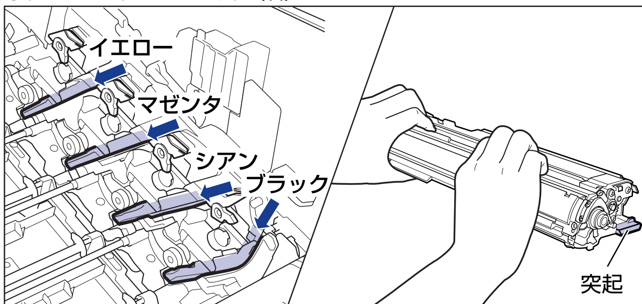


図のようにドラムカートリッジの左右の突起をドラムカートリッジガイドの矢印に沿って挿入します。

●ドラムカートリッジガイド（左）



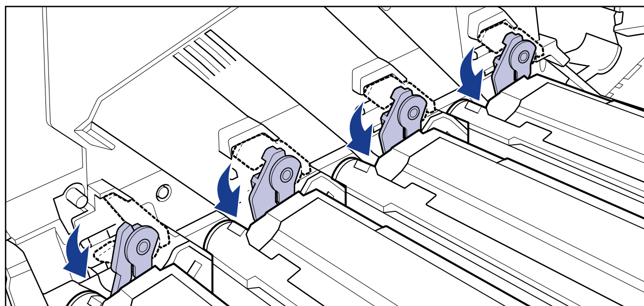
●ドラムカートリッジガイド（右）



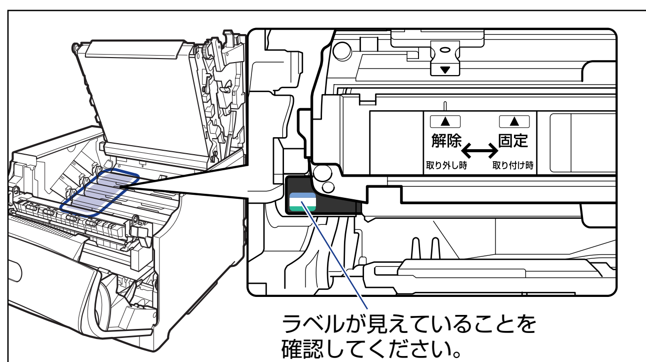


ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、印字不良の原因になります。

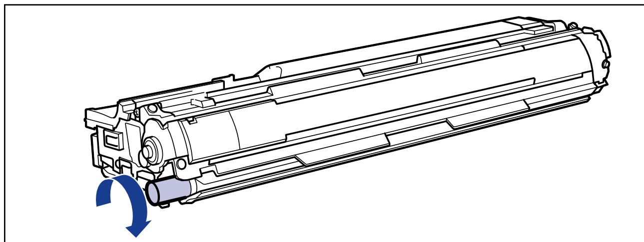
10 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように下がっていることを確認します。



11 ドラムカートリッジの突起部のラベルが見えていることを確認します。



見えない場合は、一度ドラムカートリッジを取り出し、矢印の方向にカチッと止まるまで回してから、取り付けなおしてください。

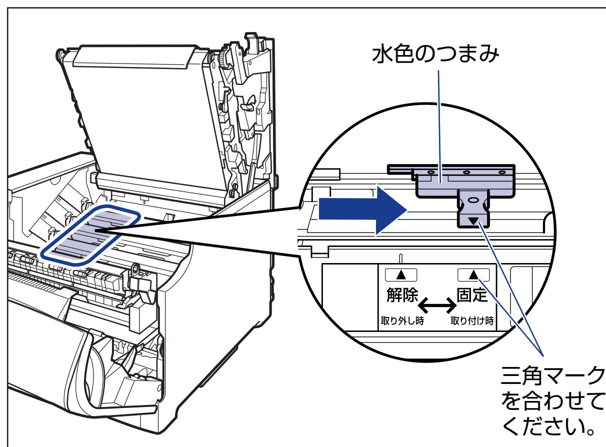


5

日常のメンテナンス

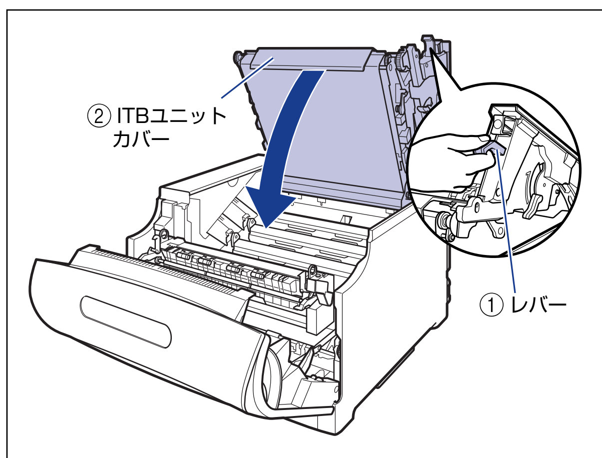
12 取り付けた色のドラムカートリッジの水色のつまみを「固定」の位置までスライドさせて、ドラムカートリッジを固定します。

水色のつまみの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。



13 上カバーを閉めます。

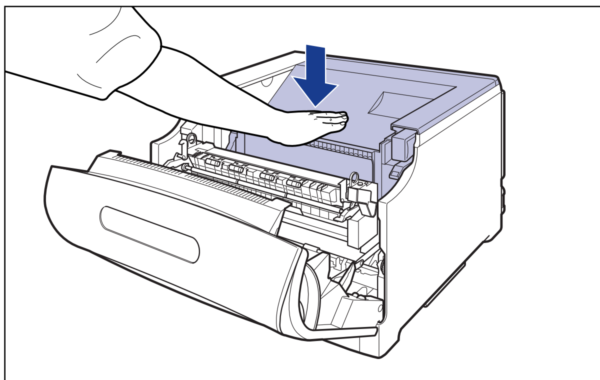
プリンタの上カバーはレバーを持って ①、ゆっくりと閉めます。
上カバーを勢いよく閉めると、ITB ユニットカバー ② が元の位置に戻らず、プリンタが破損する原因になります。



5
日常のメンテナンス

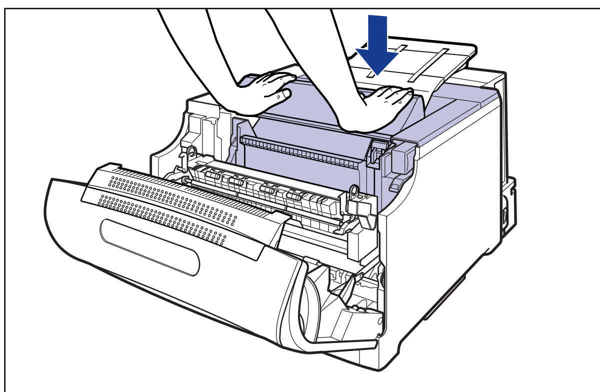
● LBP5910

❏ 図のように上カバーの「PUSH」と記載されている部分を押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。



● LBP5910F

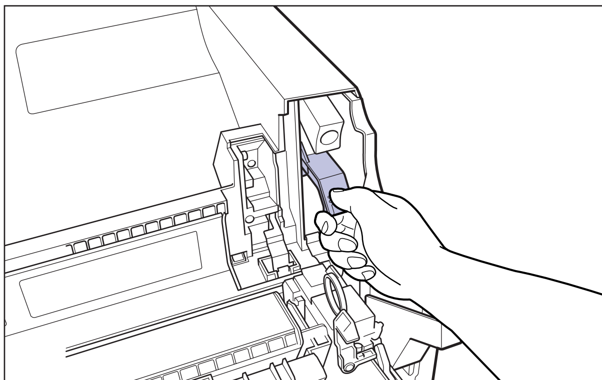
❏ 図のように両手で押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。





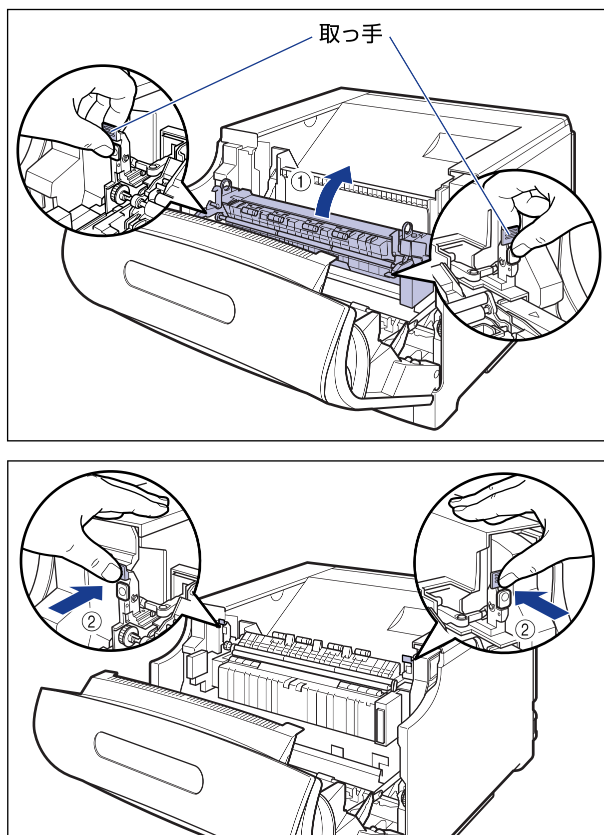
上カバーを閉めるときは、両手で図の位置（突起部分の両端）を押してください。

14 図のようにレバーを持って、上カバーが開かないことを確認します。



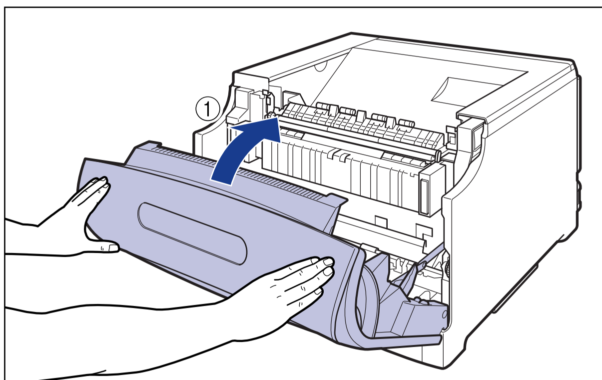
重要　上カバーは突き当たるまで確実に閉めてください。確実に閉めないと、印字不良の原因になります。

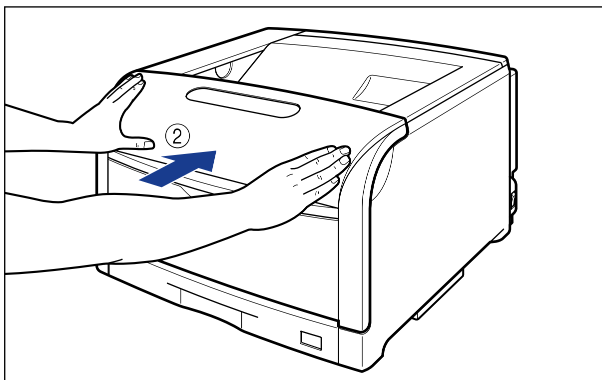
15 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。



16 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。





前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

使用済みドラムカートリッジ回収のお願い



キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
　キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
　使用済みドラムカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

ドラムカートリッジの取り扱いのご注意

ドラムカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。ドラムカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。



- 使用済みのドラムカートリッジを火中に投じないでください。ドラムカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

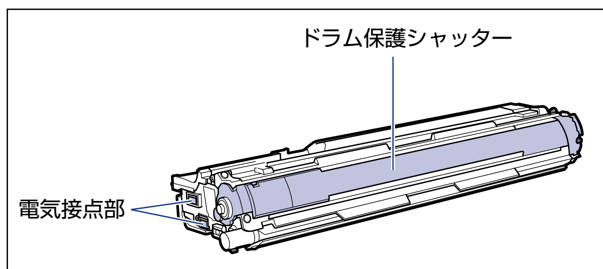


トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

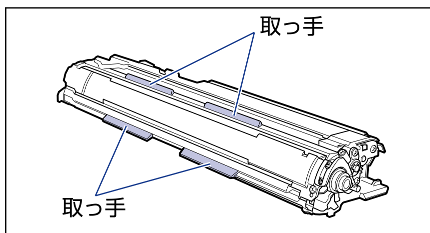


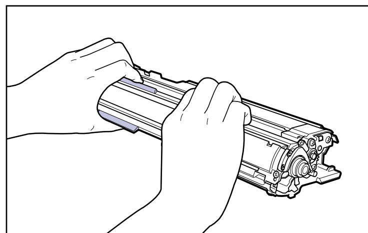
- 次のことに気をつけてください。故障の原因になったり、印字品質が低下します。
  - ・ドラム保護シャッターを開けたり、触れたりしない

・電気接点部など指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしない

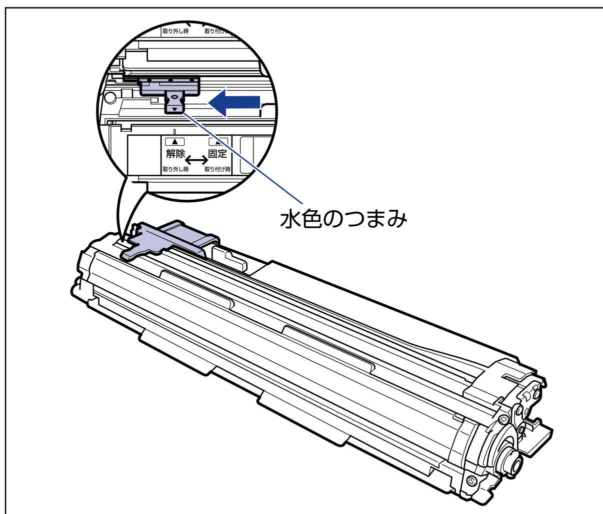


- ドラムカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- ドラムカートリッジをディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- ドラムカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近付けないでください。データ破損などの原因になることがあります。
- プリンタの修理のためにドラムカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにドラムカートリッジを梱包してあった保護袋に入れてください。
- ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。





- ドラムカートリッジを取り扱う際は、水色のつまみが「解除」の位置にあることを確認してください。



- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- ドラムカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のドラムカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。

ドラムカートリッジの保管について

交換用にお求めになったドラムカートリッジや、修理時に取り出したドラムカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

重要

- 新品のドラムカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のドラムカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってドラムカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露はドラムカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

定着器を交換する

定着器の交換方法について説明しています。

メッセージが表示されたときは

定着器のカウンタが規定値になると、ディスプレイに「E5　テイチャクキ　ヨウイ」のメッセージが表示されます。そのままでも印刷することはできますが、印字品質が低下してきます。「E5　テイチャクキ　ヨウイ」が表示され印字品質が低下したときは、新しい定着器への交換をおすすめします。定着器は定期交換部品ですが、お客様での交換が可能です。

重要　交換の際は、必ず本プリンタ専用の定着器を使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正定着器
LBP5910/5910F	FUSER KIT UM-98F

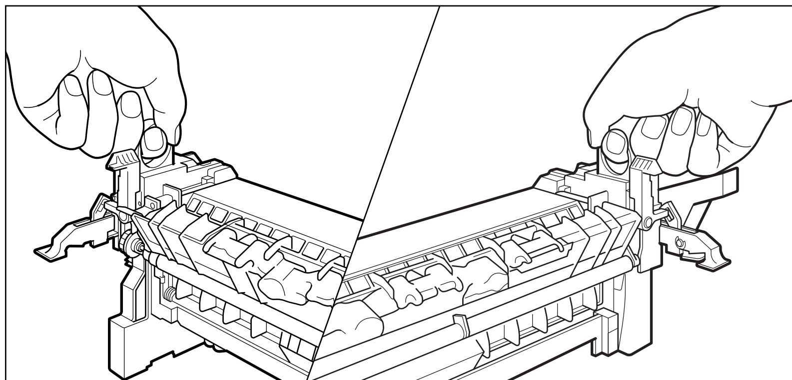
メモ　本プリンタ用の定着器（キヤノン純正品）の寿命は、A4 サイズを片面印刷した場合で約 150,000 ページです。

定着器を交換するときのご注意

警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

注意
- プリンタ使用中は定着器周辺（LBP5910F の場合は排紙部、針カートリッジも含む）が高温になっています。定着器を交換するときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。

- 定着器は約 2.9kg あります。定着器を持つときは、左右の取っ手を両手でしっかりと持ってください。足などの上に落とすとけがの原因になることがあります。



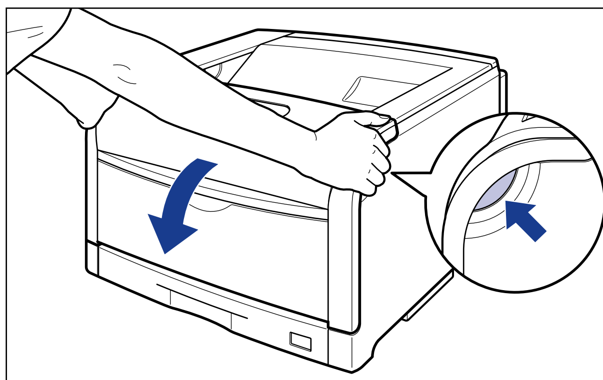
重要
- 定着器の交換後は、カウンタのリセットを行ってください。
  ・「定着器のカウンタをリセットする」(➞P.5-52)
- 定着器のローラなど、指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。印字品質の低下や故障の原因になります。
- 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

メモ
梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

定着器の交換

1 前カバーを開けます。

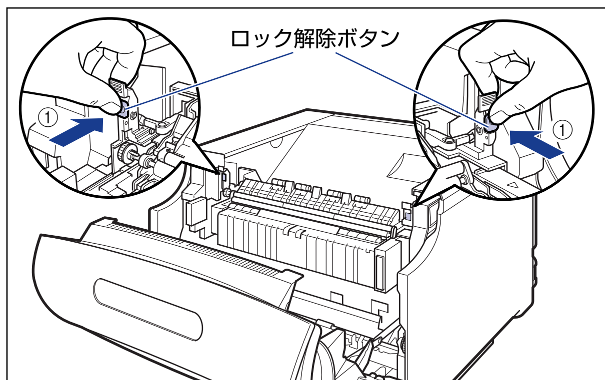
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

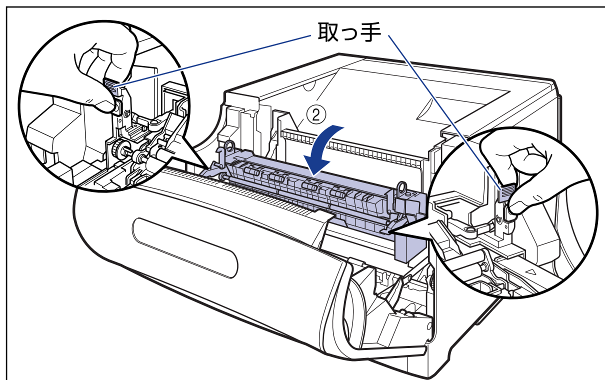


重要
前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイとプリンタの給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

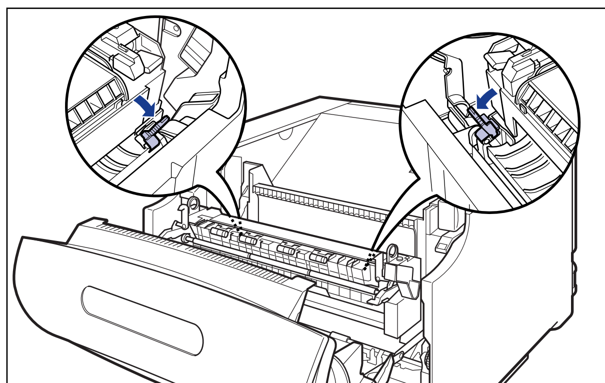
2 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

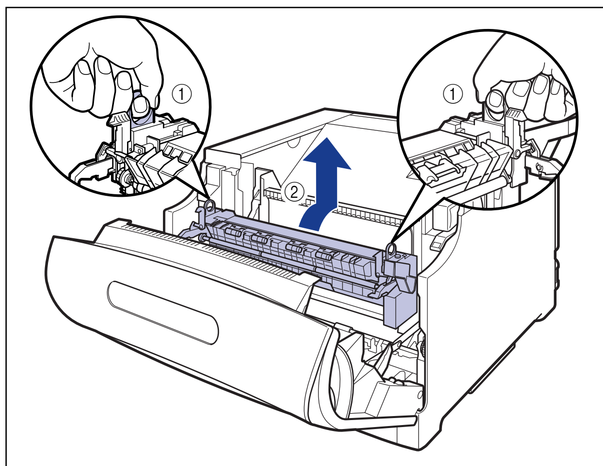




3 定着器裏側の左右にあるロック解除レバーを矢印の方向へ倒し、ロックを解除します。



4 定着器の左右にある青色の取っ手に指をかけ ①、少し奥側に倒して、定着器を取り外します ②。

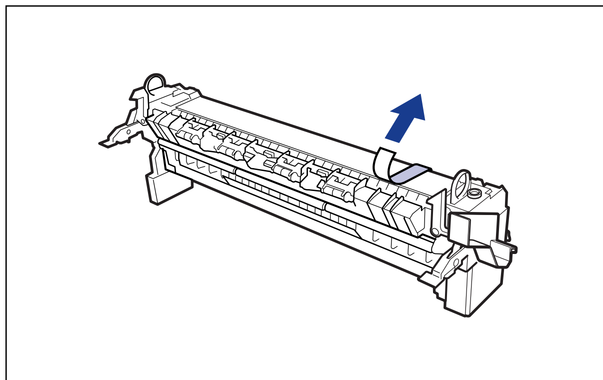




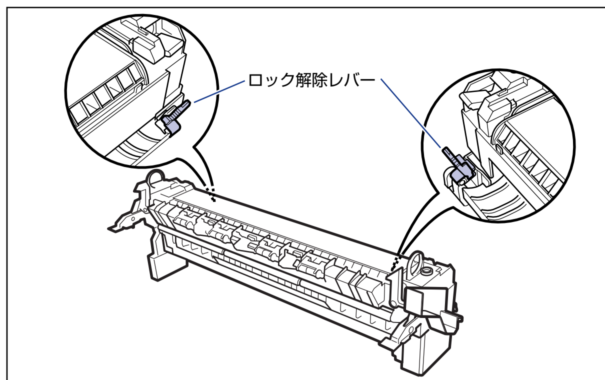
取り外した使用済みの定着器は、同封の送付伝票にて発送頂くか、お買い求めの販売店または最寄りのキヤノンマーケティングジャパン営業拠点にお持ちください。

5 新しい定着器を保護袋から取り出します。

6 定着器に貼られているテープを取り外します。

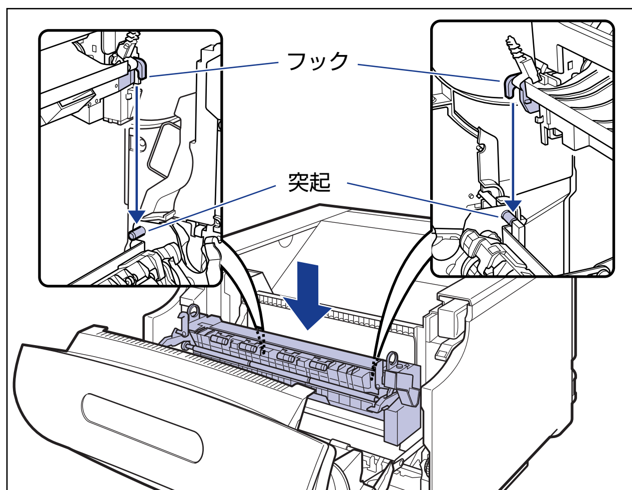


定着器裏側の左右にあるロック解除レバーが、図のように倒れていることを確認してください。

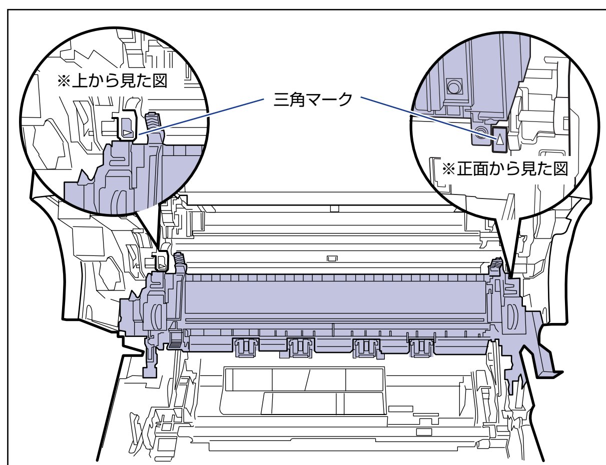


7 定着器をプリンタに取り付けます。

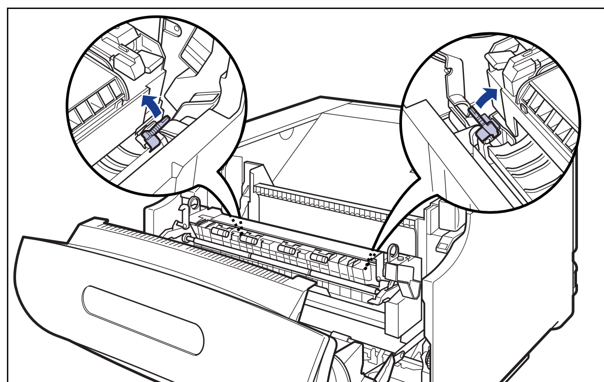
図のように定着器のフックをプリンタの突起に掛けます。



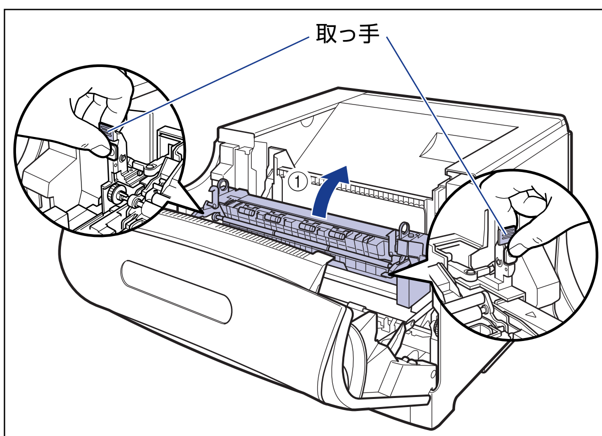
フックは三角マークの示す部分に掛けます。正しく取り付けられていることを確認してください。

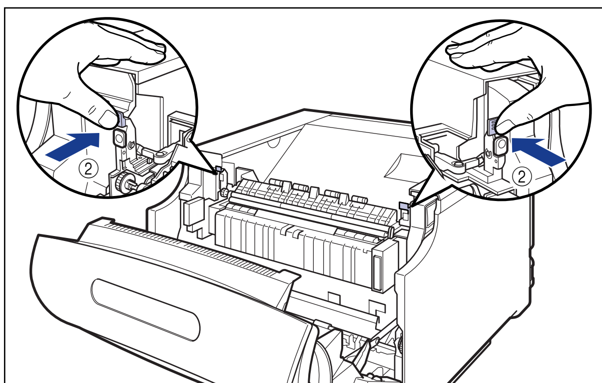


8 定着器裏側の左右にあるロック解除レバーを矢印の方向へ倒し、ロックします。



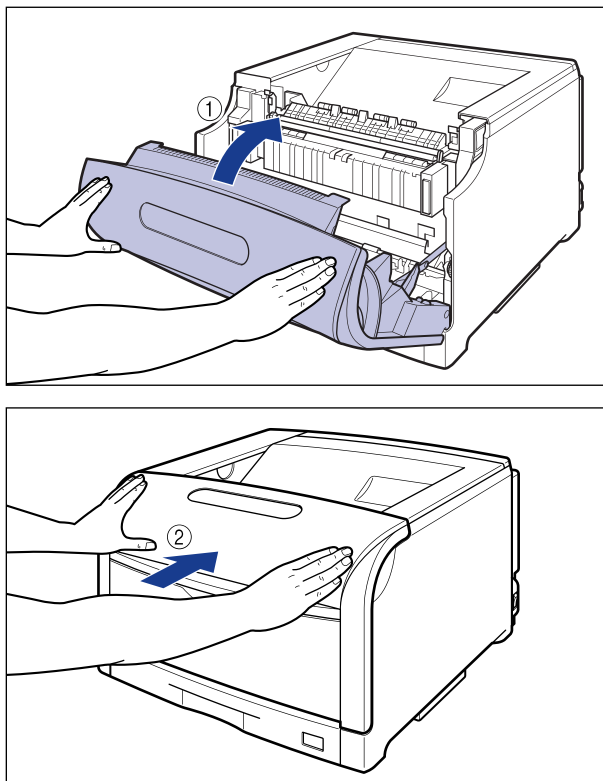
9 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。





10 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。



⚠注意　前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

定着器を交換したあと、「定着器のカウンタをリセットする」（→P.5-52）の手順にしたがって、定着器のカウンタをリセットしてください。

定着器のカウンタをリセットする

定着器を交換したあとは、操作パネルに表示されている「E5　テイチャクキ　ヨウイ」を消すために、次の手順でカウンタのリセットを行います。

 重要　この操作は定着器の交換時にのみ行ってください。定着器を交換しないで行うと、カウンタが正しく動作しなくなり、プリンタが故障する原因になります。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



2 ［セットアップ］を押します。

セットアップ゜
▼
カクチョウ　キノウ　→



3 ［◄］、［►］で「ユーザメンテナンス」を選択し、［OK］を押します。

ユーザ゛メンテナンス　→
▼
インシ゛　イチ　チョウセイ　→

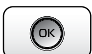
ユーザメンテナンスグループの設定項目が表示されます。



4 ［◄］、［►］で「カウンタ　ショキカ」を選択し、［OK］を押します。

カウンタ　ショキカ　→
▼
テイチャクキ

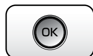
カウンタ初期化の設定項目が表示されます。



5 ［OK］を押します。

テイチャクキ
▼
シ゛ッコウシマスカ?

確認のメッセージが表示されます。



6 [OK] を押します。

[OK] を押さずに、[オンライン] を押すと、初期化を行いません。

ショキカ チュウ

ショキカ シュウリョウ



7 [オンライン] を押します。

オンラインランプが点灯し、ディスプレイに表示されていた「E5　テイチャクキ　ヨウイ」が消えます。

回収トナー容器を交換する

回収トナー容器の交換方法について説明しています。

メッセージが表示されたときは

回収トナー容器がいっぱいになると、ディスプレイにメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
E1 カイシュウトナー ヨウイ	回収トナー容器の交換時期が近づいたとき	・プリントは継続できます ・新品の回収トナー容器を用意してください
E1 カイシュウトナー コウカン	回収トナー容器がいっぱいになったとき	・プリンタは停止します ・新品の回収トナー容器に交換してください

重要

- 交換の際は、必ず本プリンタ専用の回収トナー容器を使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正回収トナー容器
LBP5910/5910F	回収トナーボックス WT-98B

- 「E1　カイシュウトナー　ヨウイ」や「E1　カイシュウトナー　コウカン」のメッセージが表示された回収トナー容器は、プリンタから取り外した後は、再びセットすることはできません。トナーがあふれる恐れがありますので、必ず新しい回収トナー容器と交換してください。

メモ

- 本プリンタ用回収トナー容器（キヤノン純正品）は、約 6,200 ページでいっぱいになります。
  このページ数は下記の条件でのページ数です。
  印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、2 枚間欠／片面印刷
- 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。

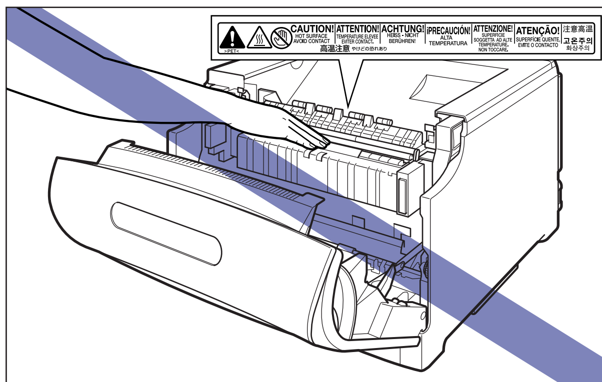
回収トナー容器を交換するときのご注意

警告

- 使用済みの回収トナー容器を火中に投じないでください。回収トナー容器のトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。



- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- プリンタ使用中は定着器周辺（LBP5910F の場合は排紙部、針カートリッジも含む）が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。





- 必ず本プリンタ専用の回収トナー容器を使用してください。
- 「E1　カイシュウ トナー　ヨウイ」や「E1　カイシュウトナー　コウカン」のメッセージが表示された回収トナー容器は、プリンタから取り外した後は、再びセットすることはできません。トナーがあふれる恐れがありますので、必ず新しい回収トナー容器と交換してください。
- トナーは再利用できません。新しいトナーと混ぜないでください。

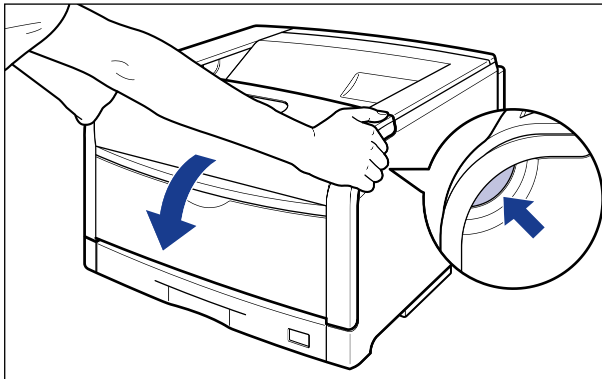


梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

回収トナー容器の交換

1 前カバーを開けます。

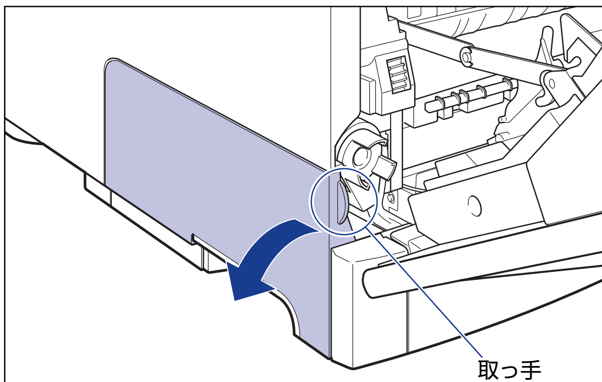
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。



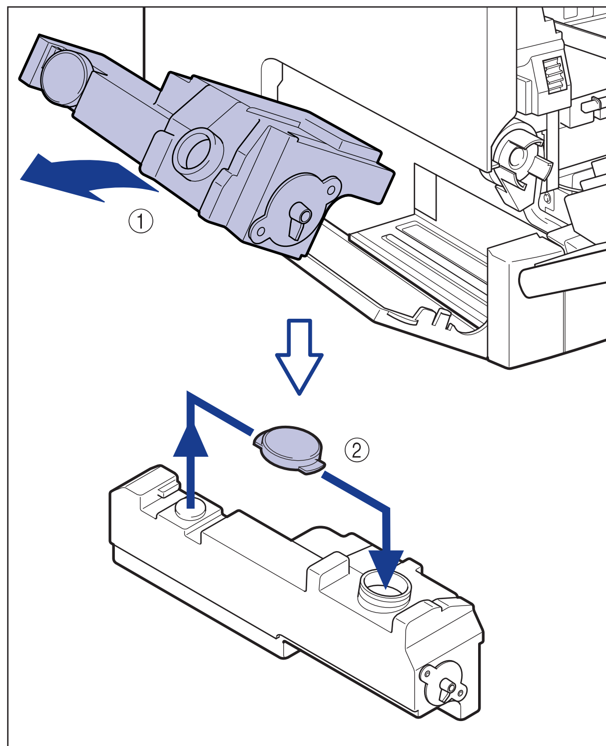


前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイとプリンタの給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

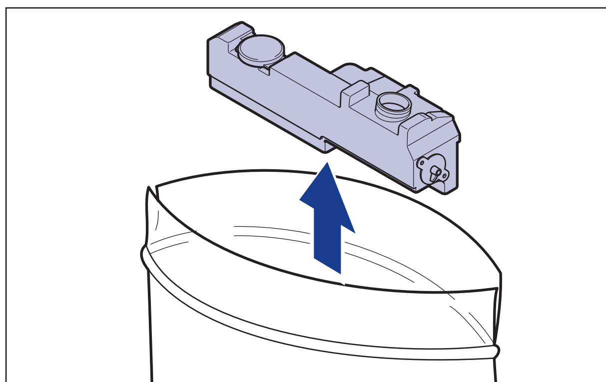
2 回収トナーカバーの取っ手を持って、回収トナーカバーを開けます。



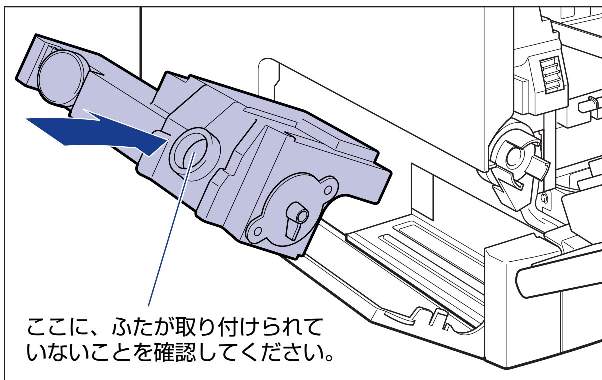
3 古い回収トナー容器を取り外し ①、付属のふたを取り付けます ②。



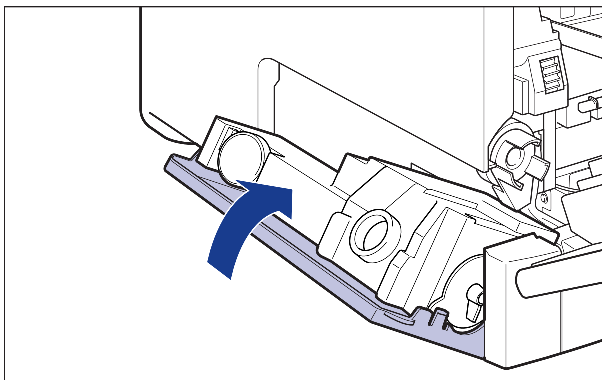
4 新しい回収トナー容器を保護袋から取り出します。



5 新しい回収トナー容器を取り付けます。

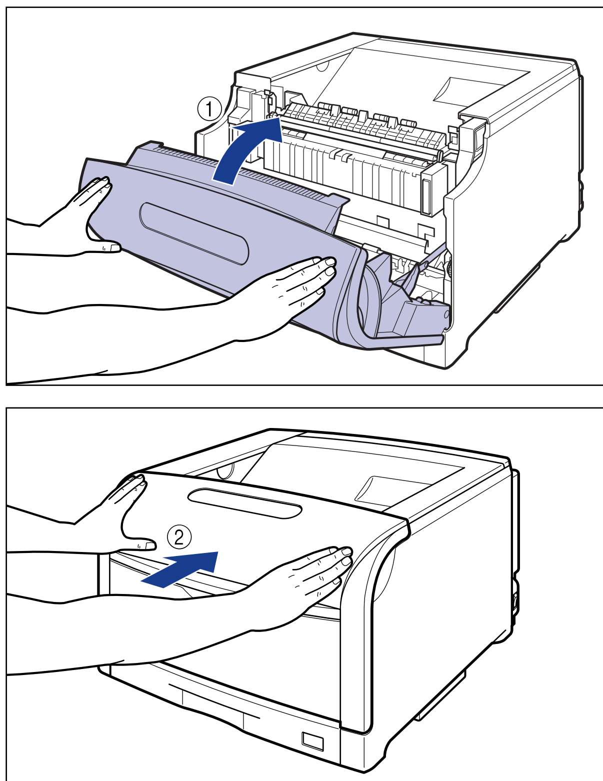


6 回収トナーカバーを閉めます。



7 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。




前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

●使用済み回収トナー容器の回収について

使用済み回収トナー容器は、新しい回収トナー容器が入っていた保護袋に入れて、密封してください。

なお、回収方法については、「使用済み回収トナー容器回収のお願い」（➞P.5-60）を参照してください。

使用済み回収トナー容器回収のお願い



キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済み回収トナー容器の回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済み回収トナー容器を下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
　キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。



※回収専用箱による宅配便利用の場合
　使用済み回収トナー容器の数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。

回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

針カートリッジを交換する（LBP5910F のみ）

ステイプル用の針カートリッジの交換方法について説明しています。

メッセージが表示されたときは

針カートリッジの針がなくなると、「1D　ハリガ　アリマセン」または「1D　ハリ　カクニン」のメッセージが表示されます。

「1D　ハリガ　アリマセン」が表示されたときは、［オンライン］を押してエラースキップしてください。エラースキップすると、ステイプルされない場合がありますが、印刷を継続できます。印刷が終了したら、針カートリッジを交換してください。

重要　交換の際は、必ず本プリンタ専用の針カートリッジを使用してください。

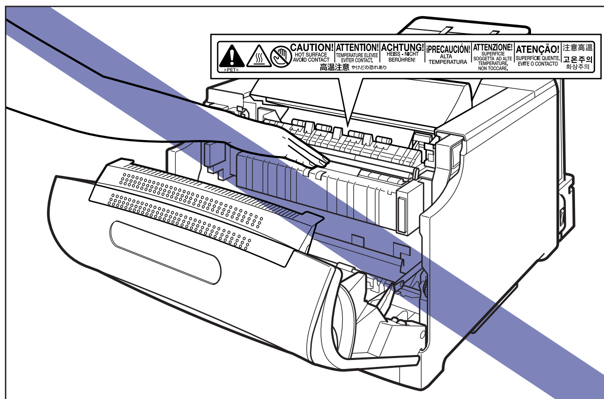
機種名	対応するキヤノン純正針カートリッジ
LBP5910F	ステイプル・S1

メモ
- 本プリンタ用の針カートリッジ（キヤノン純正品）には、1,000 本の針が入ってます。交換用の針カートリッジは、３個セットでお買い求めいただけます。
- 「1D　ハリガ　アリマセン」または「1D　ハリ　カクニン」が表示されてもステイプルできることがありますが、動作保証はできません。
「1D　ハリガ　アリマセン」または「1D　ハリ　カクニン」が表示された場合は、針カートリッジの交換をおすすめします。

針カートリッジを交換するときのご注意


製品内部には、高圧になる部分があります。針カートリッジを交換するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。


プリンタ使用中は定着器周辺（排紙部、針カートリッジを含む）が高温になっています。針カートリッジを交換するときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。

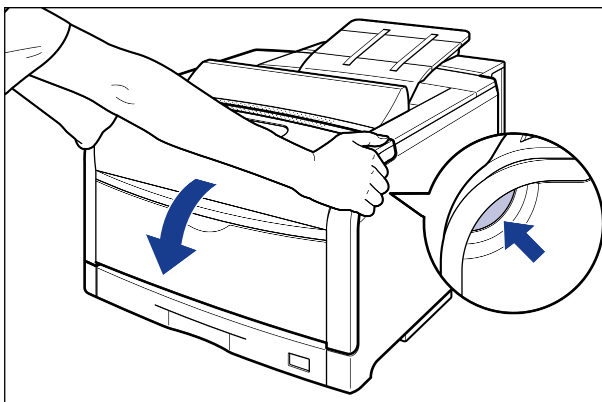



梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

針カートリッジの交換

1 **前カバーを開けます。**

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

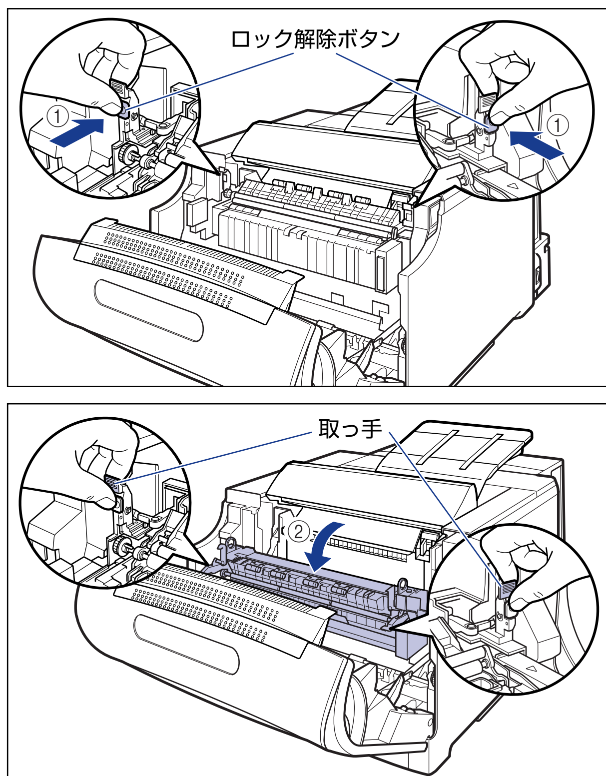




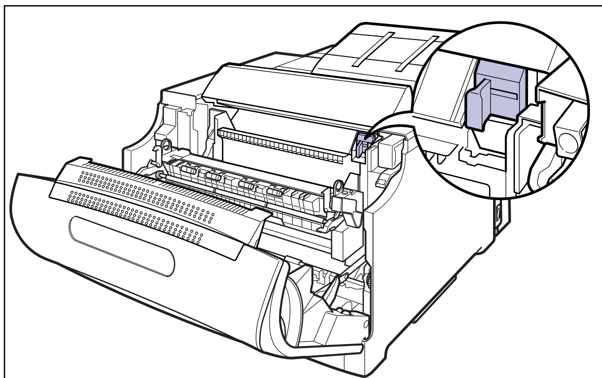
前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイとプリンタの給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

2 定着器を手前に倒します。

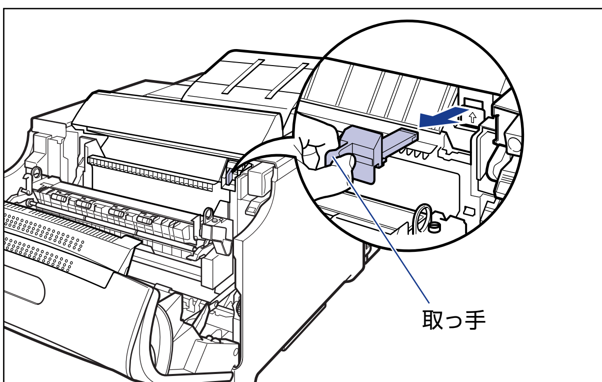
図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。



3 針カートリッジは図の位置にあります。

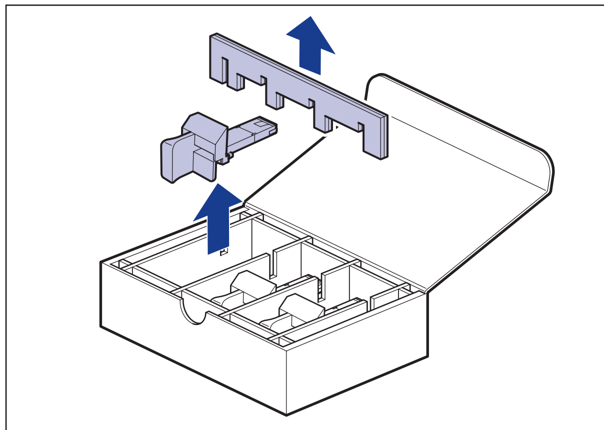


4 針カートリッジの取っ手を持って、プリンタから取り外します。



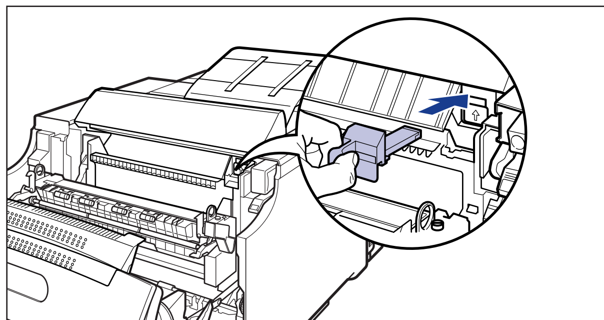
⚠注意　針カートリッジの取っ手が高温になっている場合があります。針カートリッジを取り外すときは、取っ手が完全に冷えてから作業をおこなってください。取っ手が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。

5 新しい針カートリッジを箱から取り外します。



6 新しい針カートリッジの取っ手を持って、プリンタに取り付けます。

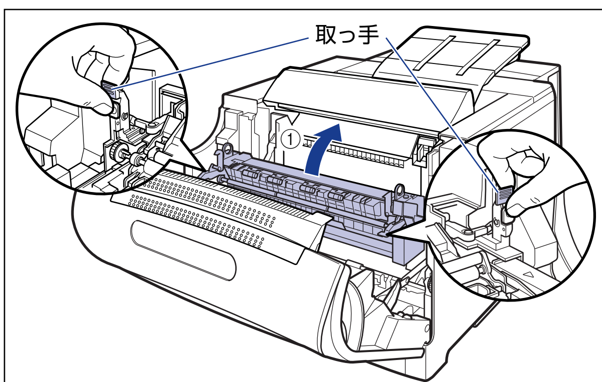
針カートリッジは、カチッと音がするまで差し込んでください。

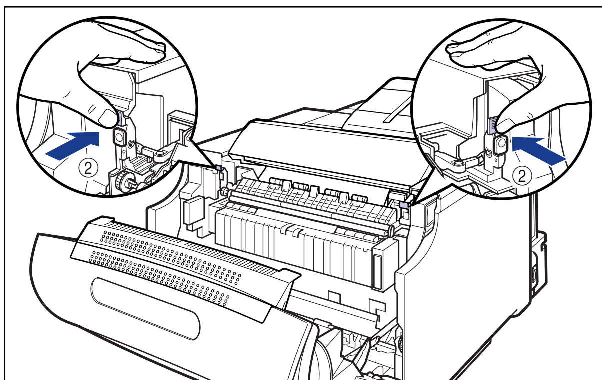




針カートリッジはまっすぐ差し込んでください。差し込む途中で上向きに力を入れると取っ手が外れることがあります。取っ手が外れた場合は、取っ手を元に戻してください。取っ手が外れたまま、針カートリッジを使用すると紙づまりの原因になります。

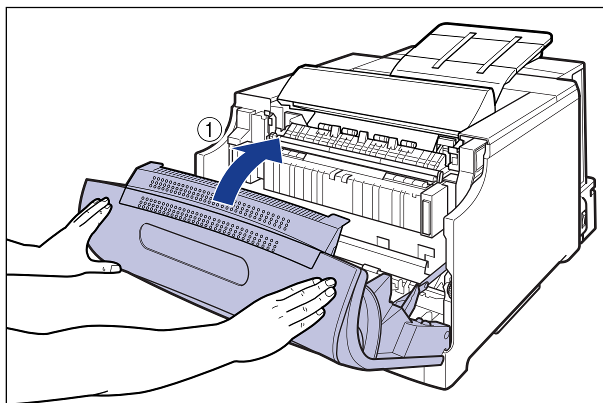
7 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

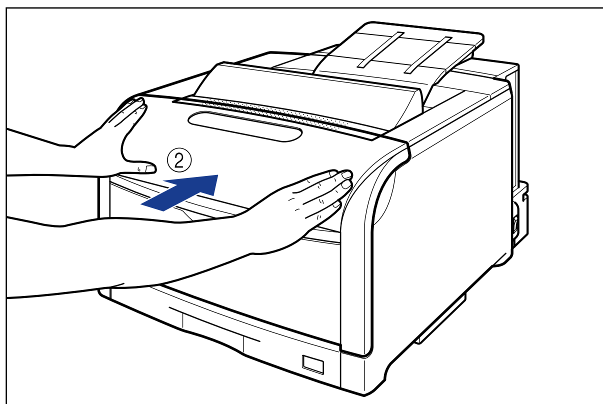




8 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。







注意 前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

ITB ユニットの転写ベルトを清掃する

ITB ユニットの転写ベルトに触れてしまうと、印字品質が低下する場合があります。そのような場合に、次の手順で ITB ユニットの転写ベルトの清掃を行います。

メモ　クリーニングの実行には、約 180 秒かかります。



1 [オンライン] を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



2 [セットアップ] を押します。

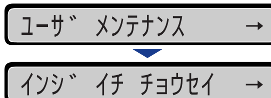








3 [◀]、[▶] で「ユーザメンテナンス」を選択し、[OK] を押します。



ユーザメンテナンスグループの設定項目が表示されます。







4 [◀]、[▶] で「クリーニング」を選択し、[OK] を押します。



ディスプレイに「01　クリーニングチュウ」と表示され、ITB ユニットの転写ベルトの清掃を開始します。

メモ　クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

印字位置を調整する

特定の給紙元からの印字位置がずれている場合に操作パネルから印字位置を調整することができます。

重要　印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ　両面印刷時の 2 面目の画像の向きは、印刷する用紙の向きや「とじ方向」の設定によって変わりますので、印字位置の調整をするときは気を付けてください。

印字位置の確認

印字位置プリントを印刷し、調整する方向と位置を確認します。

重要　両面印刷の印字位置を調整する場合は、あらかじめ「両面印刷」（➞LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）を「スル」に設定しておきます。

給紙選択

1 [給紙選択] を押します。

キュウシ センタク

キュウシモード　→

ユーティリティ
セットアップ
OK

2 [◄]、[►] で「キュウシモード」を選択し、[OK] を押します。

キュウシモード　→

=ジドウ　→

ユーティリティ
セットアップ
OK

3 [◄]、[►] で印字位置を確認したい給紙元を選択し、[OK] を押します。

両面印刷の印字位置を調整する場合は任意の給紙元を選択します。

カセット1　→

=カセット1　→

キュウシモード　→



4 ［オンライン］を押します。





5 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。



6 ［ユーティリティ］を押します。



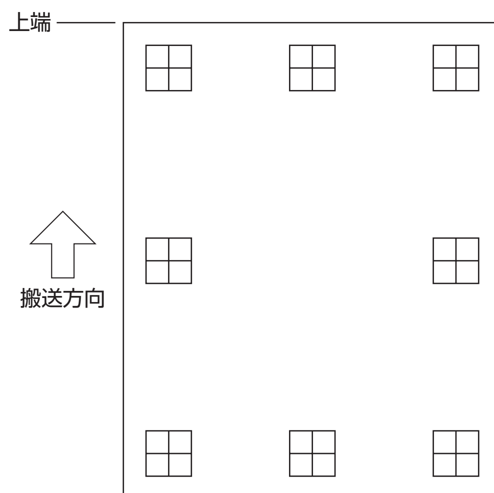




7 ［◄］、［►］で「インジイチプリント」を選択し、［OK］を押します。



次のような印字位置プリントが印刷されます。排紙された用紙の先端が、印字位置プリントの上端になります。



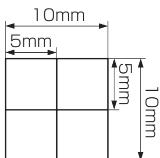
5 日常のメンテナンス

次に印刷結果を見て、「印字位置の調整」（→次項目）で、調整する方向と位置を設定します。

印字位置の調整

印字位置プリントの印刷結果を見て、調整する方向と位置を設定します。

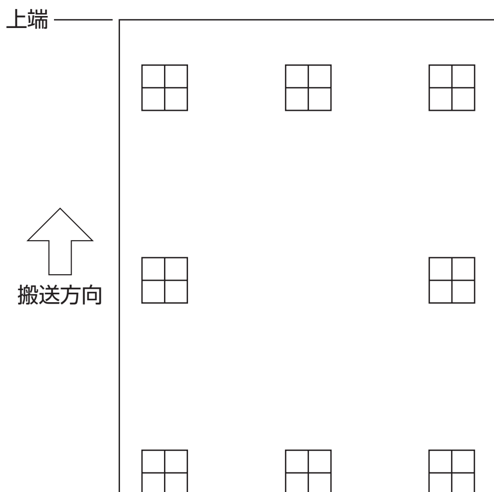
印刷された用紙に印字された"田"は次の数値で形成されています。



※用紙の端からそれぞれ5mm

ここでは例として、給紙元をカセット 1 に選択し、次の印字位置プリントが印刷された場合の設定を行います。

この場合、上方向に -5.0mm の印字位置の調整を行います。



重要

- 縦方向の印字位置は、「タテイチホセイ」で調整します。
  横方向の印字位置は、各給紙元の「ヨコイチホセイ」で調整します。
  両面印刷時の印字位置も、「タテイチホセイ」と各給紙元の「ヨコイチホセイ」で調整できます。
  さらに、排紙トレイに下向きに排紙される面のみを調整したい場合は、「ヨコイチホセイ（リョウメン）」で調整します。

メモ

印字位置が調整できる範囲は、縦方向が-5.0 ～ +5.0mm、横方向が -10.0 ～+10.0mmです。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

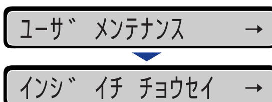


2 ［セットアップ］を押します。





3 ［◄］、［►］で「ユーザ　メンテナンス」を選択し、［OK］を押します。



ユーザメンテナンスグループの設定項目が表示されます。



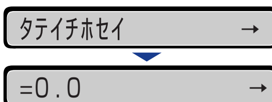
4 ［◄］、［►］で「インジ　イチ　チョウセイ」を選択し、［OK］を押します。



印字調整の設定項目が表示されます。



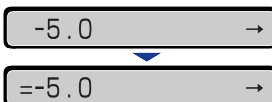
5 ［◄］、［►］で印字位置を調整する給紙元と方向を選択し、［OK］を押します。





6 ［◄］、［►］で目的の数値を設定し、［OK］を押します。

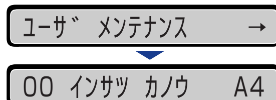
印字位置プリントの印刷結果を見て、調整する数値を選択します。



設定値の左に「＝」が表示され、印字位置が設定されます。



7 ［オンライン］を押します。





8 ［オンライン］を押して、オンライン状態にします。

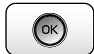


9 ［ユーティリティ］を押します。









10 ［◀］、［▶］で「インジイチプリント」を選択し、［OK］を押します。



設定変更された印字位置が印刷されます。印刷結果を見て、印字位置の確認をします。
さらに印字位置の調整を行う場合は、手順 1 ～ 10 を繰り返します。

プリンタの外部を清掃する

本プリンタの最良の印字品質を保つために、定期的にプリンタ外部や通気口を清掃してください。本プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けて清掃を行ってください。

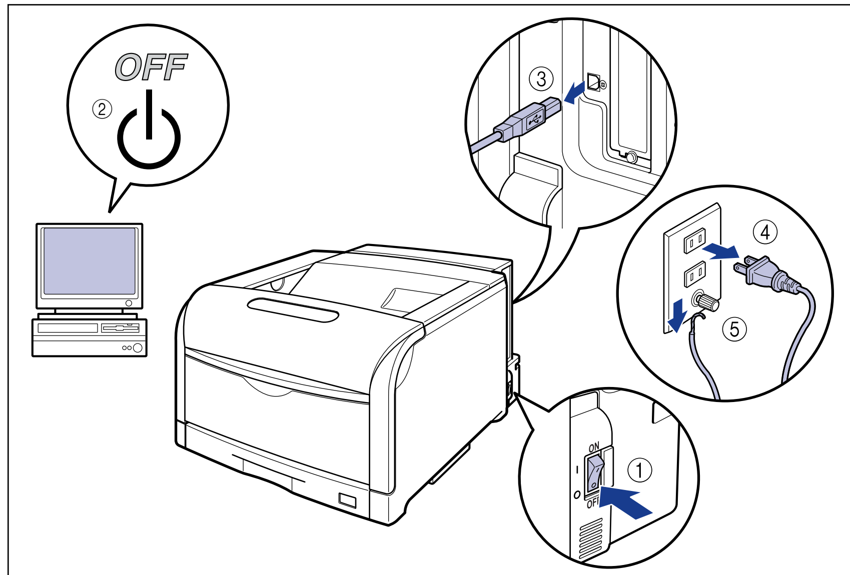
警告
- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

重要
- プリンタのプラスチックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

1 **プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。**

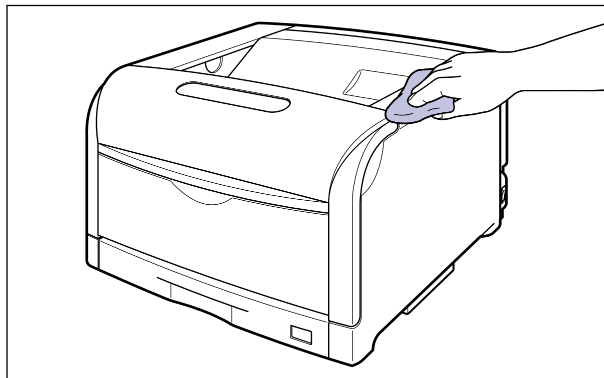
プリンタの電源を切ります ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルを抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

シャットダウンを行ってから電源を切ってください（➞P.2-63）。
特にハードディスクを使用しているときは、ハードディスク保護のため、シャットダウンを行ってください。



2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。



3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。

4 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

5 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

プリンタを移動する

メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず次の手順にしたがって移動させてください。

- プリンタを移動する（➞P.5-77）

注意 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

重要 必ず前カバーや手差しトレイなどが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

メモ 設置場所については、「設置場所と取り扱いについて」（➞P.2-5）を参照してください。

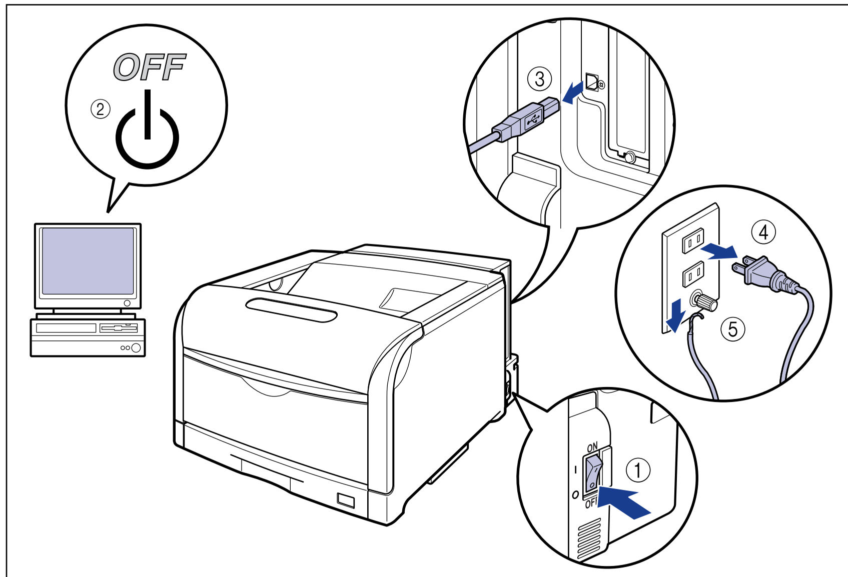
プリンタを移動する

プリンタのみを移動するときは、次の手順で正しく持ち運んでください。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

プリンタの電源を切ります ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルを抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

シャットダウンを行ってから電源を切ってください（→P.2-63）。
特にハードディスクを使用しているときは、ハードディスク保護のため、シャットダウンを行ってください。

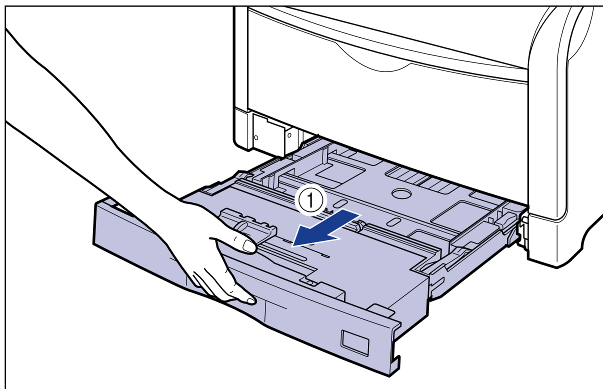


⚠警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

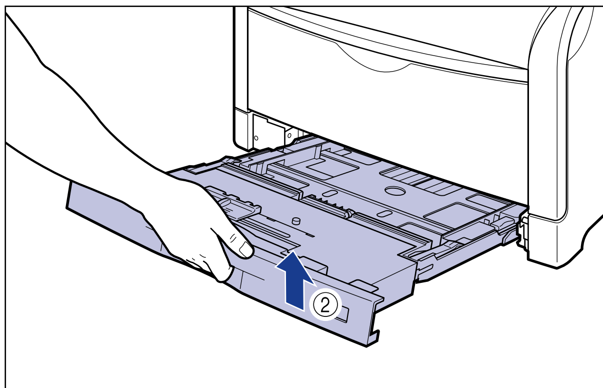
2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

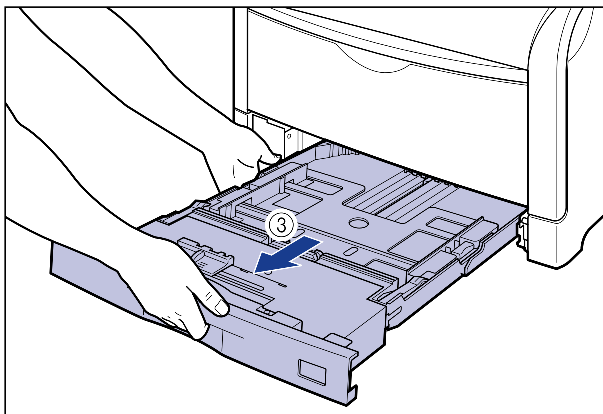
3 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。



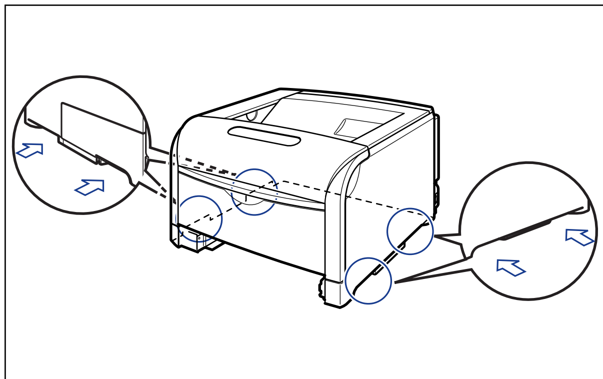


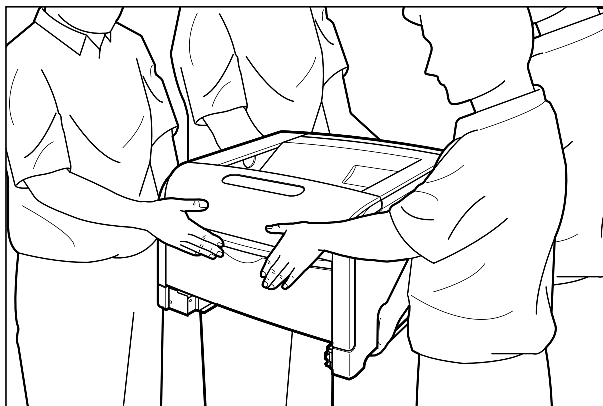


給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

4 プリンタを設置場所から移動します。

プリンタ下部にある運搬用取っ手に 4 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。



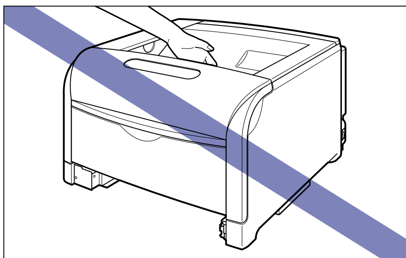
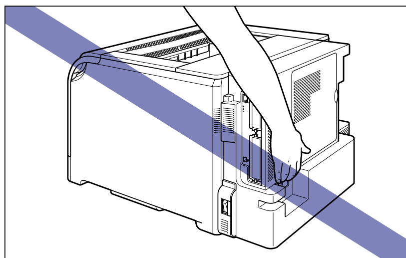




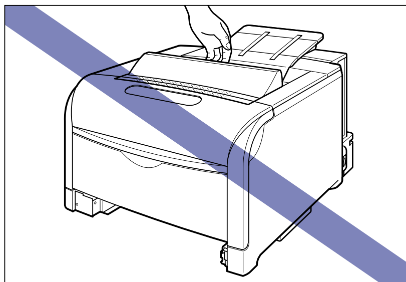
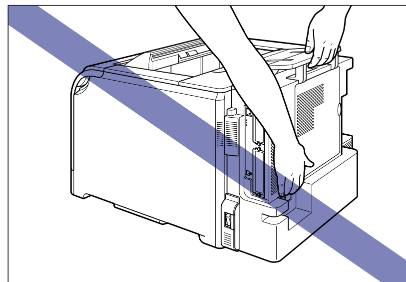
- 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で LBP5910 は約 55.7kg、LBP5910F は約 59.7kg あります。必ず 4 人以上で腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。

- 絶対に前カバーや手差しトレイなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

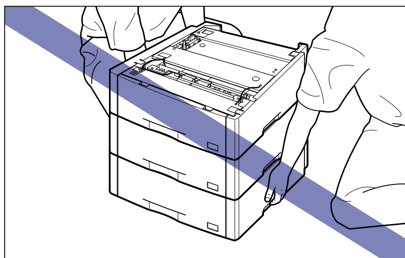
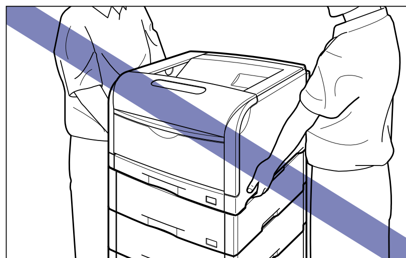
・LBP5910

・LBP5910F

- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。



オプションのペーパーフィーダが取り付けられていたときは、プリンタを移動場所に運ぶ前にペーパーフィーダを移動場所に設置します。取り付けかたについては、「ペーパーフィーダ」（➞P.7-2）を参照してください。

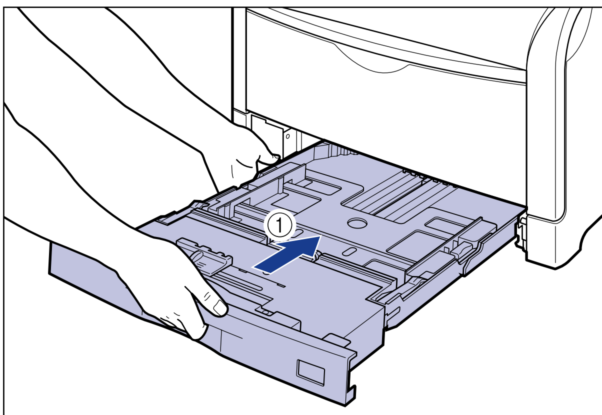
5 移動場所にゆっくりとおろします。



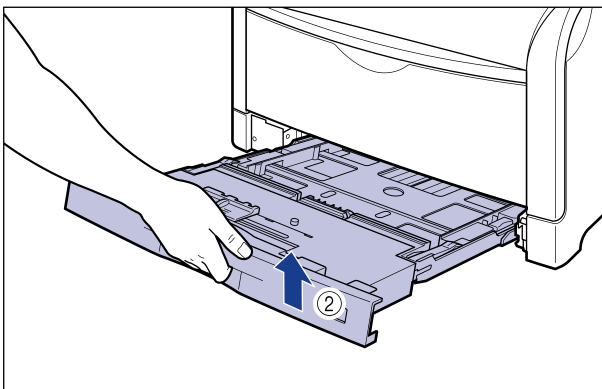
プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

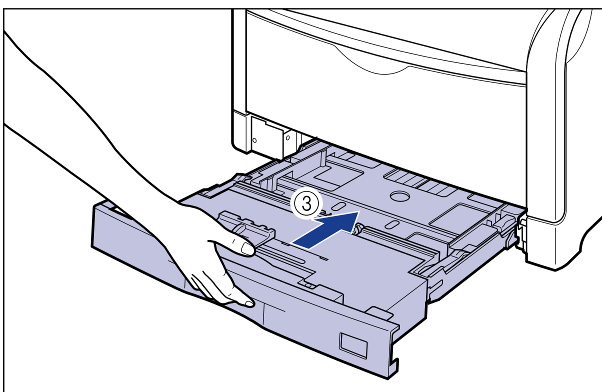
6 給紙カセットをプリンタにセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。





⚠注意　給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

7 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

9 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

●プリンタを輸送するときは

移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、トナーカートリッジとドラムカートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。

本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

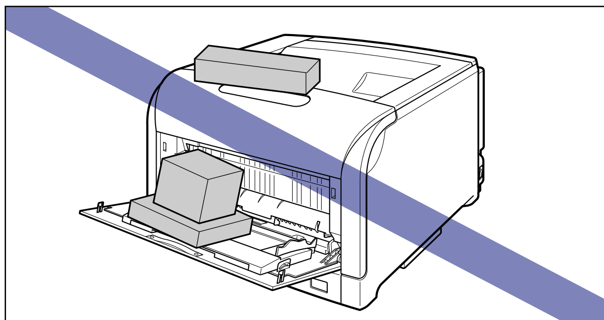
プリンタの取り扱いについて

本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。次の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

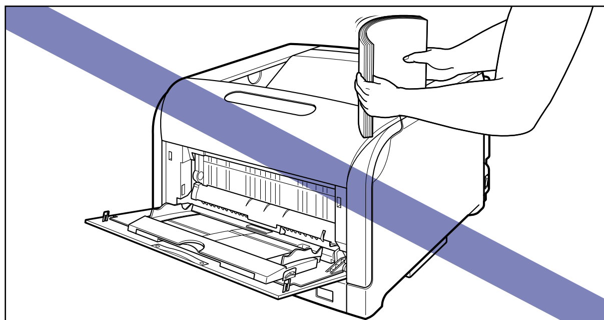
注意 万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、受信したデータや記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

重要

- 本プリンタの取り扱いについては、「安全にお使いいただくために」（➞P.xv）もお読みください。
- 前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイが閉まっていることを確認してから前カバーを開けてください。手差しトレイを開けたまま前カバーを開けると、プリンタが破損する原因になります。
- プリンタやトレイ、カバーなどの上に印刷する用紙以外のものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。

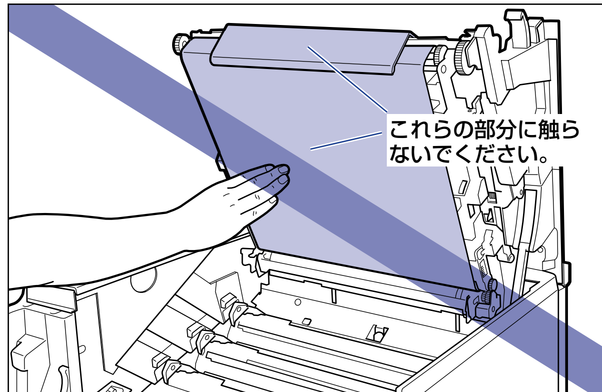


- 各カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、印刷の品質が低下する原因になります。
- 振動を与えないでください。印刷品質の低下や故障の原因になることがあります。



- 印刷中は、絶対にプリンタのカバーを開けないでください。故障の原因になります。

- 各カバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源を切って、プリンタの温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。
- ITB ユニットの転写ベルトや ITB ユニットカバーに触れたりしないでください。転写ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、「ITB ユニットの転写ベルトを清掃する」(→P.5-68)を参照して、転写ベルトの清掃を行ってください。転写ベルトにトナーが付着している場合は、自動的に清掃する機能が付いていますので清掃する必要はありません。



5
日常のメンテナンス

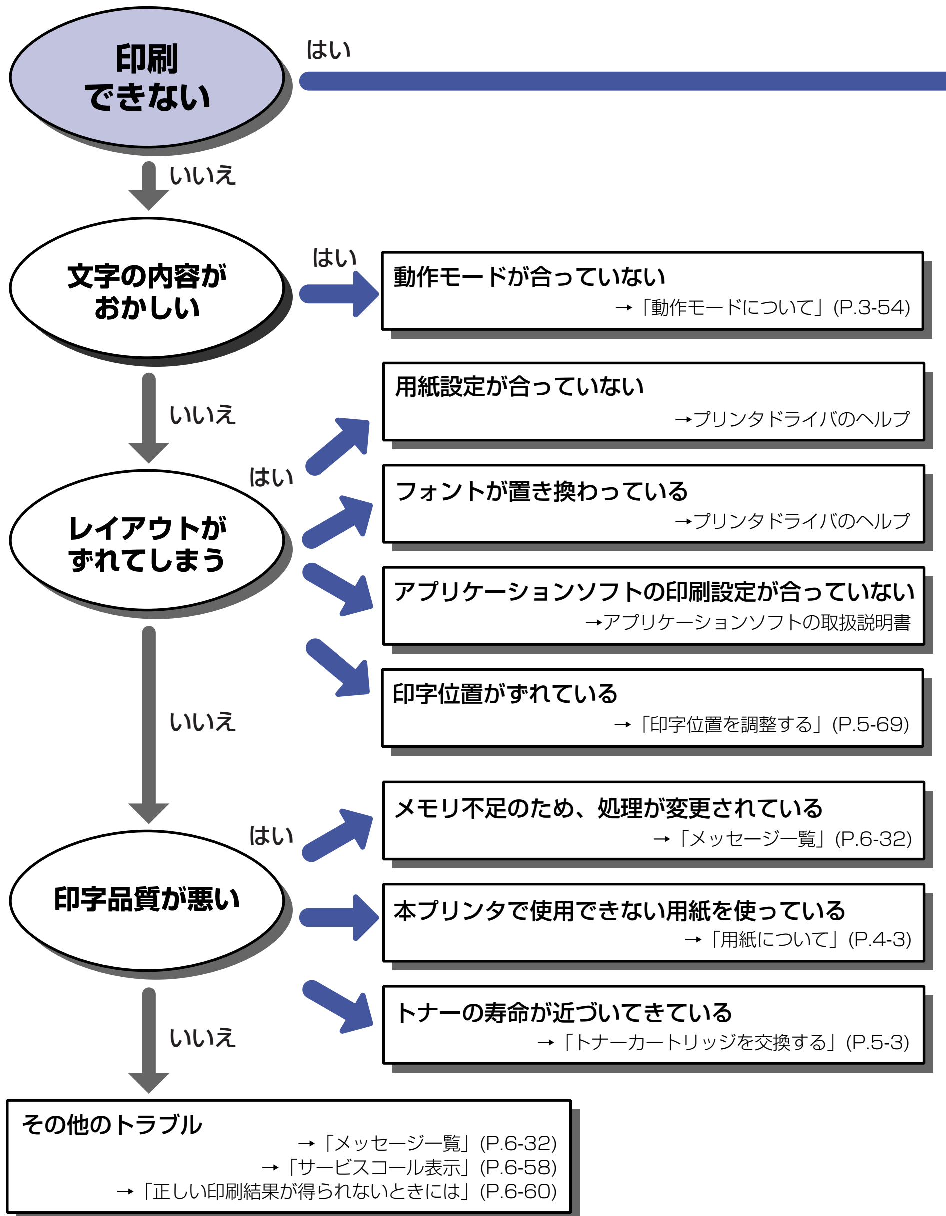
困ったときには

6
CHAPTER

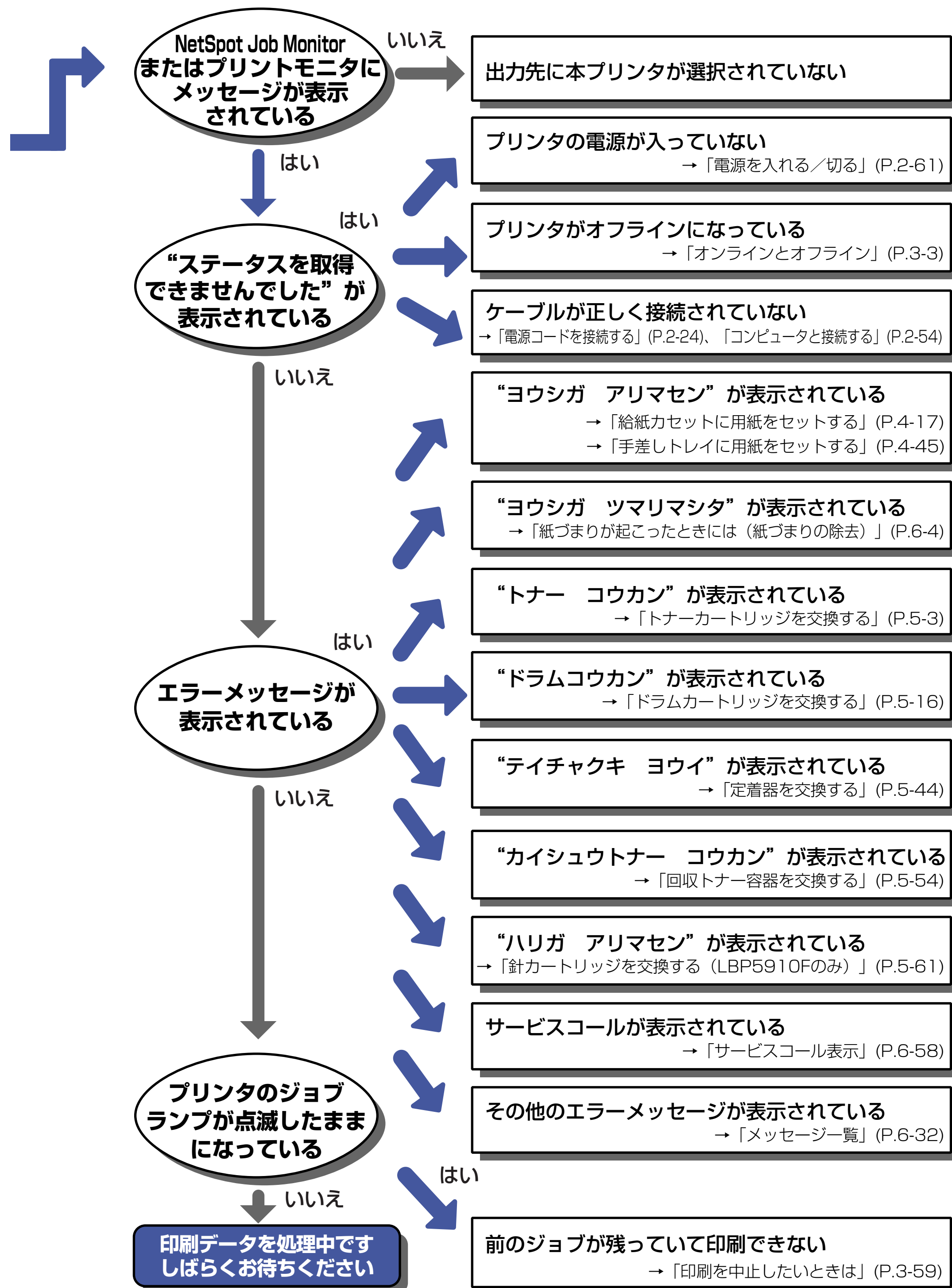
この章では、紙づまりが起こったときやエラーメッセージが表示されたときの対処のしかたについて説明しています。

トラブル解決マップ 6-2
紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）. 6-4
紙づまりを除去するときのご注意 6-4
紙づまりの位置 6-6
紙づまりの除去手順 6-7
針づまりが起こったときには（LBP5910F のみ）. 6-25
針づまりを除去するときのご注意 6-25
針づまりの除去手順 6-26
メッセージ一覧 6-32
サービスコール表示 6-58
正しい印刷結果が得られないときには 6-60
電源やプリンタ動作のトラブル 6-60
印刷結果のトラブル 6-66
印字品質のトラブル 6-71
印字不良が起こったときには 6-81
プリンタ内部を清掃する 6-81
テストチャート 1 を印刷する 6-99
テストチャート 2 を印刷する 6-101
印字不良サンプル 6-102
カラーバランスを調整したいときには 6-106
プリンタの機能を確認したいときには 6-108

トラブル解決マップ



印刷できない
はい
いいえ
文字の内容がおかしい
はい
動作モードが合っていない
→「動作モードについて」(P.3-54)
いいえ
レイアウトがずれてしまう
はい
用紙設定が合っていない
→プリンタドライバのヘルプ
フォントが置き換わっている
→プリンタドライバのヘルプ
アプリケーションソフトの印刷設定が合っていない
→アプリケーションソフトの取扱説明書
印字位置がずれている
→「印字位置を調整する」(P.5-69)
いいえ
印字品質が悪い
はい
メモリ不足のため、処理が変更されている
→「メッセージ一覧」(P.6-32)
本プリンタで使用できない用紙を使っている
→「用紙について」(P.4-3)
トナーの寿命が近づいてきている
→「トナーカートリッジを交換する」(P.5-3)
いいえ
その他のトラブル
→「メッセージ一覧」(P.6-32)
→「サービスコール表示」(P.6-58)
→「正しい印刷結果が得られないときには」(P.6-60)


NetSpot Job Monitor またはプリントモニタにメッセージが表示されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
はい
プリンタの電源が入っていない
→「電源を入れる／切る」(P.2-61)
はい
“ステータスを取得できませんでした”が表示されている
プリンタがオフラインになっている
→「オンラインとオフライン」(P.3-3)
ケーブルが正しく接続されていない
→「電源コードを接続する」(P.2-24)、「コンピュータと接続する」(P.2-54)
いいえ
“ヨウシガ　アリマセン”が表示されている
→「給紙カセットに用紙をセットする」(P.4-17)
→「手差しトレイに用紙をセットする」(P.4-45)
“ヨウシガ　ツマリマシタ”が表示されている
→「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」(P.6-4)
“トナー　コウカン”が表示されている
→「トナーカートリッジを交換する」(P.5-3)
はい
エラーメッセージが表示されている
“ドラムコウカン”が表示されている
→「ドラムカートリッジを交換する」(P.5-16)
“テイチャクキ　ヨウイ”が表示されている
→「定着器を交換する」(P.5-44)
いいえ
“カイシュウトナー　コウカン”が表示されている
→「回収トナー容器を交換する」(P.5-54)
“ハリガ　アリマセン”が表示されている
→「針カートリッジを交換する（LBP5910Fのみ）」(P.5-61)
サービスコールが表示されている
→「サービスコール表示」(P.6-58)
その他のエラーメッセージが表示されている
→「メッセージ一覧」(P.6-32)
プリンタのジョブランプが点滅したままになっている
はい
いいえ
前のジョブが残っていて印刷できない
→「印刷を中止したいときは」(P.3-59)
印刷データを処理中です しばらくお待ちください

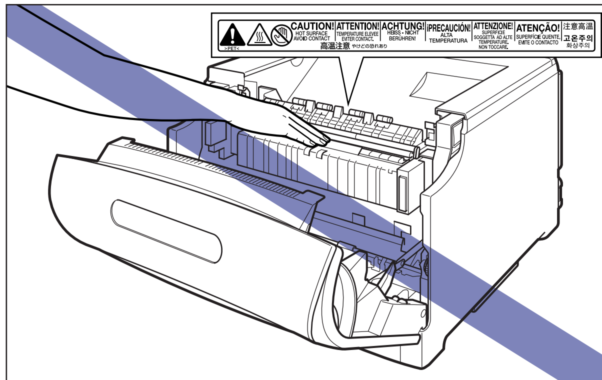
紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）

印刷中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13　ヨウシガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときは、次の手順でつまっている用紙を取り除き、印刷を再開します。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

紙づまりを除去するときのご注意

⚠警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

⚠注意
- プリンタ使用中は定着器周辺（LBP5910Fの場合は排紙部、針カートリッジも含む）が高温になっています。紙づまりの処理をするときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。

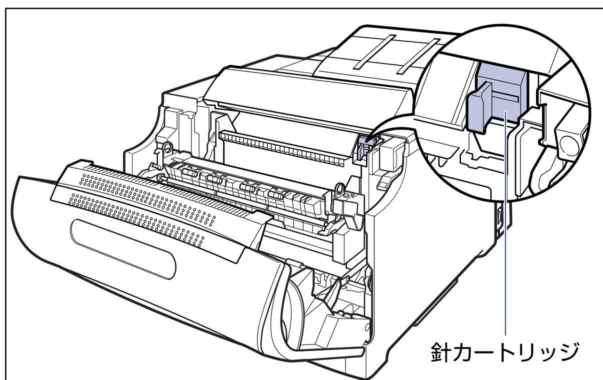


- 紙づまりの処理をするときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください、温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- 紙づまりの処理がすべて終了したら、排紙部にあるローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

重要

- つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源を入れたままで作業を行ってください。電源を切ると、印刷中のデータが消去されてしまいます。
- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。
- LBP5910F をお使いの場合で、ステイプルして印刷するたびに、紙づまりが起こるときは、次の処置を行ってください。
  1. セットアップメニューのユーザメンテナンスグループにある「機能制限モード」の「ステイプル」を「制限する」に設定する *
  2. お買い求めの販売店に修理を依頼する

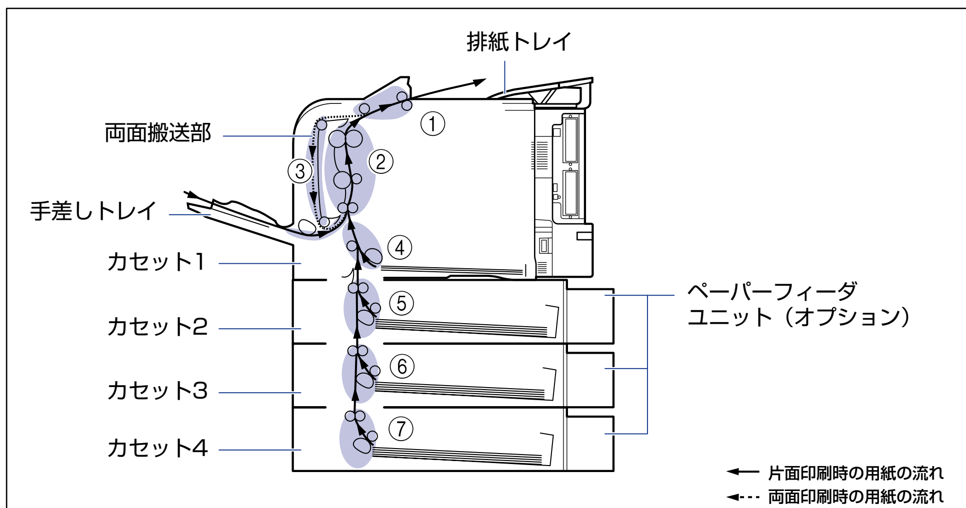
  * 「制限する」に設定すると、ステイプルするように設定したジョブでも、通常の印刷（ステイプルしない）処理を行います。
  また、「制限する」に設定しても、針カートリッジを取り外さないでください。針カートリッジを取り外した状態で印刷すると紙づまりの原因になります。



6
困ったときには

紙づまりの位置

ディスプレイに表示されているメッセージは、紙づまりが起きた場所を示しております。



紙づまり位置		ディスプレイメッセージ
①	排紙部	ハイシ　エリア
②	前カバー内部	マエカバー　エリア
③	前カバー内側（両面搬送部）	リョウメンユニット　エリア
④	カセット１	カセット１　エリア
⑤	カセット２（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット２　エリア
⑥	カセット３（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット３　エリア
⑦	カセット４（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット４　エリア

紙づまりの除去手順

次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。



前カバーを開けずにつまっている用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、前カバーを一度開閉してください。

---

1 ディスプレイに表示されているメッセージをすべて確認します。

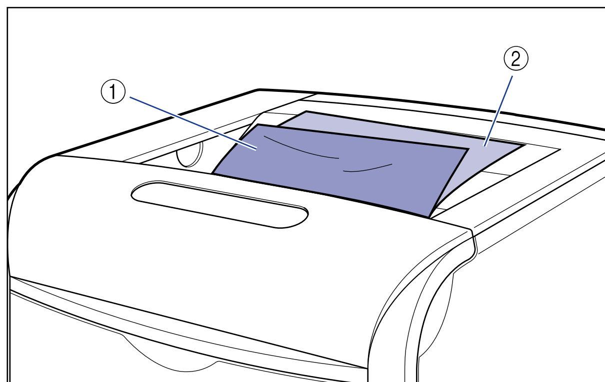
メッセージが 1 つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。
メッセージはカバーを開けると表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。

13 ヨウシカ゛ ツマリマシタ



マエカハ゛ー エリア

2 排紙トレイをチェックし、つまっている用紙①と排紙された用紙②をすべて取り除きます。



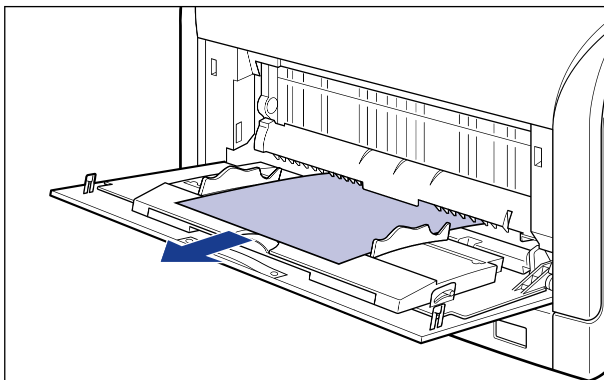


- つまっている用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。
- 紙づまりの原因になりますので、印刷中は、排紙トレイに用紙や物を置かないでください。



取り除いた用紙に定着していないトナーが付着している場合、次に印刷する用紙にトナーの汚れが付くことがあります。

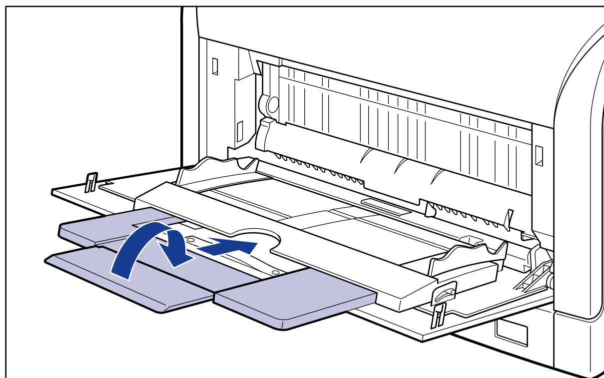
3 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除きます。

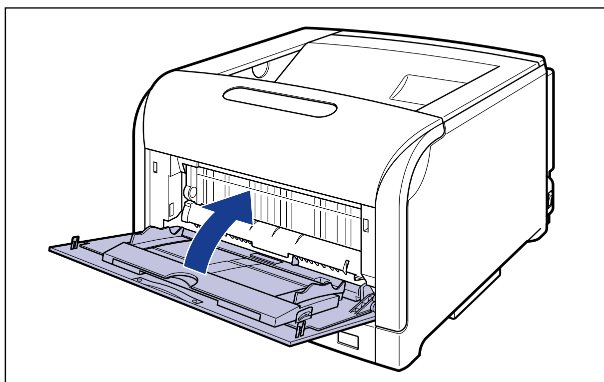




つまっている用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

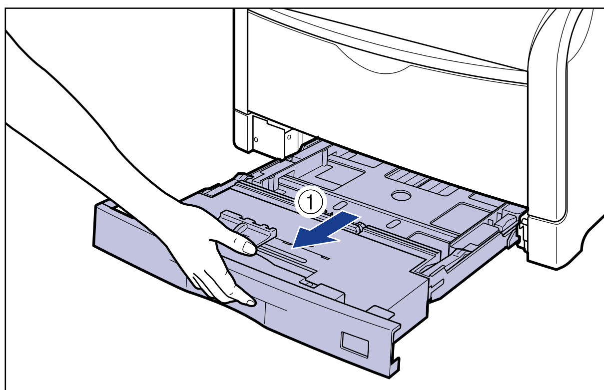
4 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。



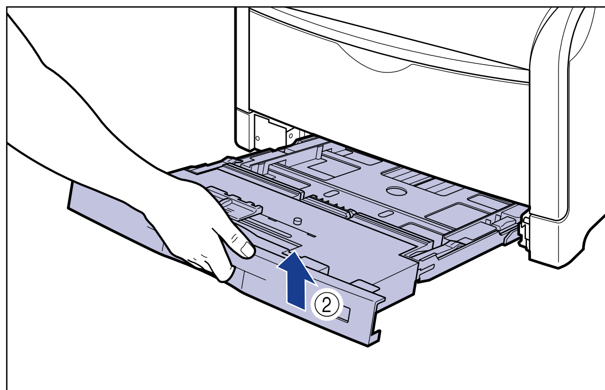


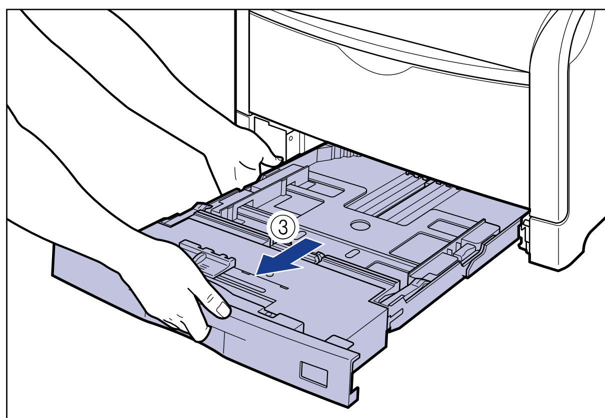
5 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。



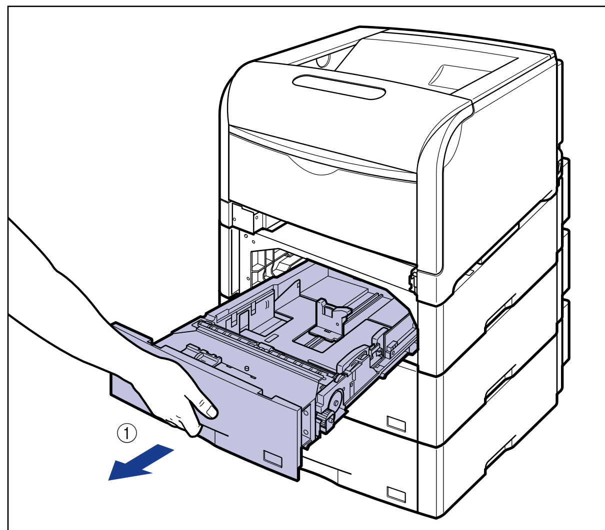




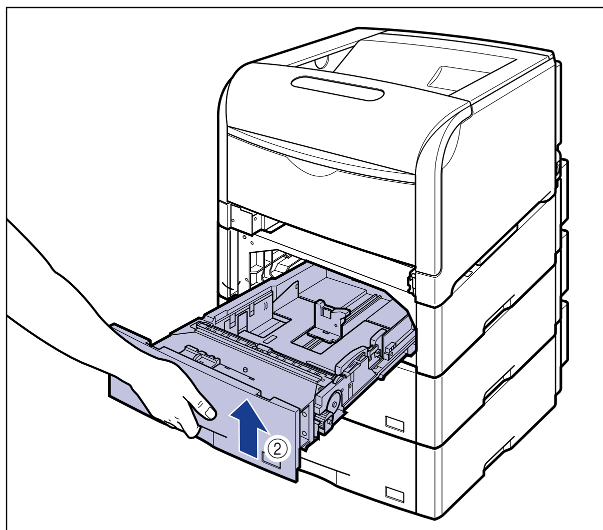
給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

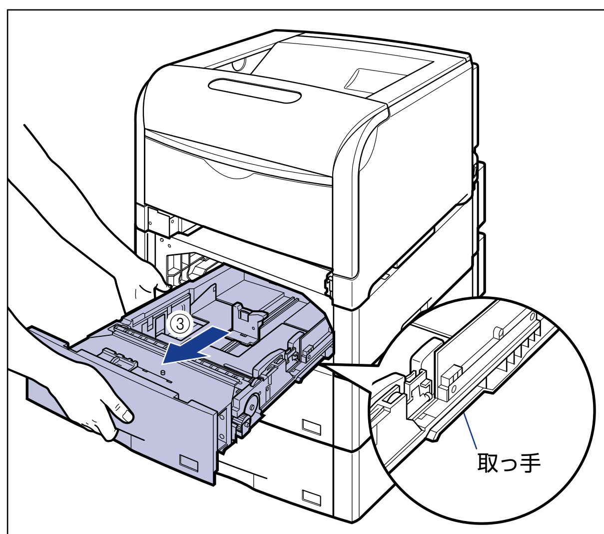
6 ペーパーフィーダが装着されている場合は、上段からすべての給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。

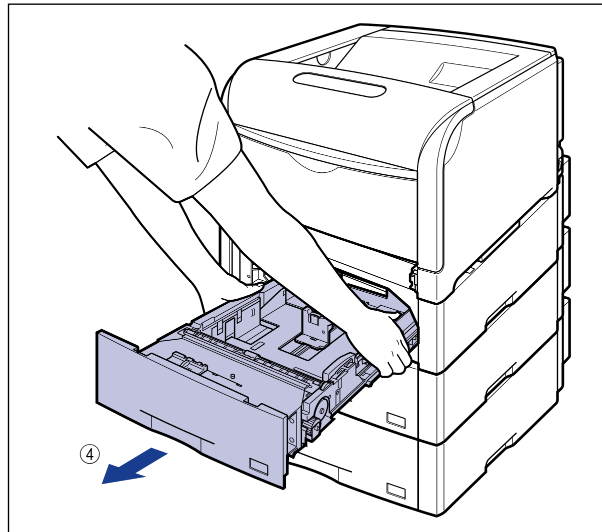




6

困ったときには

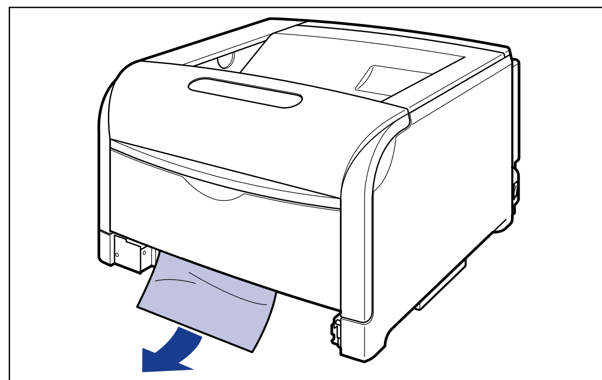
図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。



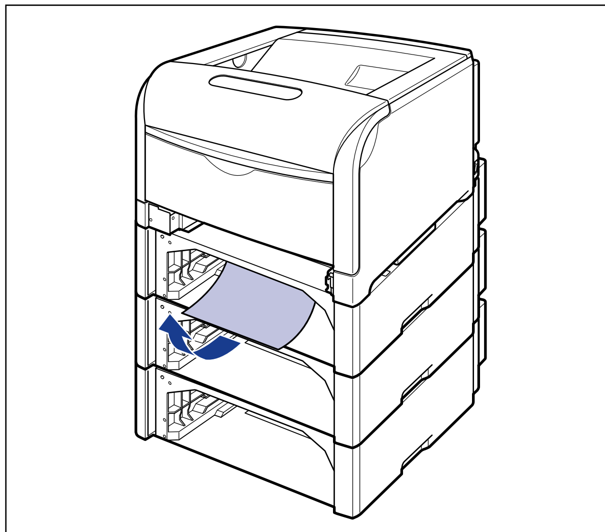
重要
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

7 用紙を押し下げるように、つまっている用紙を取り除きます。

プリンタの場合

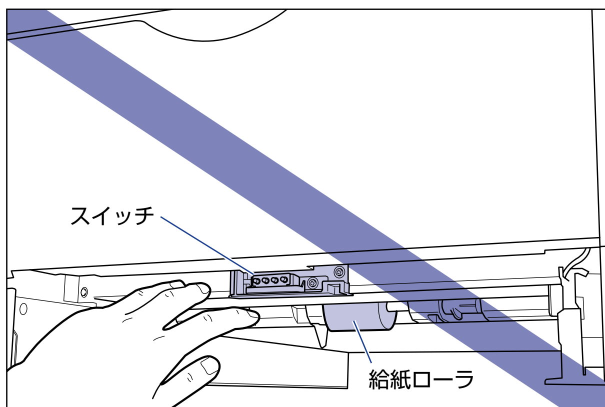


ペーパーフィーダの場合



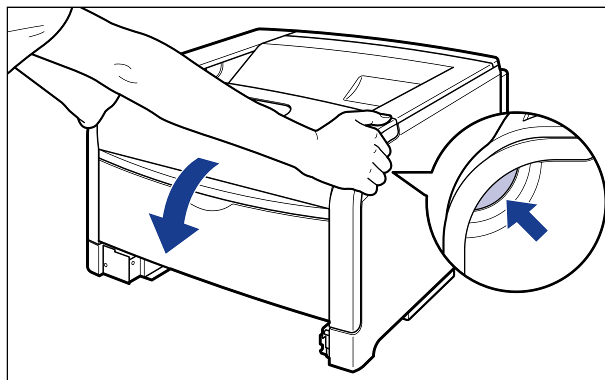
重要

- つまっている用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。
- プリンタ下部の給紙ローラやスイッチには、絶対に触れないでください。故障や動作不良の原因になります。



8 前カバーを開けます。

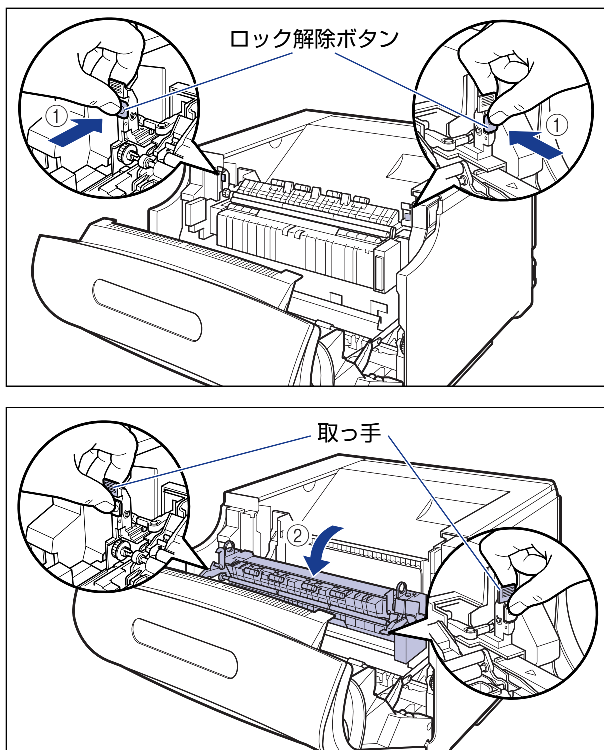
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。



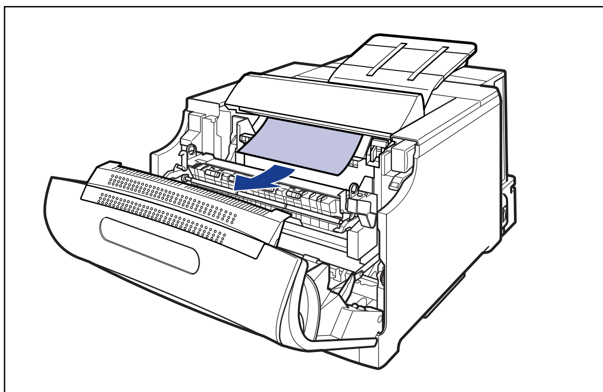

重要　前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイが閉まっていることを確認してください。

9 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

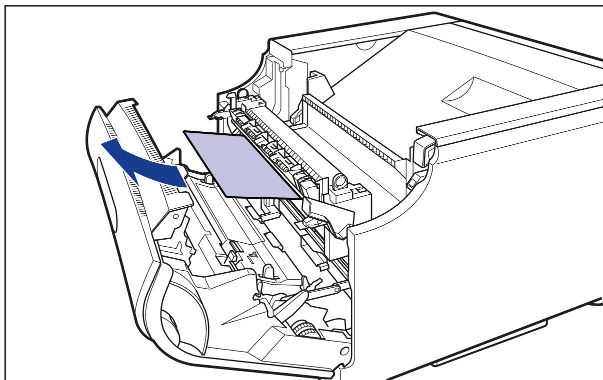


10 LBP5910Fをお使いの場合は、排紙部につまっている用紙を取り除きます。



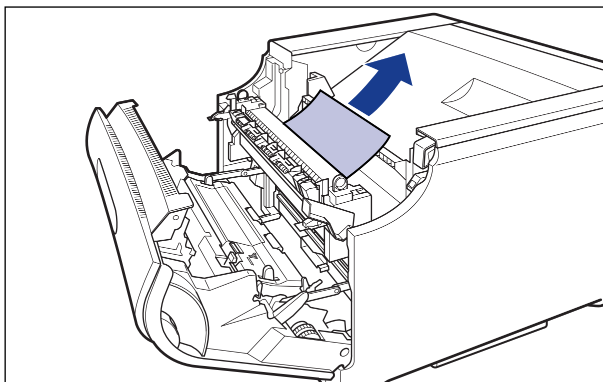

重要
排紙部で紙づまりが頻繁に起こる場合は、針カートリッジが取り付けられていることを確認してください（➞ 針カートリッジを交換する（LBP5910F のみ）：P.5-61）。

11 定着器の手前側から、つまっている用紙を取り除きます。



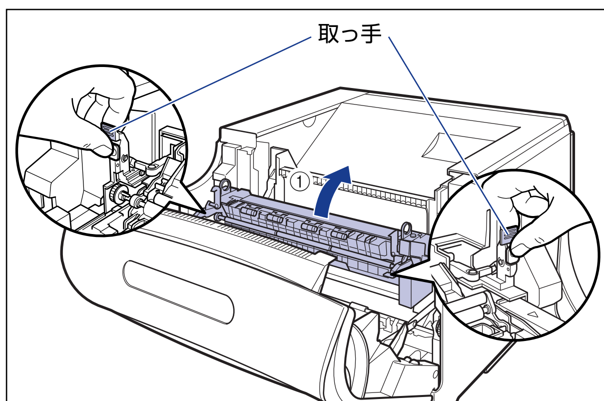

重要
つまっている用紙が簡単に取り除けない場合は、ゆっくりと強く引いて取り除いてください。それでも、つまっている用紙が取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

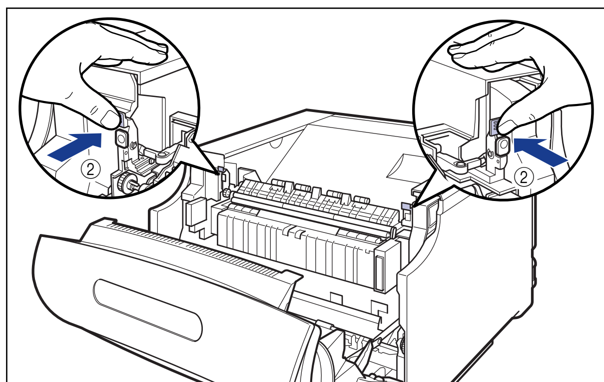
12 定着器の奥側から、つまっている用紙を取り除きます。




重要
定着していないトナーが飛び散らないように、ゆっくりと強く引いてつまっている用紙を取り除きます。

13 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

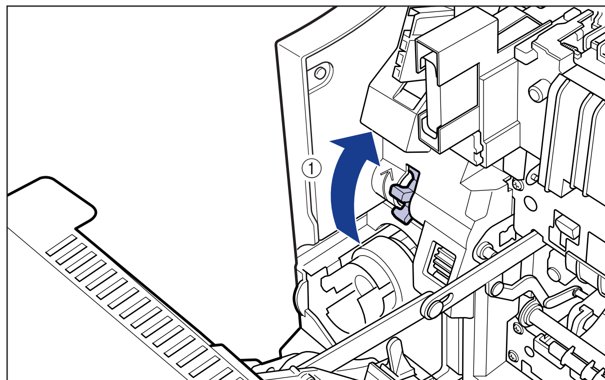




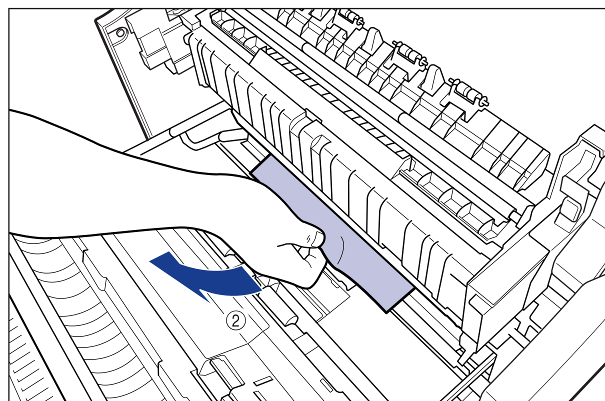
6
困ったときには

14 定着器の下側につまっている用紙を取り除きます。

図のように定着器の左側にあるダイヤルを矢印の方向に回し、つまっている用紙を送り出します ①。



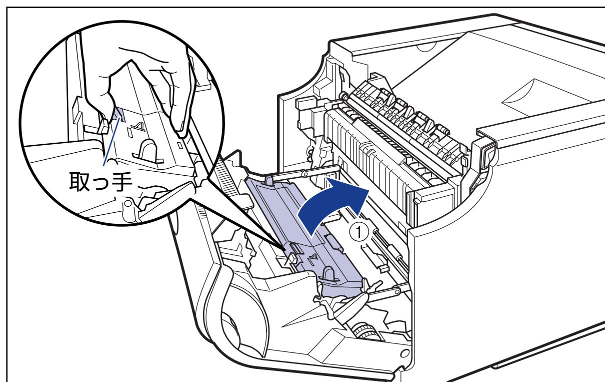
図のようにつまっている用紙を取り除きます ②。

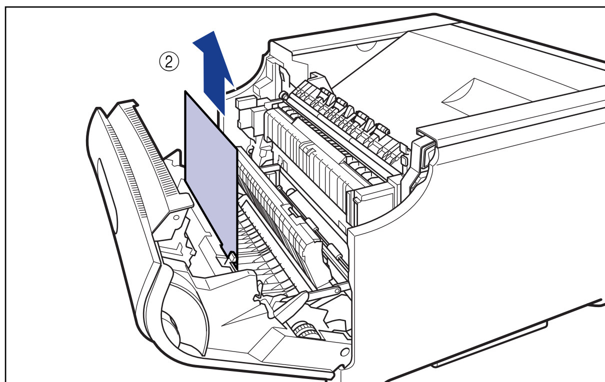




用紙が奥につまっている場合がありますので、ダイヤルをよく回して、用紙を送り出してください。

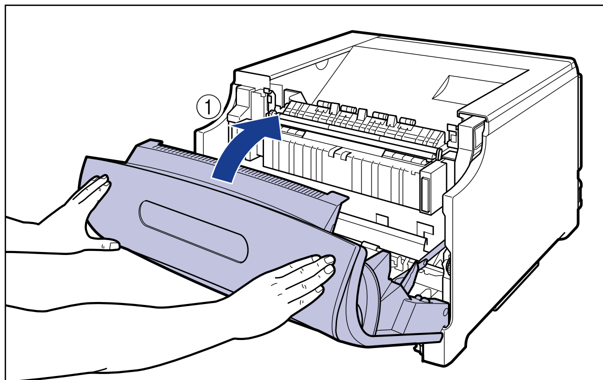
15 両面印刷して紙づまりが起こった場合は、図のように前カバー内側の取っ手を持って両面搬送部のカバーを開け ①、つまっている用紙を取り除きます ②。

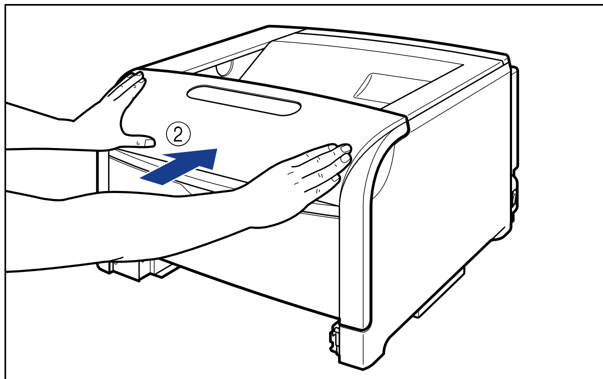




16 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。



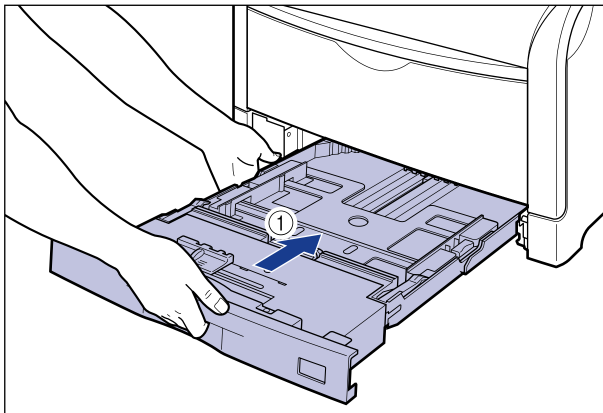




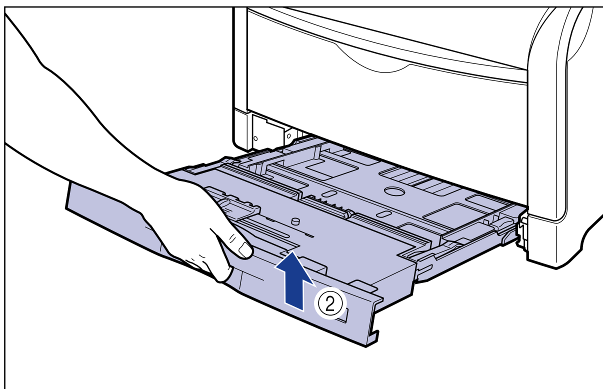
前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

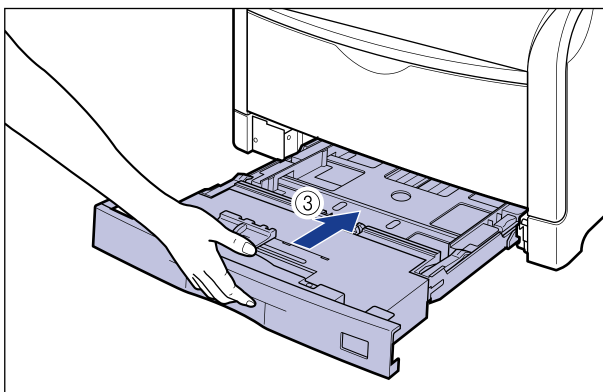
17 給紙カセットをプリンタにセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。



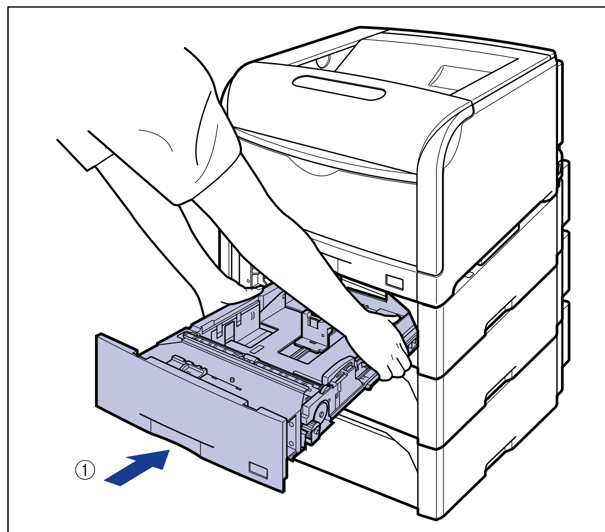
給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。

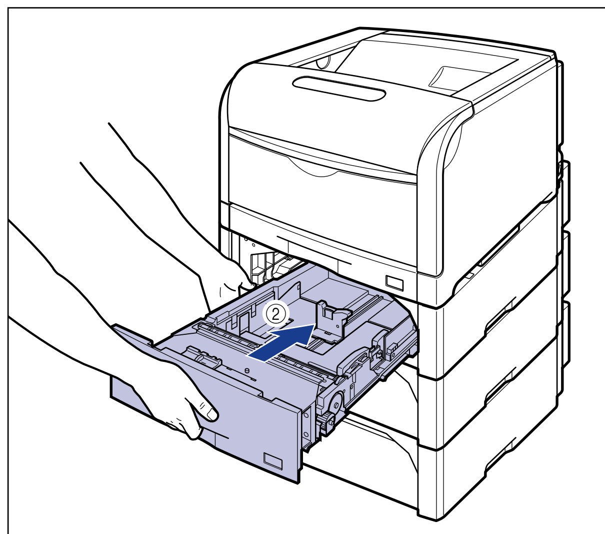




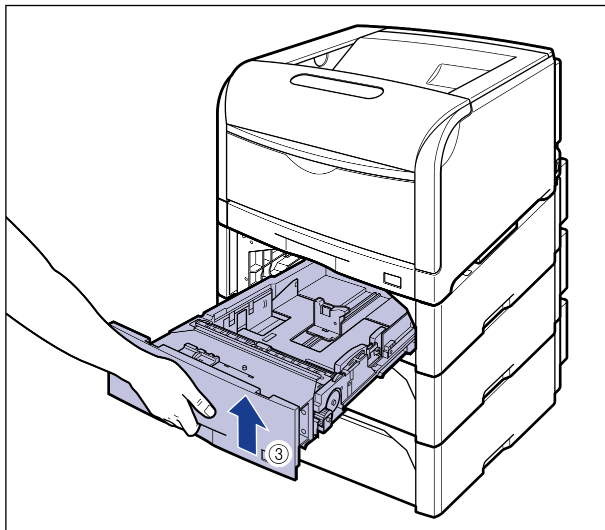
18 ペーパーフィーダが装着されている場合は、上段からすべての給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

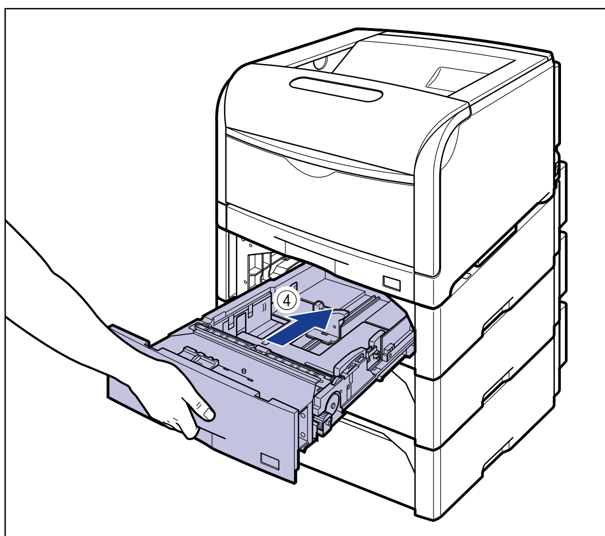
給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。





給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。





⚠注意 給紙カセットをペーパーフィーダにセットするときは、指を挟まないように注意してください。

手順通りに紙づまりの除去を行っても、前カバー内部で紙づまりが起こっていることを示すメッセージが消えないときは、定着器の下側に用紙が残っている可能性があります。手順 14 にしたがって、ダイヤルをよく回して、つまっている用紙を送り出して取り除いてください。

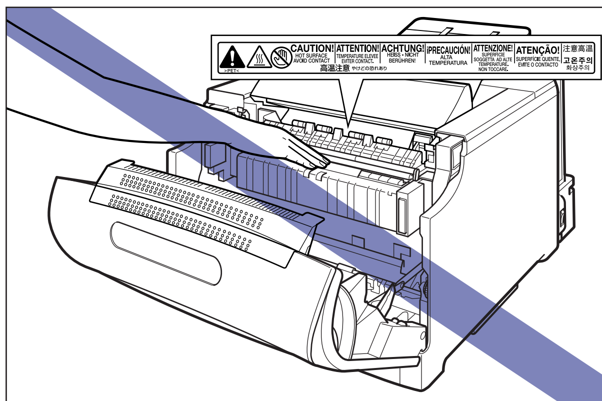
針づまりが起こったときには（LBP5910F のみ）

ステイプル中に、何らかの理由で針づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「1E　ハリガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。

針づまりを除去するときのご注意

警告　製品内部には、高圧になる部分があります。針づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

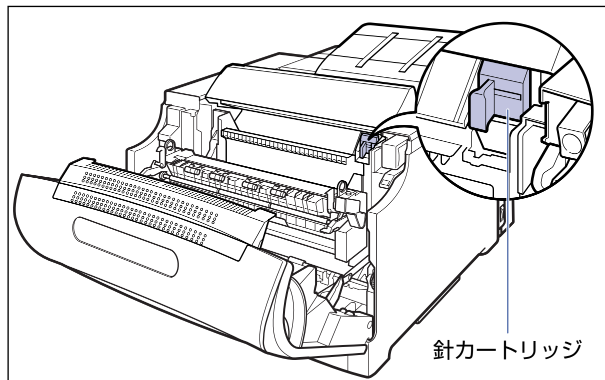
注意　プリンタ使用中は定着器周辺（排紙部、針カートリッジも含む）が高温になっています。針づまりの処理をするときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。



重要　• 針づまりしたジョブはステイプル処理されません。再度ステイプルの設定をして、印刷しなおしてください。

- ステイプルして印刷するたびに、針づまりが起こるときは、次の処置を行ってください。
  1. セットアップメニューのユーザメンテナンスグループにある「機能制限モード」の「ステイプル」を「制限する」に設定する *
  2. お買い求めの販売店に修理を依頼する

  * 「制限する」に設定すると、ステイプルするように設定したジョブでも、通常の印刷（ステイプルしない）処理を行います。
  また、「制限する」に設定しても、針カートリッジを取り外さないでください。針カートリッジを取り外した状態で印刷すると紙づまりの原因になります。



6

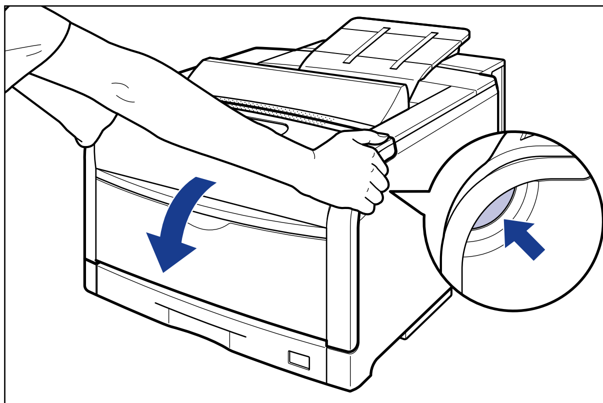
困ったときには

針づまりの除去手順

次の手順にしたがって、つまっている針を取り除きます。

1 前カバーを開けます。

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

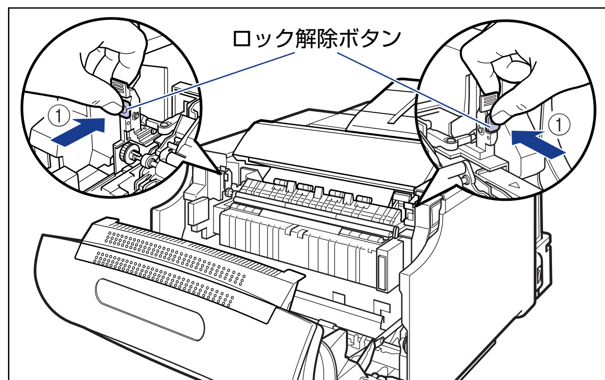


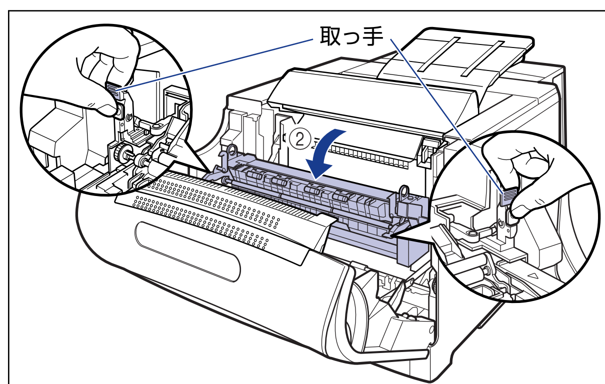


前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイとプリンタの給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

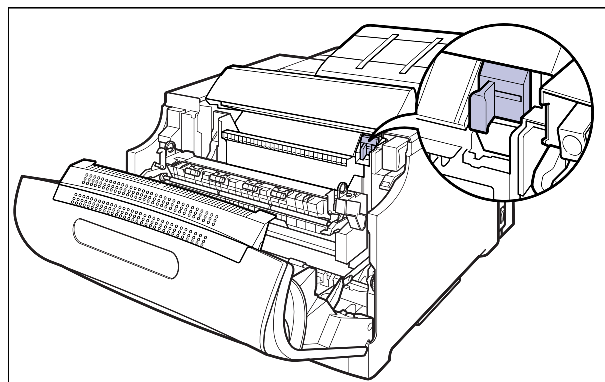
2 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

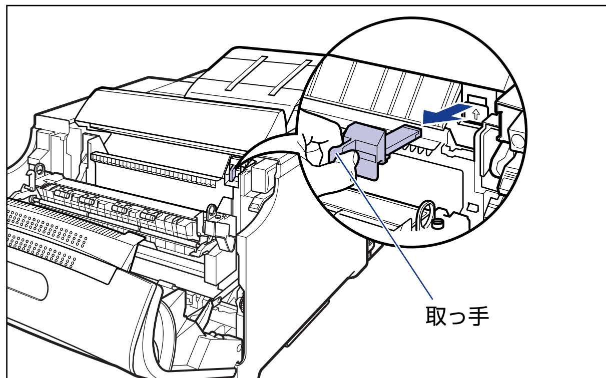




3 針カートリッジは図の位置にあります。



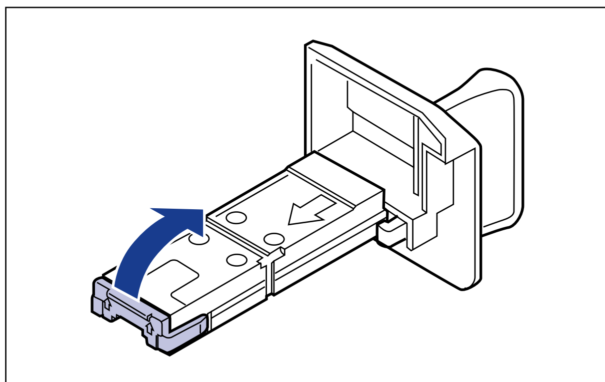
4 針カートリッジの取っ手を持って、プリンタから取り外します。



⚠注意　針カートリッジの取っ手が高温になっている場合があります。針カートリッジを取り外すときは、取っ手が完全に冷えてから作業をおこなってください。取っ手が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。

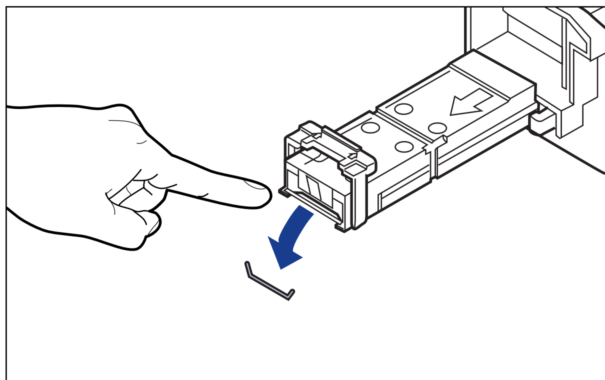
重要　針カートリッジは、まっすぐに引き出してください。上向きに引き出すと取っ手が外れることがあります。取っ手が外れた場合は、取っ手を元に戻してください。取っ手が外れたまま、針カートリッジを使用すると紙づまりの原因になります。

5 図のように針カートリッジのカバーを開けます。

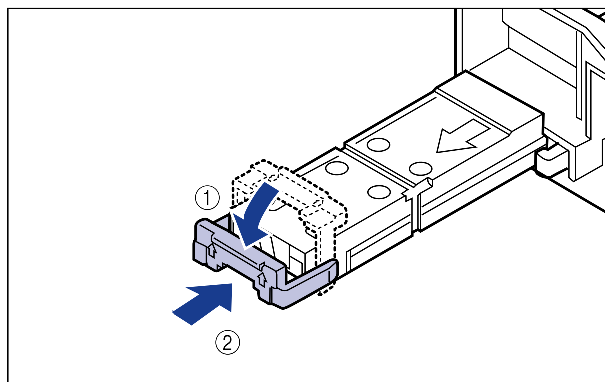


6 つまったり、曲がっている針をすべて取り除きます。

ステイプルする前の針は、直線の状態です。

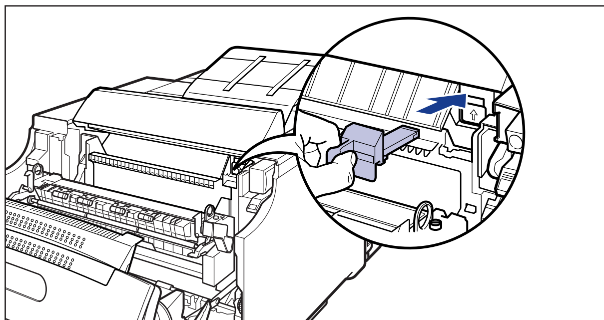


7 図のように針カートリッジのカバーを閉めます。



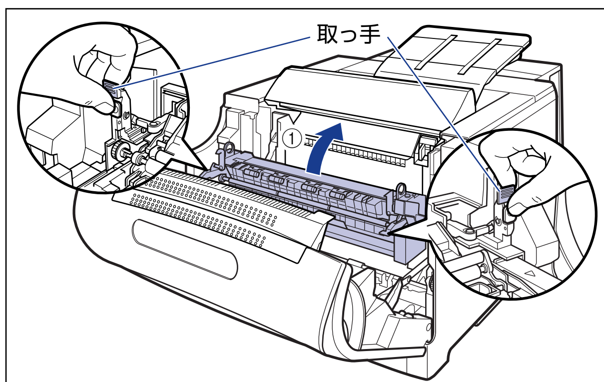
8 針カートリッジの取っ手を持って、プリンタに取り付けます。

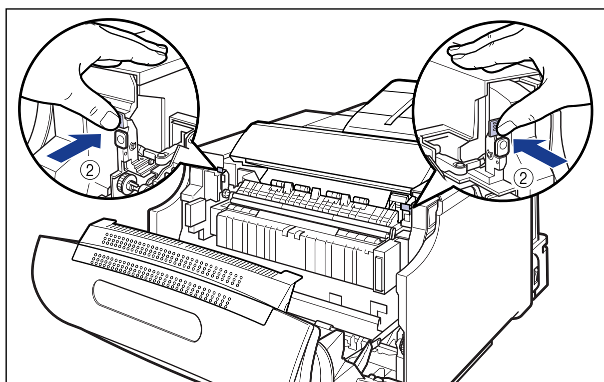
針カートリッジは、カチッと音がするまで差し込んでください。



重要　針カートリッジはまっすぐ差し込んでください。差し込む途中で上向きに力を入れると取っ手が外れることがあります。取っ手が外れた場合は、取っ手を元に戻してください。取っ手が外れたまま、針カートリッジを使用すると紙づまりの原因になります。

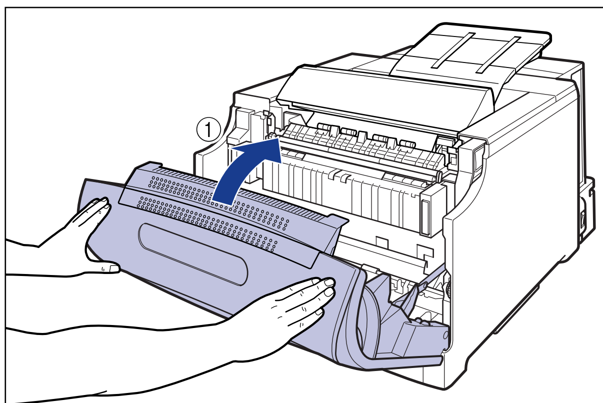
9 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

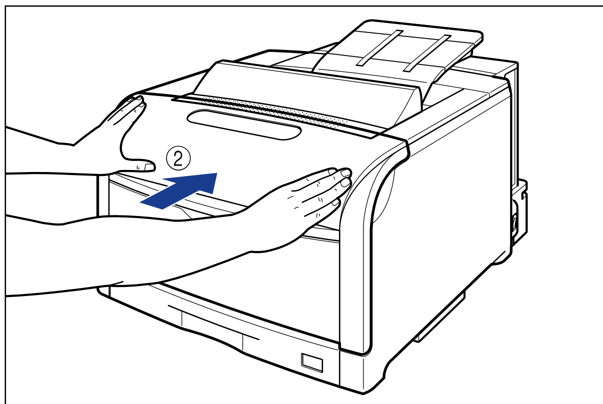




10 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。







前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

メッセージ一覧

プリンタの使用中に、何らかの理由でエラーが発生すると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに応じて、処置を行ってください。

メッセージには、次の種類があります。

- エラーメッセージ（印刷ができないエラー状態）
- 警告メッセージ（印刷はできるが何らかの処置が必要な警告状態）

メモ
- 複数の警告状態が同時に発生しているときは、警告メッセージを交互に表示します。
- エラー状態と警告状態が同時に発生しているときは、警告メッセージは表示されません。

■ メッセージ一覧のマークについて

マーク	説明
（警告メッセージ）	このマークの付いているメッセージがディスプレイに表示されていても、プリンタは停止しません。 ※共通セットアップメニューにある拡張機能グループにある「警告表示」を「シナイ」に設定するとメッセージは表示されません。
＜自動エラースキップ可＞	このマークの付いているメッセージは、状況に応じて次の操作を行います。 • エラーを回避（エラースキップ）して印刷を継続したいとき ① ［オンライン］を押して、エラースキップする（印刷が継続されます） ② 印刷データが欠落したり、正しく印刷されなかったりした場合は、再度印刷を行う ※ 共通セットアップメニューの拡張機能グループにある「自動エラースキップ」を「スル」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。 • 印刷を中止したいとき ① ソフトリセットを行う（➞P.3-61） ② 表示されているメッセージに応じた処置を行う（本項目） ③ ［オンライン］を押して、再度印刷を行う

E nnn-nnnn（n は数字）

原　因　プリンタの内部機構にトラブルが発生した

処　置　「サービスコール表示」（➞P.6-58）の指示にしたがって、処置してください。

OF　オプション　カクニン

原因 1　オプションのペーパーフィーダが正しく取り付けられていない

処　置　電源をいったん切り、ペーパーフィーダを正しく取り付けてから電源を入れなおしてください。（➞ ペーパーフィーダ：P.7-2）

原因 2　本プリンタの電源が入っているときに、オプションのペーパーフィーダが脱着された

処　置　電源をいったん切り、ペーパーフィーダを脱着してから電源を入れなおしてください。（➞ ペーパーフィーダ：P.7-2）

原因 3　オプションのペーパーフィーダ接続部の接触不良が起きている

処　置　電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

原因 4　本プリンタ用ではないペーパーフィーダが取り付けられた

処　置　電源をいったん切り、本プリンタ用のペーパーフィーダを取り付けてから電源を入れてください。（➞ ペーパーフィーダ：P.7-2）

11　XXX ヨウシガアリマセン（XXX は用紙サイズ略号）

原　因　給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「ジドウ」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元）

処置 1　用紙を補給またはセットしてください。

処置 2　[給紙選択] を押して、同じ用紙サイズまたは大きい用紙サイズの他の給紙元を選択してください。（➞ 給紙元の選択：P.4-12）

12　カバーガ　アイテイマス

原　因　前カバーまたは上カバーが開いている

処　置　ディスプレイに表示されたカバーをしっかりと閉めます。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。

メモ　一つのカバーを閉めてもまだこのメッセージが表示される場合は、他のカバーが開いています。他のカバーをチェックして、すべて閉めてください。

13　ヨウシガ　ツマリマシタ

原　因　内部で紙づまりを起こしている

処　置　紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（➞ 紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）：P.6-4）

重要
- 紙づまりが複数の場所で同時に起こった場合、ディスプレイに紙づまりの位置を交互に表示します。
- どのカバーも開けずに紙づまりを取り除いた場合は、必ず前カバーを一度開閉してから、［オンライン］を押してください。

14　トナー／カバー　カクニン

原因 1　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない

処　置　表示された色のトナーカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-3）

原因 2　トナーカバーが開いている

処　置　トナーカバーをしっかりと閉めます。

重要　トナーカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にトナーカバーを閉めると故障の原因になります。

16　X　トナー　ヨウイ（X は K または Y、M、C）　（警告メッセージ）

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命が近づいている

処　置　少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときは、表示された色のトナーカートリッジを交換してください。交換したあと、交換した色のトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-3）

16　X　トナー　コウカン（X は K または Y、M、C）

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命がきた

処　置　［オンライン］を押します。少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときは、表示された色のトナーカートリッジを交換してください。交換したあと、交換した色のトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-3）

18　キュウシ　エラー

原　因　手差しトレイや給紙カセットから給紙できない用紙サイズまたは用紙タイプの用紙が指定されている

処置 1　給紙元を指定している場合は、［給紙選択］を押して、「給紙モード」を「ジドウ」に設定してください。

処置 2　［給紙選択］を押して、適切な用紙がセットされている給紙部を選択してください。

処置 3　給紙部に合った適切な用紙をセットしてください。セットできる用紙については、「使用できる用紙」（➞P.4-3）を参照してください。

処置 4　次の項目を正しく設定してください。（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

- デフォルト用紙タイプ
- デフォルト用紙サイズ

処置 5　［オンライン］を押し、現在選択されている給紙元から印刷します。ただし、印字品質が低下することがあります。

18　カセット 1　ナシ

原　因　カセット 1 がセットされていない

処　置　カセット　1　をセットしてください。（➞　給紙カセットに用紙をセットする：P.4-17）

18　カセット２　ナシ

原　因　カセット２がセットされていない

処置１　カセット　２　をセットしてください。（→　給紙カセットに用紙をセットする：P.4-17）

処置２　［給紙選択］を押して、手差しトレイを選択してください。
（→ 給紙元の選択：P.4-12）

18　カセット３　ナシ

原　因　カセット３がセットされていない

処置１　カセット　３　をセットしてください。（→　給紙カセットに用紙をセットする：P.4-17）

処置２　［給紙選択］を押して、手差しトレイを選択してください。
（→ 給紙元の選択：P.4-12）

1D　ハリ　カクニン（LBP5910F のみ）

原因１　針カートリッジの針がなくなった

処　置　新しい針カートリッジに交換するか、針カートリッジを装着します（→ 針カートリッジを交換する（LBP5910F のみ）：P.5-61）

原因２　針カートリッジが装着されていない

処　置　針カートリッジを装着します
（→ 針カートリッジを交換する（LBP5910F のみ）：P.5-61）

1D　ハリガ　アリマセン（LBP5910F のみ）　＜自動エラースキップ可＞

原因１　ステイプル実行中に針がなくなった

処置１　新しい針カートリッジに交換するか、針カートリッジを装着します（→ 針カートリッジを交換する（LBP5910F のみ）：P.5-61）

処置２　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ステイプルされずに印刷されます。

原因 2　針カートリッジが装着されていない

処置 1　針カートリッジを装着します
（➞ 針カートリッジを交換する（LBP5910F のみ）：P.5-61）

処置 2　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ステイプルされずに印刷されます。

1E　ハリガ　ツマリマシタ（LBP5910F のみ）

原　因　針がつまった

処　置　つまっている針を取り除き、［オンライン］を押します。（➞ 針づまりが起こったときには（LBP5910F のみ）：P.6-25）

1F　ハイシトレイ　フル（LBP5910F のみ）

原　因　排紙トレイが満載になった

処　置　排紙トレイの用紙を取り除いてください。

1G　X　トナー　コウカン（X は K または Y、M、C）

原因 1　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命がきた

処　置　表示された色のトナーカートリッジを交換します。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-3）

原因 2　（新しいトナーカートリッジに交換しても、メッセージが表示される場合）トナーカートリッジの底にトナーが固まっている

処　置　交換したトナーカートリッジを取り出して、取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならしてから取り付けてください。

23　ダウンロードメモリフル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、オーバーフローしたデータは登録されません。

処置 2　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. 次のような方法で RAM の空き容量を増加し、データを登録しなおして印刷する
   - ハードリセット（➞P.3-62）をするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されます）

- オプションの拡張 RAM を取り付ける（→RAM/ROM：P.7-21）

26　システムメモリ　フル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

処置 2　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（→P.3-61）
2. 次のような方法で RAM の空き容量を増加し、印刷しなおします。
   - ハードリセット（→P.3-62）をするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されます）
   - オプションの拡張 RAM を取り付ける（→RAM/ROM：P.7-21）

27　ジョブカイシ　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原　因　指定したエミュレーションが存在しない

処置 1　［オンライン］を押し、次の印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは印刷されません。

処置 2　「動作モード選択」で使用できるエミュレーションに設定します。「動作モード選択」は」共通セットアップメニューの動作モードグループにあります。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 3　オプションのコントロール　ROM　を取り付けてエミュレーションを追加します。（→RAM/ROM：P.7-21）

30　メモリ　フル　＜自動エラースキップ可＞

原因 1　システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した

処　置　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されないことがあります。

原因 2　（電源を入れた時に本エラーが発生した場合）メモリの構成が変更された（拡張 RAM が取り外された）ために NVRAM に設定されているメモリの容量を確保できなかった

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、メモリ構成の変更により正しく印刷されないことがあります。

重要　このエラーが発生した時点で、共通セットアップメニューの拡張機能グループにある次の設定項目が工場出荷時の値に戻ります。

・RIP Once
・ハードディスク

処置 2 電源を切った後、取り外した RAM を取り付けて、印刷しなおします。(➞RAM/ROM:P.7-21)

処置 3 「拡張受信バッファ」を「ツカワナイ」に設定し、印刷しなおします。「拡張受信バッファ」はセットアップメニューのインタフェースグループにあります。(➞LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

32 リョウメンインサツ エラー ＜自動エラースキップ可＞

原 因 自動両面印刷できない用紙サイズ(向きを含む)または用紙タイプの両面データを受信した

処置 1 [オンライン]を押し、印刷を継続します。ただし、両面のデータを片面ずつ 2 ページに分けて印刷します。

処置 2 次の操作を行います。

1. ソフトリセットする(➞P.3-61)
2. 自動両面可能な用紙サイズまたは用紙タイプに変更して、印刷する

33 ワークメモリ フル ＜自動エラースキップ可＞

原 因 各動作モード専用のワークメモリが確保できない

処置 1 [オンライン]を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

重要 [オンライン]を押して印刷を継続する場合、登録済みのオーバレイやマクロなどのデータが削除されることがありますので、気を付けてください。

処置 2 次の操作を行います。

1. ソフトリセットする(➞P.3-61)
2. 次のような方法で RAM の空き容量を増加し、印刷しなおします。
   - ハードリセット(➞P.3-62)をするか、プリンタの電源を入れなおす(メモリ内のデータはすべて消去されます)
   - LIPS LX プリンタドライバをご使用の場合は、オプションの拡張 RAM を取り付ける(ただし、解決しない場合があります)(➞RAM/ROM:P.7-21)

35 PDF サイズ エラー ＜自動エラースキップ可＞

原 因 PDF ファイルのダイレクトプリントを行うための空き容量が不足している

処 置 [オンライン]を押して、印刷をキャンセルします。そのあと、次のような処理をして(容量を減らして)、印刷しなおします。

- PDF ファイルを最適化する

- PDF ファイルを分割する（複数のファイルに分ける）

35　トウロクテーブル　フル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　1 つのジョブの中にあるドキュメント数が 16 を超えた

処　置　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したジョブは印刷されません。

36　ディスプレイリストフル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　処理に必要なメモリが不足してオーバーフローした

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したジョブは印刷されません。

処置 2　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. 次のような方法で RAM の空き容量を増加し、データを登録しなおして印刷する
   - ハードリセット（➞P.3-62）をするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されます）
   - オプションの拡張 RAM（256MB 以上 *）を取り付ける（➞RAM/ROM：P.7-21）

* ただし、512MB の拡張 RAM を取り付けても、256MB の拡張 RAM を取り付けた場合と同じ容量しか増えません。

38　ガシツテイカ　＜自動エラースキップ可＞

原　因　データが複雑すぎてスーパーファインモードで処理できない

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、画質を落として印刷します。

処置 2　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. セットアップメニューの印字調整グループで「解像度」を「ファイン」に設定して印刷しなおす。（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 3　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. セットアップメニューの印字調整グループで「階調処理」を「コウカイチョウ 1」に設定して印刷しなおす。（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 4　画質を下げずに印刷したいときは、オプションの拡張 RAM を取り付けて印刷します（➞RAM/ROM：P.7-21）

39　スプールメモリフル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　スプールメモリが不足したため、印刷できない

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは印刷されません。

処置 2　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. 用紙サイズを小さく設定して、印刷する

処置 3　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. セットアップメニューの印字調整グループで「階調処理」を「コウカイチョウ 1」に設定し、印刷しなおす（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 4　セットアップメニューの給紙グループで「両面印刷」が「スル」に設定してある場合は「シナイ」に設定し、印刷しなおします。（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 5　セットアップメニューの印字調整グループで「中間調選択」の設定を変更して印刷しなおします。（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 6　オプションの拡張 RAM を取り付けて印刷しなおします。
（➞RAM/ROM：P.7-21）

41　ヨウシサイズ　カクニン

原因 1　給紙部にセットした用紙サイズと次の設定が異なっている

- プリンタドライバの［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］
- 給紙選択メニューの「手差しトレイ用紙サイズ」または「カセット　N（N=2、3、4）用紙サイズ」
- 給紙カセットの用紙サイズ設定スイッチ

処　置　正しく設定しなおしてください。（➞給紙カセットに用紙をセットする：P.4-17、手差しトレイに用紙をセットする：P.4-45、プリンタドライバの設定をして印刷する：P.4-60）

原因 2　給紙選択メニューの次の設定が「フリー」のときに、長辺が 297.0mm 以下のユーザ設定用紙を縦置きにセットして印刷した（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）

- 手差しトレイ用紙サイズ

• カセットN（N=2、3、4）用紙サイズ

処　置　横置きにセットして印刷しなおします。

原因3　LIPS LXプリンタドライバを使用せずに、ユーザ設定用紙を横置きにセットして印刷した

処　置　縦置きにセットして印刷しなおします。

原因4　セットアップメニューの拡張機能グループの「特殊モードJ」が「ツカワナイ」に設定されている。

処　置　「特殊モードJ」の設定を「ツカウ」に設定して再度印刷しなおします。（→ LIPS機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」）

52　イメージモード　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原　因　イメージモードで印刷中に、対応していない形式のデータを受信した

処置1　［オンライン］を押すと、印刷を継続します。ただし、正しく印刷されないことがあります。

処置2　LBP5910/5910F用のプリンタドライバから印刷しなおしてください。

53　セキュアプリント　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原因1　LBP5910/5910F　用でないプリンタドライバからセキュアプリントの設定をしたデータが送られてきた

処　置　［オンライン］を押して印刷をキャンセルします。

原因2　ハードディスクが使用できない状態のときにセキュアプリントのデータを受信した

処　置　次の操作を行います。

1. ［オンライン］を押して、印刷をキャンセルする
2. セットアップメニューの拡張機能グループで「ハードディスク」を「ツカウ」に設定してから、印刷しなおす（→ LIPS機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因3　セキュアプリントとして保存できるジョブ数を超えた（保存可能なセキュアプリントのジョブ数は、8個までです。）

処　置　［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、不要なセキュアプリントジョブを削除してから、印刷しなおします。

原因４　セキュアプリントとして保存できるジョブの容量を超えた（保存可能な容量は、セキュアプリントジョブ、保存ジョブ、停止中のジョブを合わせて 4GB までです。ただし、拡張機能グループの「セキュアプリント形式」を「PDL」に設定している場合は 1.88GB までになります。）

処　置　次の操作を行います。

1. ［オンライン］を押して、印刷をキャンセルする
2. 停止ジョブを再開したり、不要なセキュアプリントを削除してから、印刷しなおします

53　ホゾン　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原因１　LBP5910/5910F　用でないプリンタドライバから保存ジョブプリントの設定をしたデータが送られてきた

処　置　［オンライン］を押して印刷をキャンセルします。

原因２　ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない

処　置　［オンライン］を押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。

原因３　保存できるジョブ数を超えた

処置１　［オンライン］を押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。

処置２　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

原因４　保存できるジョブの容量を超えた

処置１　［オンライン］を押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。

処置２　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

原因５　指定されたボックス番号が正しくない

処　置　正しいボックス番号を指定してください。

原因６　セットアップメニューの拡張機能グループの「ハードディスク」が「ツカワナイ」に設定されている

処　置　「ハードディスク」を「ツカウ」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」）

55　ハードディスク　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原　因　ハードディスクにエラーが発生した

処置 1　自動的に再フォーマットされます。

処置 2　[オンライン] を押すと、ハードディスクを使用しない設定で起動します。ただし、ハードディスクを使用する機能では印刷できません。

処置 3　お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

56　ハードディスク　エラー

原　因　ハードディスクにエラーが発生した

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD メンテナンス」でフォーマットを実行してください。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクの交換が必要になります。お買い求めの販売店に修理を依頼してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

57　RIP　Once　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原因 1　ハードディスクの容量が不足して、RIP　Once（リップワンス）による複数部数印刷を継続できなくなった

処置 1　複数のジョブに分割して印刷しなおします。

処置 2　次の操作を行います。

1. セットアップメニューの拡張機能グループで「RIP Once（リップワンス）」を「ツカワナイ」に設定する（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
2. ハードリセットする（→P.3-62）

処置 3　[オンライン] を押すと、1 部のみ印刷されます。

原因 2　[編集＋プレビュー] モードで印刷時に、処理できる印刷部数を超えた

処置 1　すべての印刷ジョブを本プリンタ用のプリンタドライバを使って印刷しなおします。

処置 2　一度に印刷するページ数を減らし、複数回に分けて印刷しなおします。

58　ジョブメモリ　フル　<自動エラースキップ可>

原　因　ジョブを処理するためのハードディスクや RAM の空き容量が不足している

処置 1　一度に複数のジョブを処理していた場合は、[オンライン] を押して印刷をキャンセルしたあと、他のジョブが終了するのを待って印刷しなおします。

処置 2　ジョブの容量が大きい場合、ジョブを分割して印刷します。

59　ジョブジュシンエラー　<自動エラースキップ可>

原　因　ジョブ受信中に解析不可能なデータを受信したかタイムアウトが発生した

処置 1　[オンライン] を押して印刷をキャンセルしたあと、印刷しなおします。

処置 2　ご使用のネットワークに問題が発生している可能性があります。ご使用のネットワークの状態を確認してください。

60　カギカンリ　エラー 1

原　因　鍵管理関係のファイルが壊れている

処　置　次の操作を行います。

1. セットアップメニューのインタフェースグループで「標準ネットワーク」→「リモート UI 設定」→「SSL」を選択し、「オフ」であることを確認する
2. プリンタを再起動し、リモート UI から鍵と証明書の再生成および SSL の設定を行う（→リモート UI ガイド「第 3 章 リモート UI のいろいろな機能」）
3. 再度プリンタを再起動する

60　デコード　エラー　<自動エラースキップ可>

原　因　暗号化セキュアプリントのデータを解析できなかった

処　置　リセットメニューでソフトリセットしたあと、印刷しなおします。

61　インサツセッテイ　エラー

原　因　長尺紙をスーパーファインモードで印刷した

処置 1　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. セットアップメニューの印字調整グループで「解像度」を「ファイン」に設定し、印刷しなおす（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 2　［オンライン］を押し、次の印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは印刷されません。

98　X　ドラムコウカン（X は K または Y、M、C）

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジが使用できなくなった

処　置　表示された色のドラムカートリッジを取り出し、新しいドラムカートリッジと交換します。（➞ ドラムカートリッジを交換する：P.5-16）

A4　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

A5　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

A7　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

BT　トケイ　エラー　（警告メッセージ）

原　因　本プリンタに内蔵されている時計が故障した

処　置　そのままでも印刷は可能ですが、印刷履歴などが正しく取れなくなります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

D0　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

D1　ブンカツメモリ　フル

原　因　分割印刷モード時に分割印刷用バッファがオーバーフローした

処置 1　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（→P.3-61）
2. HP-GL セットアップメニューの「分割印刷」を「シナイ」、「拡大／縮小」を「ジドウ」に設定し、出力用紙サイズを指定して印刷しなおします。ただし、作図データは拡大／縮小されて印刷されます。（→ HP-GL ユーザーズガイド）

処置 2　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、オーバーフローしたデータは正しく印刷されません。

D1　リプロットバッファフル

原　因　リプロットバッファがオーバーフローした

処置 1　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（→P.3-61）
2. HP-GL のリプロットバッファに保存するデータ数を 54206 バイト以内に設定し、印刷しなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）

処置 2　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、オーバーフローしたデータは正しく印刷されません。

D1　ポリゴンバッファフル

原　因　ポリゴンバッファがオーバーフローした

処置 1　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（→P.3-61）
2. HP-GLのポリゴンバッファに保存するデータ数を40882バイト以内に設定し、印刷しなおします。（→HP-GLユーザーズガイド）

処置2 ［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、オーバーフローしたデータは正しく印刷されません。

D8　レイアウト　エラー

原　因 メモリ不足によりページをレイアウトできない

処置1 LIPS LXドライバの［グラフィックモード］の設定を「イメージモード」にして印刷しなおしてください。（→LIPS LXプリンタドライバのヘルプ）

処置2 次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（→P.3-61）
2. 空きメモリを増やすためにハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおして印刷しなおします。（プリンタが受信したメモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください。）

処置3 ［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

D8　バージョン　エラー

原　因 LBP5910/5910F用でないプリンタドライバから印刷した

処　置 LBP5910/5910F用のプリンタドライバから印刷しなおしてください。

D8　シンタックス　エラー

原　因 LIPS LXプリンタドライバを使用して印刷したときに、不正なデータが送られた

処置1 ［オンライン］を押して、次の印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページ以降は印刷されません。

処置2 印刷するデータを確認して、印刷しなおしてください。

D8　nn　ERROR（nnは2桁の英数字）

原　因 プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

D9　IMG　データ　エラー

原　因　TIFF または JPEG データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている

処　置　本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。

D9　IMG　サンショウ　エラー

原　因　TIFF データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている

処　置　本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。

D9　nn　ERROR（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

DA　PDF データ　エラー　（自動エラースキップ可）

原因 1　本プリンタでは処理できない PDF データが送られてきた

処　置　本プリンタに対応した形式の PDF データで印刷しなおします。

原因 2　PDF データのセキュリティ設定で、印刷が許可されていない

処　置　印刷を許可する設定に指定しなおしてください。

DA　アッシュクカイセキ　エラー　（自動エラースキップ可）

原　因　PDF データのページの中に、本プリンタでは処理できない形式で圧縮されたデータが含まれている

処　置　本プリンタに対応した形式の PDF データで印刷しなおします。

DA　ページアッシュクエラー

原　因　PDF データの中に、本プリンタでは処理できない形式で圧縮されたページが含まれている

処置 1　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（→P.3-61）
2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。

処置 2　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　PDF データショリエラー

原　因　本プリンタでは処理できない PDF データが送られてきた

処置 1　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（→P.3-61）
2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。

処置 2　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　PDF メモリフル

原　因　処理中の PDF ファイルを処理するためのメモリがありません。

処　置　［オンライン］を押し、印刷する PDF ファイルの容量を減らす、または分割して印刷しなおします。

メモ　アプリケーションソフトから開いてプリンタドライバを使用することで正しく印刷できる場合があります。

DA　イチジファイル　エラー

原　因　PDF データの一時ファイルの処理中に何らかの異常が発生した

処　置　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　PDF カラーカイセキエラー

原　因　本プリンタではレンダリングできない色空間定義が送られてきた

処置 1　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。

処置 2　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　データヨミコミ　エラー

原　因　PDF データを読み込んだときに何らかの異常が発生した

処置 1　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。

処置 2　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　シュツリョクセンタクエラー

原　因　PDF データの出力モードに何らかの異常が発生した

処置 1　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。

処置 2　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　PDF プロファイルエラー

原　因　ICC プロファイルの処理中に何らかの異常が発生した

処置 1　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。

処置 2　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　PDF アクセス　エラー 1

原　因　PDF データを読み込んだときに何らかの異常が発生した

処　置　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　PDF アクセス　エラー 2

原　因　PDF データを読み込んだときに何らかの異常が発生した

処　置　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　PDF フォント　エラー

原　因　PDF データの中に、本プリンタでは処理できないフォントが含まれている

処置 1　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。

処置 2　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　レンダリングエラー

原　因　PDF データをレンダリング中に何らかの異常が発生した

処　置　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　データフクゴウ　エラー

原　因　PDF データを印刷するためのパスワードの入力が間違っている

処　置　正しいパスワードを入力してください。

DA　インサツハンイ　エラー

原　因　指定した印刷ページの範囲が不正である

処　置　印刷ページの範囲を正しく設定して、印刷しなおします。

DA　PDF　エラー

原　因　本プリンタでは処理できない PDF データが送られてきた

処　置　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されません。

DA　トウメイガゾウ　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原　因　PDF データの中に、本プリンタでは処理できない透明な画像オブジェクトが含まれている

処置 1　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（➞P.3-61）
2. 本プリンタに対応した形式の PDF データを印刷しなおします。

処置 2　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは正しく印刷されません。

E0　X　ドラム　ヨウイ（X は K または Y、M、C）　（警告メッセージ）

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジの寿命が近づいている

処　置　少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいドラムカートリッジを準備してください。大量に印刷するときは、表示された色のドラムカートリッジを交換します。（➞ ドラムカートリッジを交換する：P.5-16）

E1　カイシュウトナーヨウキナシ

原　因　回収トナー容器がセットされていない、または正しくセットされていない

処　置　回収トナー容器をセットする、または正しくセットしてください。（➞ 回収トナー容器を交換する：P.5-54）

E1　カイシュウトナー　ヨウイ　（警告メッセージ）

原　因　回収トナー容器の交換時期が近づいている

処　置　少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しい回収トナー容器を準備してください。

E1　カイシュウトナー　コウカン

原　因　回収トナー容器がいっぱいになった

処　置　新しい回収トナー容器に交換します。（➞ 回収トナー容器を交換する：P.5-54）

E2　X　ドラム /ITB カクニン（X は K または Y、M、C）

原　因　以下のいずれかの理由が考えられます。

- K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない
- ITB ユニットが寿命になった

処　置　以下のいずれかの処置を行ってください。

- 表示された色のドラムカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。（➞ ドラムカートリッジを交換する：P.5-16）
- ドラムカートリッジの交換や着脱をしていない状態で、メッセージが表示された場合は、ITB ユニットが寿命になった可能性がありますので、お買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。

E5　テイチャクキ　ヨウイ　（警告メッセージ）

原　因　定着器の寿命が近づいている

処　置　少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しい定着器を準備してください。

E7　テイチャクキ　カクニン

原　因　定着器が取り付けられていない、または正しく取り付けられていない

処　置　定着器を取り付ける、または正しく取り付けてください。（➞ 定着器を交換する：P.5-44）

EF　X　ドラム　コウカン（X は K または Y、M、C）　＜自動エラースキップ可＞

原　因　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジの寿命がきた

処　置　[オンライン] を押します。そのまま印刷を継続できますが、印字品質が低下することがあります。新しいドラムカートリッジに交換してください。交換したあと、オンライン状態になっていないときは、[オンライン] を押します。（➞ ドラムカートリッジを交換する：P.5-16）

EM　サーバセッテイ　エラー　（警告メッセージ）

原　因　E メール印刷時、POP3/SMTP サーバに接続できなかった、または POP3/SMTP サーバの設定が正しくない

処　置　リモート UI もしくは N/W ステータスプリントでエラーの詳細を確認してください。（➞E メール印刷ができなかったときには：P.3-38）

EM　E メールアクセス　エラー　（警告メッセージ）

原　因　POP3 サーバのハードディスクにエラーがあるため、POP3 サーバに接続できなかった

処　置　POP3 サーバのハードディスクのエラーを解消してください。

F0　サイキドウシテクダサイ（LBP5910F のみ）

原　因　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループで「機能制限モード」の「ステイプル」を「セイゲンスル」に設定した

処　置　本プリンタの電源を入れなおしてください。（➞ 電源を入れる／切る：P.2-61）

F2　フォント　ミジッソウ　＜自動エラースキップ可＞

原　因　オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、印刷時に消去されていた

処置 1　［オンライン］を押すと、間引き描画で印刷を継続します。

処置 2　メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、印刷しなおします。

F9-nn　チェックプリンタ（nn は 2 桁の英数字）

原　因　印刷データ処理中にトラブルが発生した

処　置　電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

FF　フォント　フル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした

処置１　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは正しく印刷されません。

処置２　LIPS のコマンドをプログラミングして印刷したときは、不要な文字セットを消去してから印刷しなおします。（➞プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス 4.2」）

FM　サイズ　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原　因　擬似スケーラブル可能な大きさを超えた文字がある

処　置　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。

FM　ザヒョウテン　エラー　＜自動エラースキップ可＞

原　因　擬似スケーラブルの輪郭座標点の点数が最大値を越えた文字がある

処　置　［オンライン］を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。

HF　ハードディスク　フル　＜自動エラースキップ可＞

原　因　ハードディスクの空き容量が足りなくなった

処置１　［オンライン］を押すと、現在行っている処理を無視して、印刷可能な状態に戻ります。

処置２　ハードディスクに保存してあるデータのうち、不要なデータを削除してください。

PC　XXX ヨウシニ　コウカン（XXX は用紙サイズ略号）

原因 1　アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと同じサイズの用紙が給紙部にセットされていない

処置 1　給紙部にアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと同じサイズの用紙をセットしてください。（➞給紙カセットに用紙をセットする：P.4-17、手差しトレイに用紙をセットする：P.4-45）

処置 2　［オンライン］を押し、セットされている用紙に強制的に印刷してください。手差しトレイの場合、給紙選択メニューの「手差しトレイ用紙サイズ」の設定が自動的にアプリケーションソフトで設定した用紙サイズに切り替わります。

原因 2　アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと次の設定が異なっている

- 給紙選択メニューの「手差しトレイ用紙サイズ」または「カセット　N（N=2、3、4）用紙サイズ」
- 給紙カセットの用紙サイズ設定スイッチ

処　置　正しく設定しなおしてください。（➞給紙カセットに用紙をセットする：P.4-17、手差しトレイの用紙サイズを設定する：P.4-56）

原因 3　給紙部の選択が正しくない

処　置　給紙選択メニューの「給紙モード」を正しく設定してください。（➞ 給紙元の選択：P.4-12）

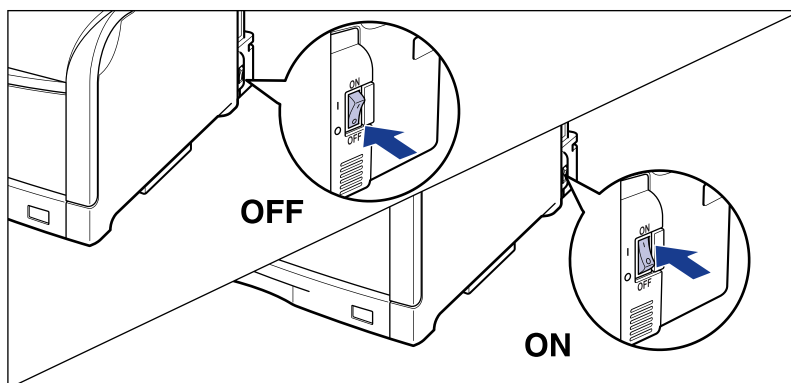
重要　「PC　XXX ヨウシニ　コウカン」のメッセージが表示されているときに前カバーを開けると、メッセージの表示が消えることがありますが、必ず表示されていたメッセージにしたがって用紙を交換してください。

サービスコール表示

プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、次のようなサービスコールが表示されます。

メッセージ	原因	処置
Ennn-nnnn （n は英数字）	プリンタ内部機構にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。数回電源を入れなおしてもメッセージが消えない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
E001-nnnn E003-nnnn （n は英数字）	プリンタの定着器にトラブルが発生した。	次の手順 2 以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。
F9-nn ﾁｪｯｸ ﾌﾟﾘﾝﾀ （n は英数字）	印刷データ処理中にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。

1 **電源をいったん切り、10 秒以上待ってから電源を入れなおしてください。**

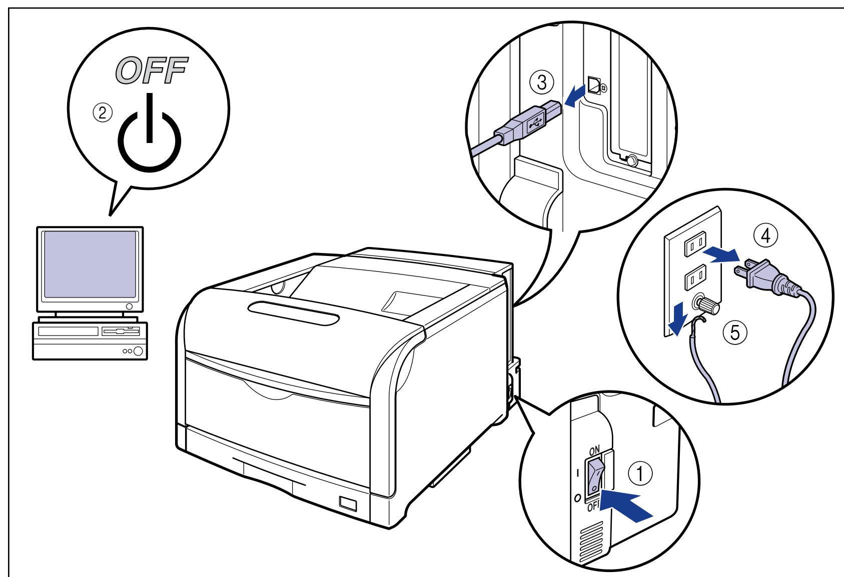


メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 ディスプレイに表示されている英数字とメッセージを書きとめます。

3 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

プリンタの電源を切ります ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルを抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。



4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字とメッセージをお知らせください。



不明な点がありましたら、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

正しい印刷結果が得られないときには

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要

- ディスプレイにメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」（➞P.6-32）、「サービスコール表示」（➞P.6-58）を参照してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」（➞P.6-4）を参照してください。
- ここに記載されていない症状が起こったときや、記載されている処置を行っても直らないとき、原因がどうしてもわからないときは、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

メモ

- ここでは、LIPS プリンタドライバの操作方法で説明しています。BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、BMLinkS プリンタドライバに添付の「ユーザーズマニュアル」に記載されている「6. トラブルシューティング」を参照してください。
- BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合、「処置」に記載されているプリンタドライバの設定は行えません。

電源やプリンタ動作のトラブル

電源が入らない

原因 1 電源プラグが電源コンセントから抜けている

処　置 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

原因 2 延長コードを使用したりタコ足配線をしている

処　置 壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。

原因 3 ブレーカが落ちている

処　置 配電盤のブレーカをオンにします。

原因 4 電源コード内部で断線している

処　置 同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。

プリンタが動かない

原因 1　オフラインになっている

処　置　［オンライン］を押し、オンラインランプを点灯します。（➞ オンラインとオフライン：P.3-3）

原因 2　メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置　［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを排出します。（➞ 印刷を中止したいときは：P.3-59）

原因 3　インタフェースケーブルが外れている

処　置　インタフェースケーブルをコンピュータおよびプリンタのインタフェース接続部にしっかりと接続します。（➞ コンピュータと接続する：P.2-54）

原因 4　本プリンタやオプション品に故障がある

処　置　ディスプレイのメッセージを見て、処置します。（➞　メッセージ一覧：P.6-32、サービスコール表示：P.6-58）

プリントサーバのランプがすべて消灯している

原因 1　LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している

処置 1　LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。

処置 2　他の LAN ケーブルに交換し、接続しなおします。

原因 2　ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している

処置 1　ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。

処置 2　ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。

原因 3　クロスタイプの LAN ケーブルを使っている。

処置 1　ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。

処置 2　クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。

メモ　クロスタイプの LAN ケーブルとは、プリンタとコンピュータを直接接続する場合に使用するケーブルのことです。

原因４　ハブと通信できない

処置１　ハブの電源が入っていることを確認します。

処置２　接続したハブの通信速度に合わせてプリントサーバの通信設定をします。（➞LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置３　ハブを交換します。

原因５　プリントサーバのハードウェアに異常がある

処　置　お買い求めの販売店に状況を連絡してください。

印刷が途中で止まってしまった

原　因　メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置　［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを排出します。（➞ 印刷を中止したいときは：P.3-59）

操作パネルのランプがつかない

原因１　電源が入っていない

処　置　電源を入れてください。

原因２　スリープモードになっている

処　置　印刷データを送るか、操作パネルのキーをどれか押すと印刷可能な状態に戻ります。

操作パネルのキーが機能しない

原因１　メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置　［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します。（➞ 印刷を中止したいときは：P.3-59）

原因２　キーロック機能が働いている（キーを押すとピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「キー　ロック　チュウ」と表示される）

処　置　リモート UI からキーロック機能を解除します。プリンタの管理者にご連絡ください。

印刷するたびに紙づまりが起こる

原因 1 給紙カセットや手差しトレイにセットした用紙が積載制限を超えている

処　置 用紙を積載制限の範囲内まで減らし、印刷しなおしてください。（➞ 給紙カセットに用紙をセットする：P.4-17、手差しトレイに用紙をセットする：P.4-45）

原因 2 給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない

処　置 用紙を正しくセットしなおし、印刷しなおしてください。（➞ 給紙カセットに用紙をセットする：P.4-17、手差しトレイに用紙をセットする：P.4-45）

原因 3 給紙カセットや手差しトレイに使用できない用紙がセットされている

処　置 使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.4-3）

原因 4 給紙選択メニューの次の設定が「フリー」のときに、長辺が 297.0mm 以下のユーザ設定用紙を縦置きにセットして印刷した（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）

- 手差しトレイ用紙サイズ
- カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ

処　置 横置きにセットして印刷しなおします。

原因 5 LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、ユーザ設定用紙を横置きにセットして印刷した

処　置 縦置きにセットして印刷しなおします。

原因 6 紙づまり処理が不完全である

処　置 紙づまりを除去し、印刷しなおしてください。（➞ 紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）：P.6-4）

ハードディスクが使えない

原因 1 セットアップメニューの拡張機能グループの「ハードディスク」が「ツカワナイ」に設定されている

処　置 「ハードディスク」を「ツカウ」に設定してからハードリセットしてください。（➞LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

6
困ったときには

原因２　ハードディスクエラーが発生した

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD　メンテナンス」でフォーマットを実行してください。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクを交換してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因３　ハードディスクが正しく装着されていない

処　置　電源を切り、ハードディスクが正しく取り付けられているか確認してください。（→ハードディスク：P.7-31）

原因４　ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない

処　置　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

ジョブが保存できない

原因１　ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない

処　置　［オンライン］を押すと、印刷データを無視して印刷可能な状態に戻ります。合計 2GB を超えるデータを保存することはできません。

原因２　保存できるジョブ数を超えた

処置１　［オンライン］を押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。同時に保存できるのは、100 個までです。

処置２　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

原因３　保存できるジョブの容量を超えた

処置１　［オンライン］キーを押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。2GB を超える印刷を保存することはできません。

処置２　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

幅の狭い用紙を連続で印刷した場合に、印刷速度が遅くなる

原　因　印刷条件や「小サイズ特殊処理 2」の設定によっては、このような現象が発生することがある

処　置　共通セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「小サイズ特殊処理 2」を「1」もしくは「2」に設定して印刷しなおします。ただし、印刷速度を優先するため、印字品質が低下することがあります。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

ステイプルして印刷するたびに、紙づまりや針づまりが起こる（LBP5910F のみ）

原因 1 ステイプル可能な枚数を超えている

処　置 ステイプル可能な枚数（15 枚）でステイプルを行ってください。

原因 2 ステイプル不可能な用紙サイズ、または用紙タイプを使用した

処　置 ステイプル可能な次の用紙を使用してください。

用紙サイズ：A3、B4、A4、B5、レジャー（11 × 17）、レター、エグゼクティブ、ユーザ設定用紙（縦置きの場合：幅 257.0 〜 297.0mm、長さ148.0〜457.2mm、横置きの場合*：幅257.0〜297.0mm、長さ 148.0 〜 297.0mm）

* LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ

用紙タイプ：普通紙

原因 3 ステイプルを行う部分が故障した

処　置 次の処置を行ってください。

1. セットアップメニューのユーザメンテナンスグループにある「機能制限モード」の「ステイプル」を「制限する」に設定する *
2. お買い求めの販売店に修理を依頼する

* 「制限する」に設定すると、ステイプルするように設定したジョブでも、通常の印刷（ステイプルしない）処理を行います。
また、「制限する」に設定しても、針カートリッジを取り外さないでください。針カートリッジを取り外した状態で印刷すると紙づまりの原因になります。

ステイプルして印刷すると、用紙の端が揃わない状態でステイプルされてしまう、またはきちんとステイプルされない（LBP5910F のみ）

原　因 以下の原因が考えられます。

- （搬送方向に対して）用紙の後端から 5cm の範囲に、塗りが指定されている図形や写真などがある
- 両面印刷時、重なった面（例：2 ページ目と 3 ページ目）に、塗りが指定されている図形や写真などがある

処　置 セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「特殊モード Q」を、「ツカウ」に設定して印刷しなおします。



「特殊モード Q」を「ツカウ」に設定すると、ステイプルして印刷するときの印刷速度が低下します。
（片面印刷時 10 ページ／分（A4）、両面印刷時 4 ページ／分（A4））
（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

印刷結果のトラブル

意味不明の半角文字が印刷される

原因 1 動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった

処　置 動作モードを目的のエミュレーションに固定して印刷しなおしてください。(→LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

原因 2 LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている

処　置 LIPS　専用セットアップメニューの漢字コードの設定をコンピュータで使用している漢字コードに正しく合わせてください。(→LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」)

原因 3 付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールせずに Windows から印刷した

処　置 付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールし、印刷しなおしてください。

原因 4 DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない

処　置 DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに再設定します。

原因 5 コントロール ROM をセットして使用中に、動作モードの自動切り替えができなかった

処　置 共通セットアップメニューにある次の項目を設定して、印刷しなおしてください(→LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)。

- 動作モードグループの「動作モード選択」:プリンタにセットしたコントロール ROM のエミュレーションに固定する
- インタフェースグループの「インタフェース選択」:コンピュータと接続しているインタフェースに固定する

指定した書体と違う書体で印字される

原　因 Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えが設定されている

処　置 Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えを正しく設定しなおし、印刷しなおしてください。(→プリンタドライバのヘルプ)

白紙のページが印刷されない

原　因　LIPS4 セットアップメニューまたは LIPS LX セットアップメニューの「白紙節約」が「スル」になっている

処　置　白紙のページを印刷するときは、「白紙節約」を「シナイ」に設定します。（→ LIPS 機能ガイド「第４章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

最後のページが印刷できない

原　因　コンピュータからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない（ジョブランプが点灯している）

処　置　［オンライン］を押してオフラインの状態にし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します（印刷機能のないアプリケーションソフトで印刷した場合、最後のページのデータが１ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます）。（→ 印刷を中止したいときは：P.3-59）

データが用紙をはみだした

原因１　給紙選択メニューの次の設定が「フリー」のときに、長辺が 297.0mm 以下のユーザ設定用紙を縦置きにセットして印刷した（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）

- 手差しトレイ用紙サイズ
- カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ

処　置　横置きにセットして印刷しなおします。

原因２　LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、ユーザ設定用紙を横置きにセットして印刷した

処　置　縦置きにセットして印刷しなおします。

原因３　データのサイズより小さな用紙をセットした

処　置　データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小印刷をしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第４章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

原因４　用紙をセットする位置が合っていない

処　置　用紙を正しくセットし、印刷しなおしてください。（→ 給紙カセットに用紙をセットする：P.4-17、手差しトレイに用紙をセットする：P.4-45）

原因 5　余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した

処置 1　本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。

重要　封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。

処置 2　LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックすると、印字領域を広げて印刷します。ただし、データの周囲が欠けて印字されることがあります。

原因 6　ESC/P モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない

処　置　ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）

原因 7　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→ 印字位置を調整する：P.5-69）

印字位置がずれてしまう

原因 1　セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」が設定されている

処　置　セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」の設定を「0」に設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因 2　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

処　置　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）

原因 3　ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」の設定が合っていない

処　置　ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）

原因 4　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→ 印字位置を調整する：P.5-69）

印字位置がだんだんずれていく

原　因　ESC/P　モードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない

処　置　アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせて印刷しなおします。（➞ 動作モードについて：P.3-54）

ページの途中から次ページに分かれて印刷される

原因 1　アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない

処　置　1　ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。（➞アプリケーションソフトの取扱説明書）

原因 2　セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」が「ジドウセンタク」に設定されているときに、セットアップメニューのインタフェースグループの「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる

処　置　セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」を「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

縮小されて印刷される

原因 1　縮小印刷の設定がされている

処置 1　LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にしてください。（➞ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

処置 2　プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認してください。

原因 2　ESC/P モードで使用しているときに、ページフォーマットが「B4 ➞ A4 タテ」「B4 ➞ A4 ヨコ」に設定されている

処　置　ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（➞LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P専用セットアップメニューの設定項目」）

用紙にしわがよる

原因 1　給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない

処　置　給紙カセットや手差しトレイに用紙を正しくセットしてください。（➞ 給紙カセットに用紙をセットする：P.4-17、手差しトレイに用紙をセットする：P.4-45）

原因２　用紙が吸湿している

処　置　未開封の新しい用紙と交換してください。

原因３　定着器の寿命が近づいている

処　置　ステータスプリントを印刷して、定着器のカウンタ数値を確認し、以前に定着器を交換したときの枚数から約 150,000 枚増えている場合、定着器を交換してください。（➞ 定着器を交換する：P.5-44）

用紙がカールする

原因１　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.4-3）

原因２　用紙が適切でない

処　置　本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（➞ 用紙について：P.4-3）

原因３　用紙タイプの設定がセットした用紙にあっていない

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［給紙］ページを表示する
2. ［用紙タイプ］を［普通紙 L］にする

用紙が真っ白で何も印刷されない

原因１　用紙が重なって送られた

処　置　用紙をよく揃えてからセットしなおしてください。コート紙、ラベル用紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（➞ 給紙カセットに用紙をセットする：P.4-17、手差しトレイに用紙をセットする：P.4-45）

原因２　プリンタ内部でトラブルが発生している

処置１　ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったん切り、10 秒以上待ってから電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置２　処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

印字品質のトラブル

用紙が特定の色で塗られて何も印刷されない

原因 1 ドラムカートリッジが劣化、または損傷している

処　置 「印字不良が起こったときには」（→P.6-81）を参照して、処置してください。

メモ 「印字不良サンプル」（→P.6-102）にサンプルを掲載しています。

原因 2 プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1 ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったん切り、10 秒以上待ってから電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2 処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

白いすじが入る

原　因 ドラムカートリッジが劣化、または損傷している

処　置 「印字不良が起こったときには」（→P.6-81）を参照して、処置してください。

メモ 「印字不良サンプル」（→P.6-102）にサンプルを掲載しています。

色すじが入る

原　因 プリンタに何らかの不具合がある、または ITB ユニットが劣化、あるいは損傷している

処　置 「印字不良が起こったときには」（→P.6-81）を参照して、処置してください。

メモ 「印字不良サンプル」（→P.6-102）にサンプルを掲載しています。

部分的に白く抜ける

原因 1 適切な用紙を使用していない

処　置 使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→ 用紙について：P.4-3）

原因 2 用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置 新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→ 用紙について：P.4-3）

原因３　ドラムカートリッジが劣化している

処　置　「印字不良が起こったときには」（➞P.6-81）を参照して、処置してください。

メモ　「印字不良サンプル」（➞P.6-102）にサンプルを掲載しています。

印刷しない部分に残像が現れる

原因１　印刷する用紙が適当でない

処　置　用紙を取り替えて印刷してください。（➞ 用紙について：P.4-3）

原因２　幅の狭い用紙（A5 など）を連続印刷したあとに、幅の広い用紙に印刷した

処置１　定着器の温度を下げるため、しばらく待ってから印刷しなおしてください。

処置２　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「小サイズ特殊処理 1」を「-1」もしくは「-2」に設定して印刷しなおします。ただし、印字品質を優先するため、印刷速度が遅くなることがあります。（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因３　ドラムカートリッジが劣化している

処　置　「印字不良が起こったときには」（➞P.6-81）を参照して、処置してください。

メモ　「印字不良サンプル」（➞P.6-102）にサンプルを掲載しています。

印字が全体的にうすい

原因１　トナー濃度の設定が適当でない

処　置　セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因２　セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」が「ツカウ」に設定されている

処　置　セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」を「ツカワナイ」に設定してください。（➞ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

印字が全体的に黒ずむ

原因 1　トナー濃度の設定が適当でない

処　置　セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因 2　プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている

処　置　プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。または、強い光を出す光源をプリンタから離してください。

印字ムラが出る

原因 1　用紙が湿っている、または乾燥している

処　置　適切な用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→ 用紙について：P.4-3）

原因 2　ドラムカートリッジが劣化している

処　置　「印字不良が起こったときには」（→P.6-81）を参照して、処置してください。

メモ　「印字不良サンプル」（→P.6-102）にサンプルを掲載しています。

スーパーファインモードで印刷時に画像が粗くなったまたは正しく印刷できなかった

原　因　データが複雑、または多量すぎてスーパーファインモードで処理できなかった

処置 1　［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、解像度を下げて印刷します。

処置 2　次の操作を行います。

1. ソフトリセットする（→P.3-61）
2. セットアップメニューの印字調整グループで「解像度」を「ファイン」に設定して印刷しなおす。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 3　スーパーファインモードで印刷したいときは、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。

- ハードリセット（→P.3-62）をするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されます）
- オプションの拡張 RAM を取り付ける（→RAM/ROM：P.7-21）

ページの一部が印刷されない

原因 1　拡大／縮小率の設定が適当でない

処置 1　自動的に拡大／縮小率を設定するために、プリンタ ドライバで次の設定を行います。

1. ［ページ設定］ページを表示する
2. ［倍率を指定する］のチェックマークを消す
   チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。

処置 2　使用する用紙サイズに適した倍率を設定するために、プリンタドライバで次の設定を行います。

1. ［ページ設定］ページを表示する
2. ［倍率を指定する］のチェックマークを付ける

原因 2　用紙をセットする位置が合っていない

処　置　用紙を正しくセットしてください。(➞給紙カセットに用紙をセットする：P.4-17、手差しトレイに用紙をセットする：P.4-45）

原因 3　余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した

処置 1　本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。

重要　封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。

処置 2　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［仕上げ］ページを表示する
2. ［仕上げ詳細］をクリックする
3. ［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付ける

重要　印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。

定着性が悪い

原因 1　適切な用紙を使用していない

処　置　本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（➞ 用紙について：P.4-3）

原因 2　用紙の種類により、定着性が悪い場合がある

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする
3. ［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする
4. ［グレー補償］を次のいずれかに設定する
   - イメージのみ
   - テキストとイメージ
   - グラフィックスとイメージ
   - すべて

原因 3　プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1　ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったん切り、10 秒以上待ってから電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2　処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

同時に使用している他の LBP5910/5910F と色が合わない

原因 1　工場出荷時の K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナー濃度に若干のバラツキがある

処　置　K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナー濃度を微調整します。（➞ カラーバランスを調整したいときには：P.6-106）

重要　トナー濃度を変更すると、すべてのカラー印刷に影響を与えます。通常は、工場出荷時の設定（9）のままでご使用ください。

原因 2　4 色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはドラムカートリッジが劣化している

処置 1　「トナー　ヨウイ」または「トナー　コウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換します。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-3）

処置 2　「印字不良が起こったときには」（➞P.6-81）を参照して、処置してください。

色ずれにより正しい色（指定した色）で印刷されない、カラーの文字がぼけて見える

原因 1　ドラムカートリッジが正しくセットされていない

処　置　ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-3）

原因 2　4 色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはドラムカートリッジが劣化している

処置 1　「トナー　ヨウイ」または「トナー　コウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換します。(→トナーカートリッジを交換する：P.5-3)

処置 2　「印字不良が起こったときには」(→P.6-81)を参照して、処置してください。

原因 3　適切な用紙を使用していない

処　置　使用できる用紙に交換し、印刷しなおします。(→用紙について：P.4-3)

細い線や塗りつぶしパターンの色が指定した色で印刷されない、または消えてしまう

原因 1　色やパターンの組み合わせにより、再現されない場合がある

処置 1　アプリケーションソフトで色を調整して、印刷しなおします。

処置 2　アプリケーションソフトでパターンを変更して、印刷しなおします。

原因 2　網点のパターンにより、色が違って見える

処置 1　濃い色に変更して、印刷しなおします。

処置 2　用紙の送り方向を変えてセットし、印刷しなおします。

網かけパターンが正しい色（指定した色）で印刷されない

原　因　印刷データの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している

処置 1　アプリケーションソフトで網かけパターンの設定をしないで、印刷しなおします。

処置 2　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする
3. ［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［階調］または［色調］に設定する

処置 3　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする
3. ［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［誤差拡散］に設定する

写真などの印刷でディスプレイの色とプリントの色が異なる

原　因　画面（RGB）とプリンタ（YMC）で色の調整方法が異なるため、プリントでは、画面の色が忠実に再現できない場合がある

処置 1　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックする
3. ［マッチング］ページを表示する
4. ［イメージ］の［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定する

処置 2　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックする
3. ［マッチング］ページを表示する
4. ［ガンマ補正］を調整する

グラデーションのかかった図形を印刷した場合に、グラデーションにすじが入る

原　因　図形の「すじ」のグレーの色の部分に、グレー補償が効いている

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする
3. ［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする
4. ［グレー補償］を「使わない」に設定する

塗りつぶしパターンとパターンの枠線を同じ色に指定しても、正しい色（指定した色）で印刷されない

原　因　細い線をきれいに印刷するために、枠線の線幅によって特殊処理が行なわれることがある

処置 1　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックする
3. ［マッチング］ページを表示する
4. ［テキスト］と［グラフィックス］の［マッチング方法］の設定を同じにする

処置 2　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックする

3. ［マッチング］ページを表示する
4. ［ガンマ補正］を調整する

Windows からの印刷で「すじ」が入ったり、部分的に色味が異なる図形が印刷される、または塗りつぶしなしの図形が透過されずに正しい色で印刷されない

原　因　拡大／縮小印刷により重ね合わせた部分がずれた、またはアプリケーションソフトで複雑な重ね合わせを指定した

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする
3. ［モード詳細］を「高品質」に設定する

カラーの文字がぼけて見える

原　因　カラーの文字に太いフォントを使用している

処置１　細めのフォントを使用して、印刷しなおします。

処置２　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックする
3. ［マッチング］ページを表示する
4. ［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定する

濃度の濃い部分の色に光沢ムラ／スジ／キズがある

原　因　ドラムカートリッジが劣化、または損傷している、あるいは定着器に不具合がある

処　置　「印字不良が起こったときには」（➞P.6-81）を参照して、処置してください。

メモ　「印字不良サンプル」（➞P.6-102）にサンプルを掲載しています。

印刷した用紙の裏が汚れる

原　因　セットされている用紙サイズよりも大きなサイズの印刷データを送った

処　置　印刷データがセットされている用紙サイズに合っているか確認してください。

文字や線のまわりにコンピュータのディスプレイ上にはない四角い領域が現れて、他と異なる色で印字される

原　因　OS やアプリケーションソフトによっては、設定した中間調処理や色処理と異なる処理が行われる場合がある

処置 1　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする
3. ［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする
4. ［グレー補償］を［すべて］または「使わない」に設定する

処置 2　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする
3. ［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［高解像度］、［解像度］、［階調］、［色調］に設定する

処置 3　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックする
3. ［マッチング］ページを表示する
4. ［テキスト］と［グラフィックス］、［イメージ］の［マッチング方法］の設定を同じにする

カラーの線や文字がかすれる

原　因　細い線や文字を使用している

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする
3. ［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする
4. ［色付きの線や文字を優先して印刷する］にチェックマークを付ける

印刷する色によって印字位置がわずかにずれる

原　因　レーザプリンタは非常に精度の高い技術で作られていますが、印刷画像によっては、ごくわずかに色ずれが目立つ場合があります。これは、レーザプリンタの構造によるもので、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

処置 1　キャリブレーションを行ってください。（→ LIPS 機能ガイド「第 8 章 セットアップ以外のメニューの設定項目」）

処置 2　プリンタドライバで次の操作を行います。印字不良（色ずれ）が軽減されることがあります。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックする
3. ［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする
4. ［グレー補償］を［使わない］に設定する

印字不良が起こったときには

印字不良サンプル（→P.6-102）に掲載しているような印字不良が発生した場合は、次の項目を順に参照して、印字不良を解決してください。

1. プリンタ内部を清掃して、キャリブレーションを行う（→P.6-81）
2. テストチャート 1 を印刷する（→P.6-99）
3. テストチャート 2 を印刷する（→P.6-101）

重要 操作パネルのディスプレイにエラーメッセージやサービスコールが表示されている場合は、「メッセージ一覧」（→P.6-32）、「サービスコール表示」（→P.6-58）を参照してください。

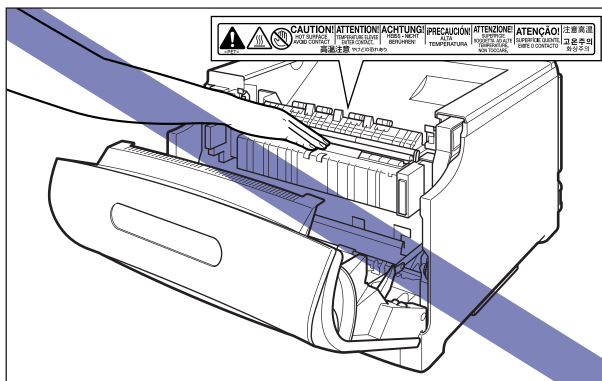
プリンタ内部を清掃する

印字品質にトラブルが発生し、「印字不良サンプル」（→P.6-102）に掲載しているような印刷結果になった場合は、プリンタの内部を清掃し、キャリブレーションを行います。

プリンタ内部を清掃するときのご注意

警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

注意 プリンタ使用中は定着器周辺（LBP5910F の場合は排紙部、針カートリッジも含む）が高温になっています。プリンタ内部を清掃するときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。

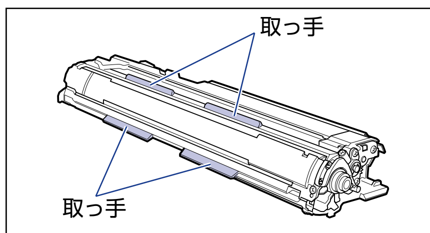


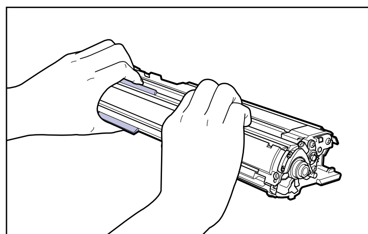
6

困ったときには

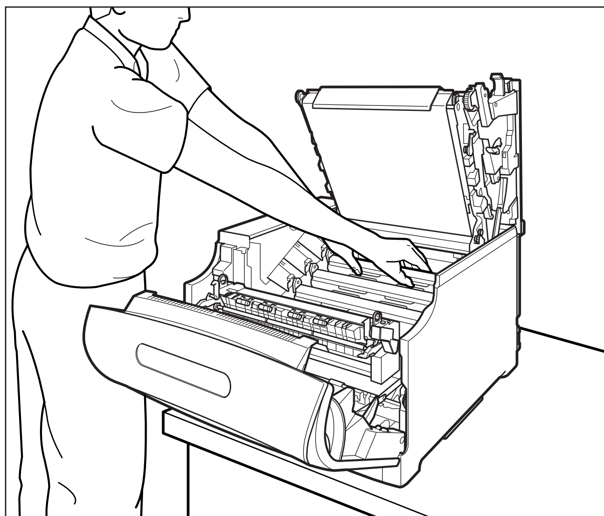
重要

- ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。





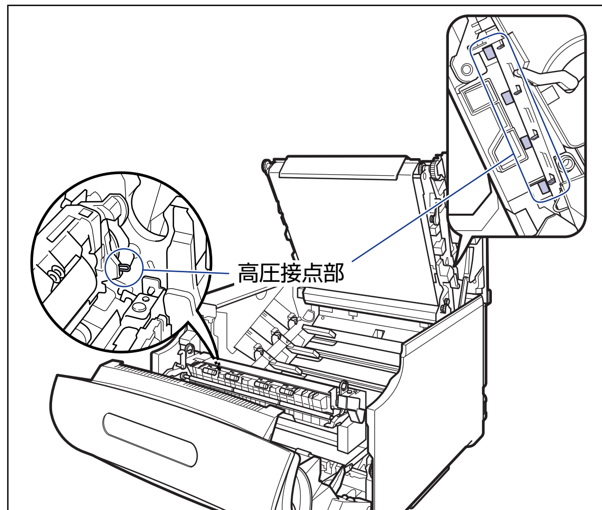
- ドラムカートリッジを取り外すときや取り付けるときは、図のようにプリンタの左側から作業を行ってください。



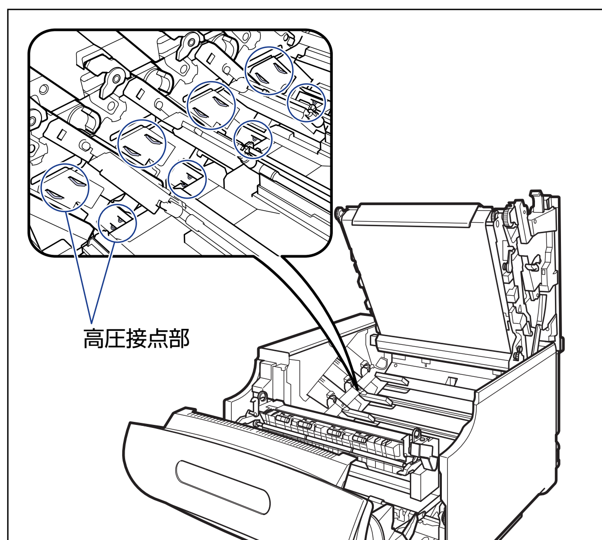
6
困ったときには

- 次の位置にある高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

・ITB ユニット右側、プリンタ内部



・ドラムカートリッジガイド部



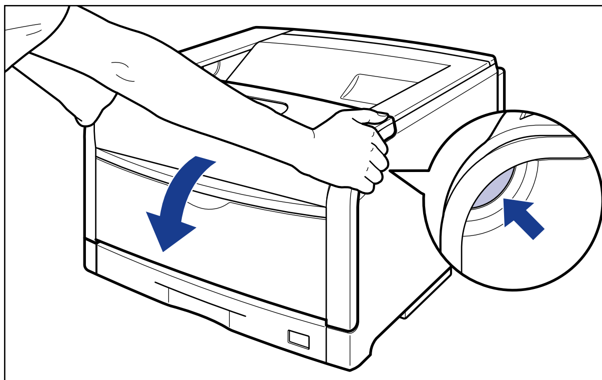
6

困ったときには

プリンタ内部の清掃

1 **前カバーを開けます。**

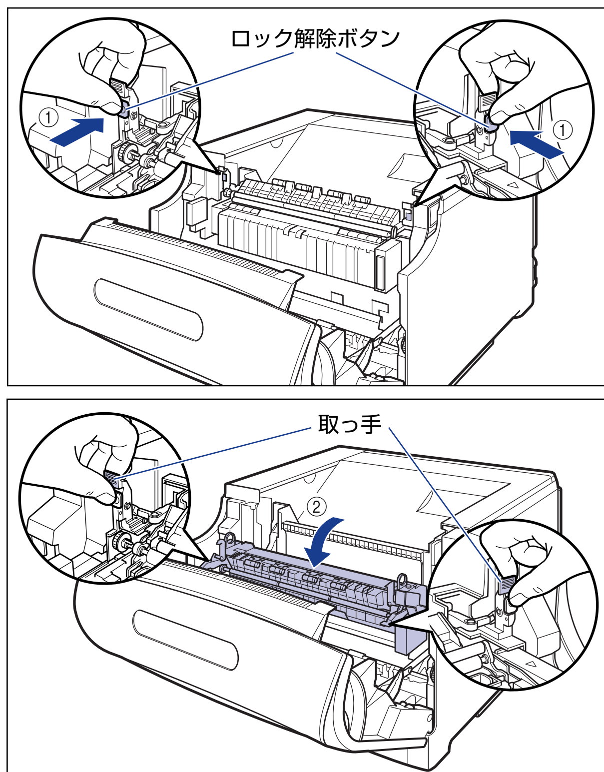
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。



重要　前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイとプリンタの給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

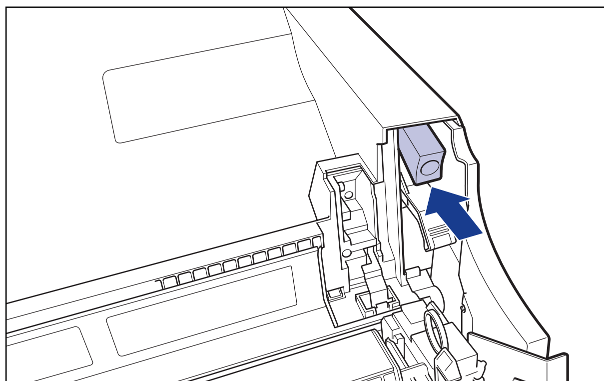
2 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

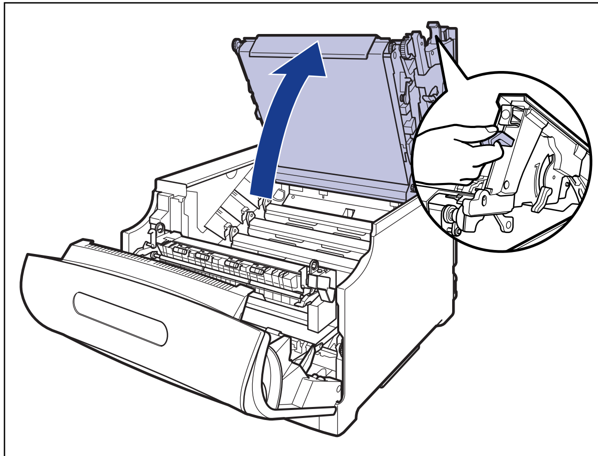


3 上カバーを開けます。

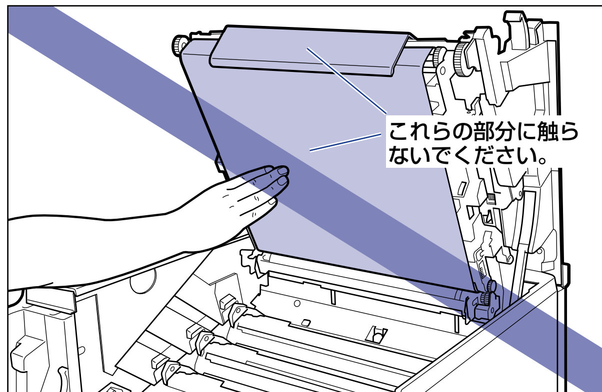
上カバーの青色のロック解除ボタンを押します。



上カバーのレバーを持って、上カバーを開けます。

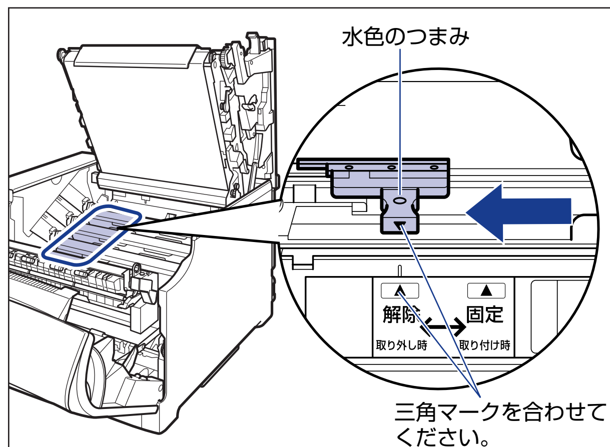


重要　ITB ユニットの転写ベルトや ITB ユニットカバーに触れたりしないでください。転写ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、「ITB ユニットの転写ベルトを清掃する」（→P.5-68）を参照して転写ベルトの清掃を行ってください。転写ベルトにトナーが付着している場合は、自動的に清掃する機能が付いていますので清掃する必要はありません。

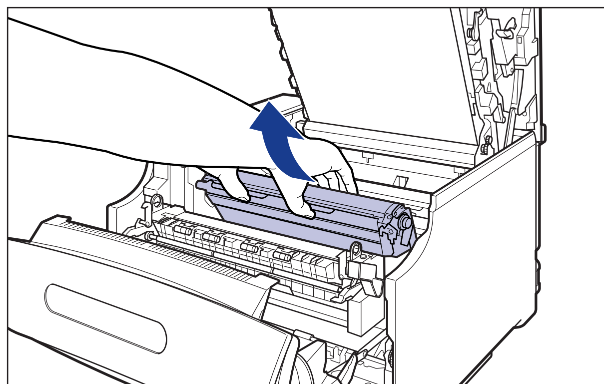


4 すべてのドラムカートリッジの水色のつまみを「解除」の位置までスライドさせて、ロックを解除します。

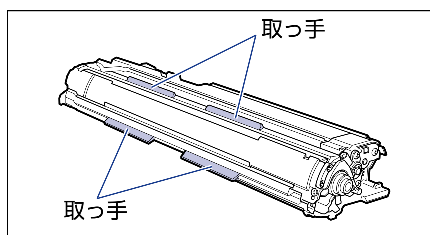
水色のつまみの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

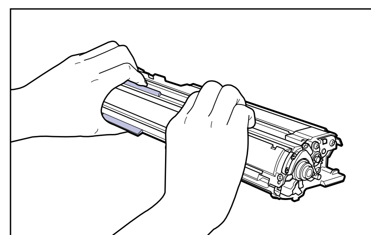


5 すべてのドラムカートリッジを取り出します。

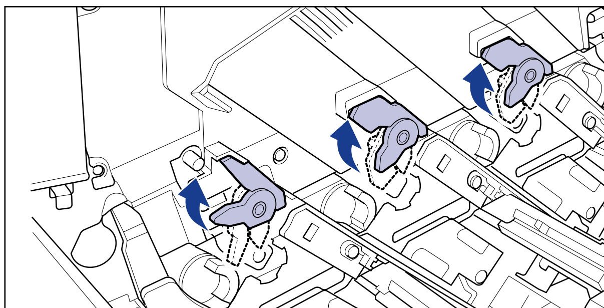


ドラムカートリッジは、図のように青色の取っ手を持って取り外します。





レバーが図のように上がっていることを確認してください。レバーが下がっているとドラムカートリッジを正しく取り付けることはできません。
図のように手でレバーを押し上げてください。

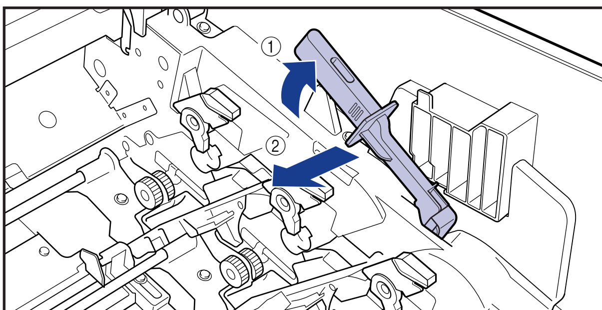




取り出したドラムカートリッジは、すみやかにドラムカートリッジを梱包してあった保護袋に入れてください。

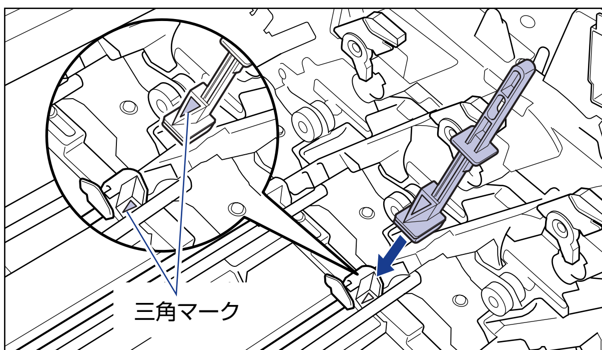
6 プリンタ内部の右側にある清掃ブラシを取り外します。

図のように清掃ブラシの後端を持ち上げてから ①、横に引き抜きます ②。



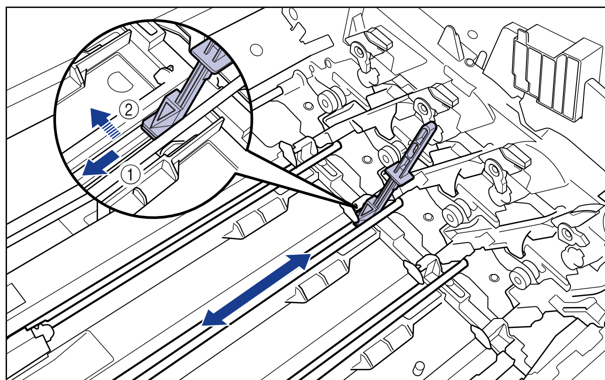
7 清掃ブラシをスロットに差し込みます。

清掃ブラシとプリンタの三角マークが合うように差し込みます。

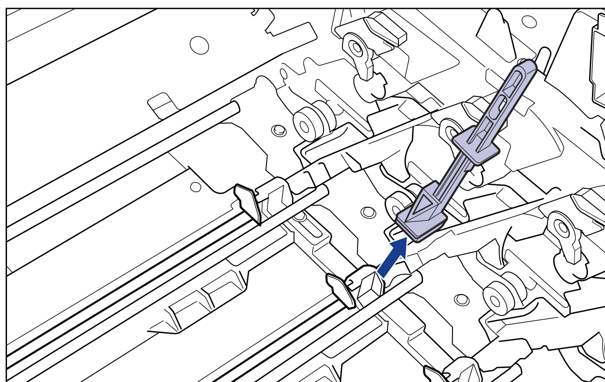


8 スロットに沿って清掃ブラシを数回往復させせます。

清掃ブラシを移動させると ①、カバーが自動的に開きます ②。

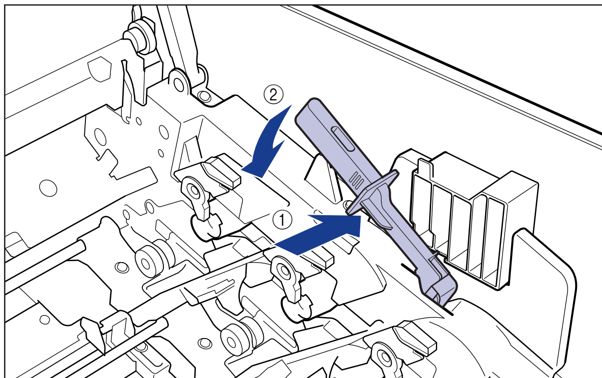


9 清掃ブラシをスロットから引き抜きます。

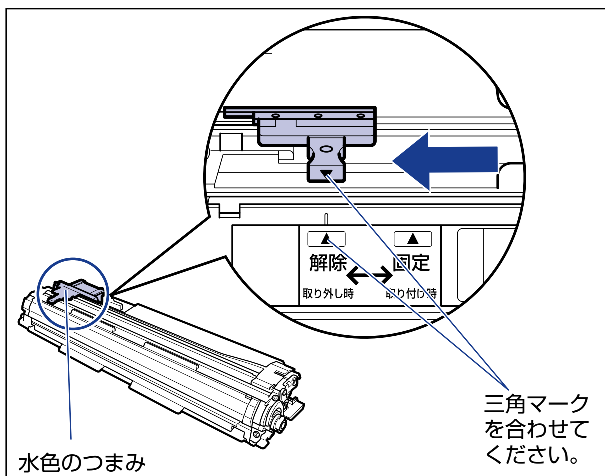


手順７～９を繰り返し、各色のスロットを清掃します。

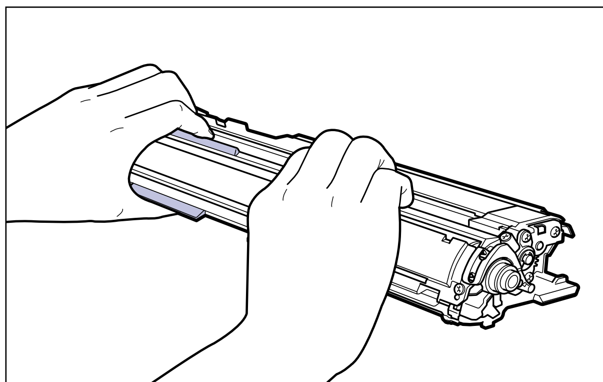
10 清掃ブラシを元の位置に戻します。



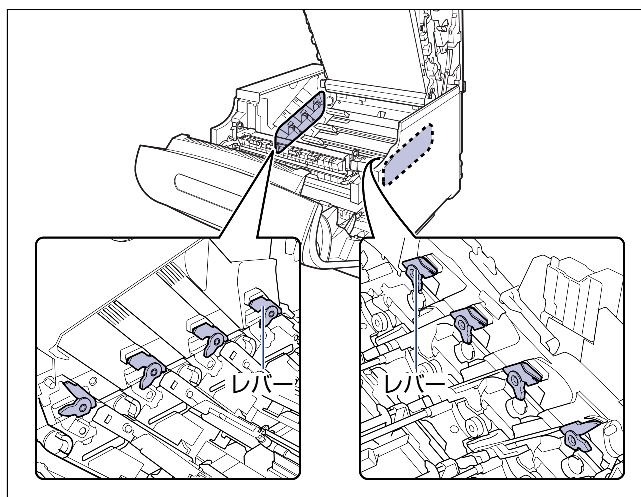
11 ドラムカートリッジをセットする前に、図のように水色のつまみの三角マークとラベルの「解除」の三角マークの位置を同じ位置に合わせてください。



ドラムカートリッジをセットするときは、図のように青色の取っ手を持ちます。

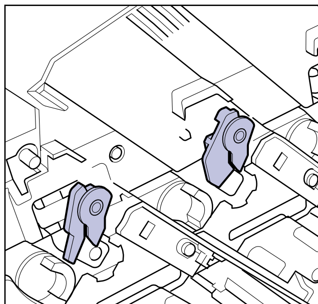


12 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように上がっているか確認します。

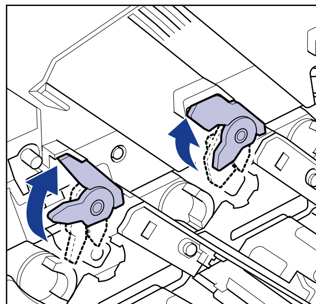


レバーが下がっているとドラムカートリッジを正しく取り付けることはできません。
図のように手でレバーを押し上げてください。

●下がっている状態

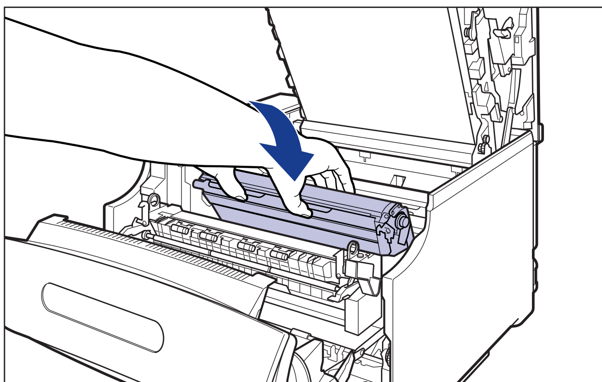


●上がっている状態



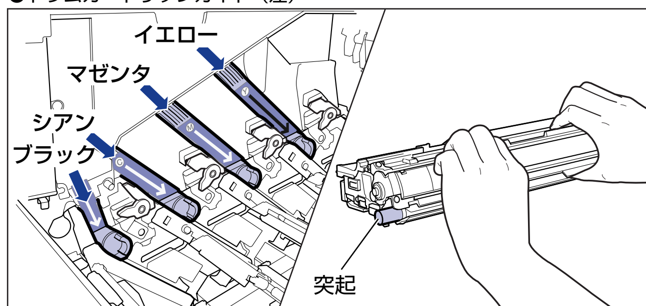
13 ドラムカートリッジを取り付けます。

ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けます。

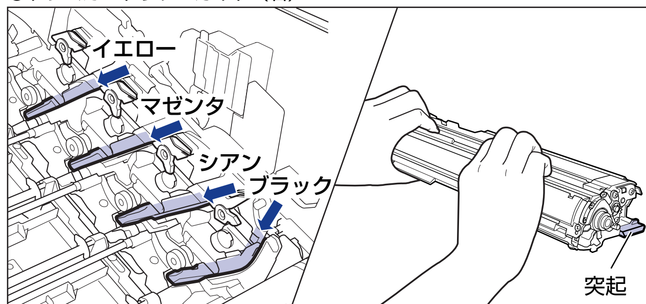


図のようにドラムカートリッジの左右の突起をドラムカートリッジガイドの矢印に沿って挿入します。

●ドラムカートリッジガイド（左）

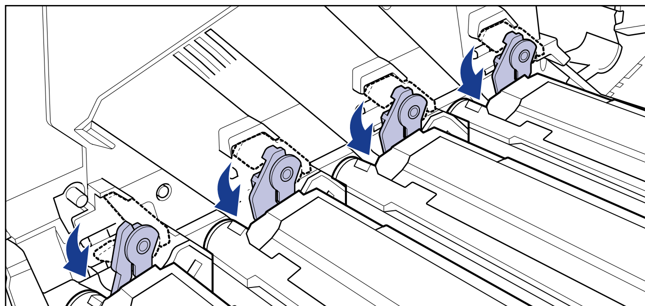


●ドラムカートリッジガイド（右）



重要 ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、印字不良の原因になります。

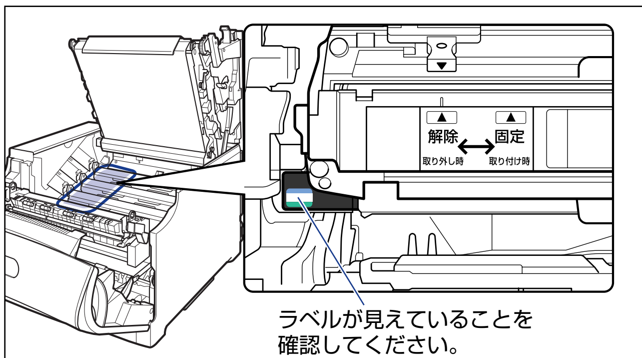
14 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように下がっていることを確認します。



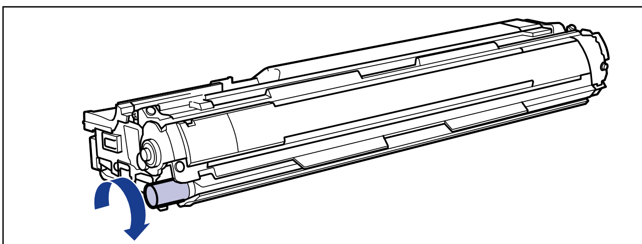
6

困ったときには

15 ドラムカートリッジの突起部のラベルが見えていることを確認します。

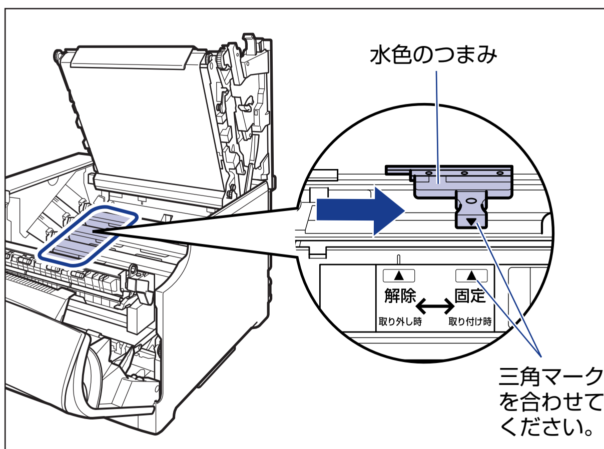


見えない場合は、一度ドラムカートリッジを取り出し、矢印の方向にカチッと止まるまで回してから、取り付けなおしてください。



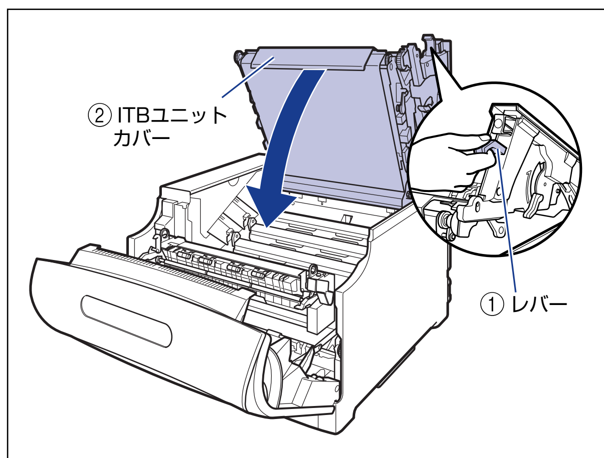
16 取り付けた色のドラムカートリッジの水色のつまみを「固定」の位置までスライドさせて、ドラムカートリッジを固定します。

水色のつまみの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。



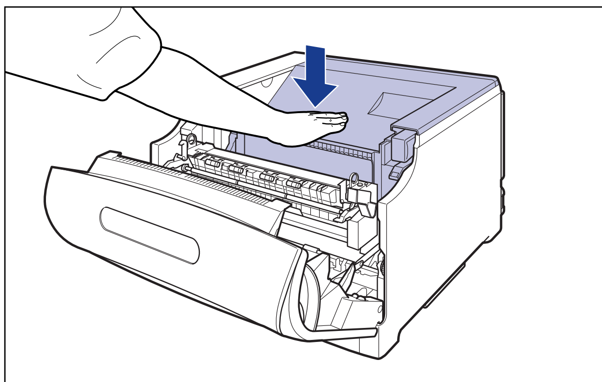
17 上カバーを閉めます。

プリンタの上カバーはレバーを持って ①、ゆっくりと閉めます。
上カバーを勢いよく閉めると、ITB ユニットカバー ② が元の位置に戻らず、プリンタが破損する原因になります。



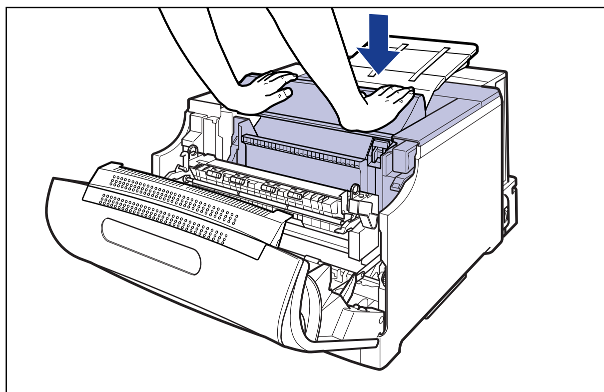
● LBP5910

❑ 図のように上カバーの「PUSH」と記載されている部分を押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。



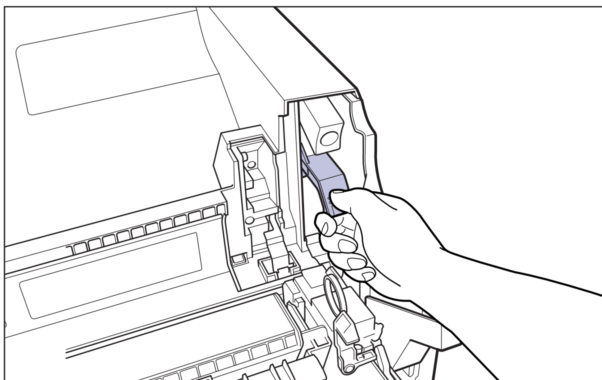
● LBP5910F

❑ 図のように両手で押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。



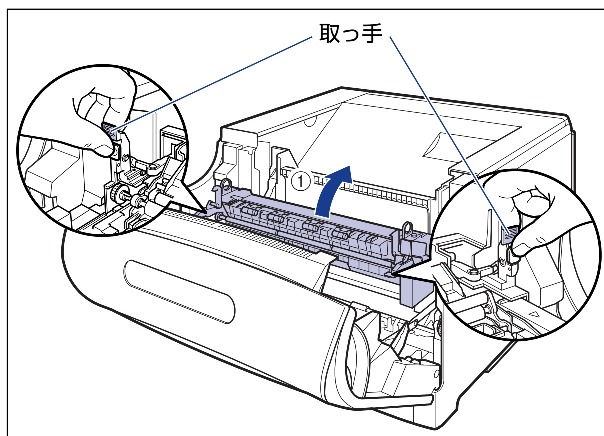
重要　上カバーを閉めるときは、両手で図の位置（突起部分の両端）を押してください。

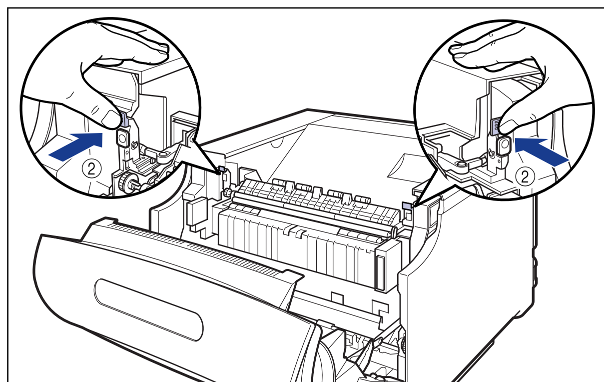
18 図のようにレバーを持って、上カバーが開かないことを確認します。



重要　上カバーは突き当たるまで確実に閉めてください。確実に閉めないと、印字不良の原因になります。

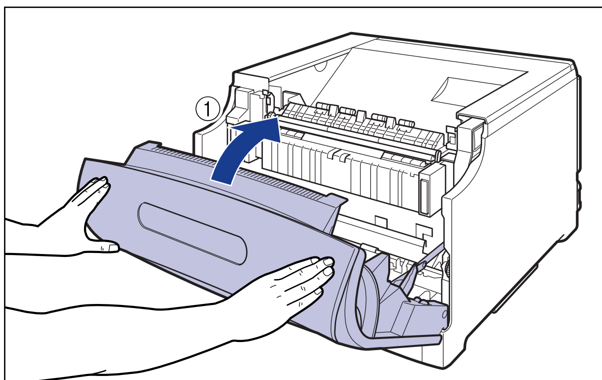
19 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

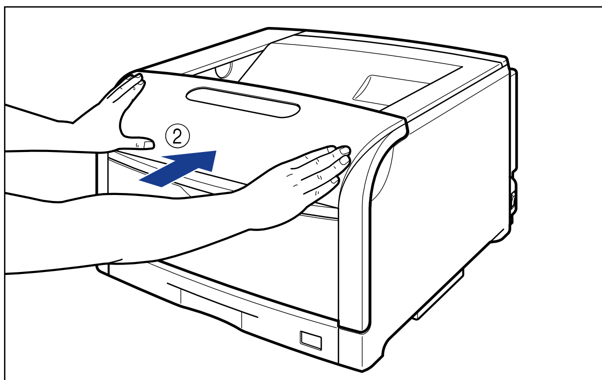




20 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。





プリンタ内部の清掃が終わったら、次の手順でキャリブレーションを行います。

**注意**　前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。



21 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合は、［オンライン］を押します。



22 ［ユーティリティ］を押します。

ユーティリティ



ステータスプリント 



23 [◀]、[▶] で「キャリブレーション」を選択し、[OK] を押します。



キャリブレーションが実行されます。キャリブレーションの実行中は、印刷可ランプとオンラインランプが点滅します。
キャリブレーションが終了すると、ディスプレイに「00 インサツ カノウ」や「00 LIPS」、「00 ESC/P」と表示されます。

メモ　キャリブレーションの実行には、約 50 秒かかります。

24 キャリブレーションが終わったら、印字不良が発生した印刷データを再度印刷します。

印字不良が解決した場合は、そのままプリンタをご使用いただけます。印字不良が解決しなかった場合は、続いて「テストチャート 1 を印刷する」（→P.6-99）を行ってください。

テストチャート 1 を印刷する

テストチャート 1 は、印字不良の原因がドラムカートリッジかどうかを判断するときに印刷します。テストチャート 1 は、次の手順で印刷します。

メモ　テストチャート 1 は、A4 サイズの用紙 8 枚に印刷されます。A4 サイズの用紙をセットしてください。



1 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合は、[オンライン] を押します。

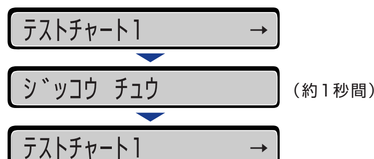


2 [ユーティリティ] を押します。





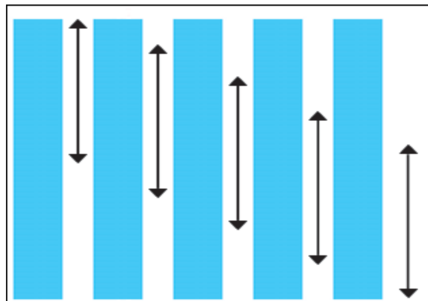
3 [◀]、[▶] で「テストチャート 1」を選択し、[OK] を押します。



6 困ったときには

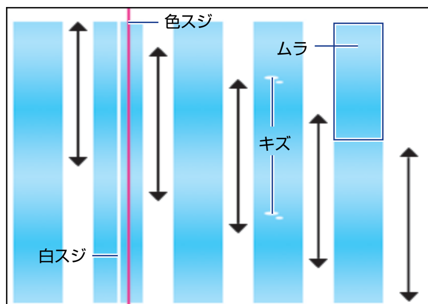
4 印刷したテストチャート1に次のようなキズやムラ、スジがないかを確認します。

●不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合



すべてのテストチャート 1 に不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合は、続いて「テストチャート 2 を印刷する」（→P.6-101）を行ってください。

●不具合（キズやムラ、スジなど）がある場合



すべての色のテストチャート 1 に不具合（キズやムラ、スジなど）があり、印字不良が発生したプリントのキズやムラ、スジと位置や特長が同じであった場合は、続いて「テストチャート 2 を印刷する」（→P.6-101）を行ってください。
特定の色のテストチャート 1 にのみ不具合（キズやムラ、スジなど）があり、印字不良が発生したプリントのキズやムラ、スジと位置や特長が同じであった場合は、次の処置を行ってください。

- テストチャート 1 に白いスジがあった場合：お買い求めの販売店へご連絡ください。
- テストチャート 1 に白いスジがなかった場合：不具合（キズやムラ、スジなど）があった色のドラムカートリッジを交換します。ドラムカートリッジの交換については、「ドラムカートリッジを交換する」（→P.5-16）を参照してください。ドラムカートリッジを交換しても、印字不良が解決しなかった場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

テストチャート２を印刷する

テストチャート ２ は、印字不良の原因が定着器かどうかを判断するときに印刷します。テストチャート ２ は、次の手順で印刷します。

メモ　テストチャート ２ は、A4 サイズの用紙 １ 枚に印刷されます。A4 サイズの用紙をセットしてください。



1 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合は、［オンライン］を押します。



2 ［ユーティリティ］を押します。

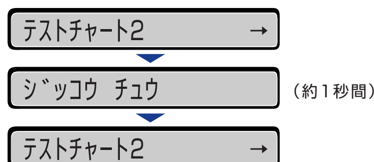






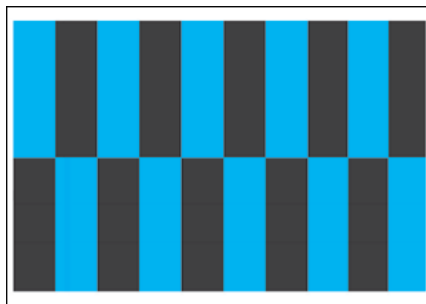


3 ［◀］、［▶］で「テストチャート２」を選択し、［OK］を押します。



4 印刷したテストチャート2に次のようなキズやムラ、スジがないかを確認します。

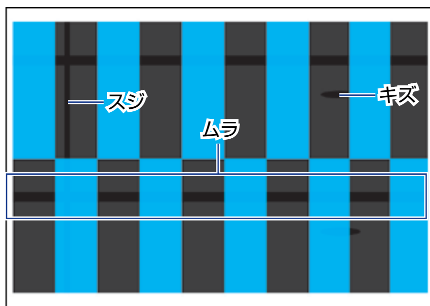
●不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合



6
困ったときには

テストチャート２に不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合は、プリンタに何らかの不具合がある可能性があります。お買い求めの販売店へご連絡ください。

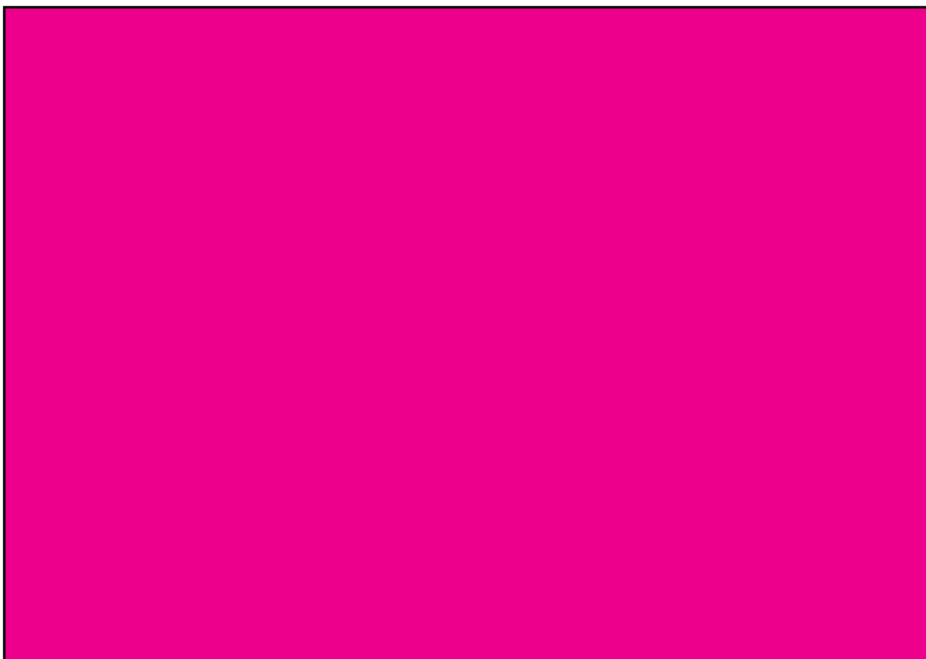
●不具合（キズやムラ、スジなど）がある場合



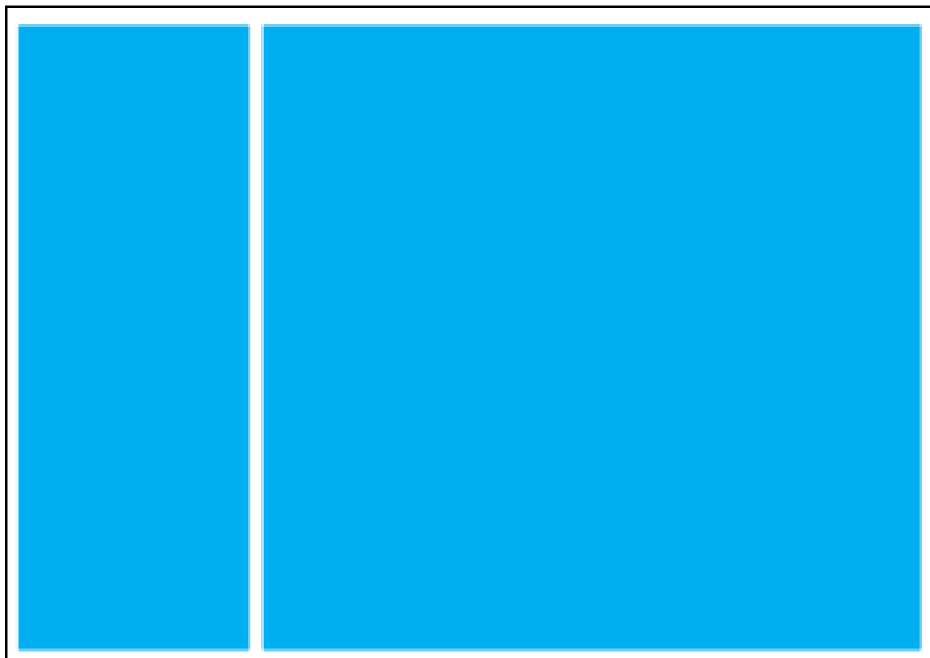
テストチャート２に不具合（キズやムラ、スジなど）がある場合は、定着器を交換します。定着器の交換については、「定着器を交換する」（→P.5-44）を参照してください。定着器を交換しても、印字不良が解決しなかった場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

印字不良サンプル

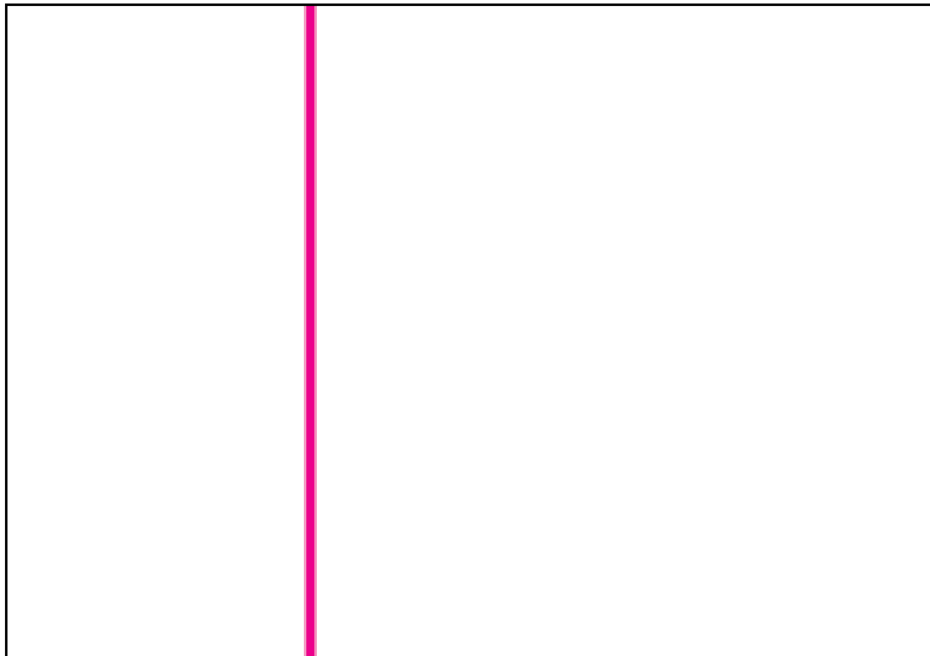
■ 用紙が特定の色で塗られて何も印刷されない



■ 白いすじが入る



■ 色すじが入る



■ 部分的に白く抜ける



■ 印刷しない部分に残像が現れる



■ 印字ムラが出る



■ 濃度の濃い部分の色に光沢ムラ／スジ／キズがある



カラーバランスを調整したいときには

印刷結果が全体に赤っぽかったり、青っぽかったり、カラーバランスが適切でないときは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナー濃度をそれぞれ調節し、補正することができます。トナー濃度は、1 ～ 16 の範囲で設定でき、工場出荷時には標準的な濃度（9）に設定されています。
操作パネルのキーで設定するときは、次の手順で操作します。

重要 トナー濃度を調節するときは、少しずつ調節し、コンピュータから問題のあった印刷データを再度印刷して結果を確認してください。どうしてもうまく調節できないときは、工場出荷時の値（9）に戻し、お買い求めの販売店へご相談ください。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



2 ［セットアップ］を押します。





3 ［◀］、［▶］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［OK］を押します。



印字調整グループの設定項目が表示されます。



4 ［◀］、［▶］で目的の色の「トナー　ノウド」を選択し、［OK］を押します。



トナー濃度の設定値が表示されます。



5 ［◀］、［▶］で濃度を選択し、［OK］を押します。

1 にすると一番薄い濃度、16 にすると一番濃い濃度になります。

6 →
=6 →

設定値の左に「＝」が表示され、濃度が設定されます。

6

困ったときには

プリンタの機能を確認したいときには

本プリンタは、メニューの設定値などを確認できるステータスプリントの機能を備えています。プリンタの準備や接続が終了したあと、プリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。



- ステータスプリントは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイにA4 サイズの用紙をセットしてください。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。例えば、自動両面印刷が設定されている場合は、ステータスプリントも両面に 2 ページ分印刷されます。ただし、コピー枚数は無視され、常に 1 枚の用紙が印刷されます。



1 **プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。**

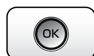
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。



2 **［ユーティリティ］を押します。**



ディスプレイに「ステータスプリント」と表示されます。



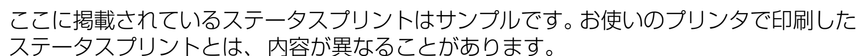
3 **［OK］を押します。**



ステータスプリントが印刷されます。

4 **ステータスプリントの印刷内容を確認します。**

ステータスプリントの右下にある「Page Count」は、印刷枚数を表しています。



重要　ここに掲載されているステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで印刷したステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

Canon　**ステータスプリント**　**LBP5910**

バージョン : XXX
エンジンバージョン : XXX
オプションカセットバージョン : XXX
フィニッシャバージョン : XXX
フォントバージョン : XXX
拡張フォントバージョン : XXX

ハードディスク名称 : TOSHIBA MK3008GAL
RAM容量 : 256 MB
モデル : 日本

拡張機能グループ
スリープモード : パネルオフ
エラースリープ : する
スリープモード移行時間 : 10分
警告処理/トナー交換予告 : 継続
自動エラースキップ : しない
パネル表示言語 : 日本語
ブザー : 1回
警告表示/トナー交換予告 : する
定着器交換予告 : する
回収トナー容器交換予告 : する
ドラム交換予告 : する
カセット用紙なし : する
Eメール通信エラー : する
ウェイクアップタイマー : 使わない
ウェイクアップ時刻 : 12:00
スリープタイマー : 使わない
スリープ時刻 : 12:00
キャリブレーションタイマー : 使わない
キャリブレーション時刻 : 12:00
ハードディスク : 使う
割り込み印刷 : 許可する
セキュアプリント消去までの時間 : 1時間
セキュアプリント保存形式 : イメージ
RIP Once : 使う
ジョブ履歴保証 : しない
静音モード移行時間 : 10秒
PDL選択(PnP) : LIPS LX

給紙グループ
デフォルト用紙サイズ : A4
手差しトレイ用紙サイズ : A4
手差しトレイ優先 : しない
用紙不一致時トレイ : 使わない
自動選択/手差しトレイ : 使う
カセット1 : 使う
カセット2 : 使う
用紙名称/手差しトレイ :
カセット1 :
カセット2 :
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
手差しトレイ用紙タイプ : フリー
カセット1用紙タイプ : フリー
カセット2用紙タイプ : フリー
手差し両面 : 1面目
両面印刷 : しない

レイアウトグループ
コピー枚数 : 1枚
縦位置補正 : 0.0mm
横位置補正 : 0.0mm
とじ方向 : 長辺とじ
とじしろ : 0.0mm
特殊両面処理 : する

インタフェースグループ
I/F選択/USB : 使う
標準N/W : 使う
タイムアウト : 15秒
コネクション認識 : する

動作モードグループ
動作モード選択 : 自動選択
自動切換/LIPS : 使う
N201 : 使う
ESC/P : 使う
I5577 : 使う
HP-GL : 使う
HP-GL/2 : 使う
優先エミュレーション : なし

印字調整グループ
解像度 : ファイン(600dpi)
階調処理 : 高階調1
ドラフトモード : 使わない
トナー濃度/C(シアン) : 9
M(マゼンダ) : 9
Y(イエロー) : 9
K(ブラック) : 9
カラーモード : 自動
モノクロ中間調/テキスト : 解像度
グラフィック : 階調
イメージ : 色調
カラー中間調/テキスト : 解像度
グラフィック : 色調
イメージ : 色調
グレー補償/テキスト : する
グラフィック : する
イメージ : する

CMS(マッチング)選択 : プリンタ
CMS(マッチング)/ガンマ テキスト : CMS
グラフィック : CMS
イメージ : CMS
RGBソースプロファイル/テキスト : sRGB_v1.31
グラフィック : sRGB_v1.31
イメージ : sRGB_v1.31
出力プロファイル/テキスト : Normal
グラフィック : Normal
イメージ : Photo
マッチング方法/テキスト : 鮮やかさ優先
グラフィック : 色み優先
イメージ : 色み優先
ガンマ補正/テキスト : 1.4
グラフィック : 1.4
イメージ : 1.4
画質警告 : 継続
グラデーション : しない

アドバンスドスムージング(AST) : スムーズ1
グラフィックに適用 : しない
テキストに適用 : する
トナー印字量補正 : 標準
ライン処理 : 解像度優先

ユーザメンテナンスグループ
縦位置補正 : 0.0 mm
トレイ/横位置補正 : 0.0 mm
カセット1/横位置補正 : 0.0 mm
カセット2/横位置補正 : 0.0 mm
両面/横位置補正 : 0.0 mm
リカバリ印刷 : する
特殊モードＪ : 使わない
用紙サイズ置換 : しない
画像特殊処理 : しない
小サイズ特殊処理1 : しない
小サイズ特殊処理2 : しない
特殊印字処理/普通紙 : しない
コート紙 : しない
機能制限モード/ステイプル : 制限しない

デバイス
製造会社 : Canon
製品名 : LBP5910
表示名 : LBP5910
シリアルナンバー : XXX

搭載コントローラ
LIPS : XXX
LIPS LX : XXX
ESC/P : XXX
N201 : XXX
I5577 : XXX
HP-GL : XXX
HP-GL/2 : XXX

LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。
HP-GLは、Hewlett-Packard Companyの商標です。
HP-GL/2は、Hewlett-Packard Companyの商標です。

標準ネットワーク
バージョン : XXX
MAC Address : XXX

トナー残量
シアン : 100%
マゼンタ : 100%
イエロー : 100%
ブラック : 99%

USB
ベンダーID : XXX
プロダクトID : XXX
シリアルナンバー : XXX
USB動作モード : USB

最終キャリブレーション
日時 : 2007/03/06 19:45
総印刷ページ数 : 0000042

CanonおよびCanonロゴはキヤノン株式会社の商標です。

2007/03/08 18:29:40　**Page Count : 0000052**

オプション品の取り付け

7
CHAPTER

この章では、オプション品の取り付けかたについて説明しています。

ペーパーフィーダ 7-2
- プリンタを移動する 7-3
- 梱包材を取り外し、ペーパーフィーダを取り付ける 7-7
- ペーパーフィーダを取り外す 7-18

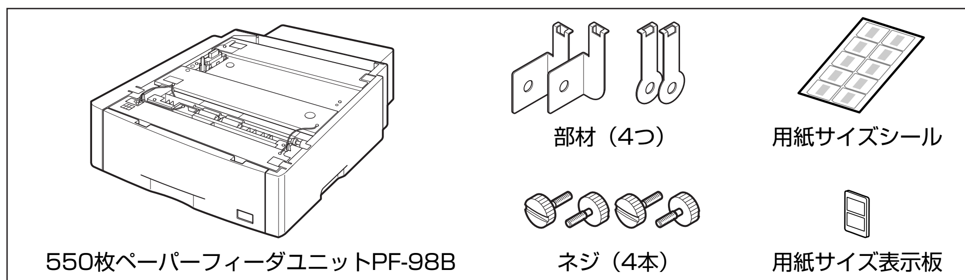
RAM/ROM 7-21
- RAM、ROM の取り付け位置について 7-22
- RAM、ROM を取り付ける 7-22
- RAM、ROM の設定について 7-29
- RAM または ROM を取り外す 7-29

ハードディスク 7-31
- ハードディスクを取り付ける 7-32
- ハードディスクを取り外す 7-36

インテリジェントコントローラ NB-J2 7-38
- パッケージの内容を確認する 7-38
- ケーブルを用意する 7-39
- 各部の名称と機能 7-40
- NB-J2 を取り付ける 7-41
- NB-J2 を取り外す 7-46

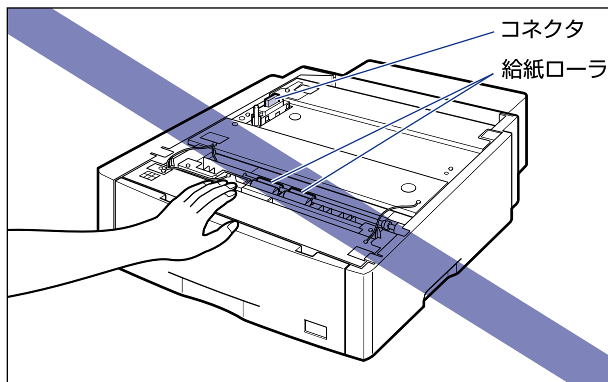
ペーパーフィーダ

ペーパーフィーダを設置する前に、パッケージに次のものがすべて揃っているかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。



⚠警告　ペーパーフィーダを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要　ペーパーフィーダのコネクタや給紙ローラには触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。



メモ
- ペーパーフィーダは、最大 3 台まで取り付けることができます。
- 550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98B は、LBP5910/5910F/5900/5900SE/5610/5600/5600SE 専用です。他の機種用のペーパーフィーダは使用できません。

- ペーパーフィーダの用紙のセット方法については、「給紙カセットに用紙をセットする」（➞P.4-17）を参照してください。

プリンタを移動する

プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させせます。

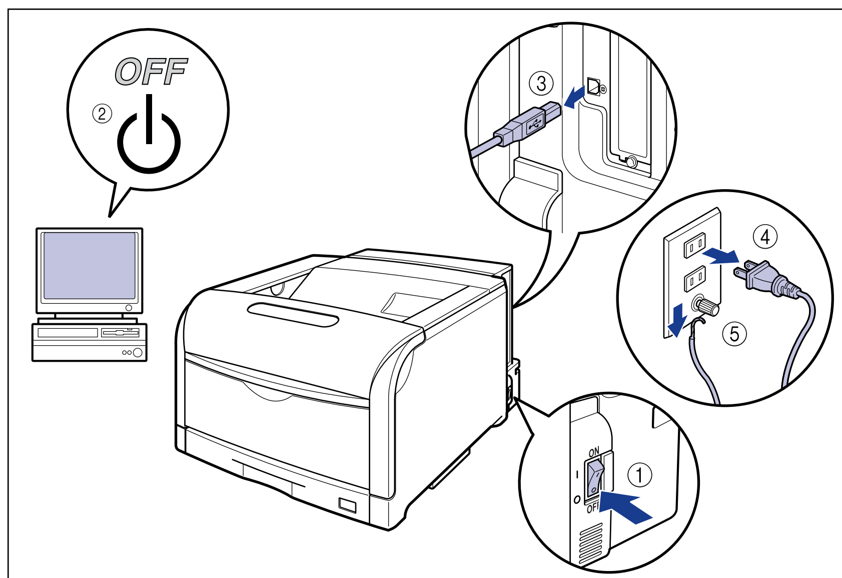
⚠警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

プリンタの電源を切ります ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルを抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

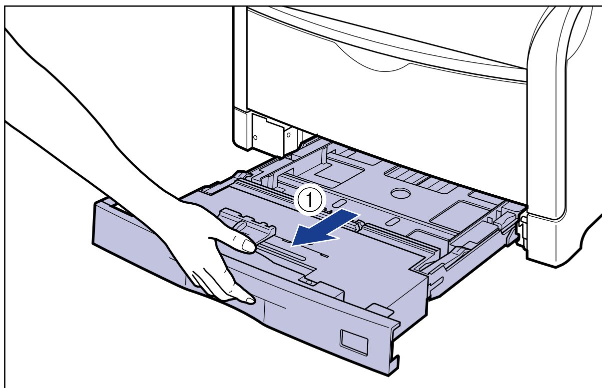
シャットダウンを行ってから電源を切ってください（➞P.2-63）。
特にハードディスクを使用しているときは、ハードディスク保護のため、シャットダウンを行ってください。



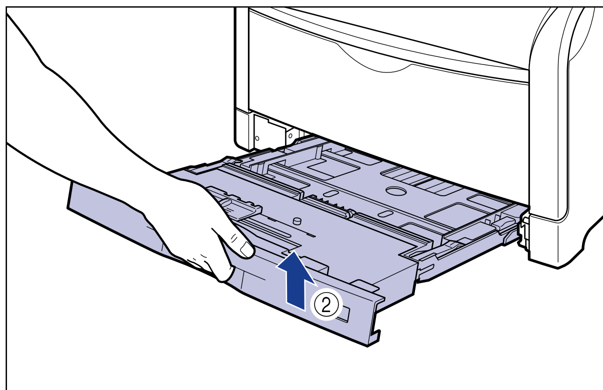
2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

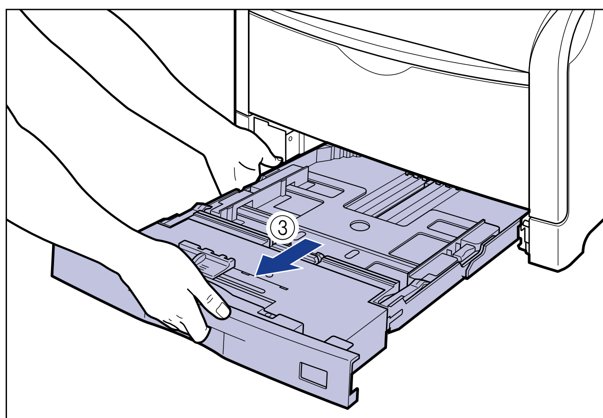
3 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。



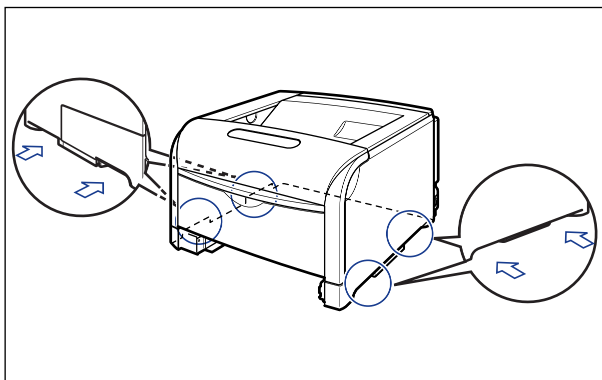


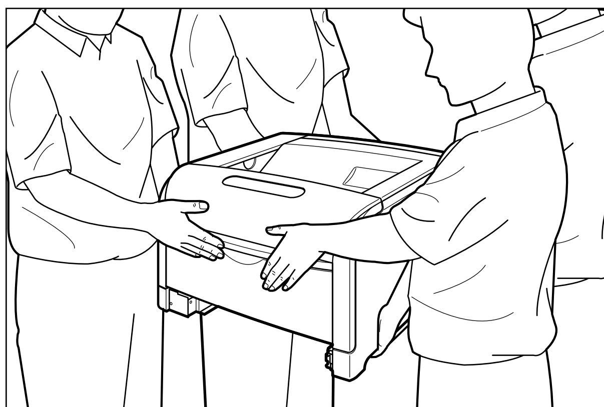


給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

4 プリンタを設置場所から移動します。

プリンタ下部にある運搬用取っ手に 4 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

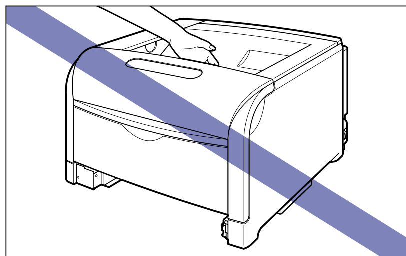


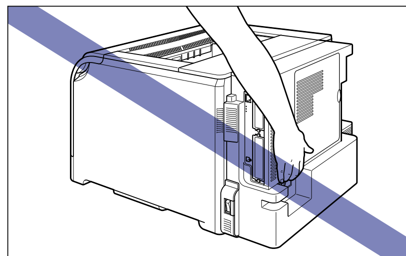


⚠注意

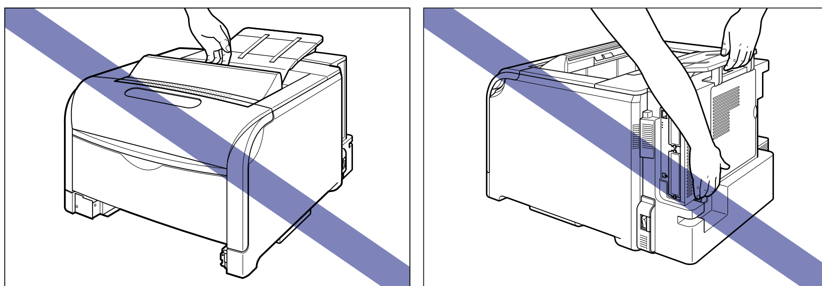
- 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で LBP5910 は約 55.7kg、LBP5910F は約 59.7kg あります。必ず 4 人以上で腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に手差しトレイなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

・LBP5910





・LBP5910F





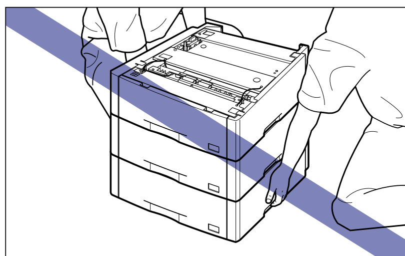
必ず前カバーや手差しトレイが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

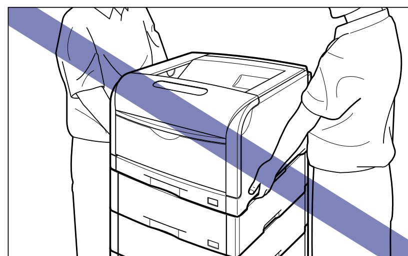
梱包材を取り外し、ペーパーフィーダを取り付ける

ペーパーフィーダは、プリンタの底面に取り付けます。

注意

- プリンタやペーパーフィーダはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。





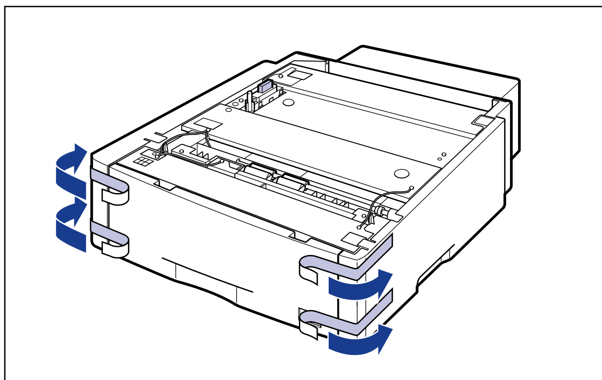


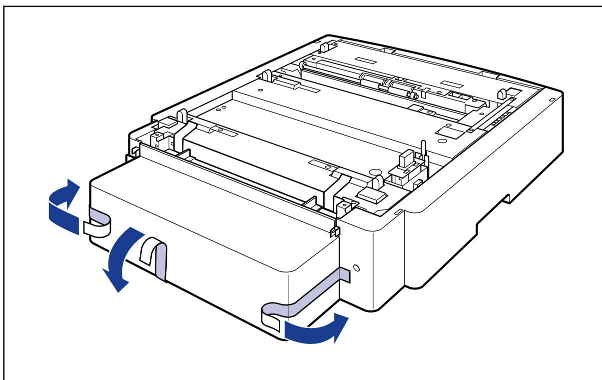
- ペーパーフィーダを装着した場合、給紙するペーパーフィーダ（カセット 2、カセット 3、カセット 4）より上段の給紙カセットは必ずセットした状態で使用してください。
  給紙カセットがセットされていないと、下段の給紙元から給紙することはできません（たとえば、カセット 2 がセットされていない場合、カセット 3 から給紙することはできません）。
- ペーパーフィーダ内部に梱包材が残っていると、動作時に給紙不良や故障の原因になります。必ず手順にしたがって梱包材を残さずに取り外してください。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。



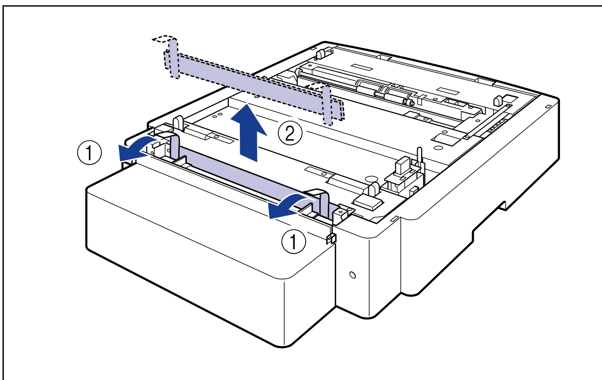
梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 給紙カセット、カセット保護カバーを止めているテープを取り外します。





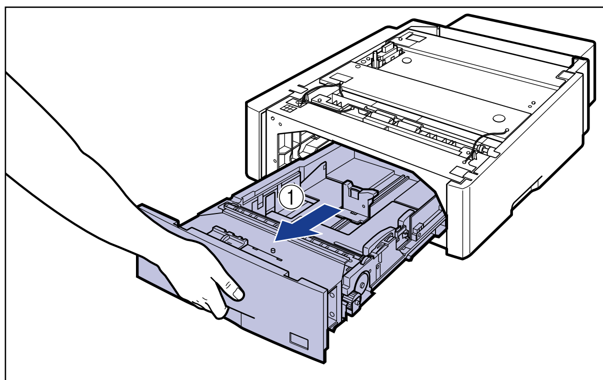
2 図の位置にある梱包材を ①、② の順に取り外します。



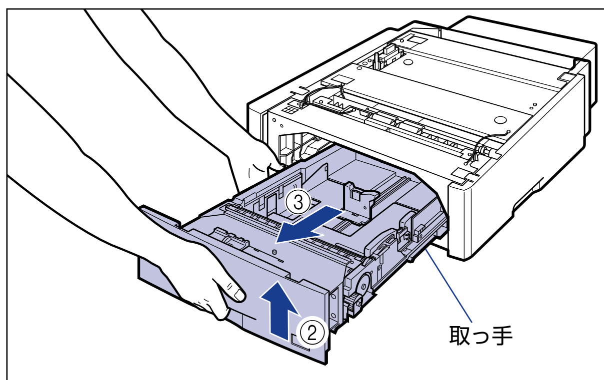
重要　取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

3 給紙カセットを引き出します。

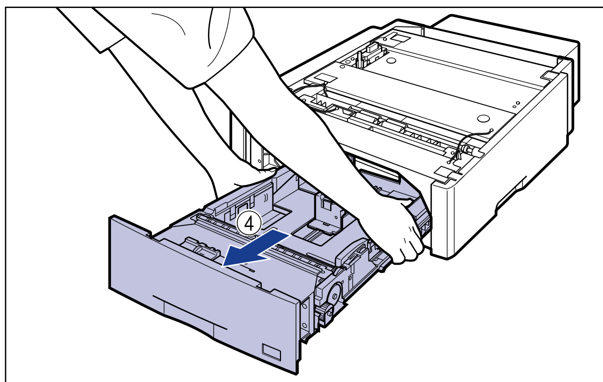
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。



給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。



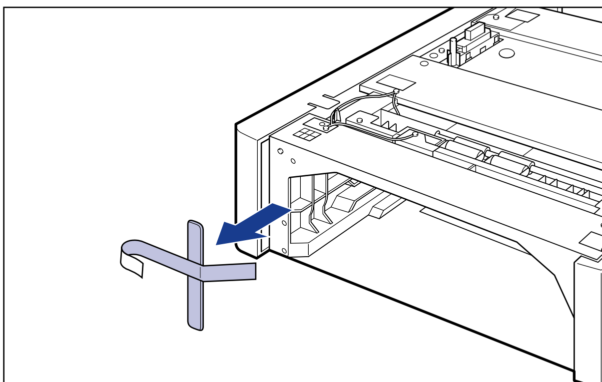
図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。



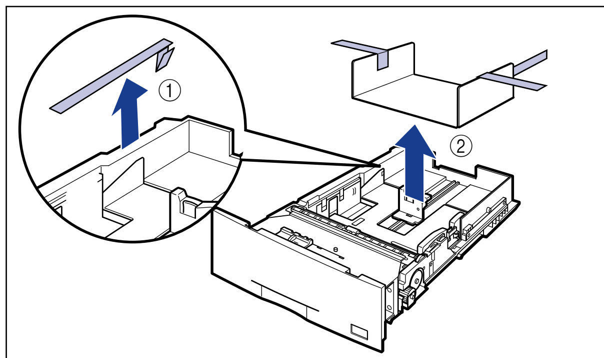


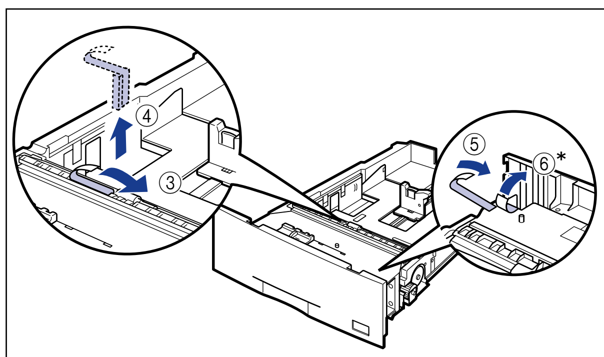
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

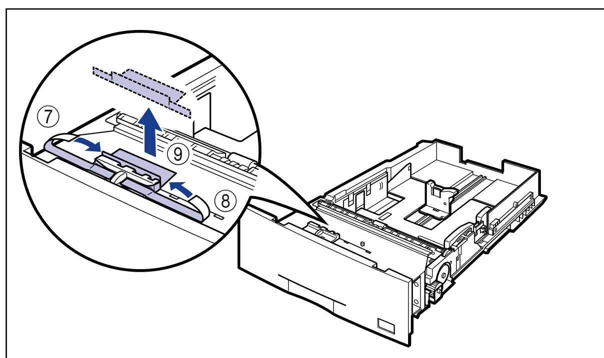
4 テープ付き梱包材を取り外します。



5 給紙カセット内部のテープと梱包材を取り外します。





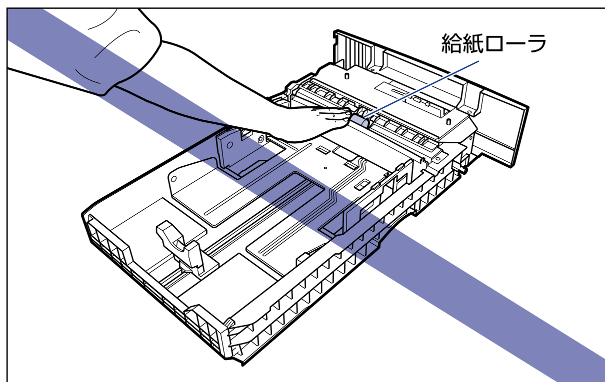


* お買い求めいただいたペーパーフィーダによっては、⑥のテープが貼られていない場合があります。



- 給紙カセットには、梱包材が取り付けられています。必ず給紙カセットを引き出し、残さずに取り外してください。

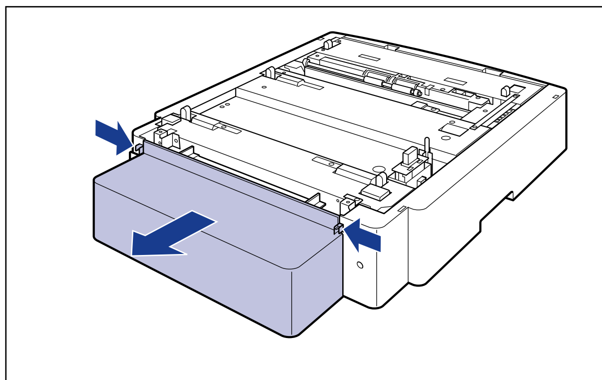
- 給紙カセットの給紙ローラには触れないでください。給紙不良の原因になります。



- 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

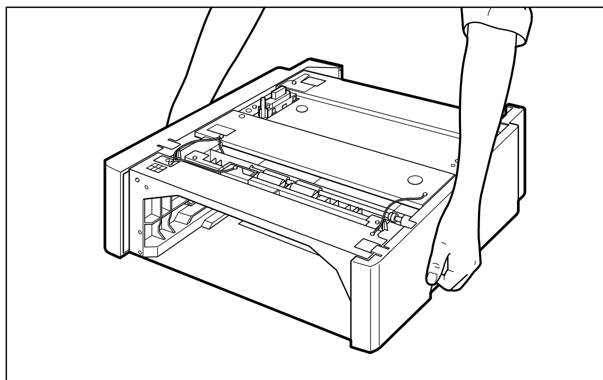
6 ペーパーフィーダのカセット保護カバーを取り外します。

図のようにカセット保護カバーのレバーを押しながら、カセット保護カバーを取り外します。



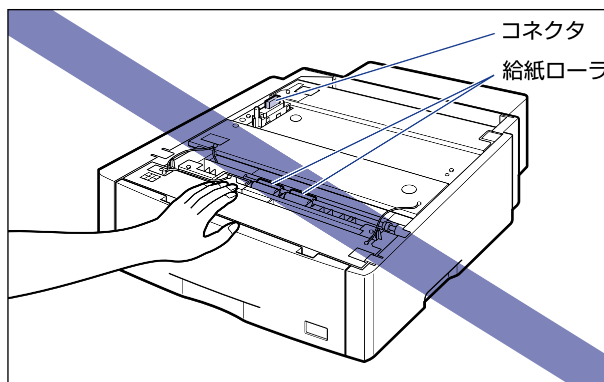
7 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。





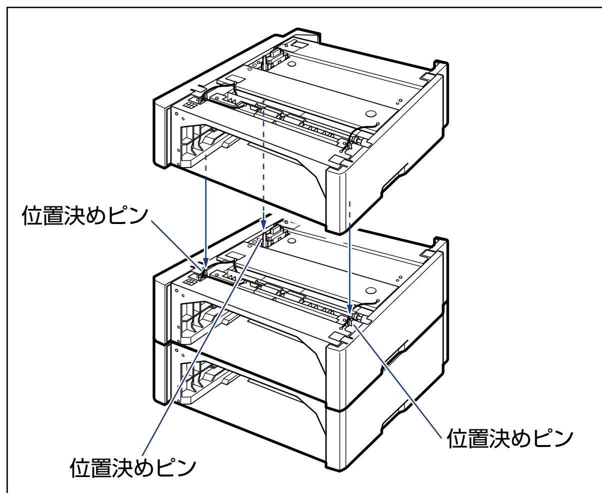
- ペーパーフィーダのコネクタや給紙ローラには触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。



- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。

8 ペーパーフィーダとペーパーフィーダを取り付けるときは、ペーパーフィーダの位置決めピンに合わせてゆっくりと載せます。

ペーパーフィーダを 1 台のみ取り付ける場合は、手順 9 に進んでください。

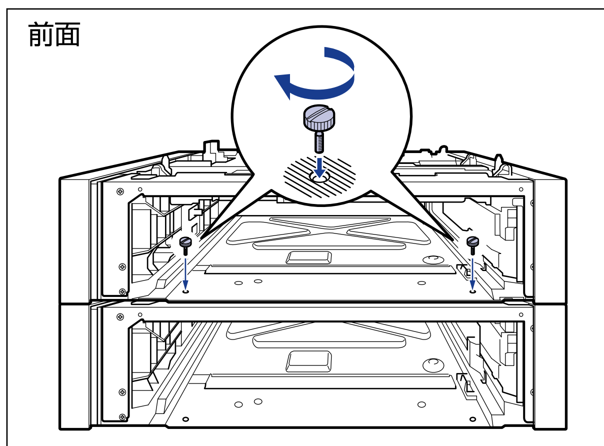


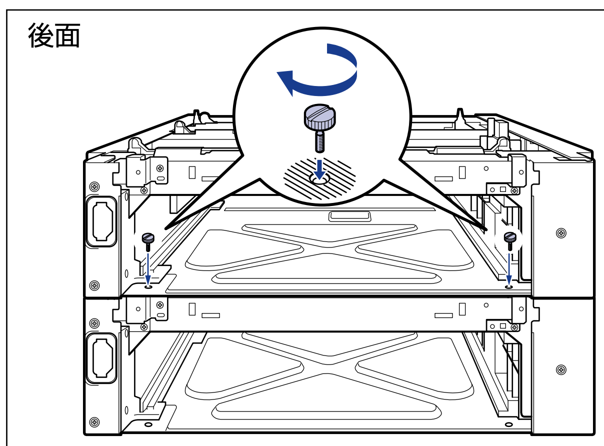


ペーパーフィーダは、最大 3 台まで取り付けることができます。

9 付属の４本のネジでペーパーフィーダを固定します。

ネジはしっかりと固定してください。

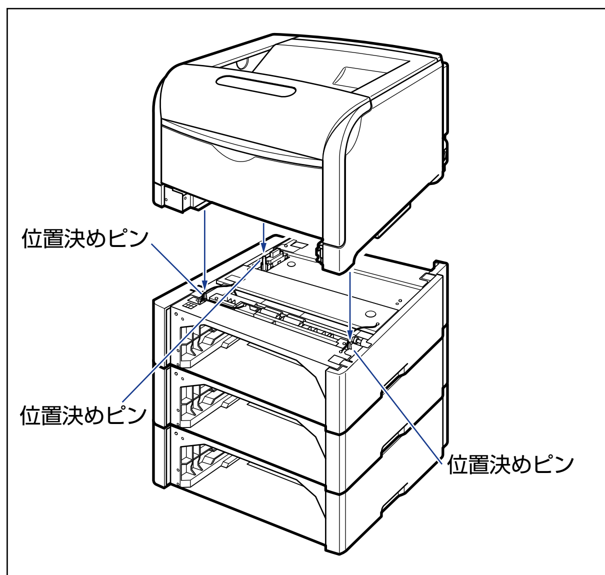




7

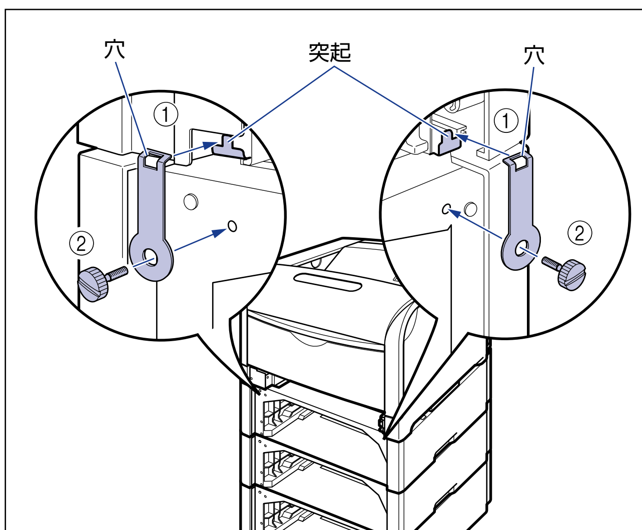
オプション品の取り付け

10 プリンタをペーパーフィーダの位置決めピンに合わせてゆっくりと載せます。



11 付属の４つの部材とネジで、プリンタとペーパーフィーダを固定します。

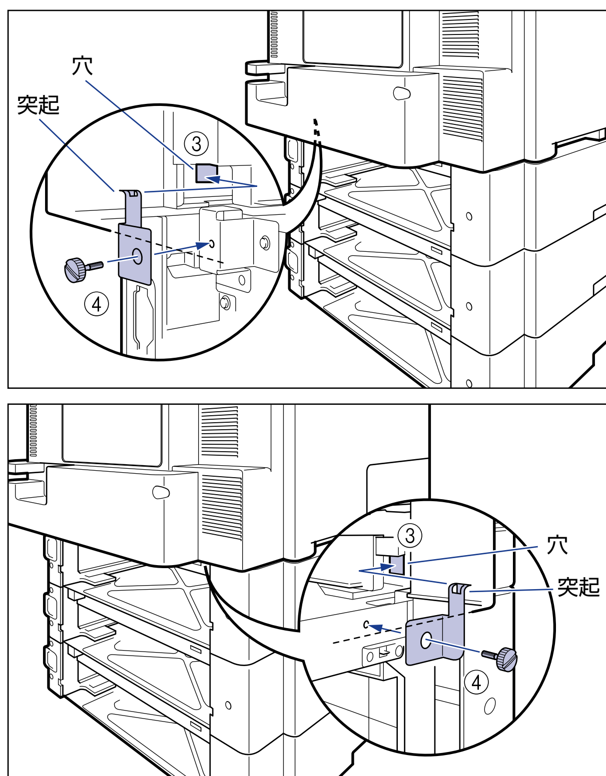
部材の穴をプリンタの突起に取り付けて ①、ネジで固定します ②。



7

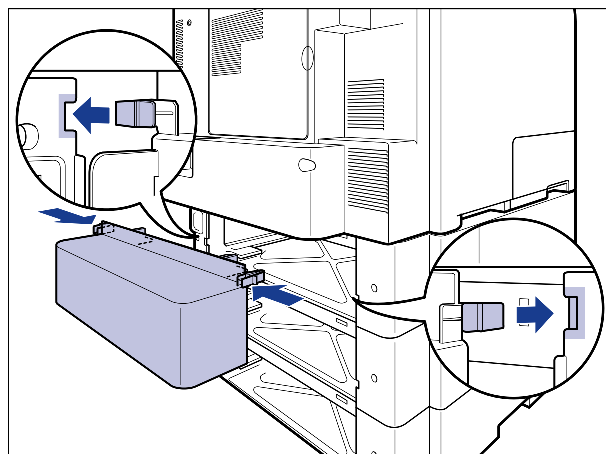
オプション品の取り付け

部材の突起をプリンタの穴に取り付け ③、ネジで固定します ④。



12 カセット保護カバーを取り付けます。

図のようにカセット保護カバーのレバーを押しながら、突起をペーパーフィーダ背面の溝に差し込みます。





カセット保護カバーに手をかけたり、強く押したり、物を置いたりしないでください。カセット保護カバーが破損する恐れがあります。

13 給紙カセットをプリンタ、ペーパーフィーダにセットします。

14 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

15 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

16 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。



ペーパーフィーダを装着した後は、次の操作を行います。

1. プリンタドライバの［デバイスの設定］ページを表示する
2. ［デバイス情報取得］をクリックする

プリンタのオプション情報が自動で取得できない場合は、［給紙オプション］から装着したオプションを選択してください。

7

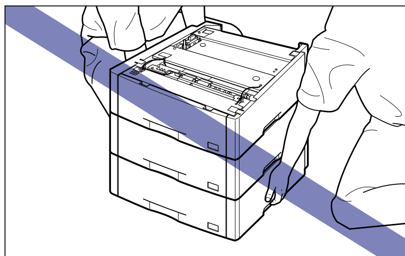
ペーパーフィーダを取り外す

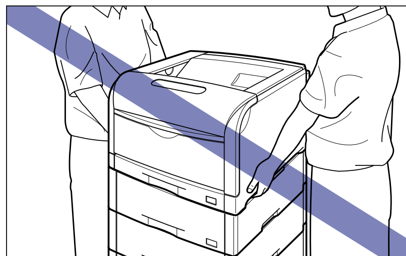


ペーパーフィーダを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。







プリンタの移動や修理の際は、ペーパーフィーダや給紙カセットを取り外してください。

オプション品の取り付け

1 プリンタの電源を切ります。

2 USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って、USB ケーブルを抜きます。

3 電源プラグを電源コンセントから抜きます。

4 アース線を専用のアース線端子から取り外します。

5 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

6 プリンタ、ペーパーフィーダから給紙カセットを引き出します。

7 4 つのネジと部材を取り外します。

取り付けるときと逆に回してネジを取り外します。

重要 取り外したネジは再度ペーパーフィーダを取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

8 プリンタを持ち上げて、ペーパーフィーダから取り外します。

9 ペーパーフィーダを 2 台以上取り付けている場合、上の段から順にペーパーフィーダを取り外します。

10 ペーパーフィーダを移動します。

11 プリンタを設置場所へ戻します。

12 給紙カセットをプリンタにセットします。

13 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

14 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

15 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

RAM/ROM

拡張 RAM、コントロール ROM は、プリンタ背面のメインボードに取り付けて使用します。次のことに気を付けて RAM や ROM の取り付けを行ってください。

警告 RAM や ROM を取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。

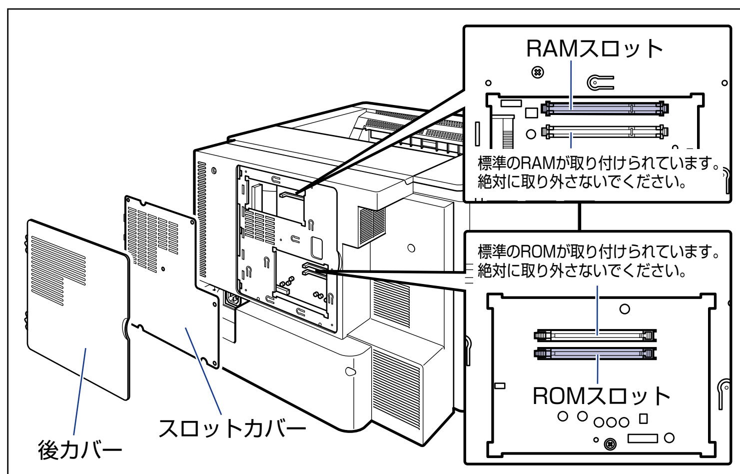
注意 RAM、ROM の取り扱いには注意してください。RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

重要

- RAM と ROM は、形状や取り付ける位置、取り付け方法が異なります。取り付け位置や取り付け方法を間違えないように気を付けてください。間違えると正しく動作しません。
- RAM や ROM には、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - ・作業中にディスプレイなど、静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - ・メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、RAM や ROM は取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。
- メインボードにあるスイッチには絶対に触れないでください。スイッチを動かすとプリンタが正常に動作しません。

RAM、ROM の取り付け位置について

RAM と ROM は、取り付ける位置が異なります。取り付ける前に図を参照して、取り付け位置を確認してから作業を行ってください。



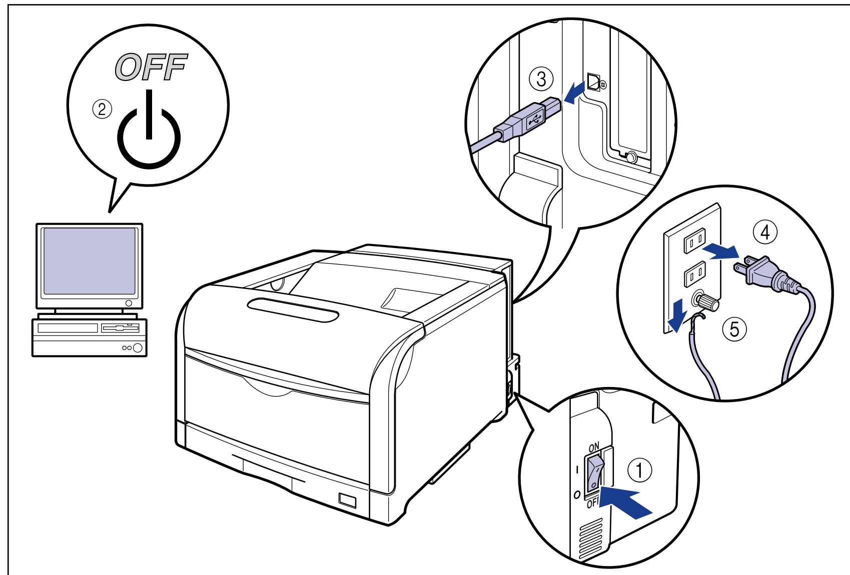
RAM、ROM を取り付ける

RAM と ROM は、次の手順でプリンタのメインボードに取り付けます。RAM と ROM の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

プリンタの電源を切ります ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルを抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

シャットダウンを行ってから電源を切ってください（➞P.2-63）。
特にハードディスクを使用しているときは、ハードディスク保護のため、シャットダウンを行ってください。

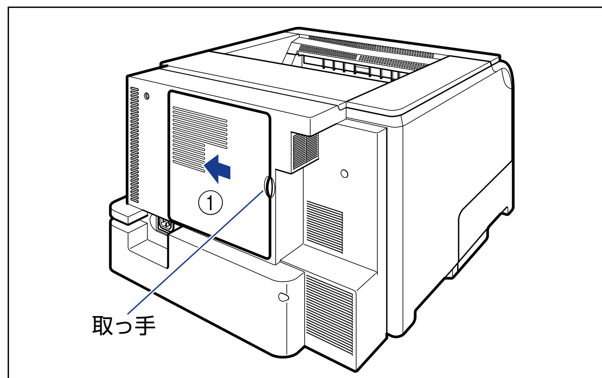


2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

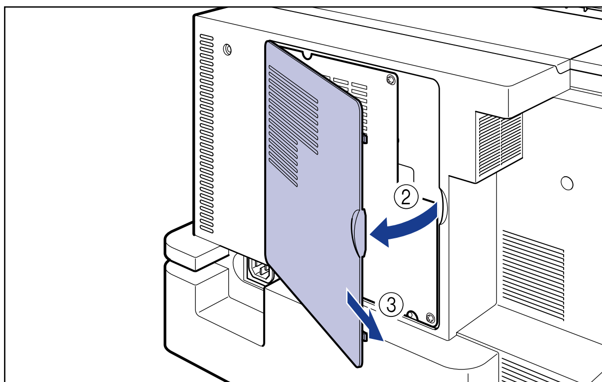
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 後カバーを取り外します。

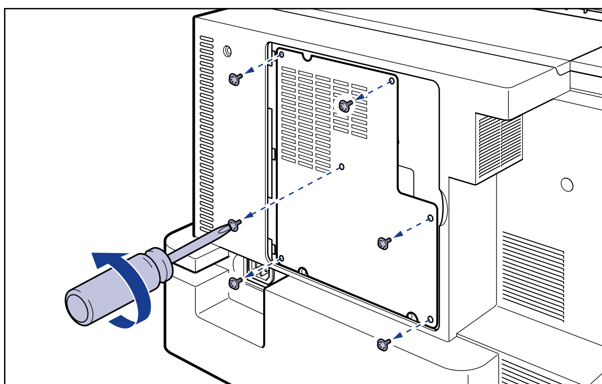
後カバーの取っ手を矢印の方向に少し押します ①。



後カバーを少し開けて ②、矢印の方向に後カバーを取り外します ③。

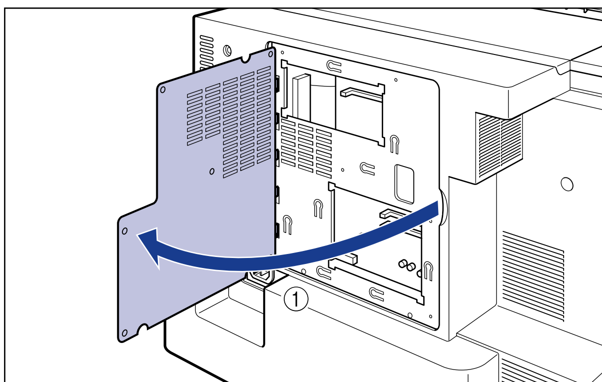


4 6 本のネジを取り外します。

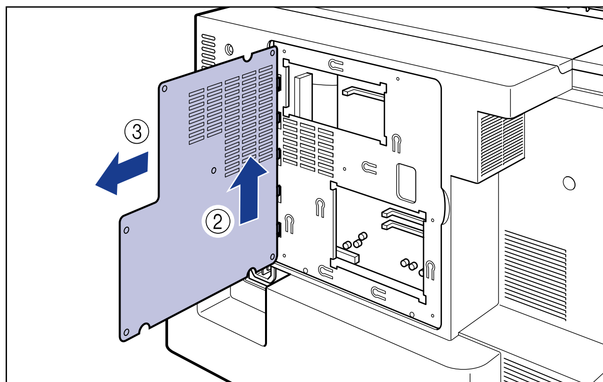


5 スロットカバーを取り外します。

スロットカバーを開けます ①。



スロットカバーを少し持ち上げて ②、矢印の方向にスロットカバーを取り外します ③。

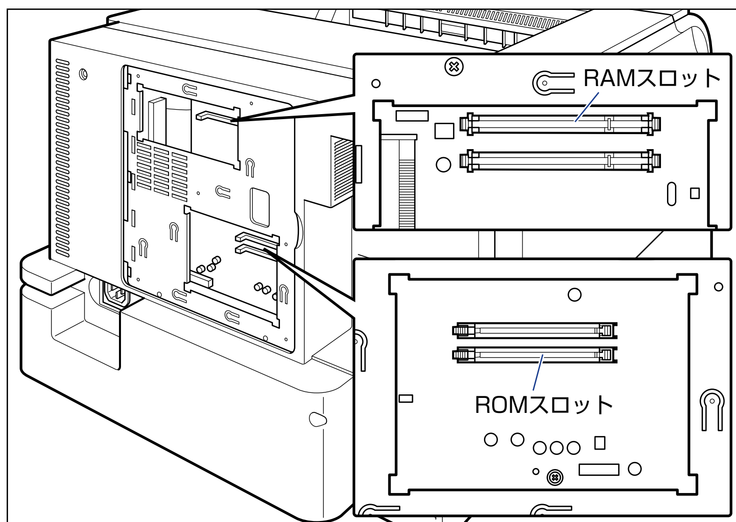


重要

- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。
- プリンタ内部に、ネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらがプリンタ内部に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 後カバーやスロットカバーを取り付けていない状態でプリンタの電源を入れないでください。故障の原因になることがあります。

メモ

RAM や ROM の取り付ける位置は次のとおりです。取り付け位置を確認してから RAM や ROM を取り付けてください。



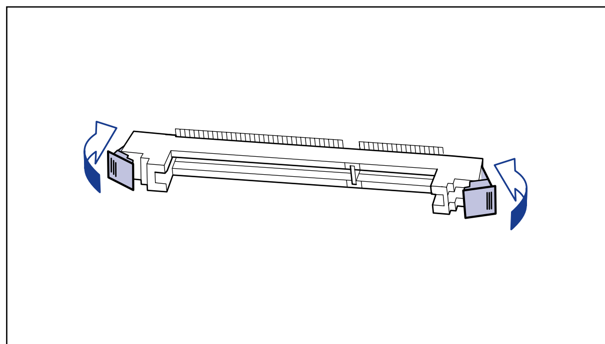
7

オプション品の取り付け

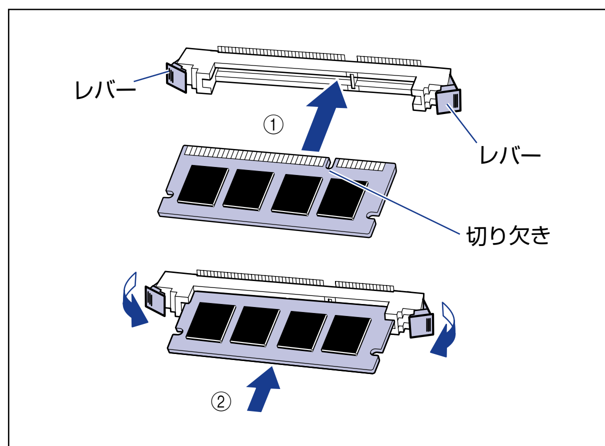
6 RAM や ROM を取り付けます。

● RAM を取り付ける場合

❑ RAM スロットのレバーを押し下げます。



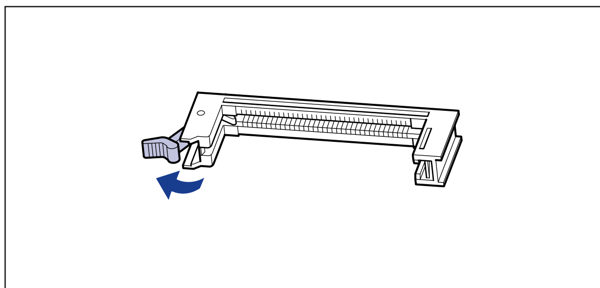
❑ RAM スロットへ図のように切り欠きに合わせて差し込み ①、奥までしっかりと押し込みます ②。



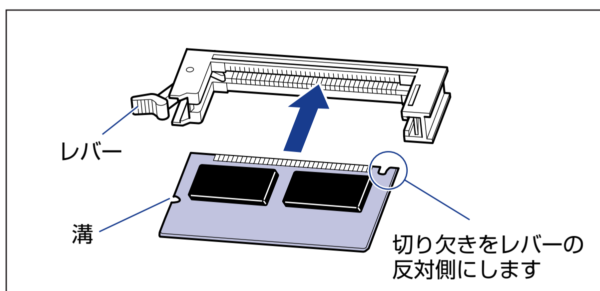
RAM が正しく取り付けられると、RAM スロット両端のレバーが閉じます。

● ROM を取り付ける場合

❑ ROM スロットのレバーを押し下げます。



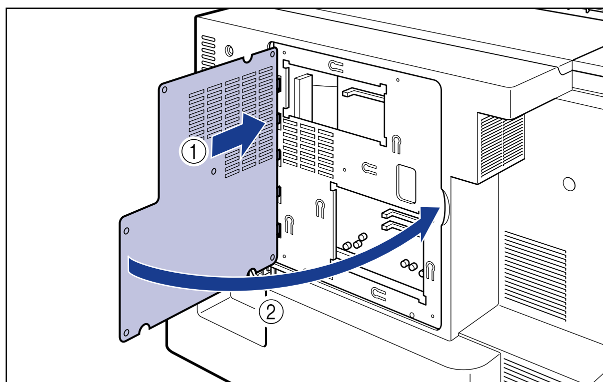
❑ ROM　の切り欠きをレバーの反対側にしてスロットガイドに合わせて差し込み、奥までしっかりと押し込みます。



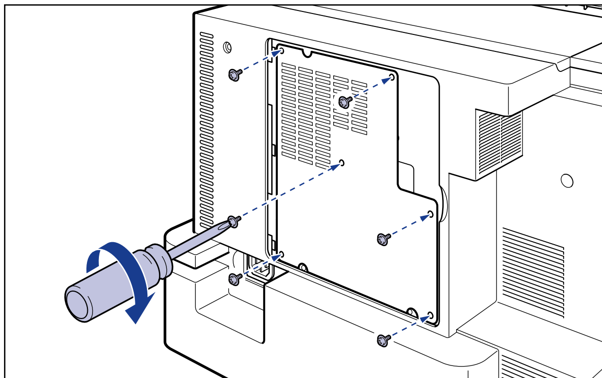
ROM が正しく取り付けられると、レバーの突起が ROM の溝に掛かります。

⚠注意　メインボードの部品や RAM、ROM の角でけがをしないように注意してください。

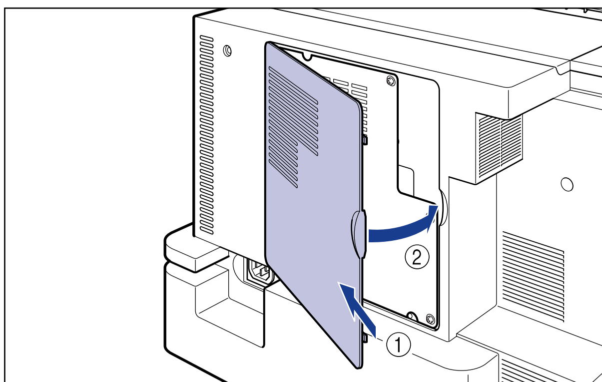
7 スロットカバーを取り付けて ①、閉めます ②。



8 6 本のネジで固定します。



9 図のように後カバーを差し込み ①、閉めます ②。



10 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

RAM、ROMの設定について

RAMやROMを取り付けたあとは、必要に応じて次の設定を行ってください。

拡張RAM → 必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。

コントロールROM → メニュー機能で設定します。



操作パネルのメニュー機能のエミュレーションモードの設定についてはLIPS機能ガイド「第2章 メニューの機能と操作」またはオプションのコントロールROMに付属の取扱説明書を参照してください。

RAMまたはROMを取り外す

RAMまたはROMは、プリンタの後カバー、スロットカバーを取り外してから、次の手順で取り外します。

注意

- RAMやROMを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- RAM、ROMの取り扱いには注意してください。RAM、ROMの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

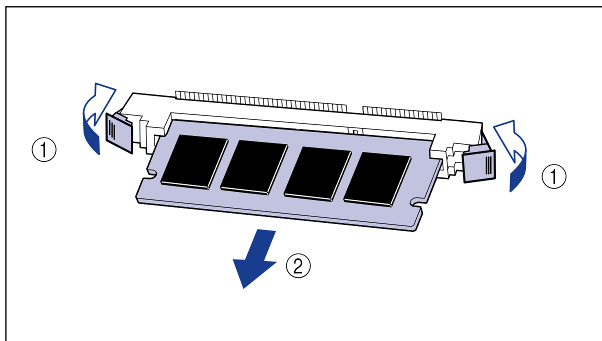


後カバー、スロットカバーの取り外しや取り付け手順は「RAM、ROMを取り付ける」(→P.7-22)を参照してください。

■ RAMの取り外しかた

RAMスロット両端のレバーを同時に矢印の方向へ押すと①、RAMが外れます②。

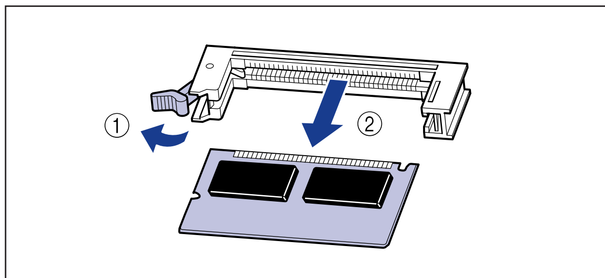




7 オプション品の取り付け

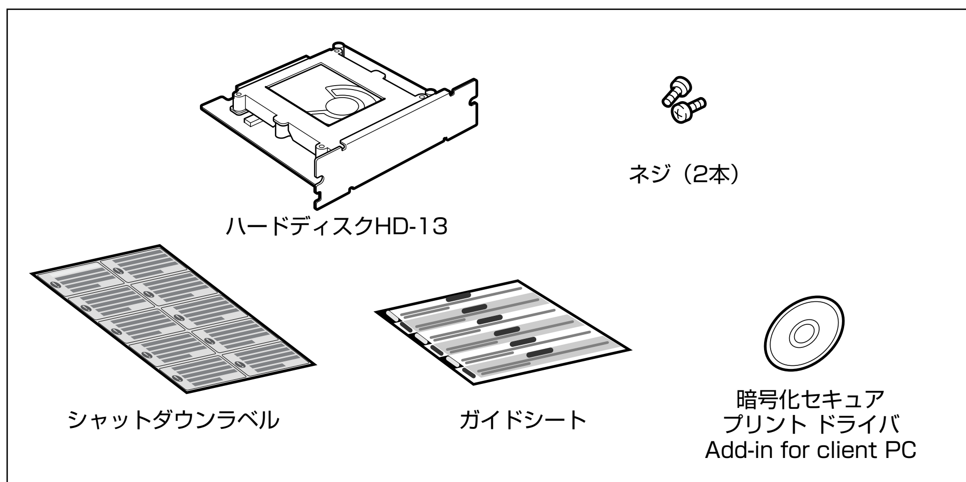
■ ROM の取り外しかた

ROM スロットのレバーを押し下げると ① ロックが外れますので、ROM を引き抜きます ②。



ハードディスク

ハードディスクは、プリンタのハードディスクスロットに取り付けます。取り付け作業を始める前に、パッケージに次のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。



注意
- **ハードディスクを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。**
- **ハードディスクの取り扱いには注意してください。ハードディスクの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。**

重要　ハードディスクには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。

- ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
- ・作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
- ・ハードディスクの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ・静電気の影響を避けるために、ハードディスクは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、強い磁気を発生するものの側に近づけないでください。
- ・ハードディスクを落としたり、衝撃を与えないでください。
- ・ハードディスクは精密機器なので、ドライブの上面を押したり、重ねたり、他の物にぶつけたりしないでください。
- ・ハードディスクのドライブ上面に貼ってあるラベルなどを絶対にはがさないでください。また、別のラベルなどを貼ったりしないでください。
- ・ハードディスクを気温の低い場所から急に暖かい場所へ移動しないでください。

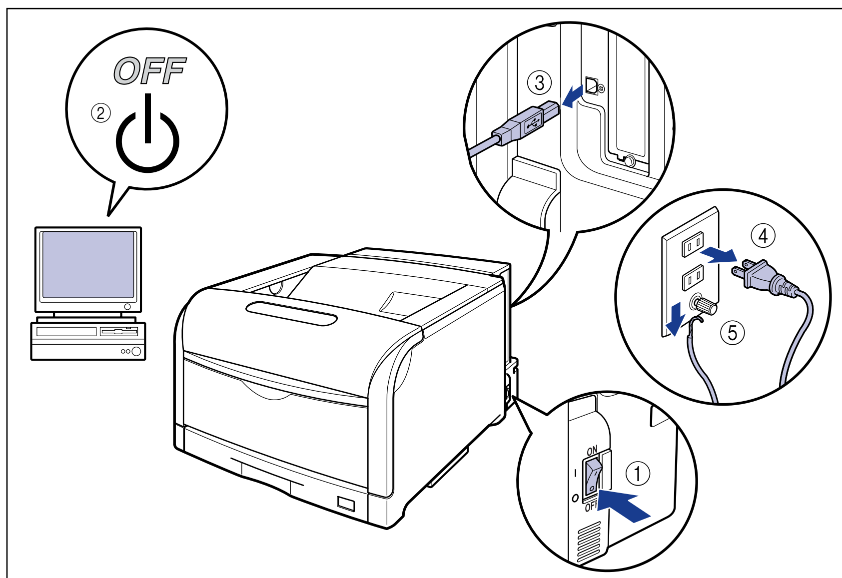
ハードディスクを取り付ける

ハードディスクは、次の手順でプリンタのハードディスクスロットに取り付けます。ハードディスクの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

重要　ハードディスクの取り付け後には「パネル設定初期化」を行いますので、プリンタの設定を変更している場合は、ハードディスクの取り付け作業を行う前に、ステータスプリントを印刷してプリンタの設定状況を確認・保存しておいてください。ステータスプリントの印刷方法は、「プリンタの動作を確認する」（➞P.2-68）を参照してください。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

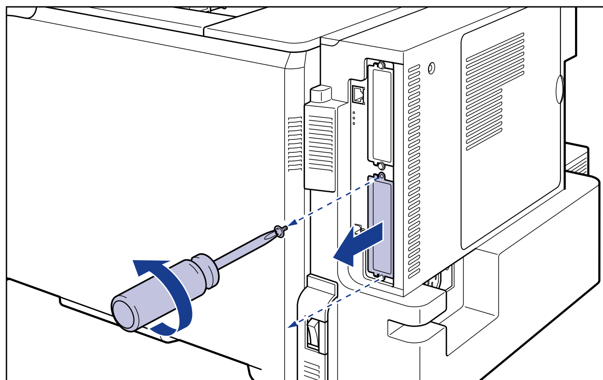
プリンタの電源を切ります ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルを抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。



2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

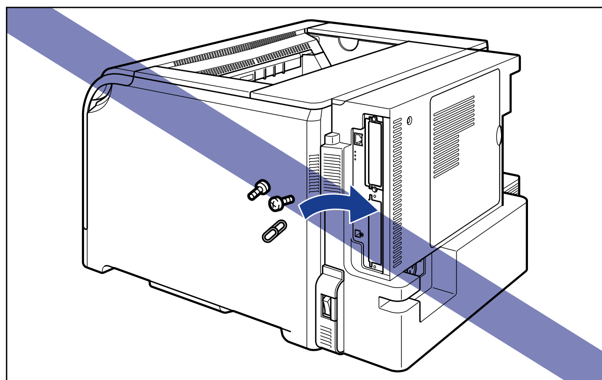
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 ネジを外して、ハードディスクスロットの保護板を取り外します。



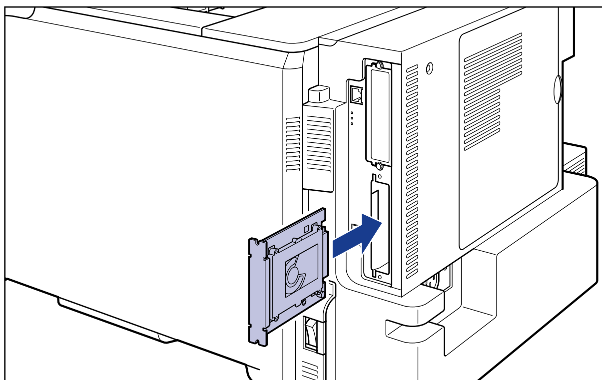
重要

- 取り外した保護板とネジは、ハードディスクを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。
- 保護板の取り外し後、ハードディスクスロット内にネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらがハードディスクスロット内の穴に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。



4 ハードディスクをハードディスクスロットに差し込みます。

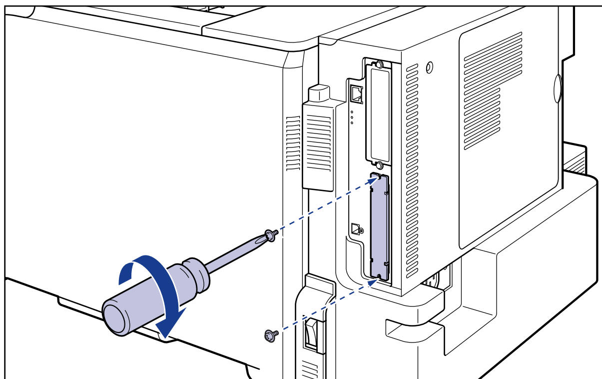
ハードディスクは、金属製のパネル部分を持ち、ハードディスクスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに差し込みます。





- ハードディスクをしっかりと確実に押し込んでください。
- ハードディスクの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

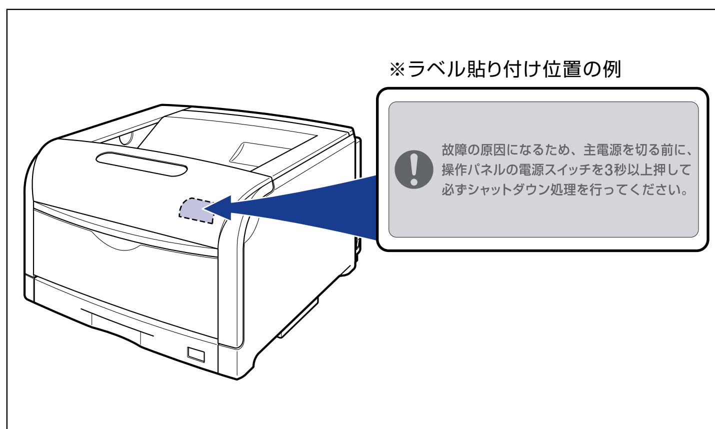
5 ハードディスクの上下を、付属の２本のネジで固定します。



7

オプション品の取り付け

6 ハードディスクに同梱されている「シャットダウンラベル」をプリンタの見やすい場所に貼り付けます。





ハードディスク装着後、電源を切るときはハードディスク保護のため、ラベルの指示にしたがって「シャットダウン」を実行してから、電源スイッチの"○"側を押してください。

7 電源コード、アース線を接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

9 電源スイッチの"I"側を押して、プリンタの電源を入れます。

10 以降の手順で「パネル設定初期化」を行います。



ハードディスクの取り付け後は、「パネル設定初期化」を行ってください。ハードディスクの機能は、「パネル設定初期化」を行うことによって、フォーマットされ、使用できる状態になります。



11 [セットアップ] を押します。



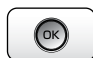
7 オプション品の取り付け



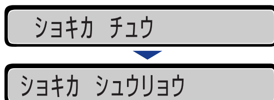
12 ［◄］、［►］で「パネル　セッテイ　ショキカ」を選択し、［OK］を押します。



確認のメッセージが表示されます。



13 ［OK］を押します。



重要　パネル設定初期化の実行時に、「ショキカ　デキマセンデシタ」と表示された場合は、初期化は行われていません。

14 初期化終了後、ハードリセットまたはプリンタの電源を入れなおします。

プリンタの起動後、ハードディスクのフォーマットが行われます。

ハードディスクのフォーマット中は、ディスプレイに「FORMATTING」と表示されます。フォーマットが終了するまで、しばらくお待ちください。

ハードディスクのフォーマットが終了したら、すべてのインタフェースケーブルを接続します。（➞ コンピュータと接続する：P.2-54）

重要　ハードディスクを取り付けて、「パネル設定初期化」を行ったあと、プリンタが起動すると、自動的にハードディスクのフォーマットが行われます。このときにフォーマットが行われない場合、共通セットアップメニューの「HDD メンテナンス」で「クイックフォーマット」を実行してください。詳細は、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

メモ　ハードディスクを装着した後は、次の操作を行います。

1. プリンタドライバの［デバイスの設定］ページを表示する
2. ［デバイス情報取得］をクリックする

プリンタのオプション情報が自動で取得できない場合は、［ハードディスクを装着する］にチェックマークを付けてください。

ハードディスクを取り外す

ハードディスクの取り外しは、次の手順で行います。ハードディスクの取り付け時に取り外したハードディスクスロットの保護板とネジをご用意ください。

⚠注意　ハードディスクを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。

1 プリンタの電源を切ります。

シャットダウンを行ってから電源を切ってください（➞P.2-63）。

2 USBケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って、USBケーブルを抜きます。

3 電源プラグを電源コンセントから抜きます。

4 アース線を専用のアース線端子から取り外します。

5 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

6 ハードディスクの上下の２本の固定ネジを取り外します。

重要　取り外したネジは再度ハードディスクを取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

7 ハードディスクを引き抜きます。

取り外したハードディスクは、購入時に入っていた保護袋に入れて保管してください。

8 ハードディスクスロットの保護板を取り付け、ネジで固定します。

9 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

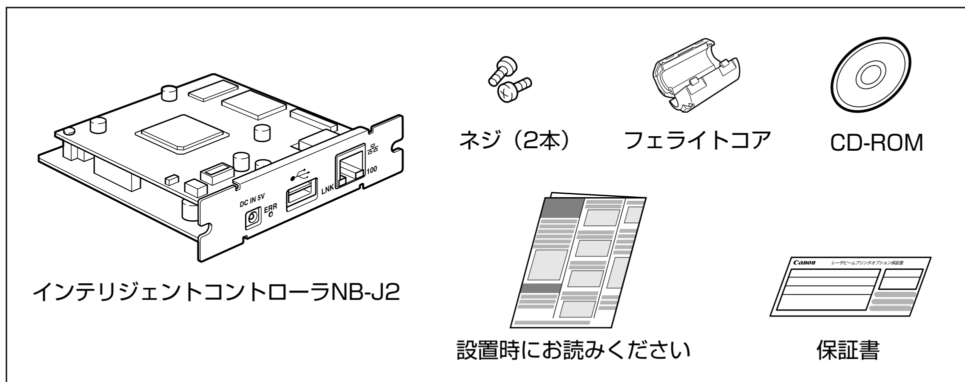
10 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

11 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

インテリジェントコントローラ NB-J2

パッケージの内容を確認する

NB-J2 はプリンタの拡張ボードスロットへ取り付けます。NB-J2 を取り付ける前に、パッケージに次のものがすべて揃っているかどうかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。



注意

- NB-J2 を取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜きプリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- NB-J2 の取り扱いには注意してください。NB-J2 の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

重要

- NB-J2 には、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
  - ・作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
  - ・NB-J2 の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、NB-J2 は取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、保護袋は NB-J2 を取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。
- NB-J2 とプリンタに標準装備されているネットワークインタフェース（標準ネットワーク）の 2 つのインタフェースを同時に使用することはできません。
  使用するインタフェースの選択は、セットアップメニューのインタフェースグループにある「拡張カード」の「優先ネットワーク」で設定します。詳しくは、NB-J2 に付属のユーザーズガイド「第 3 章 SMS を使用する」を参照してください。



NB-J2 には、LAN ケーブルは付属していません。NB-J2 を装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、お使いのネットワークに合わせ、LAN ケーブルを別途ご用意ください。

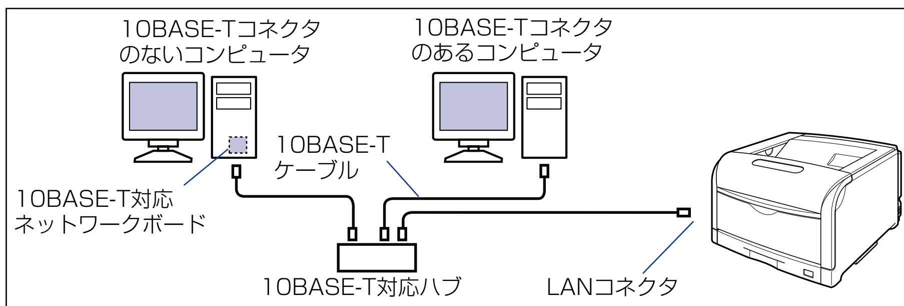
ケーブルを用意する

カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルで本プリンタをネットワークに接続することができます。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

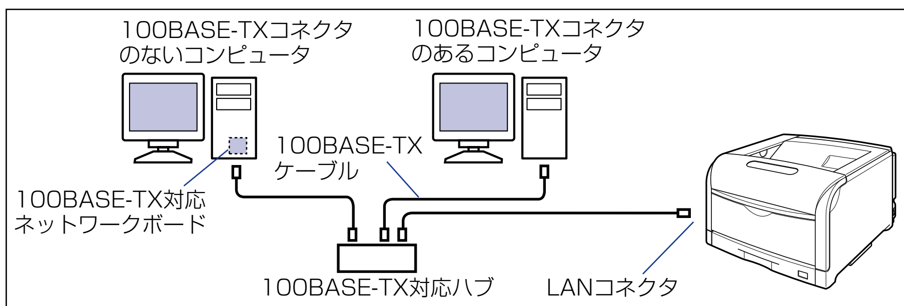
■ ネットワークの環境について

NB-J2は、10BASE-T/100BASE-TX 接続に対応しています。

- 10BASE-T Ethernet ネットワークに接続する場合



- 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合



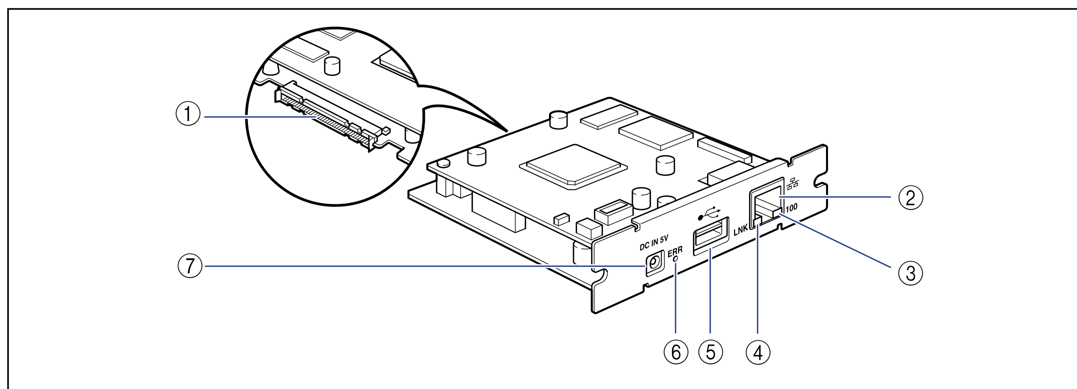


- NB-J2 は、上記以外のネットワークには接続できません。
- プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合は、ハブの増設が必要になります。



100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合は、ハブや LAN ケーブル、コンピュータ用ネットワークボードなど、LAN に接続している機器は、すべて 100BASE-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、または「お客様相談センター」へお問い合わせください。

各部の名称と機能



① **プリンタ接続コネクタ**
プリンタと接続するコネクタです。コネクタには直接手を触れないでください。

② **LAN コネクタ**
10BASE-T/100BASE-TXのＬ AN ケーブル接続部です。

③ **100 ランプ（緑色）**
NB-J2 が 100BASE-TX でネットワークに接続されているときに、点灯します。
10BASE-T 接続の場合は、点灯しません。

④ **LNK ランプ（緑色）**
NB-J2 がネットワークに正しく接続されているときに、点灯します。

⑤ **USB ホストコネクタ**
USB 機器と接続するときのUSBケーブル接続部です｡本コネクタから最大 200mA の電流を供給することが可能です。オプションの AC アダプタを使用した場合は､最大 500mA の電流を供給することができるようになります。

⑥ **ERR ランプ（オレンジ色）**
NB-J2 が正常に動作していないときに、点灯または点滅します。

⑦ **DC ジャック**
オプションの AC アダプタを接続するときの DC プラグ接続部です。接続する USB 機器の消費電流が 200mA 以上の場合、オプションの AC アダプタを使用して USB 機器をお使いください。

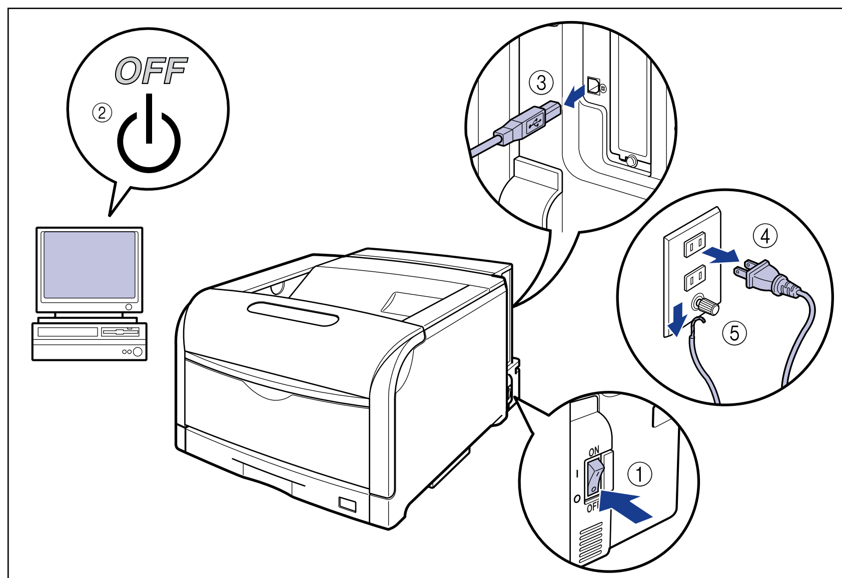
NB-J2 を取り付ける

NB-J2 は、次の手順でプリンタの拡張ボードスロットに取り付けます。NB-J2 の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

プリンタの電源を切ります ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルを抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

シャットダウンを行ってから電源を切ってください（→P.2-63）。
特にハードディスクを使用しているときは、ハードディスク保護のため、シャットダウンを行ってください。



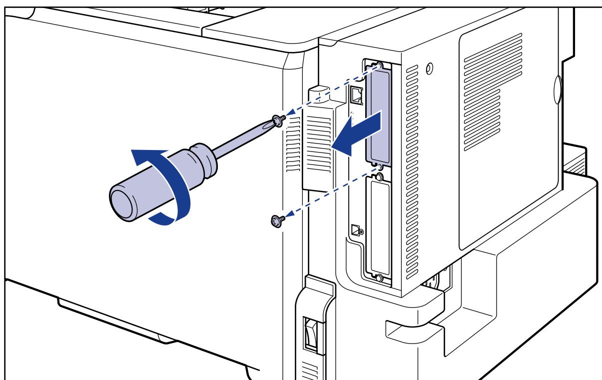


NB-J2 の抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。電源を入れたままで基板を抜き差しすると、NB-J2 やプリンタを破損する恐れがあります。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

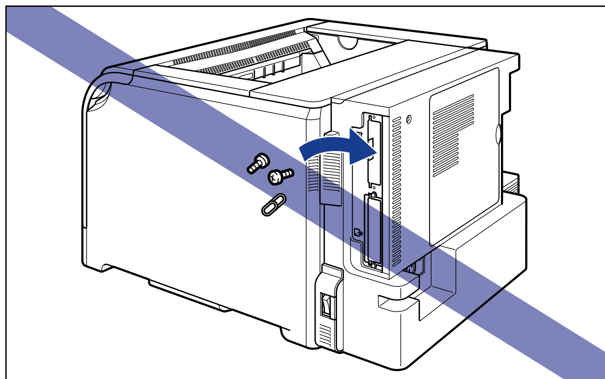
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 ネジを外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。



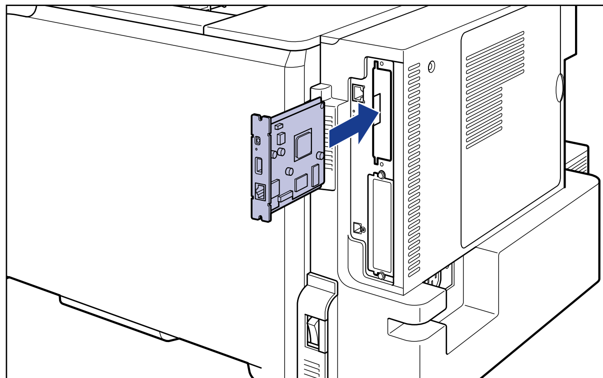


- 取り外した保護版とネジは、NB-J2 を外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。
- 保護板の取り外し後、拡張ボードスロット内にネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらが拡張ボードスロット内の穴に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。



4 NB-J2 を拡張ボードスロットに差し込みます。

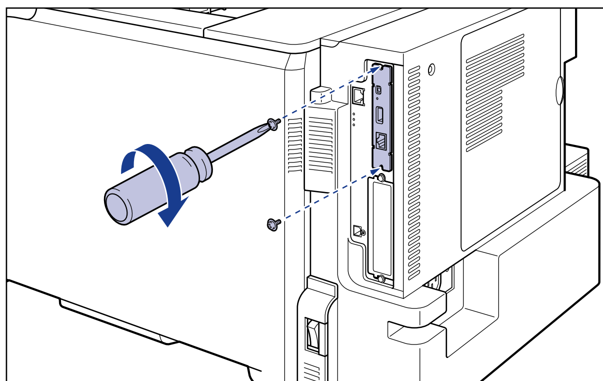
NB-J2 は、金属製のパネル部分を持ち、拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。





- NB-J2 をしっかりと確実に押し込んでください。
- NB-J2 の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

5 NB-J2 の上下を、付属の 2 本のネジで固定します。

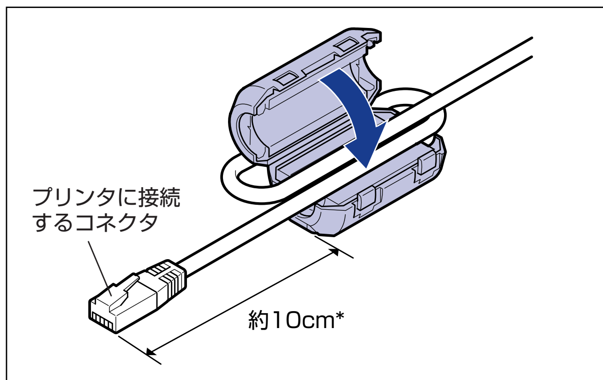


7

オプション品の取り付け

6 図のようにLANケーブルにフェライトコアを取り付けます。

フェライトコアはプリンタに接続するコネクタの先端から約 10cm の場所に取り付けます。



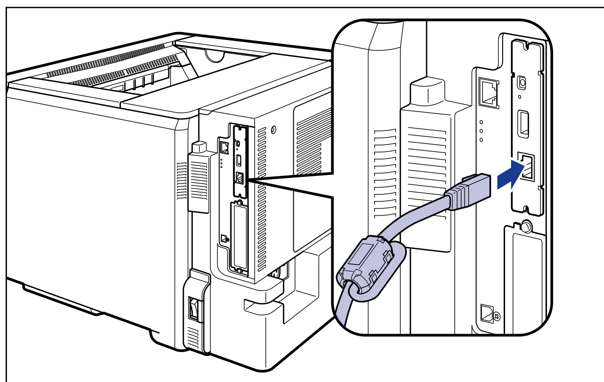
* NB-J2 の取扱説明書に記載されている数値と異なる場合がありますが、ここに記載されている数値（約 10cm）にしたがって、取り付けてください。



フェライトコアは、NB-J2 に同梱されています。

7 LANケーブルを接続します。

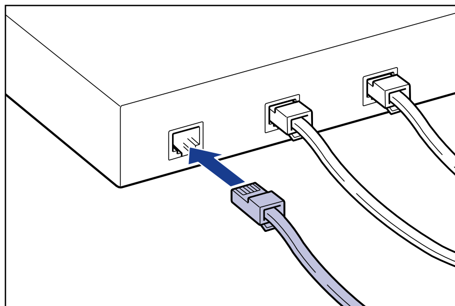
お使いのネットワークに合わせて、インテリジェントコントローラのLANコネクタに対応したLANケーブルを接続してください。





NB-J2には、LANケーブルは付属していません。NB-J2を装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、お使いのネットワークに合わせ、LAN ケーブルを別途ご用意ください。

8 LAN ケーブルの反対側をハブのコネクタへ接続します。



9 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

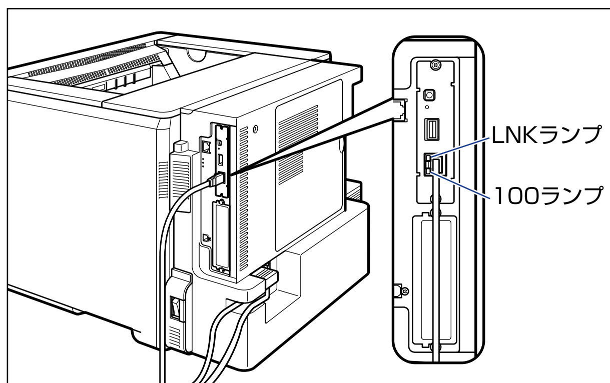
10 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

11 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

12 電源スイッチの "I" 側を押して、プリンタの電源を入れます。

13 NB-J2 の LNK ランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-T の場合は、LNK ランプが点灯していれば正常です。
100BASE-TX の場合は、LNK ランプと 100 ランプが点灯していれば正常です。



正常に動作していない場合はプリンタの電源を入れ、LAN ケーブルの接続やハブの動作、NB-J2 の取り付け状態を確認してください。確認したあと、電源を入れても正常に動作しない場合は、NB-J2 に付属のユーザーズガイド「第 6 章 困ったときには」を参照してください。

NB-J2 の取り付けが完了しました。NB-J2 を使用するには、NB-J2 に付属のユーザーズガイド「第 3 章 SMS を使用する」を参照してネットワークの設定を行ってください。

NB-J2 を取り外す

NB-J2 の取り外しは、次の手順で行います。NB-J2 の取り付けで取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

注意

- NB-J2 を取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- NB-J2 の取り扱いには注意してください。NB-J2 の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

1 **プリンタの電源を切ります。**

シャットダウンを行ってから電源を切ってください（→P.2-63）。
特にハードディスクを使用しているときは、ハードディスク保護のため、シャットダウンを行ってください。

2 **USBケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って、USBケーブルを抜きます。**

3 **電源プラグを電源コンセントから抜きます。**

4 **アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

5 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

6 **NB-J2 の上下の 2 本の固定ネジを取り外します。**

重要 取り外したネジは再度 NB-J2 を取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

7 NB-J2 を引き抜きます。

取り外した NB-J2 は、購入時に入っていた保護袋に入れて保管してください。

8 拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジで固定します。

9 USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

10 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

11 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

付録

8
CHAPTER

この章では、カラーのしくみ、おもな仕様、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内、索引などを記載しています。

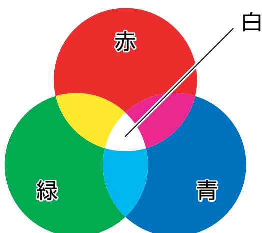
カラープリントのしくみ 8-2
光の３原色と色の３原色 8-2
色を表現する方法 8-3
カラープリントのしくみ 8-4
より美しく快適にカラープリントするために 8-5
おもな仕様 8-8
各部の寸法 8-15
索引 8-17
設置サービスのご案内 8-22
保守サービスのご案内 8-23
キヤノン保守契約制度とは 8-23
キヤノンサービスパックとは 8-23
補修用性能部品 8-24
無償保証について 8-25
シリアルナンバーの表示位置について 8-26
定期交換部品のご案内 8-28
ソフトウェアのバージョンアップについて 8-29
情報の入手方法 8-29
ソフトウェアの入手方法 8-29

カラープリントのしくみ

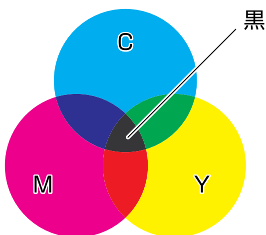
ここでは、色についての基礎知識や、本プリンタのカラープリントのしかたなどを説明します。

光の３原色と色の３原色

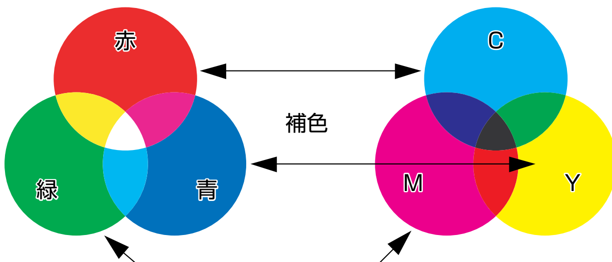
コンピュータのディスプレイなどで見える色は、赤、緑、青の光の３原色で表現されます。光の３原色は、赤と緑と青の３色をすべて混合すると白になります（加法混色）。



カラープリンタは、光の３原色ではなく、絵の具などと同じ色の３原色で色を表現します。色の３原色は、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）で、３色をすべて混合すると黒になります（減法混色）。



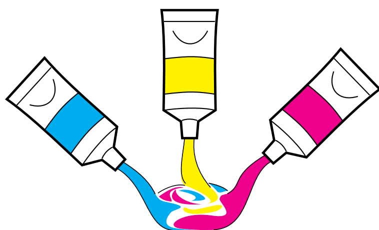
そして、光の３原色と色の３原色は、互いに補色の関係になっています。
光の赤は色のシアンと、緑はマゼンタと、青はイエローと補色関係です。



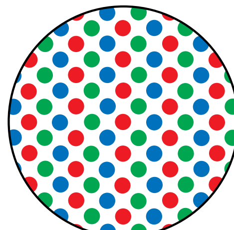
8
付録

色を表現する方法

絵の具でいろいろな色を作るには、パレットで混ぜ合わせます。ディスプレイやプリンタでは、絵の具のように混ぜ合わせることができませんので、色の点の集まりで色を表現します。

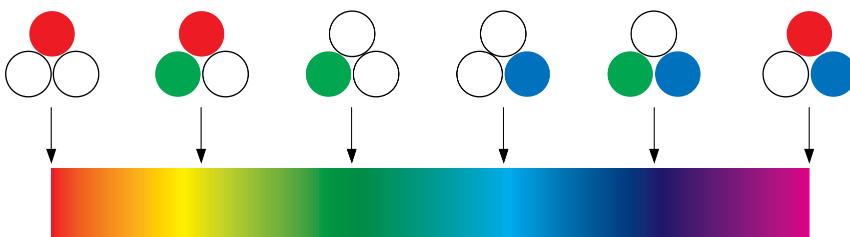


絵の具



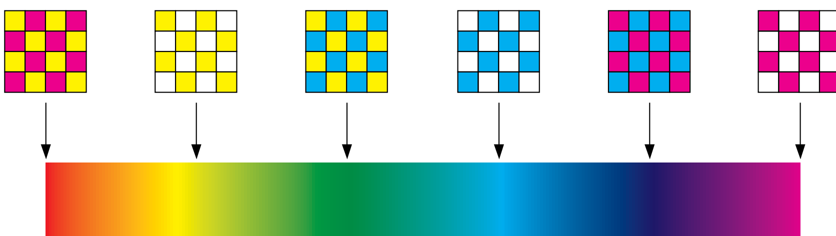
ディスプレイやプリンタ

ディスプレイの場合、R（赤）、G（緑）、B（青）の３つの点の光の強弱でいろいろな色を表現します。



カラーバー

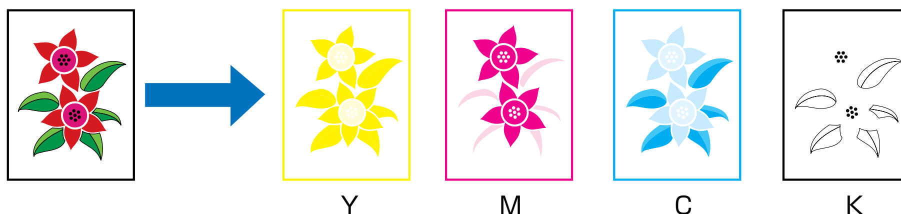
プリンタの場合、トナーの色に強弱を付けることはできません。このため、ディスプレイより多くの点を使い、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）にK（ブラック）を加えた色の組み合わせでいろいろな色を表現します。そして、この点が小さければ小さいほど高解像度のカラープリントが可能になります。



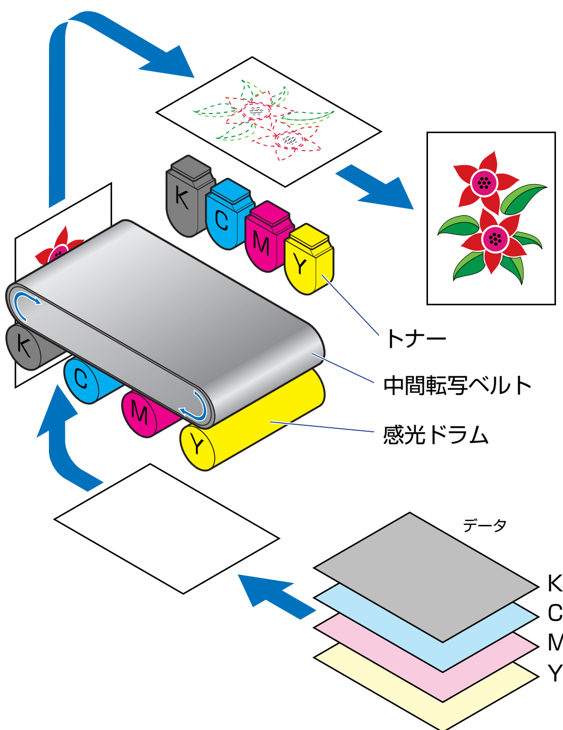
カラーバー

カラープリントのしくみ

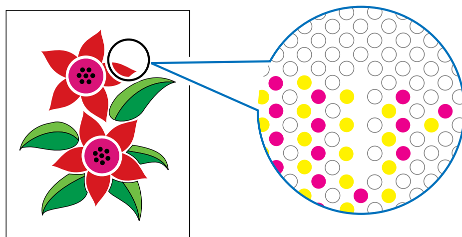
カラープリンタは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の細かな点の集まりで画像の形や色を表現します。
このため、プリンタに入力された画像データは、Y、M、C、K の４色に分解されます。



そして、これらのデータをそれぞれの別のカートリッジで現像して、中間転写ベルトに転写され、トナーが用紙に転写されます。



４色すべてのデータが用紙に転写されると、定着器を通り、排紙されます。

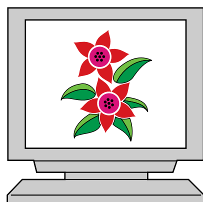


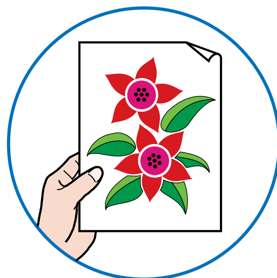
より美しく快適にカラープリントするために

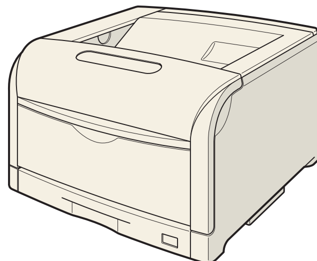
カラープリントが思った色にならなかったり、画質が低下したり、プリントに長時間かかったりしたのではプリンタの能力も半減です。ちょっとした調整や気遣いで、プリンタの能力を 100% 活用しましょう。

■ ディスプレイの色補正をする

ディスプレイに見えている色が正しい色とは限りません。ディスプレイに見えている色を基準にカラープリントをしても、ディスプレイの表示色が狂っていると、プリントの色とは違ってきます。
アプリケーションソフトに付属しているカラーサンプルや色補正ツールなどを使い、ディスプレイの表示色とプリントの色が近づくように補正します。





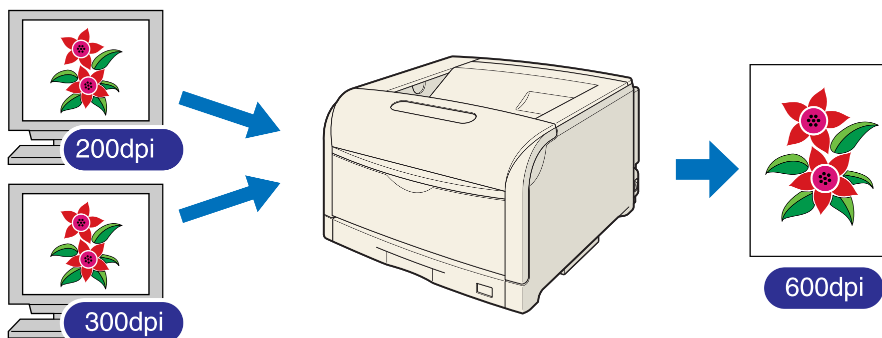


8
付録

■ 解像度を合わせる

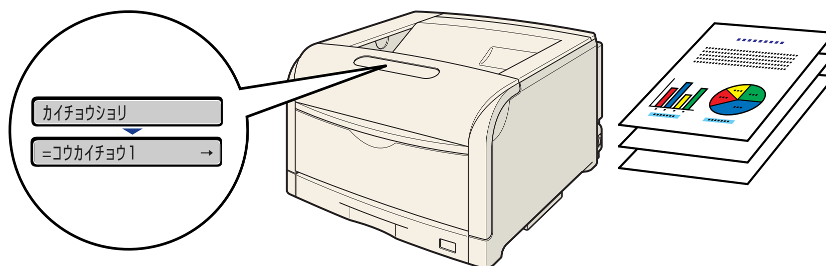
プリントするデータの解像度をどんなに高くしても、プリンタの解像度以上の画質は得られません。プリントするサイズで600dpi あれば十分です。データの解像度が高すぎると、プリント処理に時間がかかるばかりでなく、データの容量も大きくなります。逆に、データの解像度が低すぎると十分な画質が得られません。

画像処理のアプリケーションソフトなどで、プリントするデータの寸法や解像度を調べ、300 または 200dpi 解像度にしておきます。



■ プリントの内容に応じてプリントモードを選択する

文章や簡単な図形が中心の報告書やプレゼン資料、カラーを使っていないモノクロのデータなど高画質を必要としない文書は、標準の階調（高階調モード 1）でプリントします。これらのモードに切り替えることにより、高速にプリントできます。カラー写真や複雑なイラストなどをきれいにプリントするときは、高階調（高階調モード 2）でプリントします。データに応じてモードを使い分けることで、効率的にプリントできます。





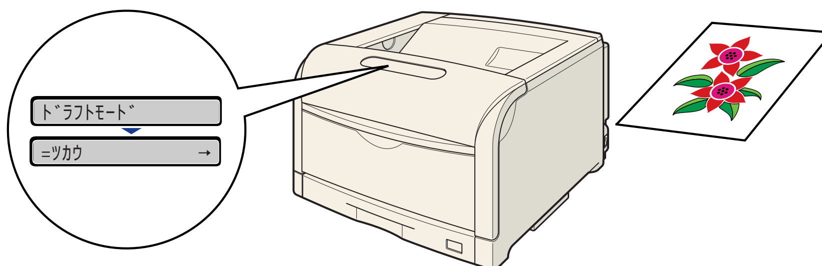
階調の設定方法については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

8

付録

■ 文字やレイアウトの確認はドラフトモードを利用する

原稿の内容やレイアウトのチェックをするとき、プリントの文字や配置だけわかればよい場合は、ドラフトモードでプリントします。ドラフトモードでプリントすることで、トナーの消費を大幅に節約できます。





ドラフトモードの設定方法については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

おもな仕様

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。

本製品に関する情報はキヤノンホームページでもご確認いただけます。

キヤノンホームページ（http://canon.jp/）の製品情報から「プリンター」のカテゴリーを選択し、お使いの機種のページを参照してください。

■ ハードウェアの仕様

形式	デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式	電子写真方式（オンデマンド定着）
解像度	1200dpi（スーパーファインモード）／600dpi（ファインモード）
プリント速度 **普通紙 (64 ～ 105g/m^2)**	A4 連続プリント時 モノクロ：32 ページ／分 カラー：30 ページ／分 * プリント速度は、用紙サイズや用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）
ウォームアップタイム（電源オンからプリンタがスタンバイになるまでの時間）	30 秒以下 * プリンタの使用条件 (オプション品装着の有無や設置環境など) によって異なる場合があります。
リカバリータイム（スリープからスタンバイになるまでの復帰時間）	プリンタスリープモード（スリープモード 2）時：3 秒以下 *1*2 ディープスリープモード（スリープモード 3）時：30 秒以下 *1 工場出荷時の設定です。 *2 プリンタスリープモード（スリープモード 2）に入り 8 時間以上経過した場合は 30 秒以下
ファーストプリント時間	A4 プリント時 モノクロ　約 7.5 秒 カラー　　約 9 秒 * LBP5910F はフィニッシャー搭載モデルのため、モノクロ 8.9 秒、カラー 10.4 秒になります。 * 出力環境によって異なる場合があります。

8

付録

用紙サイズ	カセット 1	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ 最大積載枚数　約 250 枚　(64g/m^2)
	カセット 2（オプション）	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ユーザ設定用紙 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm 最大積載枚数　約 550 枚　(64g/m^2)
	カセット 3（オプション）	
	カセット 4（オプション）	
	手差しトレイ	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、SRA3、12 × 18、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒洋形 4 号、封筒洋形 2 号、封筒角形 2 号 ・ユーザ設定用紙 縦置きの場合：幅 98.0 ～ 320.0mm、長さ 139.7 ～ 457.2mm 横置きの場合：幅 139.7 ～ 297.0mm、長さ 139.7 ～ 297.0mm ・長尺紙 幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～ 1200.0mm 最大積載枚数　約 100 枚　(64g/m^2)
自動両面プリント		・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ユーザ設定用紙 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 312.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
ステイプル（LBP5910F のみ）		・定形サイズ A3、B4、A4、B5、レジャー（11 × 17）、レター、エグゼクティブ、 ・ユーザ設定用紙 縦置きの場合：幅 257.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 457.2mm 横置きの場合：幅 257.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm * 同一サイズの用紙を最大 15 枚（81.5 ～ 105g/m^2 の場合は、最大 10 枚）までステイプルすることができます。 * 15 枚ステイプル時の印刷速度は、カラー／モノクロ印刷とも 27 枚／分（A4）になります。
排紙方式		フェースダウン
排紙積載枚数		LBP5910 約 250 枚（64g/m^2） LBP5910F A4、B5、A5、レター、エグゼクティブ：約 250 枚（64g/m^2） A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガル：約 150 枚（64g/m^2） SRA3、12 × 18：約 100 枚（64g/m^2）

稼働音（ISO9296 に基づく表示騒音放射値）	LBP5910 Lwad（表示 A 特性音響パワーレベル（1B=10dB）） 　　スタンバイ時：暗騒音 　　プリント時：7.1B 以下 音圧レベル（バイスタンダ位置） 　　スタンバイ時：暗騒音 　　プリント時：52dB（A）以下
	LBP5910F Lwad（表示 A 特性音響パワーレベル（1B=10dB）） 　　スタンバイ時：暗騒音 　　プリント時：7.1B 以下 音圧レベル（バイスタンダ位置） 　　スタンバイ時：暗騒音 　　プリント時：53dB（A）以下
使用環境（プリンタ本体のみ）	動作環境温度 10 ～ 30 ℃ 湿度 10 ～ 80%RH（結露しないこと）
電源	100V ± 10%（50 / 60Hz ± 2Hz）
消費電力（20 ℃時）	LBP5910 動作時平均：約 635W スタンバイ時平均：約 32W パネルオフモード（スリープモード 1）時平均：約 31W プリンタスリープモード（スリープモード 2）時平均：約 13W* ディープスリープモード（スリープモード 3）時平均：約 1W 最大 1300W 以下 * 工場出荷時の設定です。
	LBP5910F 動作時平均：約 650W スタンバイ時平均：約 32W パネルオフモード（スリープモード 1）時平均：約 31W プリンタスリープモード（スリープモード 2）時平均：約 13W* ディープスリープモード（スリープモード 3）時平均：約 1W 最大 1300W 以下 * 工場出荷時の設定です。

消耗品	トナーカートリッジ	・Canon Toner Cartridge 502 Black （キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　ブラック） プリント可能ページ数　約 10,000 ページ * *　A4 サイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合
		・Canon Toner Cartridge 502 Yellow （キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　イエロー） ・Canon Toner Cartridge 502 Magenta （キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　マゼンタ） ・Canon Toner Cartridge 502 Cyan （キヤノン　トナーカートリッジ　５０２　シアン） プリント可能ページ数　約 6,000 ページ * *　A4 サイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合
	ドラムカートリッジ	・Canon Drum Cartridge 502 Black （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　ブラック） ・Canon Drum Cartridge 502 Yellow （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　イエロー） ・Canon Drum Cartridge 502 Magenta （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　マゼンタ） ・Canon Drum Cartridge 502 Cyan （キヤノン　ドラムカートリッジ　５０２　シアン） プリント可能ページ数　約 50,000 ページ *1*2*3 *1 このページ数は下記の条件でのページ数です。 用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、連続 / 片面印刷 *2 2 枚ずつ間隔をあけて印刷（2 枚間欠印刷）を行なう場合の本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、ブラック約 45,000 ページ、カラー各色約 40,000 ページとなります。この数値はカラー印刷のみを行った場合の印刷可能なページ数です。モノクロ印刷をした場合でも、各カラーのドラムカートリッジの消耗は進むため、モノクロ印刷を多く行ったときには、各カラーのドラムカートリッジの寿命が半分程度の枚数になることがあります。 *3 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。
	定着器	FUSER KIT UM-98F プリント可能ページ数　約 150,000* ページ *　A4 サイズ片面プリントの場合
	回収トナー容器	回収トナーボックス WT-98B*1*2 *1 本プリンタ用回収トナー容器（キヤノン純正品）は、約 6,200 ページでいっぱいになります。 このページ数は下記の条件でのページ数です。 用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定、2 枚間欠 / 片面印刷 *2 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。
	針カートリッジ（LBP5910F のみ）	ステイプル・S1 ステイプル針　1,000* 本 *　1 個あたりの本数です。交換用の針カートリッジは、3 個セットでお買い求めいただけます。

質量	プリンタ本体および同梱品	プリンタ本体（LBP5910） （トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは除く）........... 約 48.5kg プリンタ本体（LBP5910F） （トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは除く）........... 約 52.5kg トナーカートリッジ（ ブラック）.. 約 0.4kg トナーカートリッジ（ イエロー、マゼンタ、シアン）.......... 約 0.3kg ドラムカートリッジ.. 約 1.9kg 定着器.. 約 2.9kg 回収トナー容器 .... 約 0.2kg
	消耗品、定期交換部品およびオプション品	トナーカートリッジ（ブラック）（キヤノン純正品).......... 約 0.4kg*1 トナーカートリッジ（シアン、イエロー、マゼンタ）（キヤノン純正品）.. 約 0.3kg*1 ドラムカートリッジ（ キヤノン純正品）............................ 約 1.9kg*2 定着器（キヤノン純正品）... 約 2.9kg*3 回収トナー容器（キヤノン純正品）..................................... 約 0.2kg*4 550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98B（カセット含む）.... 約 11kg *1 トナーカートリッジは以下のキヤノン純正品の場合 Canon Toner Cartridge 502 Black Canon Toner Cartridge 502 Yellow Canon Toner Cartridge 502 Magenta Canon Toner Cartridge 502 Cyan *2 ドラムカートリッジは以下のキヤノン純正品の場合 Canon Drum Cartridge 502 Black Canon Drum Cartridge 502 Yellow Canon Drum Cartridge 502 Magenta Canon Drum Cartridge 502 Cyan *3 定着器は以下のキヤノン純正品の場合 FUSER KIT UM-98F *4 回収トナー容器は以下のキヤノン純正品の場合 回収トナーボックス WT-98B

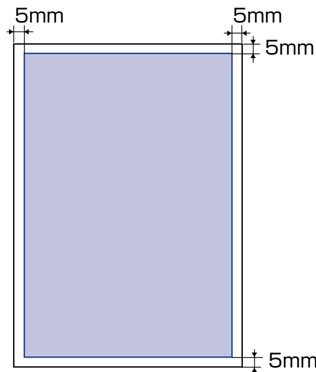
■ コントローラの仕様

CPU	R4000 系（400MHz)、R64 系（533MHz） * 上限とする周波数の値です。
メモリ（RAM）容量	標準 256MB オプションの拡張 RAM により、最大 768MB まで拡張可能
ホストインタフェース	USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed(USB1.1 相当)× 1 個 LAN コネクタ（10BASE-T/100BASE-TX）× 1 個
ユーザインタフェース	LCD16 桁× 1 段 LED ランプ 11 個 操作キー 9 個
RAM スロット	1
ROM スロット	1
拡張ボードスロット	2

■ ソフトウェアの仕様

内蔵コントロールコマンド	LIPS II+ ／ LIPS III ／ LIPS IV ／ LIPS LX	
エミュレーションコマンド	内蔵	ESC/P
	オプション	N201（標準 N201）、I5577、HP-GL、HP-GL/2 商品名：CR-HIW
内蔵スケーラブルフォント	平成明朝体™W3*、平成角ゴシック体™W5* 、ラインプリンタボールド、ガーランド * これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。 Courier、Dutch、Swiss、Symbol	
有効印字領域	用紙周囲から上下左右 5.0mm を除いた領域（封筒は 10mm） * 用紙いっぱいにデータがある場合や封筒の郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合、次の設定を行います（ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります）。 1.［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックする 2.［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付ける この設定を行っても、データの周囲が欠けて印字される場合は、プリンタドライバでデータが欠けないように縮小率を設定し、印刷しなおしてください。	

●普通紙、厚紙、コート紙、ラベル用紙、はがき、往復はがき、4面はがき

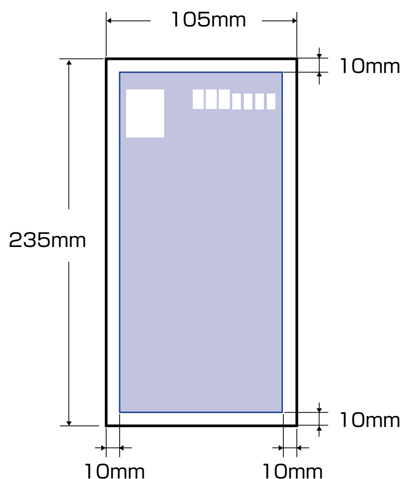


8

付録

重要　はがきの有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データをはがきの有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

●封筒　（洋形4号の例）

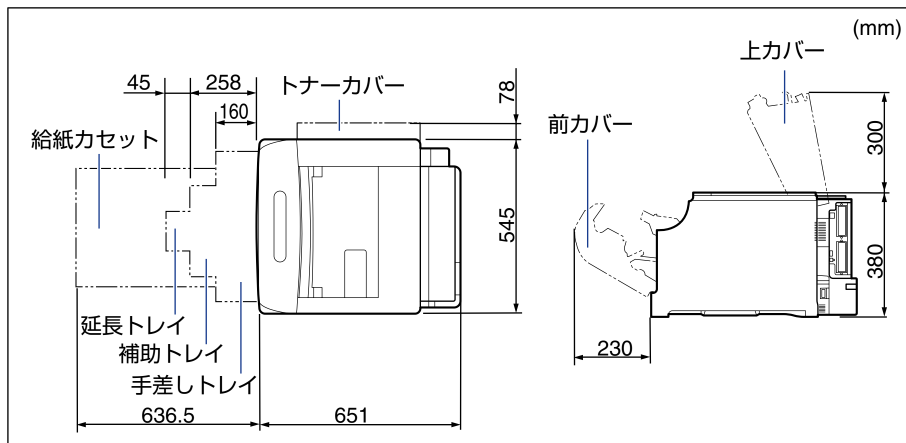


重要　封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。

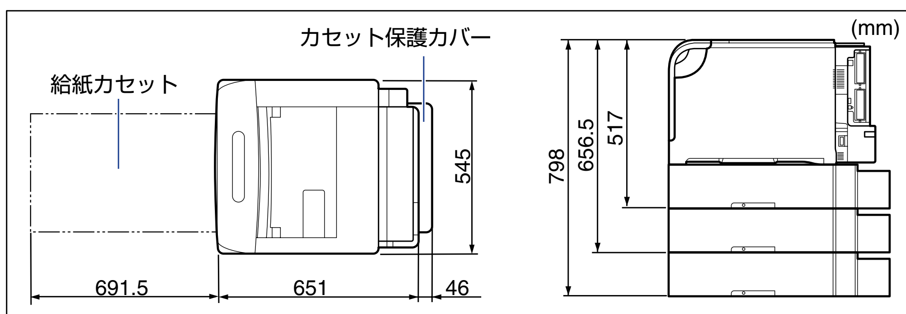
各部の寸法

■ プリンタ（LBP5910）

● 標準仕様



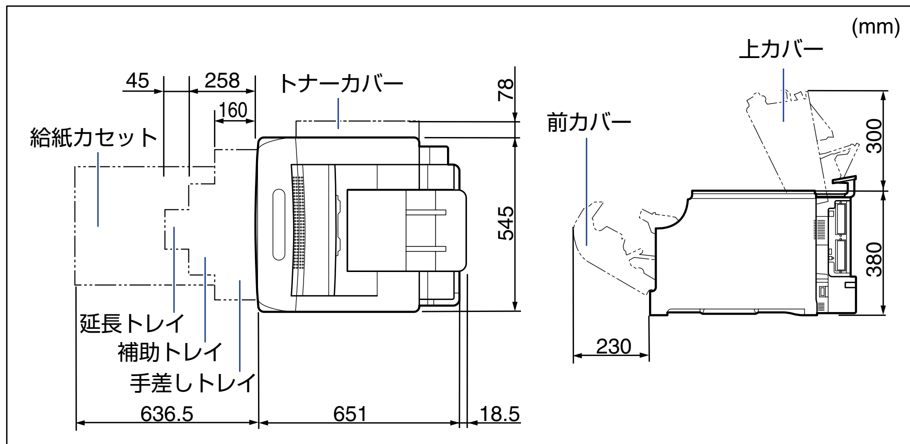
● ペーパーフィーダ× 3 段装着仕様



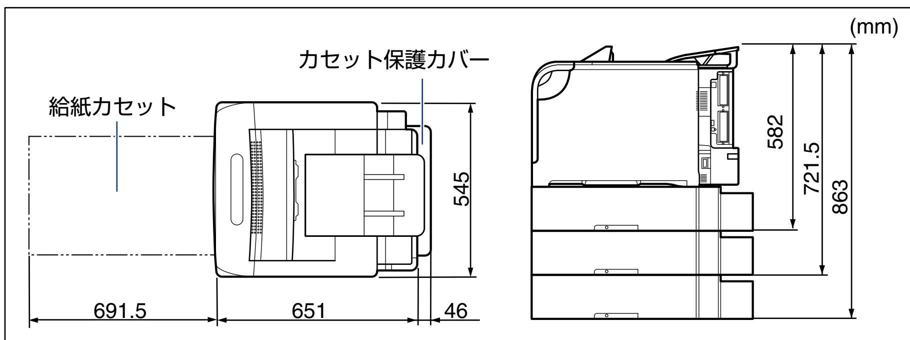
8
付録

■ プリンタ（LBP5910F）

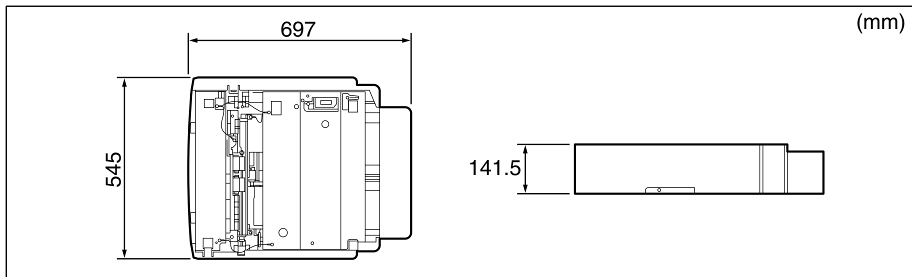
- 標準仕様



- ペーパーフィーダ× 3 段装着仕様



■ 550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98B



8

付録

索引

英数字

100BASE-TX, 2-56
100 ランプ , 1-5, 1-8
10BASE-T, 2-56
10 ランプ , 1-5, 1-8
4 面はがき , 4-6
ACT ランプ , 1-5, 1-8
BMLinkS, 3-8
DOS, 2-60
ESC/P エミュレーションモード , 3-54
ESC/P のページフォーマット , 3-58
EtherTalk, 2-56
E メール印刷 , 3-29
HDD ランプ , 1-12
HP-GL, 3-54
HP-GL/2, 3-54
ITB ユニット , 1-7, 1-10
LAN コネクタ , 1-5, 1-8, 2-57
LIPS モード , 3-54
LNK ランプ , 2-73
Macintosh, 2-60
NB-J2, 1-19, 7-38
NetSpot Device Installer, 2-59, 2-60
NetSpot Job Monitor, 2-59
［OK］キー , 1-11
PC/AT 互換機 , 3-54
PC-9800 シリーズ , 3-54
PS/55 シリーズ , 3-54
RAM, 1-15, 7-21
　設定 , 7-29
　取り付け , 7-22
　取り付け位置 , 7-22
　取り外し , 7-29
ROM, 1-17, 7-21
　設定 , 7-29
　取り付け , 7-22
　取り付け位置 , 7-22
　取り外し , 7-29
TCP/IP, 2-56
UNIX, 2-56
USB コネクタ , 1-6, 1-8, 2-55
Windows, 2-59

あ

アース線 , 2-24
アース線端子 , 1-7, 1-10
足の位置 , 2-9
厚紙 , 4-5
暗号化セキュアプリント , 3-43
印刷可ランプ , 1-12
印刷結果のトラブル , 6-66
印刷モード , 3-42
印字位置の調整 , 5-69
印字品質のトラブル , 6-71
印字不良 , 6-81
印字不良サンプル , 6-102
インストール , 2-59
インテリジェントコントローラ , 1-19, 7-38
　ケーブル , 7-39
　各部の名称と機能 , 7-40
　取り付け , 7-41
　取り外し , 7-46
上カバー , 1-6, 1-7, 1-9, 1-10
後カバー , 1-7, 1-10
運搬用取っ手 , 1-6, 1-9

エミュレーションモード, 3-54, 3-58
エラースキップ, 6-32
エラーメッセージ, 6-32
延長トレイ, 1-6, 1-9
往復はがき, 4-6
オプション, 1-14, 7-1
　取り付け位置, 2-3
オフライン, 3-3
温度／湿度条件, 2-5
オンライン, 3-3
［オンライン］キー, 1-11
オンラインランプ, 1-12

か

回収トナーカバー, 1-7, 1-9
回収トナー容器, 5-54
　交換, 5-54
　使用済み回収トナー容器回収のお願い, 5-60
解像度モード, 3-48, 3-49
階調モード, 3-48, 3-50
角形2号, 4-6
拡張RAM, 1-15, 7-21
拡張ボードスロット, 1-5, 1-8
各部の名称, 1-5
画質, 3-48
紙づまりの除去手順, 6-7
カラーバランスの調整, 6-106
カラーモード, 3-52
給紙カセット, 1-6, 1-9, 4-13, 4-17
　用紙タイプ設定, 4-43
　用紙のセット, 4-18
［給紙選択］キー, 1-11
給紙部, 4-11
　種類, 4-11
　積載枚数, 4-12
　選択, 4-12
　取り扱いのご注意, 4-13
給紙元表示ランプ, 1-12
給紙ローラ, 4-14, 6-14
強制排出, 3-59
警告メッセージ, 6-32
結露, 5-15
高階調1モード, 3-49
高階調2モード, 3-49
コート紙, 4-5
コマンドプロンプト, 3-28
ゴムパッド, 4-14
コントロールROM, 1-17, 7-21

さ

サービスコール, 6-58
最大消費電力, 2-5
サブ電源, 1-13
自動エラースキップ, 6-32
シャットダウン, 2-63
周囲に必要なスペース, 2-7, 2-8
主電源ランプ, 1-12
仕様, 8-8
使用できない用紙, 4-9
使用できる用紙, 4-3
［ジョブ］（UU▲UU）キー, 1-11
ジョブキャンセル, 3-60
［ジョブキャンセル］キー, 1-11
ジョブの処理方法, 3-42
ジョブランプ, 1-12
シリアルナンバー, 8-26
スーパーファインモード, 3-48
ステータスプリント, 2-68
ステイプル, 4-72
スリープモード, 2-65
寸法, 8-15
清掃ブラシ, 6-88
セキュアプリント, 3-43
セキュアプリントモード, 3-42
設置環境, 2-5

設置サービス , 8-22
設置条件 , 2-6
設置スペース , 2-7, 2-8
設置手順 , 2-4
設置場所 , 2-5
設定のしかた , 3-6
設定の優先順位 , 3-7
設定方法 , 3-5
[セットアップ]（RR▲RR）キー , 1-11
操作部電源スイッチ , 1-13
ソフトウェア , 2-59
ソフトリセット , 3-61

た

ダイレクトプリント , 3-14
超音波加湿器 , 2-5
長尺紙 , 4-49
通気口 , 1-5, 1-7, 1-8, 1-9, 1-10
定格銘板ラベル , 1-7, 1-10
定期交換部品 , 8-28
ディスプレイ , 1-13
定着器 , 1-7, 1-10
　　カウンタのリセット , 5-52
　　交換 , 5-44
手差しトレイ , 4-13, 4-45
　　用紙サイズ設定 , 4-56
　　用紙タイプ設定 , 4-57
　　用紙のセット , 4-45
テストチャート 1, 6-99
テストチャート 2, 6-101
電源
　　オフ , 2-63
　　オン , 2-61
　　トラブル , 6-60
電源コード , 2-24
電源コード差し込み口 , 1-7, 1-10
電源条件 , 2-5
電源スイッチ , 1-6, 1-9, 2-61, 2-64
転写ベルトの清掃 , 5-68
動作モード , 3-54
動作モード固定 , 3-57
とじしろ , 4-69
トナーカートリッジ , 5-3
　　交換 , 5-4
　　使用済みトナーカートリッジ回収のお願い , 5-13
　　取り扱いのご注意 , 5-13
　　保管 , 5-15
　　取り付け , 2-47
トナーカバー , 1-5, 1-8
トラブル解決マップ , 6-2
トラブル
　　印刷結果 , 6-66
　　印字品質 , 6-71
　　印字不良 , 6-81
　　紙づまり , 6-4
　　カラーバランス , 6-106
　　サービスコール , 6-58
　　電源・プリンタ動作 , 6-60
　　針づまり , 6-25
　　メッセージ , 6-32
ドラムカートリッジ
　　交換 , 5-16
　　使用済みドラムカートリッジ回収のお願い , 5-41
　　取り扱いのご注意 , 5-41
　　取り付け , 2-27
　　保管 , 5-43
取り扱い上のご注意 , 2-9

は

ハードディスク , 1-18, 7-31
　　取り付け , 7-32
　　取り外し , 7-36
ハードディスクスロット , 1-6, 1-8
ハードリセット , 3-62

8 付録

排紙先 , 4-15
排紙先の積載枚数 , 4-16
排紙トレイ , 1-6, 1-9, 4-15
はがき , 4-6
パッケージの内容 , 2-10
針カートリッジ , 1-10
　交換 , 5-61
　針づまりの除去 , 6-25
標準モード , 3-48
ファインモード , 3-48
封筒 , 4-6
フェースダウン , 4-15
普通紙 , 4-5
プリンタ
　移動 , 5-77
　外部の清掃 , 5-74
　各部の名称 , 1-5
　機能 , 3-5
　寸法 , 8-15
　動作確認 , 2-68
　トラブル , 6-60
　取り扱い , 5-84
　内部の清掃 , 6-81
プリンタドライバ , 2-59, 4-60
プリントサーバ , 2-71
プリントの保管 , 4-10
プログラマーズマニュアル , 1-19
ペーパーフィーダ , 1-14, 7-2
　寸法 , 8-16
　取り付け , 7-7
　取り外し , 7-18
編集＋プレビューモード , 3-43
保守契約制度 , 8-23
保守サービス , 8-23
補助トレイ , 1-6, 1-9
保存ジョブプリント , 3-46
保存モード , 3-43

ま

前カバー , 1-6, 1-9
無償保証 , 8-25
メッセージ , 6-32
メッセージランプ , 1-12

や

優先エミュレーション , 3-55
[ユーティリティ]（LL▲LL）キー , 1-11
ユーティリティソフト , 2-59
洋形２号 , 4-6
洋形４号 , 4-6
用紙
　使用できる用紙 , 4-3
　保管 , 4-10
　有効印字領域 , 4-7
用紙ガイド , 1-6, 1-9
用紙サイズ , 4-3
　設定 , 4-56
　略号 , 4-7
用紙タイプ , 4-4
　設定 , 4-43, 4-57
用紙のセット
　定形の用紙 , 4-19, 4-26, 4-46
　ユーザ設定用紙 , 4-35, 4-46
　はがき、封筒 , 4-50
用紙の向き , 4-53

ら

ラベル用紙 , 4-5
[リセット]（DD ▲ DD）キー , 1-11
両面印刷 , 4-65
レーザー光 , xviii

わ

割り込み印刷モード , 3-43

設置サービスのご案内

本プリンタの設置は、ユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。

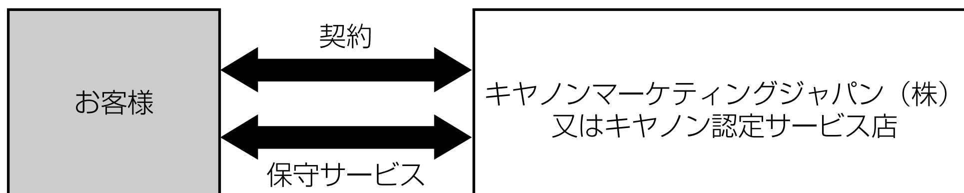
保守サービスのご案内

■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。

万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キャノンサービスパックのメリット

■ **簡単登録**

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ **電話一本**

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様IDとトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ **固定料金**

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後90日以内となります。

8

付録

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後7年間です。

無償保証について

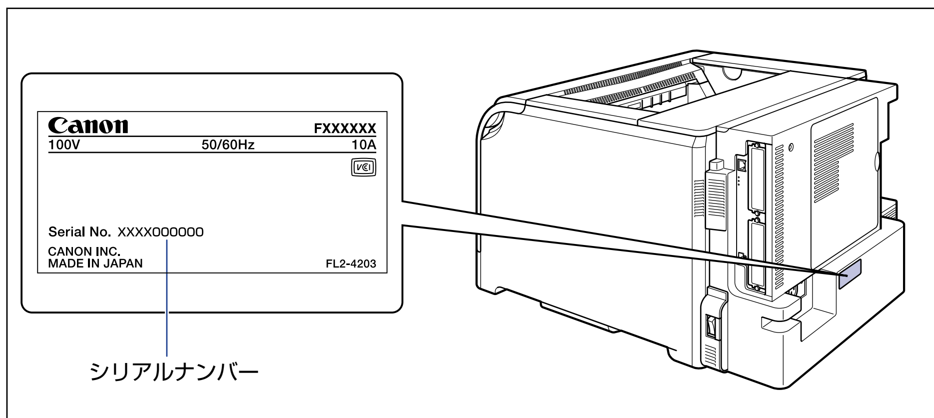
- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

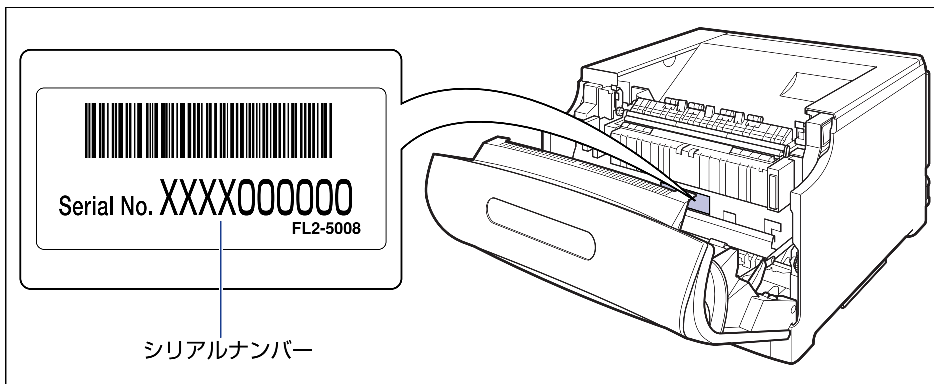
本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要　シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ プリンタ背面

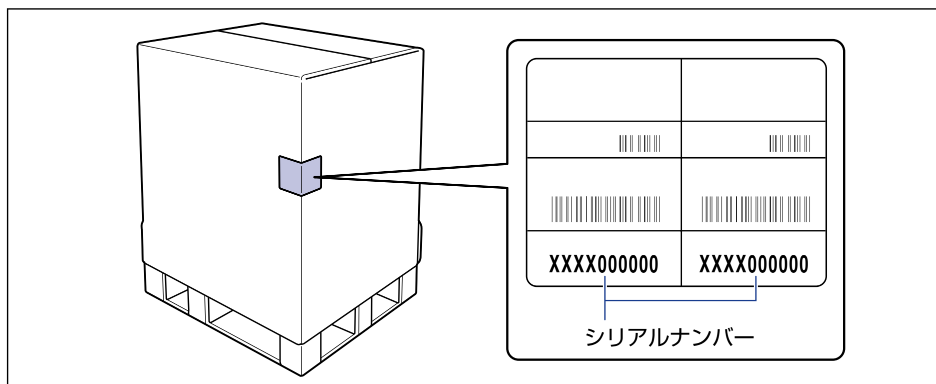


■ プリンタ内部



8
付録

■ 梱包箱外側



8

付録

定期交換部品のご案内

本プリンタでは、定期交換部品として次のものが用意されています。ITB ユニット、二次転写ローラ、給紙ローラは専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。定着器につきましては、お客様での交換も可能です。本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。サービスマンが定期交換部品を交換した場合には、部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。



定期交換部品は、次の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境や印刷する用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

定期交換部品	交換の目安	用途
定着器	150,000 ページ（A4 横片面）	トナーを用紙に定着させるためのユニットです。寿命をすぎると、画像不良や用紙のしわの原因になります。
ITB ユニット	150,000 ページ（A4 横片面）	4 色のトナーを用紙に転写させるためのユニットです。
二次転写ローラ	150,000 ページ（A4 横片面）	4 色のトナーを用紙に転写させるためのローラです。
給紙ローラ（給紙カセット、手差しトレイ）	150,000 ページ（A4 横片面）	給紙カセット、手差しトレイから用紙を給紙するためのローラです。

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。



キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間] <平日> 9:00～20:00 <土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：http://canon.jp

USRM1-1639 (12)

© CANON INC. 2013